

原始佛法

教本【下】

原始佛法教本

〈下冊〉

用「心」「觸摸」生命

科學研究的對象是具有實體形質的『物質現象』，止觀禪修的對象是沒有具體形質的『心理現象』。但是，我們一樣可以將心理現象具體化，並且以觀察、實驗的方法來探究它。

怎麼具體化呢？就是「現觀」！「現觀」就是「用心觀察當下身心活動」。

如果能用『心』去『覺察』無形質的心理活動，
就能像用『手』去『觸摸』有形體的東西一樣。

所以要好好培養覺察力，不論是感受、念頭、認知或意志，都要確實在身心當下去覺察它，那這些心理的生命經驗就會變得很具體實在。

學習佛法不能只是記憶或想像推理，務必要用『心』去『覺察』生命經驗，這樣你才能從佛陀的法得到真實利益。

相會在法的光明裡

世尊：因緣法及緣生法，若佛出世，若未出世，此法常住，法住法界，彼如來自所覺知，成等正覺，為人演說，開示顯發。

——《雜阿含 296 經》

在《雜阿含經》裡面，你會真正認識這個人間的佛陀，這個人間的佛陀也許跟後期佛教所描述的那樣的佛陀不一樣，可是不會因為他不住在天上，不會因為他沒有種種的神通道力，就折損了他的那種神聖，不會的！

《雜阿含經》裡的佛陀是一個很平凡的人，跟我們一樣生在這樣的一個平凡的世間，他跟當時的人們相磨擦而發生的一些火花，就記錄在這部聖典裡頭，從這些星星之火，你會被這個人深深地感動，因為那是法的光明。

感恩我們在法的光明裡相逢相會，願彼此珍重增上！

編者序

《雜阿含經》是坐禪人所習，它的核心是智慧禪觀，所以《雜阿含經》的經法其實就是禪法，只可惜，我們一般人在學習經典的時候，就如古大德所說：「皆作道理會去也。」都把它當作道理知識在學，所以就很難深入思惟觀察經典的深妙義。

此次編輯原始佛法教本，選錄雜阿含 1362 經中的 400 篇經文，分為 4 個部分：1.初心入門集（1-85 篇）；2.基礎教理集（86-185 篇）；3.進階禪觀集（186-285 篇）；4.雜含驪珠集（286-400 篇）。『雜含驪珠集』是前面三集未收錄，但對於法義和禪觀有參考價值的其它經典。

佛法的學習沒有門檻，但必須有相應的心行質地和修學的正確智見，否則，就貿然學習禪修，其實生命很難有真實的轉化，所以每一集教本的編排次序是以《雜阿含 346 經》的完整修證內容為基本架構，分為六個簡要的修學次第如下～～

1.為善男子：①慚、愧、不放逸；②恭敬、順語、親近善知識。

2.聞法正信：③樂見賢聖、樂聞正法、不求人短；④生信、易受教、勤奮。

3.內寂其心：⑤不掉、住律儀、學戒；⑥不失念、正知、住不亂心。

4.如實觀察：⑦正思惟、習近正道、精進不懈怠。

5.如實知見：⑧不著身見、不著戒取、度疑惑。

6.正向涅槃：⑨離貪、恚、癡；⑩斷老、病、死。

願您聞法得益，正見增明，正念增上！

《雜阿含經》簡介

印順導師在『原始佛教聖典之集成』一書中提到：以「法」來說，原始結集的只是「四部阿含」，而這四部又根源於「雜阿含（相應阿含）」。

「雜阿含」內容有三：①根本內容『修多羅』是甚深法義的結晶。②通過一般民間的神教意識而成立『祇夜』。③分別抉擇「修多羅」、「祇夜」的『弟子所說』與普化社會的『如來所說』，這兩個就是『記說』。

『修多羅』、『祇夜』、『記說』這三部的總合就稱為「雜阿含」。依這三部分再開展集成的，就是《中阿含》、《長阿含》、《增一阿含》。共為「四部阿含」。

依古人的傳承解說：①以「修多羅」根本部分為主的『雜阿含（即相應阿含）』，是「顯揚真義」——「第一義悉檀」。②以分別抉擇為主的『中阿含』，是「破斥猶疑」—

—「對治悉檀」。③以教化弟子啟發世出世善的『增一阿含』，是「滿足希求」——「為人（生善）悉檀」。④以述明佛陀超越天魔梵為主的『長阿含』，是「吉祥悅意」——「世間悉檀」。

這是佛法適應世間、化導世間的四大宗趣，也是學習者從中所能得到的或淺或深的四類利益。佛法的四大宗趣，從「四部」聖典的特性中表現了出來。可見《雜阿含經》是原始聖典的根本法要（第一義悉檀），它的重要性為全世界佛學者（不論南北傳、各教派）所公認、無可爭辯的事實。

佛法歷經約二千六百年的流傳，由於時、地，內、外，因、緣的衝擊，先是由於印度佛滅後約一百五十年，佛弟子漸漸偏重於義理的分辨，開始失去了佛在世時「人間比丘」的風格，以致內部一再分裂，思想上分成十八或二十部派，根本二部是上座部和大眾部。

四部『阿含經』中，以《雜阿含經》為根本。《雜阿含經》意思是「聖弟子輾轉傳來的事相應聖教集」，即南傳「五部尼柯耶」的「相應部」。

《雜阿含經》的名稱有二義：1.依據各種事理教義分類。2.依分類將相關、相應的經文次第編輯在一塊。

這些事理教義總括起來就是九種事理內容。哪九種事？1.有情事，2.受用事，3.生起事，4.安住事，5.染淨事，6.差別事，7.說者事，8.所說事，9.眾會事。

有情事者，謂五取蘊。受用事者，謂十二處。生起事者，謂十二分緣起及緣生。安住事者，謂四食。染淨事者，謂四聖諦。差別事者，謂無量界。說者事者，謂佛及彼弟子。所說事者，謂四念住等菩提分法。眾會事者，所謂八眾：①剎帝利眾，②婆羅門眾，③長者眾，④沙門眾，⑤四大天王眾，⑥三十三天眾，⑦焰摩天眾，⑧梵天眾。

可見佛法只是「一切事相應教」。四部『阿含經』中，將佛陀的隨機教說，依相應部類集成的是《雜阿含經》。然後依不同意趣加以不同組織，而成為《長阿含》、《中阿含》、《增一阿含》（依名相之數編集，南傳稱為《增支部》）等三部。《長》、《中》、《增一》這三部『阿含』的法義，雖有不同的部份，但論到佛法的根本，也不外乎是對固有的「一切事相應教」的闡明，所以四部都被稱「事契經」。

《雜阿含經》的主要內容，大致可分三部份：

（一）開顯佛陀在菩提樹下的正覺禪法和相關教法：主張「善護其身，守諸根門，善繫心住」，然後「常當修習，方便禪思，內寂其心，如實觀察」。闡明正確的禪思之道，並提示了當時異教禪法的缺失，演示正確禪修的步驟、方法、注意事項以及果證等。因此有人認為本經重在教導禪觀，是修學趣向正覺、趣向智慧的禪觀行者所應當重視的。

（二）闡述原始佛法基本法義：包括五蘊、六入、緣起、三十七菩提分等教說，以闡明無常、苦、空、無我的生命真

相。同時開演了四聖諦、十二因緣、四食、八正道、四念處、七覺分、四禪、十八界、因緣業報等教理。

（三）為在家學眾講述「在家成就十六法」：鼓勵在家學眾信奉佛教，皈依三寶，勤修善業，但也不忘提攜他們進道上升，趣向究竟解脫。

感謝歷代聖賢弟子傳承聖教！感恩眾多弘傳大德真誠奉獻，努力還原《雜阿含經》本來面目，闡發經義，讓佛陀原始聖典的光華重現人間！

本書凡例

本書《雜阿含經》採用莊春江工作站的經文，《相應部》採用元亨寺譯《南傳大藏經》經文。

雜阿含採用大正本經號，經號後括弧內註明所屬相應以及對應的南傳經典經號。

※經文校訂符號：

① [ ] -- 中括弧是補足漏字。

② ( ) -- 小括弧是改錯為正，為便於讀誦，直接刪除了錯字。

③ * -- 星號是刪除多餘的贅字。

※經典代碼：

SA 雜阿含；MA 中阿含；DA 長阿含；AA 增一阿含

OA 別譯雜阿含；TB 南傳經典；SN 相應部；MN 中部

DN 長部；AN 增支部；UD 自說經

目錄

用「心」「觸摸」生命 2
相會在法的光明裡 3
編者序 4
《雜阿含經》簡介 6
本書凡例 11
開經偈 29
原始佛法教本第三部 進階禪觀 31
3.內寂其心 31
※六根律儀 31
大正 281/印順 404/佛光 280(入處 TB 無) 31
※勝妙安般念 36
大正 805/印順 1093/佛光 817(安般念 SN54.6) 36
大正 807/印順 1095/佛光 819(安般念 SN54.11) 37
4.如實觀察 38
4-1.於五陰觀察生滅 38
大正 42/印順 154/佛光 88(陰 SN22.57) 39

大正 61/印順 58/佛光 52(陰 TB 無)..... 43
大正 64/印順 61/佛光 55(陰 SN22.55)..... 45
大正 67/印順 86-97/佛光 58(陰 SN22.5,6)..... 48
大正 265/印順 48/佛光 42(陰 SN22.59)..... 50
※見五陰非我是為正見..... 53
大正 58/印順 170/佛光 104(陰 SN22.82)..... 53
※正觀五陰非我離慢清淨..... 58
大正 23/印順 29/佛光 23(陰 SN18.21;SN22.71,91)..... 58
※正觀五陰集滅離慢清淨..... 59
大正 103/印順 171/佛光 105(陰 SN22.89)..... 59
※生法計是我..... 65
大正 261/印順 44/佛光 38(陰 SN22.83)..... 65
※滅法滅故是名為滅..... 67
大正 260/印順 43/佛光 37(陰 SN22.21)..... 67
4-2.於六入觀察集滅..... 68
大正 195/印順 189-92/佛光 197(入處 SN35.43-51)..... 68
大正 211/印順 273/佛光 213(入處 SN35.117)..... 69
大正 232/印順 305/佛光 234(入處 SN35.85)..... 72

大正 241/印順 316/佛光 243(入處 SN35.235)..... 72
大正 249/印順 375/佛光 251(入處 AN4.174)..... 75
大正 253/印順 379/佛光 255(入處 SN35.133)..... 77
大正 254/印順 380/佛光 256(入處 MA123;AN6.55)..... 82
大正 312/印順 414/佛光 290(入處 SN35.95;UD1.10)..... 86
大正 335/印順 456/佛光 313(入處 TB 無)..... 89
大正 1166/印順 384/佛光 260(入處 SN35.236-237)..... 90
※正觀六入無常斷無明..... 91
大正 203/印順 254/佛光 205(入處 SN35.79,80)..... 91
※正觀六入集滅斷我見..... 92
大正 209/印順 271/佛光 211(入處 SN35.71-73)..... 92
※什麼是人..... 94
大正 306/印順 408/佛光 284(入處 TB 無)..... 94
※如何觀察根境識..... 96
大正 273/印順 396/佛光 272(入處 TB 無)..... 96
4-3.正觀因緣得明見..... 99
大正 347/印順 489/佛光 346(因緣 SN12.70)..... 99
大正 364/印順 517/佛光 363(因緣 SN12.16)..... 108

大正 453/印順 712/佛光 452(界 SN14.2-6)..... 108
大正 482/印順 752/佛光 481(受 AN5.176)..... 110
大正 1258/印順 13351/佛光 1002(譬喻 SN20.7)..... 111
※順逆觀察十二因緣..... 113
大正 287/印順 468/佛光 325(因緣 AA38.4;SN12.65)..... 113
※無明..... 115
大正 45/印順 157/佛光 91(陰 SN22.47)..... 115
大正 256/印順 39/佛光 33(陰 SN22.127,128)..... 116
大正 257/印順 40/佛光 34(陰 SN22.135)..... 118
大正 262/印順 45/佛光 39(陰 SN22.90)..... 120
※行..... 124
大正 57/印順 169/佛光 103(陰 SN22.81)..... 124
大正 292/印順 473/佛光 330(因緣 SN12.51)..... 127
※識緣名色..... 131
大正 39/印順 151/佛光 85(陰 SN22.54)..... 131
大正 80/印順 137/佛光 71(陰 TB 無)..... 133
大正 248/印順 374/佛光 250(入處 SN35.234)..... 134
大正 284/印順 465/佛光 322(因緣 SN12.59)..... 137

大正 288/印順 469/佛光 326(因緣 SN12.67)..... 139
大正 294/印順 475/佛光 332(因緣 SN12.19)..... 142
※六入處..... 144
大正 63/印順 60/佛光 54(陰 SN22.47)..... 144
※觸..... 145
大正 213/印順 275/佛光 215(入處 SN35.92)..... 145
※受想行..... 147
大正 214/印順 276/佛光 216(入處 SN35.93)..... 147
※愛..... 147
大正 304/印順 406/佛光 282(入處 MN148)..... 147
大正 334/印順 455/佛光 312(入處 TB 無)..... 149
※取..... 151
大正 221/印順 288/佛光 223(入處 TB 無)..... 151
※有..... 151
大正 372/印順 535/佛光 371(食 SN12.12)..... 151
大正 374/印順 537/佛光 373(食 SN12.64)..... 154
※生..... 155
大正 360/印順 513/佛光 359(因緣 SN12.39)..... 155

※老病死、憂悲惱苦 155
大正 302/印順 483/佛光 340(因緣 SN12.17)..... 155
4-4.四諦三轉十二行 159
※初轉法輪，驚天動地 159
大正 379/印順 542/佛光 378(諦 SN56.11)..... 159
※四聖諦如登階梯 162
大正 436/印順 630/佛光 435(諦 SN56.44,30)..... 162
※一切賢聖諸佛皆於四聖諦如實知 163
大正 393/印順 563-83/佛光 392(諦 SN56.3,4,23,24)..... 163
4-5.四食 165
大正 371/印順 534/佛光 370(食 AA29.4;SN12.11)..... 165
大正 373/印順 536/佛光 372(食 SN12.63)..... 166
大正 377/印順 540/佛光 376(食 SN12.64)..... 169
4-6.三十七道品 170
◎四念處 170
大正 275/印順 398/佛光 274(入處 OA6;AN8.9)..... 170
大正 628/印順 791/佛光 642(念處 SN47.21)..... 173
大正 636/印順 810/佛光 650(念處 TB 無)..... 173

大正 627/印順 790/佛光 641(念處 SN52.4)..... 175
大正 615/印順 777/佛光 629(念處 SN47.10)..... 176
※成佛未久，思惟教授之道..... 177
大正 1189/印順 1289/佛光 1173(梵天 SN47.18)..... 177
※四念處集與沒..... 179
大正 609/印順 764/佛光 623(念處 SN47.42)..... 179
※法念處觀生死集滅..... 180
大正 352/印順 494/佛光 351(因緣 SN12.13,14)..... 180
※依安般念修四念處..... 181
大正 810/印順 1098/佛光 822(安般念 SN54.13,14)..... 181
大正 813/印順 1101/佛光 825(安般念 SN54.10)..... 185
◎四神足..... 188
大正 561/印順 1637/佛光 560(阿難 SN51.15,13)..... 188
◎五根、五力..... 190
※生善為五根..... 190
大正 855/印順 1159/佛光 867(不壞淨 SN55.40)..... 190
※五根不空無果..... 191
大正 652/印順 824/佛光 664(根 SN48.18,12-14)..... 191

大正 656/印順 828/佛光 668(根 SN48.52)..... 192
※斷惡為五力..... 193
大正 181/印順 11014-333/佛光 183(斷知 TB 無)..... 193
◎七覺分..... 194
大正 723/印順 920/佛光 735(覺支 SN46.3)..... 194
大正 733/印順 930/佛光 745(覺支 SN46.5)..... 195
大正 735/印順 932/佛光 747(覺支 TB 無)..... 196
大正 713/印順 910/佛光 725(覺支 SN46.52)..... 196
大正 714/印順 911/佛光 726(覺支 SN46.53)..... 199
大正 715/印順 912/佛光 727(覺支 SN46.2,51)..... 202
※覺分清淨純白..... 206
大正 718/印順 915/佛光 730(覺支 SN46.4)..... 206
※隨時思惟三相修七覺分..... 207
大正 1247/印順 13340/佛光 991(譬喻 AN3.103)..... 207
◎八正道..... 208
大正 785/印順 1042/佛光 797(聖道分 MA189;MN117)..... 208
大正 305/印順 407/佛光 283(入處 MN149)..... 213
◎止觀的知見..... 216

大正 498/印順 1554/佛光 497(舍利弗 SN47.12;DN16)..... 216
大正 502/印順 1558/佛光 501(目犍連 SN40.9)..... 219
大正 1024/印順 13361-2/佛光 1012(病 SN22.88)..... 221
※修習止觀得諸解脫..... 223
大正 464/印順 727/佛光 463(界 TB 無)..... 223
※四種證道法..... 225
大正 560/印順 1636/佛光 559(阿難 AN4.170)..... 225
※於諸定當觀五蘊無常..... 227
大正 864/印順 12889-99/佛光 578-84(天 AN9.36)..... 227
大正 865/印順 12890/佛光 579（天 AN9.36）..... 227
大正 866/印順 12891/佛光 580（天 AN9.36）..... 228
大正 867/印順 12892/佛光 581（天 AN9.36）..... 228
大正 868/印順 12893/佛光 582（天 AN9.36）..... 229
大正 869/印順 12894/佛光 583（天 AN9.36）..... 230
大正 870/印順 12895-99/佛光 584（天 AN9.36）..... 230
※無上止息不落漸次..... 231
大正 474/印順 737/佛光 473(受 SN36.11,15,16)..... 231
5.如實知見..... 233
大正 30/印順 36/佛光 30(陰 SN22.49)..... 233
大正 206/印順 257/佛光 208(入處 SN35.161,100)..... 236
大正 263/印順 46/佛光 40(陰 SN22.101;AN7.71)..... 237
大正 351/印順 493/佛光 350(因緣 SN12.68)..... 239
6.正向涅槃..... 242
大正 22/印順 28/佛光 22(陰 SN22.124-125)..... 242

大正 50/印順 162/佛光 96(陰 SN35.152;45.41-48)..... 243

大正 964/印順 13305/佛光 956(婆蹉種出家 MN73)..... 244

原始佛法教本第四部 雜含驪珠 253

大正 31/印順 37/佛光 31(陰 SN22.50) 253

大正 49/印順 161/佛光 95(陰 SN22.37,38)..... 255

大正 51/印順 163/佛光 97(陰 SN22.32) 256

大正 59/印順 56/佛光 50(陰 TB 無)..... 257

大正 62/印順 59/佛光 53(陰 TB 無)..... 258

大正 65/印順 62-73/佛光 56(陰 TB 無)..... 259

大正 66/印順 74-85/佛光 57(陰 TB 無)..... 261

大正 72/印順 126/佛光 63(陰 SN22.106)..... 262

大正 74/印順 128/佛光 65(陰 SN22.117)..... 263

大正 97/印順 1272/佛光 1156(婆羅門 OA263; SN7.20)..... 264

大正 105/印順 173/佛光 107(陰 TB 無)..... 265

大正 106/印順 174/佛光 108(陰 SN22.86)..... 269

大正 112/印順 1653/佛光 114(羅陀 SN23.4)..... 272

大正 123/印順 1664/佛光 125(羅陀 TB 無)..... 272

大正 133/印順 1785/佛光 135(見 SN24.2)..... 274

大正 197/印順 218/佛光 199(入處 SN35.28)..... 276

大正 205/印順 256/佛光 207(入處 TB 無)..... 277

大正 224/印順 291/佛光 226(入處 SN35.24)..... 278

大正 234/印順 307/佛光 236(入處 SN35.116)..... 279

大正 237/印順 310-312/佛光 239(入處 SN35.124)..... 280

大正 238/印順 313/佛光 240(入處 TB 無)..... 281

大正 239/印順 314/佛光 241(入處 SN35.109,122)..... 282

大正 251/印順 377/佛光 253(入處 TB 無)..... 283

大正 264/印順 47/佛光 41(陰 MA61; AA24.4; SN22.96)..... 284

大正 268/印順 51/佛光 45(陰 SN22.93) 289

大正 270/印順 53/佛光 47(陰 SN22.102)..... 291

大正 272/印順 55/佛光 49(陰 SN22.80) 293

大正 276/印順 399/佛光 275(入處 MN146)..... 296

大正 282/印順 405/佛光 281(入處 MN152)..... 307

大正 293/印順 474/佛光 331(因緣 TB 無)..... 313

大正 295/印順 476/佛光 333(因緣 SN12.37)..... 314

大正 297/印順 478/佛光 335(因緣 SN12.35)..... 315

大正 301/印順 482/佛光 339(因緣 SN12.15)..... 317

大正 308/印順 410/佛光 286(入處 SN35.136)..... 318

大正 311/印順 413/佛光 289(入處 SN35.88)..... 320

大正 314/印順 416/佛光 292(入處 TB 無)..... 323

大正 316/印順 418/佛光 294(入處 TB 無)..... 323

大正 344/印順 486/佛光 343(因緣 MA29; MN9)..... 324

大正 345/印順 487/佛光 344(因緣 SN12.31)..... 330

大正 357/印順 502/佛光 356(因緣 SN12.34)..... 332

大正 384/印順 547/佛光 383(諦 SN56.25)..... 333

大正 396/印順 588/佛光 395(諦 AN3.95)..... 334

大正 400/印順 592/佛光 399(諦 SN56.34)..... 335

大正 402/印順 594/佛光 401(諦 SN56.23)..... 335

大正 405/印順 597/佛光 404(諦 SN56.45)..... 336

大正 419/印順 611/佛光 418(諦 TB 無)..... 337

大正 440/印順 634-641/佛光 439(諦 SN56.52-54,57,58)..... 338

大正 465/印順 728/佛光 464(界 AN4.177)..... 339

大正 466/印順 729/佛光 465(受 TB 無)..... 340

大正 467/印順 730/佛光 466(受 SN36.5)..... 341

大正 483/印順 753/佛光 482(受 SN36.31)..... 342

大正 484/印順 754/佛光 483(受 AN5.170)..... 344

大正 485/印順 755/佛光 484(受 SN36.19)..... 345

大正 490/印順 1476-1511/佛光 489(舍利弗 SN38.1-16)..... 349

大正 492/印順 1548/佛光 491(舍利弗 AN4.178)..... 361

大正 493/印順 1549/佛光 492(舍利弗 TB 無)..... 363

大正 499/印順 1555/佛光 498(舍利弗 AN9.26)..... 364

大正 535/印順 1610/佛光 534(阿那律 SN52.2)..... 366

大正 536/印順 1611/佛光 535(阿那律 SN52.1)..... 369

大正 537/印順 1612/佛光 536(阿那律 SN52.6)..... 369

大正 545/印順 1620/佛光 544(阿那律 SN52.8)..... 371

大正 546/印順 1621/佛光 545(大迦旃延 AN2.38)..... 371

大正 549/印順 1624/佛光 548(大迦旃延 AN10.26)..... 373

大正 554/印順 1629/佛光 553(大迦旃延 TB 無)..... 375

大正 559/印順 1635/佛光 558(阿難 AN9.37)..... 378

大正 565/印順 1641/佛光 564(阿難 AN4.194)..... 379

大正 567/印順 1643/佛光 566(質多羅 SN41.7)..... 382

大正 568/印順 1644/佛光 567(質多羅 SN41.6)..... 384

大正 570/印順 1646/佛光 569(質多羅 SN41.3)..... 387

大正 614/印順 776/佛光 628(念處 SN47.11)..... 390

大正 620/印順 782/佛光 634(念處 SN47.7)..... 391

大正 629/印順 792/佛光 643(念處 TB 無)..... 392
大正 632/印順 795/佛光 646(念處 TB 無)..... 393
大正 633/印順 796/佛光 647(念處 TB 無)..... 393
大正 638/印順 812/佛光 652(念處 SN47.13)..... 394
大正 650/印順 822/佛光 662(根 TB 無)..... 397
大正 707/印順 904/佛光 719(覺支 SN46.38)..... 397
大正 708/印順 905/佛光 720(覺支 SN46.39)..... 399
大正 710/印順 907/佛光 722(覺支 TB 無)..... 400
大正 720/印順 917/佛光 732(覺支 SN46.8)..... 401
大正 727/印順 924/佛光 739(覺支 SN46.16)..... 402
大正 731/印順 928/佛光 743(覺支 SN46.10)..... 404
大正 743/印順 940/佛光 755(覺支 SN46.54)..... 404
大正 746/印順 946/佛光 758(覺支 SN46.66)..... 406
大正 747/印順 947-967/佛光 759(覺支 SN46.57-76)..... 406
大正 753/印順 973/佛光 765(聖道分 SN45.7)..... 407
大正 776/印順 998/佛光 788(聖道分 TB 無)..... 408
大正 808/印順 1096/佛光 820(安那般那念 SN54.12)..... 409
大正 814/印順 1102/佛光 826(安那般那念 SN54.8)..... 410

大正 836/印順 1139/佛光 848(不壞淨 SN55.17)..... 411

大正 845/印順 1148/佛光 857(不壞淨 SN12.42)..... 412

大正 905/印順 13245/佛光 897(大迦葉 OA120; SN16.12)..... 413

大正 916/印順 13256/佛光 908(聚落主 OA131; SN42.8)..... 415

大正 926/印順 13266/佛光 918(馬 OA151; AN11.9)..... 420

大正 932/印順 13272/佛光 924(釋氏 OA157; AN11.11)..... 422

大正 934/印順 13274/佛光 926(釋氏 OA158; AN3.74)..... 424

大正 936/印順 13276/佛光 928(釋氏 OA160; SN55.24)..... 426

大正 957/印順 13297/佛光 949(婆蹉種出家 OA190; SN44.9)..... 429

大正 958/印順 13298/佛光 950(婆蹉種出家 OA191; SN44.7)..... 431

大正 959/印順 13299-300/佛光 951(婆蹉種出家 SN44.8,11)..... 432

大正 968/印順 13309/佛光 960(外道出家 OA202; AN10.93)..... 435

大正 969/印順 13310/佛光 961(外道出家 OA203; MN74)..... 438

大正 972/印順 13313/佛光 964(外道出家 OA206; AN4.185)..... 442

大正 979/印順 13320/佛光 971(外道出家 DA2; DN16)..... 444

大正 1032/印順 13370/佛光 1020(病 MA28; AA51.8; MN143)..... 447

大正 1078/印順 1181/佛光 1066(比丘 OA17; SN1.20)..... 449

大正 1144/印順 13244/佛光 896(大迦葉 OA119; SN16.11)..... 452

大正 1167/印順 385/佛光 261(入處 SN35.240)..... 458

大正 1168/印順 386/佛光 262(入處 SN35.248)..... 459

大正 1202/印順 1302/佛光 1186(比丘尼 OA218; SN5.10)..... 461

大正 1227/印順 1230/佛光 1114(剎利 OA54; AA26.7; SN3.22)..... 463

大正 1250/印順 13343/佛光 994(譬喻 AN5.30; 8.86)..... 465

大正 1260/印順 13353/佛光 1004(譬喻 SN20.10)..... 469

大正 1265/印順 13358/佛光 1009(病 AA26.10; SN22.87)..... 470

大正 1266/印順 13359/佛光 1010(病 SN35.87)..... 476

大正 1296/印順 1409/佛光 1293(諸天 OA294; TB 無)..... 480

經號索引..... 482

回向文..... 485

開經偈

南無 本師釋迦牟尼佛 〈三遍〉

無上甚深微妙法

百千萬劫難遭遇

我今見聞得受持

願解如来真實義

原始佛法教本

第三部

〈進階禪觀集〉

原始佛法教本第三部 進階禪觀

3.內寂其心

※六根律儀

大正 281/印順 404/佛光 280(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有縈髮目揵連出家來詣佛所，共相問訊，問訊已，退坐一面。爾時，世尊告縈髮目犍連：「汝從何來？」

縈髮目揵連白佛言：「我從彼眾多種種異道沙門、婆羅門、遮羅迦出家集會未曾講堂聽法，從彼林來。」

佛告縈髮目揵連：「汝為何等福力故，從彼眾多種種異道沙門、婆羅門、遮羅迦出家所聽其說法？」

縈髮目揵連言：「我試聽其競勝論義福利，聽其相違反論議福利故。」

佛告目揵連：「**長夜久遠，種種異道沙門、婆羅門、遮羅迦出家，競勝論議，相違反論議福利，迭相破壞。**」

縈髮目揵連白佛言：「瞿曇！為諸弟子說何等法福利，令彼轉為人說，不謗如來，不增不減，誠說法說，法次法說，無有餘人能來比校，難詰訶責？」

佛告目[揵]連：「**明解脫果報福利，為人轉說者，不謗如來，不乖其理，法次法說，無有能來比校，難詰嫌責。**」

縈髮目揵連白佛言：「瞿曇！諸弟子有法修習多修習，令明、解脫福利滿足者不？」

佛告縈髮目揵連：「**有七覺分修習多修習，明解脫福利滿足。**」

縈髮目揵連白佛言：「有法修習，能令七覺分滿足不？」

佛告縈髮目揵連：「**有四念處修習多修習，能令七覺分滿足。**」

縈髮目揵連白佛：「復有法修習多修習，令四念處滿足不？」

佛告縈髮目揵連：「**有三妙行修習多修習，能令四念處滿足。**」

縈髮目揵連白佛言：「復有法修習多修習，令三妙行滿足不？」

佛告目揵連：「有六觸入處律儀修習多修習，令三妙行滿足。」

縈髮目揵連白佛言：「云何六觸入處律儀修習多修習，令三妙行滿足？」

佛告目揵連：「若眼見適意、可愛念、能長養欲樂、令人緣著之色，彼比丘見已，不喜、不讚歎、不緣、不著、不住；若眼見不適意、不可愛念、順於苦覺之色，諸比丘見已，不畏、不惡、不嫌、不恚。於彼好色起，眼見已，永不緣著；不好色起，眼見已，永不緣著；內心安住不動，善修解脫，心不懈倦；耳……鼻……舌……身……意識法亦復如是，如是，於六觸入修習多修習，滿足三妙行。

云何修三妙行，滿足四念處？

多聞聖弟子於空閑處、林中、樹下作如是學、如是思惟：『此身惡行現世、後世必得惡報，我若行身惡行者，必當自生厭悔，他亦嫌薄，大師亦責，諸梵行者亦復以法而嫌我，

惡名流布遍於諸方，身壞命終，當墮地獄。』於身惡行，見現世、後世如是果報，是故除身惡行，修身妙行；口、意惡行亦復如是，是名修習三妙行已，得四念處清淨滿足。

云何修四念處得七覺分滿足？

目揵連！比丘如是順身身觀住，彼順身身觀住時，攝念安住不忘，爾時方便修習念覺分；方便修習念覺分已，得念覺分滿足。

於彼，心念選擇於法，覺想思量，爾時方便修習擇法覺分；方便修習擇法覺分已，逮得擇法覺分滿足。

選擇彼法，覺想思量，方便修習精進覺分；方便修習精進覺分已，逮得精進覺分滿足。

勤精進已，生歡喜心，爾時修習方便歡喜覺分；修習歡喜覺分已，逮得歡喜覺分滿足。

心歡喜已，身心止息，爾時修習猗息覺分；修習猗息覺分已，逮得猗息覺分滿足。

身心息已，得三摩提，爾時修習定覺分；修習定覺分已，定覺分滿足。

謂一其心，貪憂滅息，內心行捨，方便修習捨覺分；方便修習捨覺分已，逮得捨覺分清淨滿足。

受、心、法念處亦如是說，如是修習四念處，七覺分滿足。

云何修習七覺分，明、解脫滿足？

目揵連！若比丘修念覺分，依遠離、依離欲、依滅、捨於進趣修念覺分，逮得明解脫清淨滿足。……乃至修習捨覺分，亦如是說，是名修習七覺分已，明解脫清淨滿足。

如是，目揵連！法法相(依)，從此岸而到彼岸。」

說是法時，縈髮目揵連遠塵離垢，得法眼淨。時，縈髮目揵連見法、得法、知法、入法，度諸疑惑，不由於他，於諸法律得無所畏，從座起，整衣服，為佛作禮，合掌白佛言：「我今寧得於正法律出家，得具足比丘分不？」

佛告目揵連：「汝今已得於正法律出家，具足得比丘分。」

得出家已，專精思惟，不放逸住，……乃至成阿羅漢。

※勝妙安般念

大正 805/印順 1093/佛光 817(安般念 SN54.6)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「如我所說安那般那念，汝等修習不？」

時，有比丘名阿梨瑟吒，於眾中坐，即從座起，整衣服，為佛作禮，右膝著地，合掌白佛言：「世尊！世尊所說安那般那念，我已修習。」

佛告阿梨瑟吒：「比丘！汝云何修習我所說安那般那念？」

比丘白佛：「世尊！**我於過去諸行不顧念，未來諸行不生欣樂，於現在諸行不生染著，於內外對礙想善正除滅。我已如是修世尊所說安那般那念。**」

佛告阿梨瑟吒：「比丘！**汝實修我所說安那般那念，非不修。**然其，比丘！於汝所修安那般那念所，更有勝妙過其上者。何等是勝妙過阿梨瑟吒所修安那般那念者？**是比丘依止城邑、聚落，……如前廣說，……乃至於滅出息觀察善學，是名，阿梨瑟吒比丘！勝妙過汝所修安那般那念者。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 807/印順 1095/佛光 819(安般念 SN54.11)

如是我聞：一時，佛住一奢能伽羅林中。

爾時，世尊告諸比丘：「我欲二月坐禪，諸比丘勿復往來，唯除送食比丘及布薩時。」

爾時，世尊作是語已，即二月坐禪，無一比丘敢往來者，唯除送食及布薩時。爾時，世尊坐禪，二月過已，從禪覺，於比丘僧前坐，告諸比丘：「若諸外道出家來問汝等：『沙門瞿曇於二月中，云何坐禪？』汝應答言：『如來二月，以安那般那念坐禪思惟住。』所以者何？我於此二月念安那般那多住思惟：『入息時，念入息如實知；出息時，念出息如實知。

若長，……。

若短，……。

一切身覺入息念如實知；一切身覺出息念如實知。

身行休息入息念如實知，……。乃至……滅出息念如實知。』

我悉知已，我時作是念：『**此則麁思惟住，我今於此思惟止息已，當更修餘微細修住而住。**』

爾時，我息止麁思惟已，即更入微細思惟，多住而住。

時，有三天子，極上妙色，過夜來至我所，一天子作是言：『沙門瞿曇時到。』復有一天子言：『此非時到，是時向至。』第三天子言：『**非為時到，亦非時向至，此則修住，是阿羅訶寂滅耳。**』」

佛告諸比丘：「**若有正說聖住、天住、梵住、學住、無學住、如來住、學人所不得當得，不到當到，不證當證、無學人現法樂住者，謂：安那般那念，此則正說，所以者何？安那般那念者，是聖住、天住、梵住，……乃至無學現法樂住。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

4.如實觀察

4-1.於五陰觀察生滅

大正 42/印順 154/佛光 88(陰 SN22.57)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**有七處善，三種觀義，盡於此法得漏盡，得無漏心解脫、慧解脫**，現法自知，身作證具足住：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

云何比丘七處善？比丘！**如實知色、色集、色滅、色滅道跡、色味、色患、色離如實知。如是，受……想……行……識、識集、識滅、識滅道跡、識味、識患、識離如實知。**

云何色如實知？**諸所有色，一切四大及四大造色，是名為色，如是色如實知。**

云何色集如實知？**愛喜是名色集，如是色集如實知。**

云何色滅如實知？**愛喜滅是名色滅，如是色滅如實知。**

云何色滅道跡如實知？謂八聖道：**正見、正志、正語、正業、正命、正方便、正念、正定，是名色滅道跡，如是色滅道跡如實知。**

云何色味如實知？謂：**色因緣生喜樂，是名色味，如是色味如實知。**

云何色患如實知？若**色無常、苦、變易法，是名色患，如是色患如實知**。

云何色離如實知？謂：**於色調伏欲貪，斷欲貪，越欲貪，是名色離，如是色離如實知**。

云何受如實知？謂**六受：眼觸生受，耳、鼻、舌、身、意觸生受，是名受，如是受如實知**。

云何受集如實知？**觸集是受集，如是受集如實知**。

云何受滅如實知？**觸滅是受滅，如是受滅如實知**。

云何受滅道跡如實知？謂八聖道：正見、……乃至正定，是名受滅道跡，如是受滅道跡如實知。

云何受味如實知？受因緣生喜樂，是名受味，如是受味如實知。

云何受患如實知？若[受]無常、苦、變易法，是名受患，如是受患如實知。

云何受離如實知？若於受調伏欲貪，斷欲貪，越欲貪，是名受離，如是受離如實知。

云何想如實知？謂**六想：眼觸生想，耳、鼻、舌、身、意觸生想，是名為想，如是想如實知**。

云何想集如實知？**觸集是想集，如是想集如實知**。

云何想滅如實知？**觸滅是想滅，如是想滅如實知**。

云何想滅道跡如實知？謂八聖道：正見、……乃至正定，是名想滅道跡，如是想滅道跡如實知。

云何想味如實知？想因緣生喜樂，是名想味，如是想味如實知。

云何想患如實知？若想無常、苦、變易法，是名想患，如是想患如實知。

云何想離如實知？若於想調伏欲貪，斷欲貪，越欲貪，是名想離，如是想離如實知。

云何行如實知？謂**六思身：眼觸生思，耳、鼻、舌、身、意觸生思，是名為行，如是行如實知**。

云何行集如實知？**觸集是行集，如是行集如實知**。

云何行滅如實知？**觸滅是行滅，如是行滅如實知**。

云何行滅道跡如實知？謂八聖道：正見、……乃至正定，是名行滅道跡，如是行滅道跡如實知。

云何行味如實知？行因緣生喜樂，是名行味，如是行味如實知。

云何行患如實知？若行無常、苦、變易法，是名行患，如是行患如實知。

云何行離如實知？若於行調伏欲貪，斷欲貪，越欲貪，是名行離，如是行離如實知。

云何識如實知？謂**六識身：眼識身，耳、鼻、舌、身、意識身，是名為識，如是識如實知**。

云何識集如實知？**名色集是識集，如是識集如實知**。

云何識滅如實知？**名色滅是識滅，如是識滅如實知**。

云何識滅道跡如實知？謂八聖道：正見、……乃至正定，是名識滅道跡，如是識滅道跡如實知。

云何識味如實知？識因緣生喜樂，是名識味，如是識味如實知。

云何識患如實知？若識無常、苦、變易法，是名識患，如是識患如實知。

云何識離如實知？若識調伏欲貪，斷欲貪，越欲貪，是名識離如實知。

比丘！是名七處善。

云何三種觀義？比丘！**若於空閑、樹下、露地，觀察陰、界、入，正方便思惟其義，是名比丘三種觀義**。

是名比丘七處善，三種觀義，盡於此法得漏盡，得無漏，心解脫、慧解脫，現法自知作證具足住：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 61/印順 58/佛光 52(陰 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五受陰，何等為五？謂：色受陰，受、想、行、識受陰。

云何色受陰？**所有色，彼一切四大及四大所造色，是名為色受陰**。復次，**彼色是無常、苦，變易之法。若彼色受陰永斷無餘，究竟捨離、滅盡、離欲、寂沒，餘色受陰更不相續，不起不出，是名為妙，是名寂靜，是名捨離，一切有餘愛盡、無欲、滅盡、涅槃**。

云何受受陰？謂：**六受身**，何等為六？謂：眼觸生受，耳、鼻、舌、身、意觸生受，是名受受陰。復次，彼受受陰無常、苦，變易之法。……乃至滅盡、涅槃。

云何想受陰？謂：**六想身**，何等為六？謂：眼觸生想，……乃至意觸生想，是名想受陰。復次，彼想受陰無常、苦，變易之法。……乃至滅盡、涅槃。

云何行受陰？謂：**六思身**，何等為六？謂：眼觸生思，……乃至意觸生思，是名行受陰。復次，彼行受陰無常、苦，變易之法。……乃至滅盡、涅槃。

云何識受陰？謂：**六識身**，何等為六？謂：眼識身，……乃至意識身，是名識受陰。復次，彼識受陰是無常、苦，變易之法。……乃至滅盡、涅槃。

比丘！若於此法，以智慧思惟觀察、分別忍，是名隨信行，超昇離生，越凡夫地，未得須陀洹果，中間不死，必得須陀洹果。

比丘！若於此法，增上智慧思惟觀察、忍，是名隨法行，超昇離生，越凡夫地，未得須陀洹果，中間不死，必得須陀洹果。

比丘！於此法如實正慧等見，三結盡斷知，謂：身見、戒取、疑。比丘！是名須陀洹果，不墮惡道，必定正趣三菩提，七有天人往生，然後究竟苦邊。

比丘！若於此法如實正慧等見，不起心漏，名阿羅漢：諸漏已盡，所作已作，捨離重擔，逮得己利，盡諸有結，正智心得解脫。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 64/印順 61/佛光 55(陰 SN22.55)

如是我聞：一時，佛住舍衛國東園鹿子母講堂。

爾時，世尊晡時從禪起，出講堂，於堂陰中大眾前，敷座而坐。爾時，世尊歎優陀那偈：「**法無有吾我，亦復無我所，我既非當有，我所何由生？比丘解脫此，則斷下分結。**」

時，有一比丘從座起，偏袒右肩，右膝著地，合掌白佛言：「世尊！云何無吾我，亦無有我所，我既非當有，我所何由生？比丘解脫此，則斷下分結？」

佛告比丘：「愚癡無聞凡夫計色是我、異我、相在；受……想……行……識是我、異我、相在。

多聞聖弟子不見色是我、異我、相在；不見受……想……行……識是我、異我、相在，亦非知者，亦非見者。

此色是**無常**；受、想、行、識是無常。

色是**苦**；受、想、行、識是苦。

色是**無我**；受、想、行、識是無我。

此色**非當有**；受、想、行、識非當有。

此色**壞有**；受、想、行、識壞有。

故**非我、非我所，我、我所非當有**。

如是解脫者，則斷五下分結。」

時，彼比丘白佛言：「世尊！**斷五下分結已，云何漏盡，無漏心解脫、慧解脫，現法自知作證具足住**：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』？」

佛告比丘：「愚癡凡夫、無聞眾生於無畏處而生恐畏。愚癡凡夫、無聞眾生怖畏無我、無我所，二俱非當生，攀緣四識住，何等為四？謂色識住：色攀緣、色愛樂，增進、廣大、生長；於受……想……行識住：攀緣、愛樂，增進、廣大、生長，比丘！識於此處，若來、若去、若住、若起、若滅，增進、廣大、生長。

若作是說：更有異法識，若來、若去；若住、若起、若滅；若增進、廣大、生長者，但有言說，問已不知，增益生癡，以非境界故。

所以者何？比丘！**離色界貪已，於色意生縛亦斷；於色意生縛斷已，識攀緣亦斷，識不復住，無復增進、廣大、生長；受、想、行界離貪已，於受、想、行意生縛亦斷；受、想、行意生縛斷已，攀緣亦斷，識無所住，無復增進、廣大、生長，識無所住故，不增長；不增長故，無所為作；無所為作**

故，則住；住故，知足；知足故，解脫；解脫故，於諸世間都無所取；無所取故，無所著；無所著故，自覺涅槃：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

比丘！我說識不住東方，南、西、北方，四維，上、下，除欲、見法、涅槃、滅盡、寂靜、清涼。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 67/印順 86-97/佛光 58(陰 SN22.5,6)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「常當修習方便禪思，內寂其心，所以者何？比丘！修習方便禪思，內寂其心已，如實觀察。

云何如實觀察？

如實知此色、此色集、此色滅；此受……想……行……[此]識，此識集，此識滅。

云何色集？受、想、行、識集？

愚癡無聞凡夫不如實知色集、色滅、色味、色患、色離；不如實知故，樂著彼色、讚歎於色；樂著於色、讚歎色故取，

取緣有，有緣生，生緣老、死、憂、悲、惱、苦，如是純大苦聚生，是名色集；受、想、行、識集。

云何色滅？受、想、行、識滅？

多聞聖弟子如實知色集、色滅、色味、色患、色離；如實知故，不樂著色、不讚歎色；不樂著、讚歎色故，愛樂滅；愛樂滅故取滅；取滅故有滅；有滅故生滅；生滅故老病死、憂悲惱苦滅，如是純大苦聚滅。*多聞聖弟子如實知受……想……行……識、識集、識滅、識味、識患、識離如實知；知彼故，不樂著彼識、不讚歎於識；不樂著、讚歎識故，樂愛滅；樂愛滅故取滅；取滅故有滅；有滅故生滅；生滅故老病死、憂悲惱苦滅，如是純大苦聚滅，皆悉得滅。比丘！是名色滅；受、想、行、識滅。

比丘！常當修習方便禪思，內寂其心。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如觀察，……乃至作證，十二經亦如是廣說。

大正 265/印順 48/佛光 42(陰 SN22.59)

如是我聞：一時，佛住阿毘陀處恒河側。

爾時，世尊告諸比丘：「譬如：恒河大水暴起，隨流聚沫，明目士夫**諦觀、[思惟、]分別**；諦觀、[思惟、]分別時，**無所有、無牢、無實、無有堅固**，所以者何？**彼聚沫中無堅實故**。

如是，諸所有色，**若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近**，比丘**諦觀、思惟、分別**；[諦觀、思惟、分別時，]**無所有、無牢、無實、無有堅固，如病、如癰、如刺、如殺；無常、苦、空、非我**，所以者何？**色無堅實故**。

諸比丘！譬如：大雨，水泡一起一滅，明目士夫**諦觀、思惟、分別**；諦觀、思惟、分別時，**無所有、無牢、無實、無有堅固**，所以者何？以**彼水泡無堅實故**。

如是，比丘！諸所有受，**若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近**，比丘**諦觀、思惟、分別**；諦觀、思惟、分別時，**無所有、無牢、無實、**

無有堅固；如病、如癰、如刺、如殺；無常、苦、空、非我，所以者何？以受無堅實故。

諸比丘！譬如：春末夏初，無雲無雨，日盛中時，野馬流動，明目士夫諦觀、思惟、分別；諦觀、思惟、分別時，無所有、無牢、無實、無有堅固，所以者何？以彼野馬無堅實故。

如是，比丘！諸所有想，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，比丘諦觀、思惟、分別；諦觀、思惟、分別時，無所有、無牢、無實、無有堅固；如病、如癰、如刺、如殺；無常、苦、空、非我，所以者何？以想無堅實故。

諸比丘！譬如：明目士夫求堅固材，執持利斧，入於山林，見大芭蕉樹，腫直長大，即伐其根，斬截其峰，葉葉次剝，都無堅實，[明目士夫]諦觀、思惟、分別；諦觀、思惟、分別時，無所有、無牢、無實、無有堅固，所以者何？以彼芭蕉無堅實故。

如是，比丘！諸所有行，**若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近**，比丘**諦觀、思惟、分別**；諦觀、思惟、分別時，**無所有、無牢、無實、無有堅固；如病、如癰、如刺、如殺；無常、苦、空、非我**，所以者何？以**彼諸行無堅實故。**

諸比丘！譬如：幻師、若幻師弟子，於四衢道頭，幻作象兵、馬兵、車兵、步兵，有智明目士夫**諦觀、思惟、分別**；諦觀、思惟、分別時，**無所有、無牢、無實、無有堅固**，所以者何？以**彼幻無堅實故。**

如是，比丘！諸所有識，**若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近**，比丘**諦觀、思惟、分別**；諦觀、思惟、分別時，**無所有、無牢、無實、無有堅固；如病、如癰、如刺、如殺；無常、苦、空、非我**，所以者何？以**識無堅實故。**」

爾時，世尊欲重宣此義而說偈言：「觀色如聚沫，受如水上泡，想如春時燄，諸行如芭蕉，諸識法如幻，日種姓尊說。**周匝諦思惟，正念善觀察，無實不堅固，無有我我所。**

於此苦陰身，大智分別說：離於三法者，身為成棄物。壽暖及諸識，離此餘身分，永棄丘塚間，如木無識想。此身常如是，幻(偽)誘愚夫，如殺如毒刺，無有堅固者。

比丘勤修習，觀察此陰身，晝夜常專精，正智繫念住，有為行長息，永得清涼處。」

時，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※見五陰非我是為正見

大正 58/印順 170/佛光 104(陰 SN22.82)

如是我聞：一時，佛住舍衛國東園鹿母講堂。

爾時，世尊於晡時從禪覺，於諸比丘前敷座而坐，告諸比丘：「有五受陰。云何為五？謂色受陰，受、想、行、識受陰。」

時，有一比丘，從座起，整衣服，偏袒右肩，右膝著地，合掌白佛言：「世尊！此五受陰，色受陰，受、想、行、識受陰耶？」

佛告比丘：「還座而問，當為汝說。」

時彼比丘為佛作禮，還復本座，白佛言：「世尊！此五受陰，以何為根？以何集？以何生？以何轉？」

佛告比丘：「**此五受陰，欲為根，欲集、欲生、欲轉。**」

時彼比丘聞佛所說，歡喜隨喜，而白佛言：「世尊為說五陰即受，善哉所說！今當更問：世尊！陰即受，為五陰異受耶？」

佛告比丘：「**非五陰即受，亦非五陰異受。能於彼有欲貪者是五受陰。**」

比丘白佛：「善哉！世尊！歡喜隨喜，今復更問：世尊！有二陰相關耶？」

佛告比丘：「如是如是！**猶若有一人，如是思惟：我於未來得如是色、如是受、如是想、如是行、如是識，是名，比丘！陰、陰相關也。**」

比丘白佛：「善哉所說！歡喜隨喜，更有所問：世尊！云何名陰？」

佛告比丘：「**諸所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麤、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切總說**

陰，是名為陰。受、想、行、識，亦復如是。如是，比丘！是名為陰。」

比丘白佛：「善哉所說！歡喜隨喜，更有所問：世尊！何因、何緣名為色陰？何因、何緣名受、想、行、識陰？」

佛告比丘：「四大因、四大緣，是名色陰。所以者何？諸所有色陰，彼一切悉皆四大緣、四大造故。觸因、觸緣，生受、想、行，是故名受、想、行陰。所以者何？若所有受、想、行，彼一切觸緣故。名色因、名色緣，是故名為識陰。所以者何？若所有識，彼一切名色緣故。」

比丘白佛：「善哉所說！歡喜隨喜，更有所問：云何色味？云何色患？云何色離？云何受……。想……。行……。云何識味？云何識患？云何識離？」

佛告比丘：「緣色生喜樂，是名色味。若色無常、苦、變易法，是名色患。若於色調伏欲貪、斷欲貪、越欲貪，是名色離。若緣受、想、行、識生喜樂，是名受、想、行、識味。受、想、行、識，無常、苦、變易法，是名受、想、行、識

患。於受、想、行、識，調伏欲貪、斷欲貪、越欲貪，是名受、想、行、識離。」

比丘白佛：「善哉所說！歡喜隨喜，更有所問：世尊！云何生我慢？」

佛告比丘：「愚癡無聞凡夫，於色見我、異我、相在；於受、想、行、識，見我、異我、相在：於此生我慢。」

比丘白佛：「善哉所說！歡喜隨喜，更有所問：世尊！云何得無我慢？」

佛告比丘：「多聞聖弟子，不於色見我、異我、相在；不於受、想、行、識，見我、異我、相在。」

比丘白佛：「善哉所說！更有所問：何所知、何所見，疾得漏盡？」

佛告比丘：「諸所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麤、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、不異我、不相在。受、想、行、識，亦復如是。比丘！如是知、如是見，疾得漏盡。」

爾時，會中復有異比丘，鈍根無知，在無明殼，起惡邪見，而作是念：若無我者，作無我業，於未來世，誰當受報？

爾時，世尊知彼比丘心之所念，告諸比丘：「於此眾中，若有愚癡人，無智明，而作是念：若色無我，受、想、行、識無我，作無我業，誰當受報？如是所疑，先以解釋彼。

云何比丘！色為常耶？為非常耶？」

答言：「無常，世尊！」

「若無常者，是苦耶？」

答言：「是苦，世尊！」

「若無常、苦，是變易法，多聞聖弟子，於中寧見是我，異我，相在不？」

答言：「不也，世尊！」

「受、想、行、識，亦復如是。」

「是故，比丘！若所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麤、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、非我所，如是見者，是為正見。受、想、行、識，亦復如是。

多聞聖弟子如是觀者，便修厭，厭已離欲，離欲已解脫，解脫知見：我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」

佛說此經時，眾多比丘不起諸漏，心得解脫。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

※正觀五陰非我離慢清淨

大正 23/印順 29/佛光 23(陰 SN18.21;SN22.71,91)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者羅　羅往詣佛所，頭面禮足，卻住一面，白佛言：「世尊！云何知、云何見我此識身及外境界一切相，能令無有我、我所見、我慢使繫著？」

佛告羅　羅：「善哉！善哉！能問如來：『云何知、云何見我此識身及外境界一切相，令無有我、我所見、我慢使繫著？』耶？」

羅　羅白佛言：「如是，世尊！」

佛告羅　羅：「善哉！諦聽！諦聽！善思念之！當為汝說。

羅　羅！**當觀若所有諸色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切悉皆非我、不異我、不相在，如是平等慧正觀。**如是，

受……想……行……識若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、不異我、不相在，如是平等慧如實觀。

如是，羅　羅！比丘如是知、如是見；**如是知、如是見者，於此識身及外境界一切相，無有我、我所見、我慢使繫著。**

羅　羅！比丘若如是**於此識身及外境界一切相，無有我、我所見、我慢使繫著者，比丘是名斷愛欲，轉去諸結，正無間等，究竟苦邊。**」

時，羅　羅聞佛所說，歡喜奉行。

※正觀五陰集滅離慢清淨

大正 103/印順 171/佛光 105(陰 SN22.89)

如是我聞：一時，有眾多上座比丘住拘舍彌國瞿師羅園。

時，有差摩比丘住拘舍彌國跋陀梨園，身得重病。時，有陀娑比丘為瞻病者。時，陀娑比丘詣諸上座比丘，禮諸上座比丘足，於一面住。諸上座比丘告陀娑比丘言：「汝往詣差摩比丘所，語言：『諸上座問汝：身小差(ㄔㄞˋ)，安隱，苦患不增劇耶？』」

時，陀娑比丘受諸上座比丘教，至差摩比丘所，語差摩比丘言：「諸上座比丘問訊，汝苦患漸差不？眾苦不至增耶？」

差摩比丘語陀娑比丘言：「我病不差，不安隱，身諸苦轉增無救，譬如多力士夫，取羸劣人，以繩繼頭，兩手急絞，極大苦痛，我今苦痛有過於彼；譬如屠牛，以利刀生割其腹，取其內藏，其牛腹痛，當何可堪！我今腹痛，甚於彼牛；如二力士，捉一劣夫，懸著火上，燒其兩足，我今兩足，熱過於彼。」

時，陀娑比丘還至諸上座所，以差摩比丘所說病狀，具白諸上座。時，諸上座還遣陀娑比丘至差摩比丘所，語差摩比丘言：「世尊所說，有五受陰，何等為五？色受陰，受、想、行、識受陰，汝差摩能少觀察此五受陰非我、非我所耶？」

時，陀娑比丘受諸上座比丘教已，往語差摩比丘言：「諸上座語汝：『**世尊說五受陰，汝能少觀察非我、非我所耶？**』」

差摩比丘語陀娑言：「**我於彼五受陰能觀察非我、非我所。**」

陀娑比丘還白諸上座：「差摩比丘言：『我於五受陰能觀察非我、非我所。』」

諸上座比丘復遣陀娑比丘語差摩比丘言：「**汝能於五受陰觀察非我、非我所，如漏盡阿羅漢耶？**」

時，陀娑比丘受諸上座比丘教，往詣差摩比丘所，語差摩言：「比丘！能如是觀五受陰者，如漏盡阿羅漢耶？」

差摩比丘語陀娑比丘言：「**我觀五受陰非我、非我所，非漏盡阿羅漢也。**」

時，陀娑比丘還至諸上座所，白諸上座：「差摩比丘言：『我觀五受陰非我、非我所，而非漏盡阿羅漢也。』」

時，諸上座語陀娑比丘：「汝復還語差摩比丘：『汝言我觀五受陰非我、非我所，而非漏盡阿羅漢，前後相違！』」

陀娑比丘受諸上座比丘教，往語差摩比丘：「**汝言我觀五受陰非我、非我所，而非漏盡阿羅漢，前後相違！**」

差摩比丘語陀娑比丘言：「**我於五受陰觀察非我、非我所，而非阿羅漢者，我於我慢、我欲、我使，未斷、未知、未離、未吐。**」

陀娑比丘還至諸上座所，白諸上座：「差摩比丘言：『我於五受陰，觀察非我、非我所，而非漏盡阿羅漢者，於五受陰我慢、我欲、我使，未斷、未知、未離，未吐。』」

諸上座復遣陀娑比丘語差摩比丘言：「**汝言有我，於何所有我？為色是我？為我異色？受……想……行……識是我？為我異識耶？**」

差摩比丘語陀娑比丘言：「**我不言色是我，我異色；受……想……行……識是我，我異識，然於五受陰我慢、我欲、我使，未斷、未知、未離、未吐。**」

差摩比丘語陀娑比丘言：「何煩令汝驅馳往反，汝取杖來，我自扶杖詣彼上座，願授以杖！」

差摩比丘即自扶杖，詣諸上座。時，諸上座遙見差摩比丘扶杖而來，自為敷座，安停腳机，自往迎接，為持衣鉢，命令就座，共相慰勞。慰勞已，語差摩比丘言：「**汝言我慢，何所見我？色是我耶？我異色耶？受……想……行……識是我耶？我異識耶？**」

差摩比丘白言：「非色是我，非我異色；非受……想……行……識是我，非我異識，然於五受陰我慢、我欲、我使，未斷、未知、未離、未吐。

譬如優鉢羅、鉢曇摩、拘牟頭、分陀利華香，為即根香耶？為香異根耶？為莖、葉、鬚、精麁香耶？為香異精麁耶？為等說不？」

諸上座答言：「不也，差摩比丘！非優鉢羅、鉢曇摩、拘牟頭、分陀利根即是香，非香異根，亦非莖、葉、鬚、精麁是香，亦非香異精麁也。」

差摩比丘復問：「彼何等香？」

上座答言：「是華香。」

差摩比丘復言：「我亦如是：非色即我，我不離色；非受……想……行……識即我，我不離識，然，我於五受陰見非我、非我所，而於我慢、我欲、我使，未斷、未知、未離、未吐。

諸上座！聽我說譬，凡智者因譬類得解。譬如乳母，衣付浣衣者，以種種灰湯浣濯塵垢，猶有餘氣，要以種種雜香薰令消滅。

如是，多聞聖弟子雖於五受陰正觀非我、非我所，然於五受陰我慢、我欲、我使，未斷、未知、未離、未吐，然後**於五受陰增進思惟，觀察生滅：此色，此色集，此色滅；此受……想……行……識，此識集，此識滅。於五受陰如是觀生滅已，我慢、我欲、我使一切悉除，是名真實正觀。**」

差摩比丘說此法時，彼諸上座遠塵離垢，得法眼淨，差摩比丘不起諸漏，心得解脫，法喜利故，身病悉除。

時，諸上座比丘語差摩比丘言：「我聞仁者初所說，已解、已樂，況復重聞！所以問者，欲發仁者微妙辯才，非為嬈亂，汝便堪能廣說如來、應、等正覺法。」

時，諸上座聞差摩比丘所說，歡喜奉行。

※生法計是我

大正 261/印順 44/佛光 38(陰 SN22.83)

如是我聞：一時，尊者阿難住拘睒彌國瞿師羅園。

時，尊者阿難告諸比丘：「尊者富留那彌多羅尼子年少初出家時，常說深法，作如是言：『阿難！**生法計是我，非不生。阿難！云何於生法計是我，非不生？色生，生是我，非不生；受……想……行……識生，生是我，非不生。譬如士夫手執明鏡及淨水鏡，自見面生，生故見，非不生。**是故，阿難！色生，生故計是我，非不生，如是，受……想……行……識生，生故計是我，非不生。云何，阿難！**色是常耶？為無常耶？**』

答曰：『無常。』

又問：『**無常者是苦耶？**』

答曰：『是苦。』

又問：『**若無常、苦者，是變易法，聖弟子於中復計我、異我、相在不？**』

答曰：『不也。』

『如是，受、想、行、識為是常耶？為無常耶？』

答曰：『無常。』

『若無常是苦耶？』

答曰：『是苦。』

又問：『若無常、苦者，是變易法，多聞聖弟子於中寧復計我、異我、相在不？』

答曰：『不也。』

『阿難！是故，色若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，**彼一切非我、不異我、不相在**，如是，受、想、行、識若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，**彼一切非我、不異我、不相在如實知，如實觀察；*如是觀者，聖弟子於色生厭，離欲，解脫：「我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」**如是，受……想……

行……識生厭，離欲，解脫：「我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」』

諸比丘！當知彼尊者於我有大饒益，我從彼尊者所聞法已，遠塵、離垢得法眼淨。

我從是來，常以此法為四眾說，非餘外道、沙門、婆羅門出家者說。」

※滅法滅故是名為滅

大正 260/印順 43/佛光 37(陰 SN22.21)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者舍利弗詣尊者阿難所，共相問訊已，卻坐一面。

時，尊者舍利弗問尊者阿難言：「欲有所問，仁者寧有閑暇見答以不？」

阿難言：「仁者且問，知者當答。」

舍利弗言：「阿難！所謂滅者，云何為滅？誰有此滅？」

阿難言：「舍利弗！**五受陰是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。**云何為五？所謂：色受陰

是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。如是，受、想、行、識是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。」

舍利弗言：「如是如是！阿難！如汝所說：此五受陰是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。云何為五？所謂：色受陰是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。如是，受、想、行、識是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。

阿難！此五受陰若非本行所作，本所思願者，云何可滅？阿難！以五受陰是本行所作，本所思願，是無常、滅法，彼法滅故，是名為滅。」

時，二正士各聞所說，歡喜而去。

4-2.於六入觀察集滅

大正 195/印順 189-92/佛光 197(入處 SN35.43-51)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**一切無常**，云何一切無常？謂**眼無常，若色……眼識……眼觸……若眼觸因緣生受：苦覺、樂覺、不苦不樂覺，彼亦無常；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。**

多聞聖弟子如是觀者，於眼**生厭**，若色……眼識……眼觸……眼觸因緣生受：苦覺、樂覺、不苦不樂覺，於彼**生厭**。耳、鼻、舌、身、意，聲、香、味、觸、法；……意識……意觸……意觸因緣生受：苦覺、樂覺、不苦不樂覺，彼亦**生厭**。

厭故不樂，不樂故解脫，解脫知見：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如無常經，如是，苦、空、無我亦如是說。

大正 211/印順 273/佛光 213(入處 SN35.117)

如是我聞：一時，佛住毘舍離耆婆拘摩羅藥師菴羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「**我昔未成正覺時，獨一靜處，禪思思惟自心多向何處？觀察自心，多逐過去五欲功德，少逐現在五欲功德，逐未來世轉復微少。**

我觀多逐過去(五)欲心已，極生方便，精勤自護，不復令隨過去五欲功德，我以是精勤自護故，漸漸近阿耨多羅三藐三菩提。

汝等諸比丘亦復多逐過去五欲功德，現在、未來亦復微少。**汝今亦當以心多逐過去五欲功德故，增加自護，亦當不久得盡諸漏**，無漏心解脫、慧解脫，現法自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

所以者何？眼見色因緣生內受：若苦、若樂、不苦不樂；耳……鼻……舌……身……意、法因緣生內受：若苦、若樂、不苦不樂。

是故，比丘！**於彼入處當覺知，若眼滅色想則離；耳、鼻、舌、身、意滅法想則離。**」

佛說當覺六入處，言已入室坐禪。

時有眾多比丘，世尊去後，作此論議：「世尊為我等略說法要，不廣分別而入室坐禪。世尊說言：『當覺六入處！若彼眼滅色想則離；耳、鼻、舌、身、意滅法想則離。』我等今日於世尊略說法中猶故不解，今此眾中，誰有慧力，能為我等於世尊略說法中，廣為我等演說其義？」

復作是念：「唯有尊者阿難，常侍世尊，常為大師之所讚歎，聰慧梵行，唯有尊者阿難堪能為我等於世尊略說法中，演說其義，我等今日皆共往詣尊者阿難所，問其要義，如阿難所說，悉當奉持。」

爾時，眾多比丘往詣尊者阿難所，共相問訊已，於一面坐，白尊者阿難言：「尊者！當知世尊為我等略說法要……（如上所說，具問阿難），當為我等廣說其義！」

尊者阿難語諸比丘：「諦聽！善思！於世尊略說法中，當為汝等廣說其義。**世尊略說者，即是滅六入處，有餘當說故言：『眼處滅色想則離；耳、鼻、舌、身、意入處滅法想則離。』**世尊略說此法已，入室坐禪，我今已為汝等分別說義。」

尊者阿難說此義已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 232/印順 305/佛光 234(入處 SN35.85)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有比丘名三彌離提往詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！所謂世間空，云何名為世間空？」

佛告三彌離提：「**眼空，常、恆、不變易法空，我所空，所以者何？此性自爾。若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：若苦、若樂、不苦不樂，彼亦空，常、恆、不變易法空，我所空，所以者何？此性自爾；耳、鼻、舌、身、意亦復如是，是名空世間。**」

佛說此經已，三彌離提比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 241/印順 316/佛光 243(入處 SN35.235)

如是我聞：一時，佛住毘舍離獼猴池側重閣講堂。

爾時，世尊告諸比丘：「愚癡無聞凡夫，比丘！**寧以火燒熱銅籌以燒其目，令其熾然，不以眼識取於色相，取隨形好，**所以者何？取於色相，取隨形好故，墮惡趣中，如沈鐵丸。

愚癡無聞凡夫，**寧燒鐵錐以鑽其耳，不以耳識取其聲相，取隨聲好，**所以者何？耳識取聲相，取隨聲好者，身壞命終墮惡趣中，如沈鐵丸。

愚癡無聞凡夫，**寧以利刀斷截其鼻，不以鼻識取於香相，取隨香好，**所以者何？以取香相，取隨香好故，身壞命終墮惡趣中，如沈鐵丸。

愚癡無聞凡夫，**寧以利刀斷截其舌，不以舌識取於味相，取隨味好，**所以者何？以取味相，隨味好故，身壞命終墮惡趣中，如沈鐵丸。

愚癡無聞凡夫，**寧以剛鐵利槍以刺其身，不以身識取於觸相及隨觸好，**所以者何？以取觸相及隨觸好故，身壞命終墮惡趣中，如沈鐵丸。

諸比丘！睡眠者是愚癡活，是癡命，[無果、]無利、無福；然諸比丘寧當睡眠，不於彼色而起覺想，若起覺想者，必生纏縛諍訟，能令多眾起於非義，不能饒益安樂天人。

彼多聞聖弟子作如是學：我今寧以熾然鐵槍以貫其目，不以眼識取於色相，墮三惡趣，長夜受苦。

我從今日，當正思惟，觀眼無常、有為、心緣生法，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂，彼亦無常、有為、心緣生法。

耳……鼻……舌……身入處當如是學：寧以鐵槍貫其身體，不以身識取於觸相及隨觸好故，墮三惡道。

我從今日，當正思惟，觀身無常、有為、心緣生法，若觸、身識、身觸、身觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂，彼亦無常、有為、心緣生法。

多聞聖弟子作如是學：睡眠者是愚癡活，癡命，無果、無利、無福；我當不眠，亦不起覺想，起想者生於纏縛、諍訟，令多人非義饒益，不得安樂。

多聞聖弟子如是觀者，於眼生厭，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂，彼亦生厭，厭故不樂，不樂故解脫，解脫知見：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』耳、鼻、舌、身、意亦復如是。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 249/印順 375/佛光 251(入處 AN4.174)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿難詣尊者舍利弗所，語尊者舍利弗：「欲有所問，寧有閑暇為解說不？」

舍利弗言：「隨仁所問，知者當答。」

尊者阿難問尊者舍利弗：「六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，更有餘不？」

尊者舍利弗語阿難言：「莫作此問：『六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，更有餘不？』」

阿難又問尊者舍利弗：「六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，無有餘耶？」

尊者舍利弗答阿難言：「亦復**不應作如是問：『六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，無有餘耶？』**」

阿難復問尊者舍利弗：「六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，有餘無餘、非有餘非無餘耶？」

尊者舍利弗答阿難言：「此亦**不應作如此問：『六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，有餘無餘、非有餘非無餘耶？』**」

尊者阿難又問舍利弗：「如尊者所說，六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，有亦不應說，無亦不應說，有無亦不應說，非有非無亦不應說，此語有何義？」

尊者舍利弗語尊者阿難：「**六觸入處盡、離欲、滅、息沒已，有餘耶？此則虛言；無餘耶？此則虛言；有餘無餘耶？此則虛言；非有餘非無餘耶？此則虛言。**

若言六觸入處盡，離欲、滅、息沒已，離諸虛偽，得般涅槃，此則佛說。」

時，二正士展轉隨喜，各還本處。

大正 253/印順 379/佛光 255(入處 SN35.133)

如是我聞：一時，尊者優陀夷往拘薩羅國人間遊行，至拘磐茶聚落，到毘紐迦旃延氏婆羅門尼菴羅園中住。

時，毘紐迦旃延氏婆羅門尼有諸年少弟子，遊行採樵，至菴羅園中，見尊者優陀夷坐一樹下，容貌端正，諸根寂靜，心意安諦，成就第一調伏。見已，往詣其所，共相問訊已，退坐一面。時優陀夷為諸年少種種說法，勸勵已，默然而住。彼諸年少聞尊者優陀夷所說，歡喜隨喜，從座起去。

時，諸年少擔持束薪，還至毘紐迦旃延氏婆羅門尼所，置薪束於地，詣毘紐迦旃延氏婆羅門尼所，白言：「我和上尼！當知菴羅園中有沙門優陀夷，姓瞿曇氏，依於彼住，極善說法。」

毘紐迦旃延氏婆羅門尼語諸年少言：「汝可往請沙門優陀夷瞿曇氏明日於此飯食。」

時諸年少弟子受毘紐迦旃延氏婆羅門尼教已，往詣尊者優陀夷所，白優陀夷言：「尊者！當知我和上毘紐迦旃延氏婆羅門尼請尊者優陀夷明旦飯食。」

時，優陀夷默然受請。

時，彼諸年少知優陀夷受請已，還歸和上毘紐迦旃延氏婆羅門尼所，白言：「和上尼！我以和上尼語請尊者優陀夷，尊者優陀夷默然受請，和上尼自知時。」

爾時，尊者優陀夷夜過晨朝，著衣持鉢，往詣毘紐迦旃延氏婆羅門尼舍。時，毘紐迦旃延氏婆羅門尼遙見尊者優陀夷來，疾敷床座，請令就坐，設種種飲食，自手供養，豐美滿足。食已，澡(漱)、洗鉢訖，還就本座。

時，毘紐迦旃延氏婆羅門尼知食已訖，**著好革屣，以衣覆頭，別施高床，現起輕相慠慢而坐**，語優陀夷言：「欲有所問，寧有閑暇見答與不？」

優陀夷答言：「姊妹！今是非時。」

作此語已，從座起去。

如是，明日諸弟子復至菴羅園採樵聽法，還復白和上尼，和上尼復遣詣請食。

如前三返，……乃至請法，答言非時，不為說法。

諸年少弟子復白和上尼：「菴羅園中沙門優陀夷極善說法。」

和上尼答言：「我亦知彼極善說法，再三請來，設食問法，常言非時，不說而去。」

諸弟子言：「**和上尼著好革屣，以衣覆頭，不恭敬坐，彼云何說？所以者何？彼尊者優陀夷以敬法故，不說而去。**」

和上尼答言：「若如是者，更為我請。」

彼諸弟子受教更請，供養如前。時，和上尼知食訖已，**脫革屣，整衣服，更坐卑床，恭敬白言**：「欲有所問，寧有閑暇見答與不？」

優陀夷答言：「汝今宜問，當為汝說。」

彼即問言：「有沙門、婆羅門說苦樂自作；復有說言苦樂他作；復有說言苦樂自他作；復有說言苦樂非自非他作，尊者！復云何？」

尊者優陀夷答言：「姊妹！**阿羅訶說苦樂異生，非如是說。**」

婆羅門尼復問：「其義云何？」

優陀夷答言：「**阿羅訶說，從其因緣生諸苦樂。**」

優陀夷復語婆羅門尼言：「我今問汝，隨意答我。於意云何？**有眼不？**」

答言：「有。」

「**有色不？**」

答言：「有。」

「**有眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂不？**」

答言：「如是，尊者優陀夷！」

優陀夷復問：「**有耳……鼻……舌……身……意[法、意識]、意觸[、意觸]因緣生受：內覺若苦、若樂，不苦不樂不？**」

答言：「如是，尊者優陀夷！」

優陀夷言：「**此是阿羅訶說，從其因緣生於苦樂。**」

婆羅門尼言：「尊者優陀夷！如是阿羅訶說，從其因緣生苦樂耶？」

優陀夷答言：「如是，婆羅門尼！」

婆羅門尼復問：「沙門！云何阿羅訶說因緣生苦、樂、不苦不樂滅？」

優陀夷答言：「我今問汝，隨意答我。

婆羅門尼！**一切眼，一切時滅無餘，猶有眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂耶？**」

答言：「無也，沙門！」

「**如是耳……鼻……舌……身……意，一切時滅永盡無餘，猶有意觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂耶？**」

答言：「無也，沙門！」

「如是，婆羅門尼！**是為阿羅訶說因緣生苦、樂、不苦不樂滅。**」

尊者優陀夷說是法時，毘紐迦旃延氏婆羅門尼遠塵、離垢得法眼淨。

爾時，毘紐迦旃延氏婆羅門尼見法、得法、知法、入法，度疑惑，不由於他，入佛教法，於法得無所畏，從坐起，整衣服，恭敬合掌，白尊者優陀夷：「我今日超入決定，我從今日歸依佛、歸依法、歸依僧！我從今日盡壽歸依三寶！」

爾時，優陀夷為婆羅門尼說法，示教照喜已，從坐起去。

大正 254/印順 380/佛光 256(入處 MA123;AN6.55)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者二十億耳住耆闍崛山，常精勤修習菩提分法。

時，尊者二十億耳獨靜禪思，而作是念：「**於世尊弟子精勤聲聞中，我在其數，然我今日未盡諸漏。我是名族姓子，多饒財寶，我今寧可還受五欲，廣行施作福。**」

爾時，世尊知二十億耳心之所念，告一比丘：「汝等今往二十億耳所，告言：『世尊呼汝。』」

是一比丘受佛教已，往詣二十億耳所，語言：「世尊呼汝。」

二十億耳聞彼比丘稱大師命，即詣世尊所，稽首禮足，退住一面。爾時，世尊告二十億耳：「汝實獨靜禪思，作是念：『世尊精勤修學聲聞中，我在其數，而今未得漏盡解脫。我是名族姓子，又多錢財，我寧可還俗受五欲樂，廣施作福。』耶？」

時，二十億耳作是念：「世尊已知我心。」驚怖毛豎，白佛言：「實爾，世尊！」

佛告二十億耳：「我今問汝，隨意答我。二十億耳！汝在俗時，善彈琴不？」

答言：「如是，世尊！」

復問：「於意云何？汝彈琴時，若急其絃，得作微妙和雅音不？」

答言：「不也，世尊！」

復問：「云何？若緩其絃，寧發微妙和雅音不？」

答言：「不也，世尊！」

復問：「云何？善調琴絃，不緩、不急，然後發妙和雅音不？」

答言：「如是，世尊！」

佛告二十億耳：「精進太急，增其掉悔；精進太緩，令人懈怠。是故汝當平等修習攝受，莫著、莫放逸、莫取相。」

時，尊者二十億耳聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

時，尊者二十億耳，**常念世尊說彈琴譬，獨靜禪思**，如上所說，……乃至漏盡，心得解脫，成阿羅漢。

爾時，尊者二十億耳得阿羅漢，內覺解脫喜、樂，作是念：「我今應往問訊世尊。」

爾時，尊者二十億耳，往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！**於世尊法中得阿羅漢，盡諸有漏，所作已作，捨離重擔，逮得己利，盡諸有結，正智心解脫，當於爾時，解脫六處。**云何為六？**離欲解脫、離恚解脫、遠離解脫、愛盡解脫、諸取解脫、心不忘念解脫。**

世尊！若有依少信心，而言：『離欲解脫。』此非所應，貪恚癡盡，是名真實離欲解脫。

若復有人依少持戒，而言：『我得離恚解脫。』此亦不應，貪恚癡盡，是名真實[離恚]解脫。

若復有人依於修習利養遠離，而言：『遠離解脫。』是亦不應，貪恚癡盡，是真實遠離解脫。

貪恚癡盡，亦名離愛，亦名離取，亦名離忘念解脫。

如是，世尊！若諸比丘未得羅漢，未盡諸漏，於此六處不得解脫。

若復比丘在於學地，未得增上樂涅槃，習向心住，爾時，成就學戒，成就學根，後時當得漏盡，無漏心解脫，……乃至自知不受後有，當於爾時，得無學戒，得無學諸根。譬如：嬰童愚小仰臥，爾時，成就童子諸根，彼於後時漸漸增長，諸根成就，當於爾時，成就長者諸根。在學地者，亦復如是，未得增上安樂，乃至成就無學戒，無學諸根。

若眼常識色，終不能妨心解脫、慧解脫，意堅住故，內修無量善解脫，觀察生滅，……乃至無常。耳識聲，鼻識香，舌識味，身識觸，意識法，不能妨心解脫、慧解脫，意堅住故，內修無量善解脫，觀察生滅。譬如：村邑近大石山，不斷、不壞、不穿，一向厚密，假使四方風吹，不能動搖，不能穿過。**彼無學者亦復如是，眼常識色，乃至意常識法，不能妨心解脫、慧解脫，意堅住故，內修無量善解脫，觀察生滅。」**

爾時，二十億耳重說偈言：「

離欲心解脫，無恚脫亦然，遠離心解脫，貪愛永無餘，諸取心解脫，及意不忘念。**曉了入處生，於彼心解脫，彼心解脫者，比丘意止息，諸所作已作，更不作所作。猶如大石山，四風不能動，色聲香味觸，及法之好惡，六入處常對，不能動其心，心常住堅固，諦觀法生滅。」**

尊者二十億耳說是法時，大師心悅，諸多聞梵行者聞尊者二十億耳所說，皆大歡喜。爾時，尊者二十億耳聞佛說法，歡喜隨喜，作禮而去。

爾時，世尊知二十億耳去，不久，告諸比丘：「善心解脫者，應如是記說，如二十億耳，以智記說，亦不自舉，亦不下他，正說其義，非如增上慢者，不得其義而自稱歎得過人法，自取損減。」

大正 312/印順 414/佛光 290(入處 SN35.95;UD1.10)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，摩羅迦舅來詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「善哉世尊！為我說法，我聞法已，獨一靜處，專精思惟，不放逸住，……乃至不受後有。」

爾時，世尊告摩羅迦舅言：「諸年少聰明利根，於我法律出家未久，於我法律尚無懈怠，而況汝今日年耆根熟，而欲聞我略說教誡！」

摩羅迦舅白佛言：「世尊！我雖年耆根熟，而尚欲得聞世尊略說教誡。唯願世尊為我略說教誡，我聞法已，當獨一靜處，專精思惟，……乃至自知不受後有。」

第二、第三亦如是請。

佛告摩羅迦舅：「汝今且止。」

如是再三，亦不為說。

爾時，世尊告摩羅迦舅：「我今問汝，隨意答我。」

佛告摩羅迦舅：「**若眼未曾見色，汝當欲見，於彼色起欲起愛、起念起染著不？**」

答言：「不也，世尊！」

耳聲、鼻香、舌味、身觸、意法亦如是說。

佛告摩羅迦舅：「善哉善哉！摩羅迦舅！**見以見為量，聞以聞為量，覺以覺為量，識以識為量。**」而說偈言：「**若汝非於彼，彼亦復非此，亦非兩中間，是則為苦邊。**」

摩羅迦舅白佛言：「已知世尊！已知善逝！」

佛告摩羅迦舅：「汝云何於我略說法中廣解其義？」

爾時，摩羅迦舅說偈白佛言：「

若眼已見色，而失於正念，則於所見色，而取愛念相。

取愛樂相者，心則常繫著，起於種種愛，無量色集生。

貪欲恚害覺，令其心退減，長養於眾苦，永離於涅槃。

見色不取相，其心隨正念，不染惡心愛，亦不生繫著。

不起於諸愛，無量色集生，貪欲恚害覺，不能壞其心。

小長養眾苦，漸次近涅槃，日種尊所說，離愛般涅槃。

若耳聞諸聲，心失於正念，而取諸聲相，執持而不捨。

鼻香舌嘗味，身觸意念法，忘失於正念，取相亦復然。

其心生愛樂，繫著堅固住，起種種諸愛，無量法集生。

貪欲恚害覺，退(減)壞其心，長養眾苦聚，永離於涅槃。

不染於諸法，正智正念住，其心不染污，亦復不樂著。

不起於諸愛，無量法集生，貪瞋恚害覺，不退滅其心。

眾苦隨損滅，漸近般涅槃，愛盡般涅槃，世尊之所說。

是名世尊略說法中廣解其義。」

佛告摩羅迦舅：「汝真於我略說法中廣解其義，所以者何？

如汝所說偈：『若眼見眾色，忘失於正念，則於所見色，而

取愛念相。……如前廣說。』」

爾時，尊者摩羅迦舅聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

爾時，尊者摩羅迦舅於世尊略說法中廣解其義已，於獨一靜

處，專精思惟，不放逸住，……乃至成阿羅漢，心得解脫。

大正 335/印順 456/佛光 313(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住拘留搜調牛聚落。

爾時，世尊告諸比丘：「我今當為汝等說法，初中後善，善

義善味，純一滿淨梵行清白，所謂第一義空經，諦聽善思！

當為汝說。云何為第一義空經？

諸比丘！眼生時無有來處，滅時無有去處，如是眼不實而生，生已盡滅，有業報而無作者，此陰滅已，異陰相續，除俗數法；耳、鼻、舌、身、意亦如是說，除俗數法。

俗數法者，謂此有故彼有；此起故彼起。如無明緣行，行緣識……廣說乃至純大苦聚集起。又復，此無故彼無；此滅故彼滅，無明滅故行滅，行滅故識滅……如是廣說，乃至純大苦聚滅。

比丘！是名第一義空法經。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 1166/印順 384/佛光 260(入處 SN35.236-237)

如是我聞：一時，佛住拘睒彌國瞿師羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「有手故知有取捨；有足故知有往來；有關節故知有屈伸；有腹故知有飢渴，如是比丘！有眼故，眼觸因緣生受，內覺若苦、若樂、不苦不樂；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。

諸比丘！若無手則不知取捨；若無足則不知往來；若無關節則不知有屈伸；若無腹則不知有飢渴，如是諸比丘！**若無眼，則無眼觸因緣生受，內覺若苦、若樂、不苦不樂；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※正觀六入無常斷無明

大正 203/印順 254/佛光 205(入處 SN35.79,80)

如是我聞：一時，佛住毘舍離耆婆拘摩羅藥師菴羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「**若有比丘能斷一法者，則得正智，能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』**」

諸比丘白佛言：「世尊是法根、法眼、法依，唯願演說！諸比丘聞已，當受奉行。」

佛告諸比丘：「諦聽！善思！當為汝說。

諸比丘！云何一法斷故，乃至不受後有？所謂**無明離欲明生，得正智，能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』**」

時，有異比丘從坐起，整衣服偏袒右肩，為佛作禮，右膝著地，合掌，白佛言：「世尊！云何知、云何見，無明離欲明生？」

佛告比丘：「**當正觀察眼無常，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：若苦、若樂、不苦不樂，彼亦正觀無常；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。比丘！如是知、如是見，無明離欲明生。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※正觀六入集滅斷我見

大正 209/印順 271/佛光 211(入處 SN35.71-73)

如是我聞：一時，佛住毘舍離耆婆拘摩羅藥師菴羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「有六觸入處，云何為六？眼觸入處，耳、鼻、舌、身、意觸入處。**沙門、婆羅門於此六觸入**

處，集、滅、味、患、離不如實知，當知是沙門、婆羅門去我法律遠，如虛空與地。」

時，有異比丘從(座)起，整衣服，為佛作禮，合掌白佛言：「我具足如實知此六觸入處，集、滅、味、患、離。」

佛告比丘：「我今問汝，汝隨問答我。比丘！**汝見眼觸入處是我、異我、相在不？**」

答言：「不也，世尊！」

佛告比丘：「善哉！善哉！**於此眼觸入處非我、非異我、不相在如實知見者，不起諸漏，心不染著，心得解脫，是名初觸入處已斷、已知，斷其根本，如截多羅樹頭，於未來法永不復起，所謂眼識及色。**

汝見耳、鼻、舌、身、意觸入處是我、異我、相在不？」

答言：「不也，世尊！」

佛告比丘：「善哉！善哉！於耳、鼻、舌、身、意觸入處非我、非異我、不相在作如是如實知見者，不起諸漏，心不染著，(心)得解脫，是名比丘六觸入處已斷、已知，斷其根

本，如截多羅樹頭，於未來世(永)不復生，謂[耳識及聲……，]意識[及]法。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※什麼是人

大正 306/印順 408/佛光 284(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有異比丘獨一靜處，專精思惟，作是念：「比丘云何知、云何見而得見法？」

作是思惟已，從禪起，往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！我獨一靜處，專精思惟，作是念：『比丘云何知、云何見而得見法？』」

爾時，世尊告彼比丘：「諦聽！善思！當為汝說。**有二法，何等為二？眼、色為二，……如是廣說，……乃至非其境界故。**

所以者何？**眼、色緣，生眼識，三事和合觸，觸俱生受、想、思，此四無色陰、眼、色，此等法名為人，於斯等法作**

人想、眾生、那羅、摩瓮闍、摩那婆、士(夫)、福伽羅、耆婆、禪頭。

又如是說：『我眼見色，我耳聞聲，我鼻嗅香，我舌嘗味，我身覺觸，我意識法。』

彼施設又如是言說：『是尊者如是名，如是生，如是姓，如是食，如是受苦樂，如是長壽，如是久住，如是壽分齊。』

比丘！是則為想，是則為誌，是則言說。

此諸法皆悉無常、有為、思願緣生；若無常、有為、思願緣生者，彼則是苦。又復，彼苦生亦苦，住亦苦，滅亦苦，數數出生，一切皆苦。

若復彼苦無餘斷、吐盡、離欲、滅、息、沒，餘苦更不相續、不出生，是則寂滅，是則勝妙，所謂捨一切有餘，一切愛盡，無欲、滅盡、涅槃。

耳……鼻……舌……身、觸緣，生身識，三事和合觸，觸俱生受、想、思，此四是無色陰，身根是色陰，此名為人，如上說，……乃至滅盡、涅槃。緣意、法，生意識，三事和合

觸，觸俱生受、想、思，此四無色陰、四大，士夫所依，此等法名為人，……如上廣說，……乃至滅盡、涅槃。

若有於此諸法心隨入住，解脫不退轉，於彼所起繫著無有我。比丘！如是知、如是見，則為見法。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※如何觀察根境識

大正 273/印順 396/佛光 272(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有異比丘獨靜思惟：「云何為我？我何所為？何等是我？我何所住？」

從禪覺已，往詣佛所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！我獨一靜處，作是思惟：『云何為我？我何所為？何法是我？我於何住？』」

佛告比丘：「**今當為汝說於二法。諦聽！善思！云何為二？眼、色為二，耳、聲，鼻、香，舌、味，身、觸，意、法為二，是名二法。**比丘！若有說言：『沙門瞿曇所說二法，此

非為二，我今捨此更立二法。』彼但有言數，問已不知，增其疑惑，以非境界故。所以者何？緣眼、色，生眼識。

比丘！彼眼者，是肉形，是內，是因緣，是堅，是受，是名眼肉形內地界。

比丘！若眼肉形，若內，若因緣，津澤，是受，是名眼肉形內水界。

比丘！若彼眼肉形，若內，若因緣，明暖，是受，是名眼肉形內火界。

比丘！若彼眼肉形，若內，若因緣，輕飄動搖，是受，是名眼肉形內風界。

比丘！譬如兩手和合，相對作聲。如是緣眼、色生眼識，三事和合觸，觸俱生受、想、思。此等諸法，非我、非常，是無常之我，非恆、非安隱、變易之我。所以者何？比丘！謂生、老、死、沒，受生之法。

比丘！諸行如幻，如炎，剎那時頃盡朽，不實來、實去。是故比丘於空諸行，當知、當喜、當念：空諸行，常、恆、住、不變易法空，無我、我所。譬如明目士夫，手執明燈，

入於空室，彼空室觀察。如是，比丘！於一切空行*心觀察，歡喜於：空法行常、恆、住、不變易法，空我、我所。如眼，耳……。鼻……。舌……。身……。意、法因緣生意識，三事和合觸，觸俱生受、想、思。此諸法無我、無常，乃至空我、我所。」

「比丘！於意云何？眼是常、為非常耶？」

答言：「非常，世尊！」

復問：「若無常者，是苦耶？」

答言：「是苦，世尊！」

復問：「若無常、苦，是變易法，多聞聖弟子寧於中見我、異我、相在不？」

答言：「不也，世尊！」

「耳、鼻、舌、身、意，亦復如是。如是多聞聖弟子，於眼生厭，厭故不樂，不樂故解脫，解脫知見：我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。耳、鼻、舌、身、意，亦復如是。」

時，彼比丘聞世尊說『合手聲譬經』教已，獨一靜處，專精思惟，不放逸住，乃至自知不受後有，成阿羅漢。

4-3.正觀因緣得明見

大正 347/印順 489/佛光 346(因緣 SN12.70)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

若王大臣、婆羅門、長者居士，及餘世人所共恭敬尊重，供養佛及諸聲聞眾，大得利養：衣被飲食、臥具湯藥，都不恭敬尊重，供養眾邪異道，衣被飲食、臥具湯藥。

爾時，眾多異道聚會未曾講堂，作如是論：「我等昔來常為國王大臣、長者居士，及餘一切之所奉事恭敬，供養衣被飲食、臥具湯藥，今悉斷絕，但恭敬供養沙門瞿曇、聲聞大眾衣被飲食、臥具湯藥。今此眾中，誰有智慧大力，堪能密往詣彼沙門瞿曇眾中出家，聞彼法已，來還廣說，我等當復用

彼聞法，化諸國王大臣、長者居士，令其信樂，可得還復供養如前。」

時，有人言：「有一年少名曰須深，聰明黠慧，堪能密往沙門瞿曇眾中出家，聽彼法已，來還宣說。」

時，諸外道詣須深所而作是言：「我今日大眾聚集未曾講堂，作如是論：『我等先來為諸國王大臣、長者居士，及諸世人之所恭敬奉事，供養衣被飲食、臥具湯藥，今悉斷絕。國王大臣、長者居士，及諸世間，悉共奉事沙門瞿曇、聲聞大眾。我此眾中，誰有聰明黠慧，堪能密往沙門瞿曇眾中出家學道，聞彼法已，來還宣說，化諸國王大臣、長者居士，令我此眾還得恭敬，尊重供養。』

其中有言：『唯有須深聰明黠慧，堪能密往瞿曇法中出家學道，聞彼說法，悉能受持，來還宣說。』是故，我等故來相請，仁者當行！」

時，彼須深默然受請，詣王舍城迦蘭陀竹園。時，眾多比丘出房舍外，露地經行。

爾時，須深詣眾多比丘，而作是言：「諸尊！我今可得於正法中出家受具足，修梵行不？」

時，眾多比丘將彼須深，詣世尊所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！今此外道須深欲求於正法中出家受具足，修梵行。」

爾時，世尊知外道須深心之所念，告諸比丘：「汝等當度彼外道須深，令得出家。」

時，諸比丘願度須深出家，已經半月。

有一比丘語須深言：「須深當知：**我等生死已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。**」

時，彼須深語比丘言：「尊者！云何學離欲惡不善法，有覺有觀，離生喜樂，具足初禪，不起諸漏，心善解脫耶？」

比丘答言：「不也，須深！」

復問：「云何離有覺有觀，內淨一心，無覺無觀，定生喜樂，具足第二禪，不起諸漏，心善解脫耶？」

比丘答言：「不也，須深！」

復問：「云何尊者離喜，捨心住，正念正智，身心受樂，聖說及捨，具足第三禪，不起諸漏，心善解脫耶？」

答言：「不也，須深！」

復問：「云何尊者離苦息樂，憂喜先斷，不苦不樂，捨淨念、一心，具足第四禪，不起諸漏，心善解脫耶？」

答言：「不也，須深！」

復問：「若復寂靜解脫：起色；無色，身作證具足住，不起諸漏，心善解脫耶？」

答言：「不也，須深！」

須深復問：「云何尊者所說不同，前後相違？**云何不得禪定而復記說？**」

比丘答言：「**我是慧解脫也。**」

作是說已，眾多比丘各從座起而去。

爾時，須深知眾多比丘去已，作是思惟：「此諸尊者所說不同，前後相違，言不得正受，而復記說自知作證。」

作是思惟已，往詣佛所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！彼眾多比丘於我面前記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

我即問彼尊者：『得離欲惡不善法，乃至身作證，不起諸漏，心善解脫耶？』

彼答我言：『不也，須深！』

我即問言：『所說不同，前後相違，言不入正受，而復記說自知作證。』

彼答我言：『得慧解脫。』

作此說已，各從座起而去。

我今問世尊：『云何彼所說不同，前後相違，不得正受，而復說言自知作證？』」

佛告須深：「**彼先知法住，後知涅槃。彼諸善男子獨一靜處，專精思惟，不放逸(住)，離於我見，不起諸漏，心善解脫。**」

須深白佛：「我今不知『先知法住，後知涅槃：彼諸善男子獨一靜處，專精思惟，不放逸(住)，離於我見，不起諸漏，心善解脫。』」

佛告須深：「**不問汝知不知，且自『先知法住，後知涅槃：彼諸善男子獨一靜處，專精思惟，不放逸住，離於我見，心善解脫。』**」

須深白佛：「唯願世尊為我說法，**令我得知法住智，得見法住智！**」

佛告須深：「我今問汝，隨意答我。須深！於意云何？有生故有老死，不離生有老死耶？」

須深答曰：「如是世尊！有生故有老死，不離生有老死。」

「如是，生……有……取……愛……受……觸……六入處……名色……識……行……無明。有無明故有行，不離無明而有行耶？」

須深白佛：「如是，世尊！有無明故有行，不離無明而有行。」

佛告須深：「無生故無老死；不離生滅而老死滅耶？」

須深白佛言：「如是世尊！無生故無老死；不離生滅而老死滅。」

「如是，……乃至無無明故無行；不離無明滅而行滅耶？」

須深白佛：「如是世尊！無無明故無行；不離無明滅而行滅。」

佛告須深：「作如是知、如是見者，為有離欲惡不善法，……乃至身作證具足住不？」

須深白佛：「不也，世尊！」

佛告須深：「**是名先知法住，後知涅槃。彼諸善男子獨一靜處，專精思惟，不放逸住，離於我見，不起諸漏，心善解脫。**」

佛說此經已，尊者須深遠塵、離垢得法眼淨。爾時，須深見法、得法、覺法，度疑，不由他信，不由他度，於正法中心得無畏，稽首佛足，白佛言：「世尊！我今悔過！我於正法中盜密出家，是故悔過。」

佛告須深：「云何於正法中盜密出家？」

須深白佛言：「世尊！有眾多外道來詣我所，語我言：『須深！當知我等先為國王、大臣、長者、居士，及餘世人恭敬、供養，而今斷絕，悉共供養沙門瞿曇、聲聞大眾。汝今密往沙門瞿曇聲聞眾中，出家受法，得彼法已，還來宣說，我等當以彼聞法，教化世間，令彼恭敬供養如初。』

是故，世尊！我於正法律中盜密出家，今日悔過，唯願世尊聽我悔過，以哀愍故。」

佛告須深：「受汝悔過，汝當具說：『我昔愚癡、不善無智，於正法律盜密出家，今日悔過，自見罪、自知罪，於當來世律儀成就，功德增長，終不退減。』所以者何？**凡人有罪，自見自知而悔過者，於當來世律儀成就，功德增長，終不退減。**」

佛告須深：「今當說譬，其智慧者以譬得解。譬如國王有防邏者，捉捕盜賊，縛送王所，白言：『大王！此人劫盜，願王處罪。』

王言：『將罪人去，反縛兩手，惡聲宣令，周遍國中，然後將出城外刑罪人處，遍身四體，劇以百矛。』

彼典刑者受王教令，送彼罪人，反縛兩手，惡聲宣唱，周遍城邑，將出城外刑罪人處，遍身四體，劇以百矛。

日中，王問：『罪人活耶？』

臣白言：『活。』

王復敕臣：『復劇百矛。』

至日晡時，復劇百矛，彼猶不死。」

佛告須深：「彼王治罪，劇以三百矛，彼罪人身寧有完處如手掌不？」

須深白佛：「無也，世尊！」

復問須深：「時，彼罪人劇以三百矛因緣，受苦極苦劇不？」

須深白佛：「極苦世尊！若劇以一矛，苦痛難堪，況三百矛當可堪忍！」

佛告須深：「此尚可耳，若於正法律盜密出家，盜受持法，為人宣說，當受苦痛倍過於彼。」

佛說是法時，外道須深漏盡意解。

佛說此經已，尊者須深聞佛所說，歡喜奉行。

大正 364/印順 517/佛光 363(因緣 SN12.16)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「謂法次法向，諸比丘！云何名為法次法向？」

諸比丘白佛：「世尊是法根、法眼、法依，善哉！世尊！唯願為說，諸比丘聞已，當受奉行。」

佛告諸比丘：「若比丘**於老病死生厭，離欲、滅盡向，是名法次法向。如是，生……乃至行生厭、離欲、滅盡向，是名法次法向**。

諸比丘！是名如來施設法次法向。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 453/印順 712/佛光 452(界 SN14.2-6)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**緣種種界生種種觸，緣種種觸生種種受，緣種種受生種種愛**。

云何種種界？謂十八界：眼界、色界、眼識界，……乃至意界、法界、意識界，是名種種界。

云何緣種種界生種種觸，緣種種觸生種種受，緣種種受生種種愛？謂**緣眼界生眼觸，非緣眼觸生眼界，但緣眼界生眼觸；緣眼觸生眼受，非緣眼受生眼觸，但緣眼觸生眼受；緣眼受生眼愛，非緣眼愛生眼受，但緣眼受生眼愛。如是，耳……鼻……舌……身……意界緣生意觸，非緣意觸生意界，但緣意界生意觸；緣意觸生意受，非緣意受生意觸，但緣意觸生意受；緣意受生意愛，非緣意愛生意受，但緣意受生意愛。**

是故，比丘！**非緣種種愛生種種受，非緣種種受生種種觸，非緣種種觸生種種界；但緣種種界生種種觸，緣種種觸生種種受，緣種種受生種種愛。**

是名，比丘！當善分別種種界。」

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 482/印順 752/佛光 481(受 AN5.176)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園，夏安居時。

爾時，給孤獨長者來詣佛所，稽首禮足，卻坐一面。佛為說法，示教照喜。說種種法，示教照喜已，從座起，整衣服，為佛作禮，合掌白佛言：「唯願世尊與諸大眾受我三月請：衣被飲食、應病湯藥。」

爾時，世尊默然而許。

時，給孤獨長者知佛默然受請已，從座起去，還歸自家。

過三月已，來詣佛所，稽首禮足，退坐一面。

佛告給孤獨長者：「善哉！長者！三月供養衣被飲食、應病湯藥，汝以莊嚴淨治上道，於未來世當獲安樂果報，然，汝今莫得默然樂受此法，汝當精勤，時時學遠離，喜樂具足身作證。」

時，給孤獨長者聞佛所說，歡喜隨喜，從座起而去。

爾時，尊者舍利弗於眾中坐，知給孤獨長者去已，白佛言：「奇哉世尊！善為給孤獨長者說法，善勸勵給孤獨長者言：『汝**已三月具足供養如來大眾***，**淨治上道，於未來世當受**

樂報，汝莫默然樂著此福，汝當時時學遠離，喜樂具足身作證。』世尊！若使聖弟子學遠離，喜樂具足身作證，得遠離五法，修滿五法。

云何遠離五法？謂斷欲所長養喜、斷欲所長養憂、斷欲所長養捨、斷不善所長養喜、斷不善所長養憂，是名五法遠離。

云何修滿五法？謂隨喜、歡喜、猗息、樂、一心。」

佛告舍利弗：「如是如是，若聖弟子修學遠離，喜樂具足身作證，遠離五法，修滿五法。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 1258/印順 13351/佛光 1002(譬喻 SN20.7)

如是我聞：一時，佛住波羅榇國仙人住處鹿野苑中。

爾時，世尊告諸比丘：「過去世時，有一人名陀舍羅訶，彼陀舍羅訶有鼓，名阿能訶，好聲、美聲、深聲，徹四十里。彼鼓既久，處處裂壞。爾時，鼓士裁割牛皮，周匝纏縛，雖復纏縛，鼓猶無復高聲、美聲、深聲。彼於後時轉復朽壞，皮大剝落，唯有聚木。

如是，比丘修身修戒、修心修慧；以彼修身修戒、修心修慧故，於如來所說修多羅：甚深明照、難見難覺、不可思量、微密決定、明智所知，彼則頓受周備受，聞其所說，歡喜崇習，出離饒益。

當來比丘不修身、不修戒、不修心、不修慧，聞如來所說修多羅：甚深明照、空相應、隨順緣起法，彼不頓受持，不至到受，聞彼說者，不歡喜崇習，而於世間眾雜異論，文辭綺飾，世俗雜句，專心頂受，聞彼說者，歡喜崇習，不得出離饒益，於彼如來所說：甚深明照、空相(應)法隨順緣起者，於此則滅，猶如彼鼓朽故壞裂，唯有聚木。

是故，諸比丘！當勤方便，修身修戒、修心修慧，於如來所說：甚深明照、空相(應)法、隨順緣起，頓受遍受，聞彼說者，歡喜崇習，出離饒益。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※順逆觀察十二因緣

大正 287/印順 468/佛光 325(因緣 AA38.4;SN12.65)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**我憶宿命，未成正覺時，獨一靜處，專精禪思，作是念：『何法有故老死有？何法緣故老死有？』**

即正思惟，生如實無間等：生有故老死有，生緣故老死有。如是有、取、愛、受、觸、六入處、名色，『何法有故名色有？何法緣故名色有？』即正思惟，如實無間等生：識有故名色有，識緣故有名色有。我作是思惟時，**齊識而還，不能過彼**：謂緣識名色，緣名色六入處，緣六入處觸，緣觸受，緣受愛，緣愛取，緣取有，緣有生，緣生老病死、憂悲惱苦，如是如是純大苦聚集。」

「**我時作是念：『何法無故老死無？何法滅故老死滅？』即正思惟，生如實無間等**：生無故老死無，生滅故老死滅。如是生、有、取、愛、受、觸、六入處、名色、識、行廣說。」

「我復作是思惟：『何法無故行無？何法滅故行滅？』即正思惟，如實無間等：無明無故行無，無明滅故行滅；行滅故識滅，識滅故名色滅，名色滅故六入處滅，六入處滅故觸滅，觸滅故受滅，受滅故愛滅，愛滅故取滅，取滅故有滅，有滅故生滅，生滅故老病死、憂悲惱苦滅，如是如是純大苦聚滅。」

「**我時作是念：『我得古仙人道、古仙人逕、古仙人道跡，古仙人從此跡去，我今隨去。』**譬如有人遊於曠野，披荒覓路，忽遇故道古人行處，彼則隨行，漸漸前進，見故城邑、故王宮殿、園觀、浴池，林木清淨。彼作是念：『我今當往白王令知。』即往白王：『大王當知！我遊曠野，披荒求路，忽見故道、古人行處，我即隨行。我隨行已，見故城邑、故王宮殿、園觀、浴池，林流清淨。大王可往，居止其中。』王即往彼，止住其中，豐樂安隱，人民熾盛。」

「今我如是，得古仙人道、古仙人逕、古仙人跡，古仙人去處，我得隨去，謂八聖道：正見、正志、正語、正業、正命、正方便、正念、正定。**我從彼道，見老病死、老病死**

集、老病死滅、老病死滅道跡。見生……。有……。取……。愛……。受……。觸……。六入處……。名色……。識……。行、行集、行滅、行滅道跡。」

「我於此法，自知、自覺，成等正覺。為比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷，及餘外道、沙門、婆羅門，在家、出家，彼諸四眾，聞法正向，信樂知法善，梵行增廣，多所饒益，開示顯發。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

※無明（45,62,203,251,256-7,262,298,334）

大正 45/印順 157/佛光 91(陰 SN22.47)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五受陰，云何為五？色受陰，受、想、行、識受陰。**若諸沙門、婆羅門見有我者，一切皆於此五受陰見我。**諸沙門、婆羅門見色是我、色異我、我在色、色在我；見受……想……行……識是我、識異我、我在識、識在我。

愚癡無聞凡夫以無明故，見色是我、異我、相在，言我真實，不捨；以不捨故，諸根增長；諸根長已，增諸觸；六觸入處所觸故，愚癡無聞凡夫起苦、樂覺，從觸入處起；何等為六？謂眼觸入處，耳、鼻、舌、身、意觸入處。

如是，比丘！有意界、法界、無明界，愚癡無聞凡夫無明觸故，起有覺、無覺、有無覺；我勝覺、我等覺、我卑覺；我知、我見覺，如是知、如是見覺，皆由六觸入故。

多聞聖弟子於此六觸入處捨離無明而生明，不生有覺、無覺、有無覺；勝覺、等覺、卑覺；我知、我見覺，如是知、如是見已，先所起無明觸滅，後明觸覺起。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 256/印順 39/佛光 33(陰 SN22.127,128)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅在耆闍崛山。時，尊者拘絺羅晡時從禪起，詣尊者舍利弗所，共相問訊，種種相娛

悅已，卻坐一面。時，尊者摩訶拘絺羅語舍利弗言：「欲有所問，寧有閑暇為我說不？」

舍利弗言：「隨仁所問，知者當說。」

摩訶拘絺羅問舍利弗言：「所謂無明，云何是無明？誰有此無明？」

舍利弗答言：「**無明者謂不知，不知者是無明。**」

「何所不知？」

「謂**色無常，色無常如實不知；色磨滅法，色磨滅法如實不知；色生滅法，色生滅法如實不知。**受……想……行……識[無常]，受……想……行……識無常如實不知；識磨滅法，識磨滅法如實不知；識生滅法，識生滅法如實不知。摩訶拘絺羅！**於此五受陰如實不知、不見、無無間等、愚、闇、不明，是名無明，成就此者，名有無明。**」

又問舍利弗：「所謂明者，云何為明？誰有此明？」

舍利弗言：「摩訶拘絺羅！所謂**明者是知，知者是名為明。**」

又問：「何所知？」

「謂*色無常，*色無常如實知；色磨滅法，色磨滅法如實知；色生滅法，色生滅法如實知。受……想……行……識[無常]，受……想……行……識無常如實知；識磨滅法，識磨滅法如實知；識生滅法，識生滅法如實知。拘絺羅！**於此五受陰如實知、見、明、覺、慧、無間等，是名為明，成就此法者，是名有明。**」

是二正士各聞所說，展轉隨喜，從坐而起，各還本處。

大正 257/印順 40/佛光 34(陰 SN22.135)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅在耆闍崛山。時，摩訶拘絺羅晡時從禪起，詣尊者舍利弗所，共相問訊，種種相娛悅已，卻坐一面。時，尊者摩訶拘絺羅語舍利弗言：「欲有所問，寧有少暇為我說不？」

舍利弗言：「仁者且問，知者當說。」

摩訶拘絺羅問舍利弗言：「所謂無明，復云何為無明？誰有此無明？」

舍利弗答言：「無明者謂不知，不知者是無明。」

「何所不知？」

「謂色不如實知，色集、色滅、色滅道跡不如實知；受……想……行……識不如實知，識集、識滅、識滅道跡不如實知。摩訶拘絺羅！於此五受陰不如實知、不知、不見、不無間等、愚、闇、不明，是名無明。成就此者，名有無明。」

又問舍利弗：「云何為明？誰有此明？」

舍利弗言：「所謂明者是知，知者是明。」

又問：「何所知？」

舍利弗言：「色如實知，色集、色滅、色滅道跡如實知；受……想……行……識如實知，識集、識滅、識滅道跡如實知。拘絺羅！於此五受陰如實知、見、明、覺、慧、無間等，是名為明。成就此法者，是名有明。」

是二正士，各聞所說，展轉隨喜，從座而起，各還本處。

大正 262/印順 45/佛光 39(陰 SN22.90)

如是我聞：一時，有眾多上座比丘，住波羅榇國仙人住處鹿野苑中，佛般泥洹未久。時，長老闡陀晨朝著衣持鉢，入波羅榇城乞食。食已還，攝衣鉢，洗足已，持戶鉤，從林至林，從房至房，從經行處至經行處，處處請諸比丘言：「當教授我，為我說法，令我知法、見法。我當如法知、如法觀。」

時，諸比丘語闡陀言：「**色無常；受、想、行、識無常；一切行無常，一切法無我，涅槃寂滅。**」

闡陀語諸比丘言：「我已知色無常，受、想、行，識無常；一切行無常，一切法無我，涅槃寂滅。」

闡陀復言：「然，我不喜聞一切諸行空寂、不可得、愛盡、離欲、涅槃，此中云何有我而言如是知、如是見，是名見法？」

第二、第三亦如是說。

闡陀復言：「是中，誰復有力，堪能為我說法，令我知法、見法？」復作是念：「尊者阿難，今在拘睒彌國瞿師羅園，

曾供養親覲世尊，佛所讚歎，諸梵行者皆悉識知，彼必堪能為我說法，令我知法、見法。」

時，闡陀過此夜已，晨朝著衣持鉢，入波羅梌城乞食。食已還，攝舉臥具，攝臥具已，持衣鉢，詣拘睒彌國。漸漸遊行，到拘睒彌國。攝舉衣鉢，洗足已，詣尊者阿難所，共相問訊已，卻坐一面。

時，闡陀語尊者阿難言：「一時，諸上座比丘住波羅梌國仙人住處鹿野苑中。時，我晨朝著衣持鉢，入波羅梌城乞食。食已還，攝衣鉢，洗足已，持戶鉤，從林至林，從房至房，從經行處至經行處，處處見諸比丘而請之，言：『當教授我，為我說法，令我知法、見法。』

時，諸比丘為我說法言：『色無常；受、想、行、識無常；一切行無常，一切法無我，涅槃寂滅。』

我爾時語諸比丘言：『我已知色無常；受、想、行、識無常；一切行無常，一切法無我，涅槃寂滅，然，我不喜聞一切諸行空寂、不可得、愛盡、離欲、涅槃，此中云何有我而言如是知、如是見，是名見法？』

我爾時作是念：『是中，誰復有力堪能為我說法，令我知法、見法？』我時復作是念：『尊者阿難今在拘睒彌國瞿師羅園，曾供養親覲世尊，佛所讚歎，諸梵行者皆悉知識，彼必堪能為我說法，令我知法、見法。』善哉！尊者阿難！今當為我說法，令我知法、見法！」

時，尊者阿難語闡陀言：「善哉！闡陀！我意大喜，我慶仁者能**於梵行人前無所覆藏，破虛偽刺。**闡陀！**愚癡凡夫所不能解：色無常；受、想、行、識無常，一切諸行無常，一切法無我，涅槃寂滅。**汝今堪受勝妙法，汝今諦聽，當為汝說。」

時，闡陀作是念：「我今歡喜，得勝妙心，得踊悅心，我今堪能受勝妙法！」

爾時，阿難語闡陀言：「我親從佛聞，教摩訶迦旃延，言：**『世人顛倒，依於二邊：若有、若無，世人取諸境界，心便計著。迦旃延！若不受、不取、不住、不計於我，此苦生時生，滅時滅。**迦旃延！**於此不疑、不惑，不由於他而能自知，是名正見如來所說，所以者何？迦旃延！如實正觀世間**

集者，則不生世間無見；如實正觀世間滅，則不生世間有見。

迦旃延！如來離於二邊，說於中道，所謂此有故彼有；此生故彼生；謂緣無明有行，……乃至生，老病死、憂悲惱苦集；所謂此無故彼無；此滅故彼滅；謂無明滅則行滅，……乃至生，老病死、憂悲惱苦滅。』」

尊者阿難說是法時，闡陀比丘遠塵離垢，得法眼淨。爾時，闡陀比丘見法、得法、知法、起法，超越狐疑，不由於他，於大師教法得無所畏，恭敬合掌白尊者阿難言：「正應如是，如是智慧梵行，善知識教授教誡說法，我今從尊者阿難所，聞如是法，於一切行皆空，皆悉寂、不可得、愛盡、離欲、滅盡、涅槃，心樂正住解脫，不復轉還，不復見我，唯見正法。」

時，阿難語闡陀言：「汝今得大善利，於甚深佛法中得聖慧眼。」

時，二正士展轉隨喜，從座而起，各還本處。

※行（45,57,63,292,568）

大正 57/印順 169/佛光 103(陰 SN22.81)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。爾時，世尊著衣持鉢，入舍衛城乞食。還，持衣鉢，不語眾，不告侍者，獨一無二，於西方國土人間遊行。

時，安陀林中有一比丘，遙見世尊不語眾，不告侍者，獨一無二，見已，進詣尊者阿難所，白阿難言：「尊者當知！世尊不語眾，不告侍者，獨一無二而出遊行。」

爾時，阿難語彼比丘：「若使世尊不語眾，不告侍者，獨一無二而出遊行，不應隨從，所以者何？今日世尊欲住寂滅，少事故。」

爾時，世尊遊行，北至半闍國波陀聚落，於人所守護林中，住一跋陀薩羅樹下。時，有眾多比丘，詣阿難所，語阿難言：「今聞世尊住在何所？」

阿難答曰：「我聞世尊北至半闍國波陀聚落，人所守護林中，跋陀薩羅樹下。」

時，諸比丘語阿難曰：「尊者[當]知！我等不見世尊已久，若不憚勞者，可共往詣世尊，哀愍故。」

阿難知時，默然而許。爾時，尊者阿難與眾多比丘，夜過晨朝，著衣持鉢，入舍衛城乞食。乞食已，還精舍，舉臥具，持衣鉢，出至西方人間遊行，北至半闍國波陀聚落，人[所]守護林中。

時，尊者阿難與眾多比丘置衣鉢，洗足已，詣世尊所，頭面禮足，於一面坐。爾時，世尊為眾多比丘說法，示教利喜。爾時，座中有一比丘，作是念：「云何知、云何見，疾得漏盡？」

爾時，世尊知彼比丘心之所念，告諸比丘：「若有比丘於此座中作是念：『云何知、云何見，疾得漏盡？』者，我已說法言：『**當善觀察諸陰，所謂：四念處、四正勤、四如意足、五根、五力、七覺分、八聖道分。**』我已說如是法，觀察諸陰，而今猶有善男子不勤欲作、不勤樂、不勤念、不勤信而自慢惰，不能增進得盡諸漏。

若復善男子，於我所說法觀察諸陰，勤欲、勤樂、勤念、勤信，彼能疾得盡諸漏。

愚癡無聞凡夫於色見是我；若見我者，是名為行。

彼行何因？何集？何生？何轉？無明觸生愛，緣愛起彼行。

彼愛何因？何集？何生？何轉？彼愛受因，受集，受生，受轉。

彼受何因？何集？何生？何轉？彼受觸因，觸集，觸生，觸轉。

彼觸何因？何集？何生？何轉？謂：彼觸六入處因，六入處集，六入處生，六入處轉。

彼六入處無常、有為、心緣起法；彼觸、受、[愛、]行亦無常、有為、心緣起法。

如是觀者而見色是我，不見色是我而見色是我所，不見色是我所而見色在我，不見色在我而見我在色。

不見我在色而見受是我，不見受是我而見受是我所，不見受是我所而見受在我，不見受在我而見我在受。

不見我在受而見想是我，不見想是我而見想是我所，不見想是我所而見想在我，不見想在我而見我在想。

不見我在想而見行是我，不見行是我而見行是我所，不見行是我所而見行在我，不見行在我而見我在行。

不見我在行而見識是我，不見識是我而見識是我所，不見識是我所而見識在我，不見識在我而見我在識。

不見我在識，復作斷見、壞有見。

不作斷見、壞有見而不離我慢。

不離我慢者而復見我，見我者即是行。

彼行何因？何集？何生？何轉？如前所說，……乃至我慢。

作如是知、如是見者，疾得漏盡。」

佛說[此]經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 292/印順 473/佛光 330(因緣 SN12.51)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「**云何思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量眾生所有眾苦種種差別：此諸苦何因？何集？何**

生？何觸？思量取因，取集，取生，取觸，若彼取滅無餘，眾苦則滅，彼所乘苦滅道跡如實知。修行彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂取滅。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量彼取何因？何集？何生？何觸？思量彼取愛因，愛集，愛生，愛觸，彼愛永滅無餘，取亦隨滅，彼所乘取滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂愛滅。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊[時]，則思量彼愛何因？何集？何生？何觸？知彼愛受因，受集，受生，受觸，彼受永滅無餘，則愛滅，彼所乘愛滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂受滅。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量彼受何因？何集？何生？何觸？知彼受觸因，觸集，觸生，觸緣，彼觸永滅無餘，則受滅，彼所乘(受)滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量彼觸何因？何集？何生？何觸？當知彼觸六入處因，六入處集，六

入處生，六入處觸，彼六入處(永)滅無餘，則觸滅，彼所乘(觸)滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量彼六入處何因？何集？何生？何觸？知彼六入處名色因、名色集、名色生、名色觸，名色永滅無餘，則六入處滅，彼所乘(六入處)滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂名色滅。

復次，比丘！思量正盡苦，究竟苦邊時，思量名色何因？何集？何生？何觸？知彼名色識因、識集、識生、識觸，彼識(永)滅無餘，則名色滅，彼所乘(名色)滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂識滅。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量彼識何因？何集？何生？何觸？知彼識行因，行集，行生，行觸：**作諸福行，善識生；作諸不福不善行，不善識生；作無所有行，無所有識生，是為彼識行因、行集、行生、行觸，彼行**

(永)滅無餘，則識滅，彼所乘(識)滅道跡如實知。修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂行滅。

復次，比丘！思量觀察正盡苦，究竟苦邊時，思量彼行何因？何集？何生？何觸？知彼行無明因，無明集，無明生，無明觸：**彼福行無明緣，非福行亦無明緣，非福不福行亦無明緣，是故，當知彼行無明因，無明集，無明生，無明觸，彼無明永滅無餘，則行滅，彼所乘(行)滅道跡如實知。**修習彼向次法，是名比丘向正盡苦，究竟苦邊，所謂無明滅。」

佛告比丘：「於意云何？**若不樂無明而生明，復緣彼無明作福行、非福行、無所有行不？**」

比丘白佛：「不也，世尊！所以者何？**多聞聖弟子，不樂無明而生明，無明滅則行滅，行滅則識滅，……如是，乃至生，老病死、憂悲惱苦滅；如是、如是純大苦聚滅。**」

佛言：「善哉！善哉！比丘！我亦如是說，汝亦知此：於彼彼法起，彼彼法生；彼彼法滅，彼彼法滅止、清涼、息、沒。

若多聞聖弟子無明離欲而生明，身分齊受所覺，身分齊受所覺時如實知；若壽分齊受所覺，壽分齊受所覺時如實知；身壞時壽命欲盡，於此諸受一切所覺，滅盡無餘。

譬如：力士取新熟瓦器，乘熱置地，須臾散壞，熱勢悉滅，如是，比丘！無明離欲而生明，身分齊受所覺如實知；壽分齊受所覺如實知；身壞命終，一切受所覺悉滅無餘。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※識緣名色（39,43,44,80,284,294,298）

大正 39/印順 151/佛光 85(陰 SN22.54)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五種種子，何等為五？謂根種子、莖種子、節種子、自落種子、實種子。此五種子不斷、不壞、不腐、不中風，新熟堅實，有地界而無水界，彼種子不生長增廣。若彼種新熟堅實，不斷、不壞、[不腐]、不中風，有水界而無地界，彼種子亦不生長增廣。若彼種子新熟堅實，不斷、不壞、不腐、不中風，有地、水界，彼種子生長增廣。

比丘！彼五種子者，譬取陰俱識；地界者，譬四識住；水界者，譬貪喜四取攀緣識住，何等為四？於色中識住，攀緣色，喜貪潤澤，生長增廣；於受、想、行中識住，攀緣受、想、行，貪喜潤澤，生長增廣，比丘！識於中若來、若去、若住、若沒、若生長增廣。

比丘！若離色、受、想、行，識有若來、若去、若住、若生者，彼但有言數，問已不知，增益生癡，以非境界故。

色界離貪；離貪已，於色封滯意生縛斷；於色封滯意生縛斷已，攀緣斷；攀緣斷已，識無住處，不復生長增廣。受……想……行界離貪；離貪已，於行封滯意生縛斷；於行封滯意生縛斷已，攀緣斷；攀緣斷已，彼識無所住，不復生長增廣。不生長故，不作行；不作行已，住；住已，知足；知足已，解脫；解脫已，於諸世間都無所取、無所著；無所取、無所著已，自覺涅槃：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』我說彼識不至東、西、南、北，四維、上、下，無所至趣，唯見法，欲入涅槃、寂滅、清涼、清淨、真實。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 80/印順 137/佛光 71(陰 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「當說聖法印及見清淨。諦聽！善思！若有比丘作是說：『我於空三昧未有所得，而起無相、無所有、離慢知見。』者，莫作是說，所以者何？**若於空未得者，而言我得無相、無所有、離慢知見者，無有是處。**若有比丘作是說：『我得空，能起無相、無所有、離慢知見。』者，此則善說，所以者何？**若得空已，能起無相、無所有、離慢知見者，斯有是處。**云何為聖弟子*見清淨？」

比丘白佛：「佛為法根、法眼、法依，唯願為說！諸比丘聞說法已，如說奉行。」

佛告比丘：「**若比丘於空閑處、樹下坐，善觀色無常、磨滅、離欲之法。如是，觀察受……想……行……識無常、磨滅、離欲之法；觀察彼陰無常、磨滅、不堅固、變易法，心樂清淨解脫，是名為空。**如是觀者，亦不能離慢知見清淨。

復有正思惟三昧，觀色相斷，聲、香、味、觸、法相斷，是名無相。如是觀者，猶未離慢知見清淨。

復有正思惟三昧，觀察貪相斷，瞋恚、癡相斷，是名無所有。如是觀者，猶未離慢知見清淨。

復有正思惟三昧，觀察[我、]我所從何而生？*觀察我、我所，從若見、若聞、若嗅、若嘗、若觸、若識而生。

復作是觀察：若因、若緣而生識者，彼識因緣為常、為無常？復作是思惟：若因、若緣而生識者，彼因、彼緣皆悉無常。復次，彼因、彼緣皆悉無常，彼所生識云何有常！

無常者是有為行，從緣起，是患法、滅法、離欲法、斷知法，是名聖法印知見清淨。是名比丘當說聖法印知見清淨，如是廣說。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 248/印順 374/佛光 250(入處 SN35.234)

如是我聞：一時，佛住波吒利弗多羅國雞林園。

爾時，尊者阿難往詣尊者大純陀所，共相問訊已，於一面坐。爾時，尊者阿難語尊者純陀言：「欲有所問，寧有閑暇見答與不？」

尊者純陀語尊者阿難言：「隨仁所問，知者當答。」

尊者阿難問尊者純陀：「**如世尊、如來、應、等正覺所知所見說四大造色，施設、顯露此四大色非我，如來、應、等正覺所知所見，亦復說識非我耶？**」

尊者純陀語尊者阿難言：「仁者最為多聞，我從遠來詣尊者所，為問此法故，今日尊者唯願為說此義。」

尊者阿難語純陀言：「我今問尊者，隨意見答。尊者純陀！**為有眼、有色、有眼識不？**」

答言：「有。」

尊者阿難復問：「**為緣眼及色生眼識不？**」

答言：「如是。」

尊者阿難復問：「**(緣)眼及色生眼識，彼因、彼緣，為常？為無常？**」

答言：「無常。」

尊者阿難又問：「彼因彼緣生眼識，彼因彼緣無常變易時，彼識住耶？」

答曰：「不也，尊者阿難！」

尊者阿難復問：「於意云何？彼法若生、若滅可知，多聞聖弟子於中寧見是我、異我、相在不？」

答曰：「不也，尊者阿難！」

「耳……鼻……舌……身……*於意云何？有意、有法、有意識不？」

答曰：「有。」

尊者阿難復問：「為緣意及法生意識不？」

答曰：「如是。」

尊者阿難復問：「若意緣法生意識，彼因、彼緣，為常？為無常？」

答曰：「無常。」

尊者阿難復問：「若因、若緣生意識，彼因彼緣無常變易時，意識住耶？」

答曰：「不也。」

尊者阿難復問：「於意云何？**彼法若生、若滅可知，多聞聖弟子寧於中見我、異我、相在不？**」

答言：「不也，尊者阿難！」

尊者阿難語純陀言：「是故尊者！而**如來、應、等正覺所知所見說識亦無常**。

譬如，士夫持斧入山，見芭蕉樹，謂堪材用，斷根截*葉、[斫枝]、剝皮，求其堅實，剝至於盡，都無堅處。**如是，多聞聖弟子正觀眼識，耳、鼻、舌、身、意識，當正觀時，都無可取；無可取故，無所著；無所著故，自覺涅槃：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』**」

彼(二)正士說是法時，展轉隨喜，各還其所。

大正 284/印順 465/佛光 322(因緣 SN12.59)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**若於所取法隨生味著、顧念、(心縛)，其心驅馳，追逐名色，名色緣六入處**，六入處緣觸，

觸緣受，受緣愛，愛緣取，取緣有，有緣生，生緣老病死、憂悲惱苦，如是如是純大苦聚集。

譬大樹，根幹枝條、柯葉華果，下根深固，壅以糞土，溉灌以水，彼樹堅固，永世不朽。如是，比丘！於所取法隨生味著、顧念、心縛，其心驅馳，追逐名色，名色緣六入處，六入處緣觸，觸緣受，受緣愛，愛緣取，取緣有，有緣生，生緣老病死、憂悲惱苦，如是如是純大苦聚集。

若於所取法隨順無常觀，住生滅觀、無欲觀、滅觀、厭觀，心不顧念，無所縛著，識則不驅馳追逐名色，則名色滅，名色滅則六入處滅，六入處滅則觸滅，觸滅則受滅，受滅則愛滅，愛滅則取滅，取滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老病死、憂悲惱苦滅，如是如是，則純大苦聚滅。

猶如種樹，不隨時愛護，令其安隱，不壅糞土，不隨時溉灌，冷暖不適，不得增長，若復斷根截枝，段段斬截，分分解析，風飄日炙，以火焚燒，燒以成糞，或颺以疾風，或投之流水，比丘！於意云何？非為彼樹斷截其根，乃至焚燒，令其磨滅，於未來世成不生法耶？」

答言：「如是，世尊！」

「如是，比丘！**於所取法隨順無常觀，住生滅觀、無欲觀、滅觀、捨觀，不生顧念，心不縛著，識不馳馳追逐名色，則名色滅，名色滅則六入處滅**，六入處滅則觸滅，觸滅則受滅，受滅則愛滅，愛滅則取滅，取滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老病死、憂悲惱苦滅，如是[如是，]純大苦聚滅。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 288/印順 469/佛光 326(因緣 SN12.67)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅在耆闍崛山。爾時，尊者舍利弗晡時從禪覺，詣尊者摩訶拘絺羅，共相問訊慶慰已，於一面坐，語尊者摩訶拘絺羅：「欲有所問，寧有閑暇見答與不？」

尊者摩訶拘絺羅語尊者舍利弗言：「仁者且問，知者當答。」

尊者舍利弗問尊者摩訶拘絺羅：「云何，尊者摩訶拘絺羅！有老不？」

答言：「有，尊者舍利弗！」

復問：「有死不？」

答言：「有。」

復問：「云何老死自作耶？為他作耶？為自他作耶？為非自非他無因作耶？」

答言：「尊者舍利弗！老死非自作、非他作、非自他作、亦非非自他作無因作，然彼生緣故有老死。如是，生……有……取……愛……受……觸……六入處……名色為自作？為他作？為自他作？為非自他無因作？」

答言：「尊者舍利弗！名色非自作、非他作、非自他作、非非自他作無因作，然彼名色緣識生。」

復問：「彼識為自作？為他作？為自他作？為非自非他無因作？」

答言：「尊者舍利弗！彼識非自作、非他作、非自他作、非非自他作無因作，然彼識(緣)名色生。」

尊者舍利弗復問尊者摩訶拘絺羅：「先言名色非自作、非他作、非自他作、非非自他作無因作，然彼名色緣識生，而今復言名色緣識，此義云何？」

尊者摩訶拘絺羅答言：「今當說譬，如智者因譬得解。**譬如三蘆立於空地，展轉相依而得竪立，若去其一，二亦不立；若去其二，一亦不立，展轉相依而得竪立。識緣名色，亦復如是，展轉相依而得生長。**」

尊者舍利弗言：「善哉！善哉！尊者摩訶拘絺羅！世尊聲聞中，智慧明達，善調無畏，見甘露法，以甘露法具足身作證者，謂尊者摩訶拘絺羅，乃有如是甚深義辯，種種難問，皆悉能答，如無價寶珠，世所頂戴，我今頂戴尊者摩訶拘絺羅，亦復如是。我今於汝所，快得善利，諸餘梵行數詣其所，亦得善利，以彼尊者善說法故，我今以此尊者摩訶拘絺羅所說法故，當以三十種讚歎，稱揚隨喜。

尊者摩訶拘絺羅**說老死厭患、離欲、滅盡，是名法師；說生、有、取、愛、受、觸、六入處、名色、識厭患、離欲、滅盡，是名法師。**

若比丘於老死厭患、離欲、滅盡向，是名法師；……乃至識厭患、離欲、滅盡向，是名法師。

若比丘於老死厭患、離欲、滅盡，不起諸漏，心善解脫，是名法師；……乃至識厭患、離欲、滅盡，不起諸漏，心善解脫，是名法師。」

尊者摩訶拘絺羅語尊者舍利弗言：「善哉！善哉！於世尊聲聞中，智慧明達，善調無畏，見甘露法，以甘露法具足身作證者，謂尊者舍利弗，能作如是種種甚深正智之問，猶如世間無價寶珠，人皆頂戴，汝今如是，普為一切諸梵行者之所頂戴，恭敬奉事。我於今日，快得善利，得與尊者共論妙義。」

時，二正士更相隨喜，各還所住。

大正 294/印順 475/佛光 332(因緣 SN12.19)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「愚癡無聞凡夫無明覆，愛緣繫，得此識身。內有此識身，外有名色，此二因緣生[六]觸[入

處]，此六觸入[處]所觸，愚癡無聞凡夫苦、樂受覺，因起種種，云何為六？眼觸入處，耳、鼻、舌、身、意觸入處。若黠慧者，無明覆，愛緣繫，得此識身。如是，內有識身，外有名色，此二緣生六觸入處，六觸[入處]所觸故，智者生苦、樂受覺，因起種種。何等為六？眼觸入處，耳、鼻、舌、身、意觸入處。

愚夫、黠慧，彼於我所修諸梵[行]者，有何差別？」

比丘白佛言：「世尊是法根、法眼、法依，善哉！世尊！唯願演說，諸比丘聞已，當受奉行。」

爾時，世尊告諸比丘：「諦聽！善思！當為汝說。

諸比丘！彼愚癡無聞凡夫無明所覆，愛緣所繫，得此識身。彼無明不斷，愛緣不盡，身壞命終，還復受身；還受身故，不得解脫生、老病死、憂悲惱苦，所以者何？此愚癡凡夫本不修梵行，向正盡苦，究竟苦邊故，是故，身壞命終，還復受身；還受身故，不得解脫生、老病死、憂悲惱苦。

若黠慧者，無明所覆，愛緣所繫，得此識身。彼無明斷，愛緣盡。無明斷，愛緣盡故，身壞命終，更不復受；不更受

故，得解脫生、老病死、憂悲惱苦，所以者何？彼先修梵行，正向盡苦，究竟苦邊故，是故，彼身壞命終，更不復受；更不受故，得解脫生、老病死、憂悲惱苦。

是名凡夫及黠慧者，彼於我所修諸梵行，種種差別。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※六入處（41,45,59,284,294,371,609）

大正 63/印順 60/佛光 54(陰 SN22.47)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五受陰，謂色受陰，受、想、行、識受陰，比丘！**若沙門、婆羅門計有我，一切皆於此五受陰計有我。**何等為五？諸沙門、婆羅門，於色見是我、異我、相在。如是，受……想……行……識見是我、異我、相在。

如是，**愚癡無聞凡夫計我，無明分別，如是觀，不離我所；不離我所者，入於諸根；入於諸根已，而生於觸；六觸入所**

觸，愚癡無聞凡夫生苦、樂，從是生此等及餘，謂六觸身；云何為六？謂眼觸入處，耳、鼻、舌、身、意觸入處。

比丘！有意界、法界、無明界：無明觸所觸，愚癡無聞凡夫言有、言無、言有無、言非有非無，言我最勝、[言我劣，]言我相似，我知，我見。

復次，比丘！多聞聖弟子住六觸入處而能厭離無明，能生於明，彼於無明離欲而生於明：不有、不無、非有無、非不有無，非有我勝、非有我劣、非有我相似、我知、我見。

作如是知、如是見已，所起前無明觸滅，後明觸集起。」

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※觸（45,63,213,284,294）

大正 213/印順 275/佛光 215(入處 SN35.92)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「當為汝等演說二法，諦聽！善思！

何等為二？眼色為二，耳聲、鼻香、舌味、身觸、意法為二，是名二法。若有沙門、婆羅門作如是說：『是非二者，

沙門瞿曇所說二法，此非為二。』彼自以意說二法者，但有言說，(問)已不知，增其疑惑，以非其境界故。

所以者何？緣眼色眼識生，三事和合緣觸，觸生受：若苦、若樂、不苦不樂，若於此受集、受滅、受味、受患、受離不如實知者，種貪欲身觸，種瞋恚身觸，種戒取身觸，種我見身觸，亦種殖增長諸惡不善法，如是純大苦(聚)皆從集生，如是，耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，三事和合觸，廣說如上。

復次，眼緣色，生眼識，三事和合觸，觸緣受：若苦、若樂、不苦不樂，於此諸受集、滅、味、患、離如(實)知；如(實)知已，不種貪欲身觸，不種瞋恚身觸，不種戒取身觸，不種我見身觸，不種諸惡不善法，如是諸惡不善法滅純大苦聚滅。耳……鼻……舌……身……意、法亦復如是。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※受想行（46,68,214）

大正 214/印順 276/佛光 216(入處 SN35.93)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有二因緣生識，何等為二？謂：眼色、耳聲、鼻香、舌味、身觸、意法，如是廣說，……乃至非其境界故，所以者何？

眼色因緣生眼識，彼無常、有為、心緣生。若色、眼、識，無常、有為、心緣生，此三法和合觸，觸已受，受已思，思已想，此等諸法無常、有為、心緣生，所謂：觸、[受、]想、思；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※愛（53,283,285）

大正 304/印順 406/佛光 282(入處 MN148)

如是我聞：一時，佛住拘留搜調牛聚落。

爾時，世尊告諸比丘：「我今當為汝等說法，初中後善，善義善味，純一滿淨梵行清白，諦聽善思！有六六法，何等為

六六法？謂六內入處、六外入處、六識身、六觸身、六受身、六愛身。

何等為六內入處？謂眼入處、耳入處、鼻入處、舌入處、身入處、意入處。

何等為六外入處？[謂]色入處、聲入處、香入處、味入處、觸入處、法入處。

云何六識身？謂眼識身、耳識身、鼻識身、舌識身、身識身、意識身。

云何六觸身？謂眼觸、耳觸、鼻觸、舌觸、身觸、意觸。

云何六受身？謂眼觸生受、耳觸生受、鼻觸生受、舌觸生受、身觸生受、意觸生受。

云何六愛身？謂眼觸生愛、耳觸生愛、鼻觸生愛、舌觸生愛、身觸生愛、意觸生愛。

若有說言眼是我，是則不然，所以者何？眼生滅故。若眼是我者，我應受生死，是故說眼是我者，是則不然。

如是，若色、若眼識、眼觸、眼觸生受若是我者，是則不然，所以者何？眼觸生受是生滅法，若眼觸生受是我者，我

復應受生死，是故說眼觸生受是我者，是則不然，是故眼觸生受非我。如是，耳……鼻……舌……身……意觸生受非我，所以者何？意觸生受是生滅法，若是我者，我復應受生死，是故意觸生受是我者，是則不然，是故意觸生受非我。如是，比丘！當如實知眼所作、智所作、寂滅所作，開發神通，正向涅槃。

云何如實知見眼所作，……乃至正向涅槃？

如是，比丘！眼非我，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂，彼亦觀察非我；耳、鼻、舌、身、意亦如是說，是名如實知見眼所作，……乃至正向涅槃。是名六六法經。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 334/印順 455/佛光 312(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住拘留搜調牛聚落。

爾時，世尊告諸比丘：「今當為汝說法，初中後善，善義善味，純一滿淨梵行清白，諦聽善思！謂有因有緣有縛法經。

云何有因有緣有縛法經？謂眼有因、有緣、有縛。

何等為眼因、眼緣、眼縛？謂**眼，業因、業緣、業縛**。

業有因、有緣、有縛，何等為業因、業緣、業縛？*謂**業，愛因、愛緣、愛縛**。

愛有因、有緣、有縛，何等為愛因、愛緣、愛縛？謂**愛，無明因、無明緣、無明縛**。

無明有因、有緣、有縛，何等無明因、無明緣、無明縛？謂**無明，不正思惟因、不正思惟緣、不正思惟縛**。

不正思惟有因、有緣、有縛，何等不正思惟因、不正思惟緣、不正思惟縛？謂**緣眼色生不正思惟，生於癡；緣眼色生不正思惟，生於癡，彼癡者是無明，癡求欲名為愛，愛所作名為業**。

如是，比丘！**不正思惟因無明；*無明因愛；愛因為業；業因為眼；耳、鼻、舌、身、意亦如是說，是名有因、[有]緣、有縛法經。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※取（43,44,107,292）

大正 221/印順 288/佛光 223(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有趣一切取道跡，云何為趣一切取道跡？**緣眼色生眼識，三事和合觸，觸緣受，受緣愛，愛緣取，取所取故；耳、鼻、舌、身、意亦復如是，取所取故，是名趣一切取道跡**。

云何斷一切取道跡？**緣眼、色，生眼識，三事和合觸，觸滅則受滅，受滅則愛滅，愛滅則取滅，如是知耳、鼻、舌、身、意亦復如是。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※有（39,58,372,374）

大正 372/印順 535/佛光 371(食 SN12.12)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有四食，資益眾生，令得住世，攝受長養，何等為四？一、麁摶食，二、細觸食，三、意思食，四、識食。」

時，有比丘名曰頗求那，住佛後扇佛，白佛言：「世尊！誰食此識？」

佛告頗求那：「**我不言有食識者，我若言有食識者，汝應作是問。我說識是食，汝應問言：『何因緣故，有識食？』我則答言：『能招未來有令相續生，有有故，有六入處；六入處緣觸。』**」

頗求那復問：「為誰觸？」

佛告頗求那：「我不言有觸者，我若言有觸者，汝應作是問：『為誰觸？』汝應如是問：『何因緣故生觸？』我應如是答：『六入處緣觸；觸緣受。』」

復問：「為誰受？」

佛告頗求那：「我不說有受者，我若言有受者，汝應問：『為誰受？』汝應問言：『何因緣故有受？』我應如是答：『觸緣故，有受；受緣愛。』」

復問：「世尊！為誰愛？」

佛告頗求那：「我不說有愛者，我若說言有愛者，汝應作是問：『為誰愛？』汝應問言：『何緣故有愛？』我應如是答：『緣受故，有愛；愛緣取。』」

復問：「世尊！為誰取？」

佛告頗求那：「我不說言有取者，我若說言有取者，汝應問言：『為誰取？』汝應問言：『何緣故有取？』我應答言：『愛緣故，有取；取緣有。』」

復問：「世尊！為誰有？」

佛告頗求那：「我不說有有者，我若說有有者，汝應問言：『為誰有？』汝今應問：『何緣故有有？』我應答言：『緣取故，有有；**能招當來有觸生，是名有。**』

有六入處，六入處緣觸；觸緣受；受緣愛；愛緣取；取緣有；有緣生；生緣老病死、憂悲惱苦，如是純大苦聚集。謂：六入處滅則觸滅；觸滅則受滅；受滅則愛滅；愛滅則取滅；取滅則有滅；有滅則生滅；生滅則老病死、憂悲惱苦滅，如是純大苦聚滅。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 374/印順 537/佛光 373(食 SN12.64)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有四食，資益眾生，令得住世，攝受長養，何等為四？一者、摶食，二者、觸食，三[者]、意思食，四者、識食。

若比丘**於此四食有喜有貪，則識住增長；識住增長故，入於名色；入名色故，諸行增長；[諸]行增長故，當來有增長；當來有增長故，生、老病死、憂悲惱苦集，如是純大苦聚集。**

若於四食無貪無喜；無貪無喜故，識不住、不增長；識不住、不增長故，不入名色；不入名色故，行不增長；行不增長故，當來有不生不長；當來有不生長故，於未來世生、老病死、憂悲惱苦不起，如是純大苦聚滅。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※生（78,315,360,372,609,899）

大正 360/印順 513/佛光 359(因緣 SN12.39)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**若思量，若妄想者，則有使，攀緣識住；有攀緣識住故，入於名色；入名色故，有未來世生、老病死、憂悲惱苦，如是純大苦聚集。**

若不思量，無妄想，無使，無攀緣識住；無攀緣識住故，不入名色；不入名色故，生、老病死、憂悲惱苦滅，如是純大苦聚滅。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※老病死、憂悲惱苦（253,298,344,473,474,490）

大正 302/印順 483/佛光 340(因緣 SN12.17)

如是我聞：一時，佛住王舍城耆闍崛山。

爾時，世尊晨朝著衣持鉢，出耆闍崛山，入王舍城乞食。

時，有阿支羅迦葉，為營小事出王舍城，向耆闍崛山，遙見

世尊。見已，詣佛所，白佛言：「瞿曇！欲有所問，寧有閑暇見答與不？」

佛告迦葉：「今非論時，我今入城，乞食來還，則是其時，當為汝說。」

第二，亦如是說。第三，復問瞿曇：「何為我作留難！瞿曇！云何有異！我今欲有所問，為我解說！」

佛告阿支羅迦葉：「隨汝所問。」

阿支羅迦葉白佛言：「云何，瞿曇！苦自作耶？」

佛告迦葉：「**苦自作者，此是無記。**」

迦葉復問：「云何，瞿曇！苦他作耶？」

佛告迦葉：「**苦他作者，此亦無記。**」

迦葉復問：「苦自、他作耶？」

佛告迦葉：「**苦自、他作，此亦無記。**」

迦葉復問：「云何，瞿曇！苦非自、非他，無因作耶？」

佛告迦葉：「**苦非自、非他、無因作者，此亦無記。**」

迦葉復問：「云何，瞿曇！所問苦自作耶，答言無記？他作耶，自、他作耶，非自、非他、無因作耶，答言無記？今無此苦耶？」

佛告迦葉：「**非無此苦，然有此苦。**」

迦葉白佛言：「善哉！瞿曇說有此苦，為我說法，令我知苦、見苦。」

佛告迦葉：「**若受即自受者，我應說苦自作；若他受，他即受者，是則他作；若受自受他受復與苦者，如是者自他作，我亦不說；若不因自他，無因而生苦者，我亦不說。離此諸邊，說其中道。**」

「**如來說法，此有故彼有，此起故彼起，謂緣無明行，乃至純大苦聚集。[此無故彼無，此滅故彼滅，謂]無明滅則行滅，乃至純大苦聚滅。**」

佛說此經已，阿支羅迦葉遠塵離垢，得法眼淨。

時，阿支羅迦葉見法，得法，知法，入法，度諸狐疑，不由他知，不因他度，於正法律，心得無畏。合掌白佛言：「世

尊！**我今已度。**我從今日，歸依佛、歸依法、歸依僧，盡壽作優婆塞，證知我！」

阿支羅迦葉聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。時，阿支羅迦葉辭世尊去不久，為護犢牸牛所觸殺。於命終時，諸根清淨，顏色鮮白。

爾時，世尊入城乞食。時，有眾多比丘，亦入王舍城乞食，聞有傳說：阿支羅迦葉從世尊聞法，辭去不久，為牛所觸殺；**於命終時，諸根清淨，顏色鮮白。**

諸比丘乞食已，還出，舉衣鉢，洗足已，詣世尊所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！我今晨朝，眾多比丘入城乞食，聞阿支羅迦葉，從世尊聞法律，辭去不久，為護犢牸所觸殺；於命終時，諸根清淨，顏色鮮白。**世尊！彼生何趣？何處受生？彼何所得？**」

佛告諸比丘：「**彼已見法，知法，次法，不受於法，已般涅槃，**汝等當往供養其身。」

爾時，世尊為阿支羅迦葉授第一記。

4-4.四聖諦三轉十二行

※初轉法輪，驚天動地

大正 379/印順 542/佛光 378(諦 SN56.11)

如是我聞：一時，佛住波羅柰鹿野苑中仙人住處。

爾時，世尊告五比丘：「此苦聖諦，本所未曾聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。此苦集、此苦滅、此苦滅道跡聖諦，本所未曾聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。」

「復次，苦聖諦(知)當復知，本所未聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。苦集聖諦已知當斷，本所未曾聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。復次，*此苦滅聖諦已知當*作證，本所未聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。復(次)，此苦滅道跡聖諦已知當修，本所未曾聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。」

「復次，比丘！此苦聖諦已知已知出，所未聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。復次，此苦集聖諦已知已斷出，所未聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。復次，苦滅聖諦已知已作證出，所未聞法，當正思惟時，生眼、智、明、

覺。復次，苦滅道跡聖諦已知已修出，所未曾聞法，當正思惟時，生眼、智、明、覺。」

「諸比丘！我於此四聖諦，三轉、十二行，不生眼、智、明、覺者，我終不得於諸天、魔、梵，沙門、婆羅門、聞法眾中，為解脫，為出，為離，亦不自證得阿耨多羅三藐三菩提。」

「我已於四聖諦三轉、十二行，生眼、智、明、覺故，於諸天、魔、梵，沙門、婆羅門、聞法眾中，得出得脫，自證得成阿耨多羅三藐三菩提。」

爾時，世尊說是法時，尊者憍陳如、及八萬諸天，遠塵離垢，得法眼淨。

爾時，世尊告尊者憍陳如：「知法未？」

憍陳如白佛：「已知，世尊！」

復告尊者憍陳如：「知法未？」

拘鄰白佛：「已知，善逝！」

尊者拘鄰已知法故，是故名阿若拘鄰。

尊者阿若拘鄰知法已，地神舉聲唱言：「諸仁者！世尊於波羅柰國仙人住處鹿野苑中，三轉、十二行法輪，諸沙門、婆羅門，諸天、魔、梵所未曾轉；多所饒益，多所安樂，哀愍世間，以義饒益，利安天人，增益諸天眾，減損阿修羅眾。」

地神唱已，聞虛空神天，四天王天，三十三天，炎魔天，兜率陀天，化樂天，他化自在天，展轉傳唱，須臾之間，聞于梵身天，梵天乘聲唱言：「諸仁者！世尊於波羅柰國仙人住處鹿野苑中，三轉、十二行法輪，諸沙門、婆羅門，諸天、魔、梵，及世間聞法未所曾轉；多所饒益，多所安樂，以義饒益諸天、世人，增益諸天眾，減損阿修羅眾。」

世尊於波羅柰國仙人住處鹿野苑中轉法輪，是故此經名轉法輪經。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

※四聖諦如登階梯

大正 436/印順 630/佛光 435(諦 SN56.44,30)

如須達長者所問，有異比丘問，亦如是說，唯譬有差別：「如有四登階道昇於殿堂，若有說言：『不登初階而登第二、第三、第四階昇堂殿。』者，無有是處，所以者何？要由初階，然後次登第二、第三、第四階，得昇殿堂，如是，比丘！**於苦聖諦未無間等，而欲於苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦無間等者，無有是處。**

譬如：比丘！若有人言：『以四階道昇於殿堂，要由初階，然後次登第二、第三、第四階，得昇殿堂。』應作是說，所以者何？要由初階，然後次登第二、第三、第四階，昇於殿堂，有是處故。

如是，比丘！若言於苦聖諦無間等已，然後次第於苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦無間等者，應作是說，所以者何？**若於苦聖諦無間等已，然後次第於苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦無間等者，有是處故。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※一切賢聖諸佛皆於四聖諦如實知

大正 393/印順 563-83/佛光 392(諦 SN56.3,4,23,24)

如是我聞：一時，佛住波羅榇國仙人住處鹿野苑中。

爾時，世尊告諸比丘：「**若善男子正信非家出家學道，彼一切所應，當知四聖諦法。**何等為四？謂：知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。

是故，比丘！**於四聖諦未無間等者，當勤方便，修無間等。**」

如此章句，一切四聖諦經應當具說。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如是知、如是見、如是無間等悉應當說。

又，「**三結盡，得須陀洹，一切當知四聖諦。**何等為四？謂：知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。」

如是當知、如是當見、如是無間等悉應當說。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

「**若三結盡，貪恚癡薄，得斯陀含，彼一切皆於四聖諦如實知故。**何等為四？謂：知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。」

如是當知、如是當見、如是無間等亦如是說。

「**五下分結盡，生般涅槃，阿那含不還此世，彼一切知四聖諦。**何等為四？知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。」

如是知、如是見、如是無間等亦如是說。

「**若一切漏盡，無漏心解脫、慧解脫，見法自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』彼一切悉知四聖諦。**何等為四？謂：知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。」

如是知、如是見、如是無間等亦如是說。

「**若得辟支佛道證，彼一切知四聖諦故。**何等為四？謂：知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。」

如是知、如是見、如是無間等亦如是說。

「**若得無上等正覺，彼一切知四聖諦故。**何等為四？謂：知苦聖諦，知苦集聖諦，知苦滅聖諦，知苦滅道跡聖諦。」

如是知、如是見、如是無間等亦如是說。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

4-5.四食

大正 371/印順 534/佛光 370(食 AA29.4;SN12.11)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有四食，資益眾生，令得住世，攝受長養，何等為四？謂：一、麁摶食、二、細觸食，三、意思食，四、識食。此四食何因？何集？何生？何觸？謂：**此諸食，愛因、愛集、愛生、愛觸。**

此愛何因？何集？何生？何觸？謂：愛，受因、受集、受生、受觸。

此受何因？何集？何生？何觸？謂：受，觸因、觸集、觸生、觸觸。

此觸何因？何集？何生？何觸？謂：觸，六入處因、六入處集、六入處生、六入處觸。

六入處集是觸集，觸集是受集，受集是愛集，愛集是食集，食集故未來世生、老病死、憂悲惱苦集，如是純大苦聚集。

如是，**六入處滅則觸滅，觸滅則受滅，受滅則愛滅，愛滅則食滅，食滅故於未來世生、老病死、憂悲惱苦滅，如是純大苦聚滅。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 373/印順 536/佛光 372(食 SN12.63)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「**有四食，資益眾生，令得住世，攝受長養，云何為四？謂：一、麁摶食，二、細觸食，三、意思食，四、識食。**

云何比丘觀察摶食？

譬如有夫婦二人，唯有一子，愛念將養。欲度曠野嶮道難處，糧食乏盡，飢餓困極，計無濟理，作是議言：『正有一

子，極所愛念，若食其肉，可得度難，莫令在此三人俱死。』作是計已，即殺其子，含悲垂淚，強食其肉，得度曠野。

云何比丘！彼人夫婦共食子肉，寧取其味，貪嗜美樂與不？」

答曰：「不也，世尊！」

復問比丘：「彼強食其肉，為度曠野嶮道與不？」

答言：「如是，世尊！」

佛告比丘：「**凡食摶食，當如是觀！如是觀者，摶食斷知；摶食斷知已，於五欲功德貪愛則斷；五欲功德貪愛斷者，我不見彼多聞聖弟子於五欲功德上有一結使而不斷者；有一結繫故，則還生此世。**

云何比丘觀察觸食？

譬如有牛生剝其皮，在在處處，諸蟲啖食，沙土坌塵，草木針刺。若依於地，地蟲所食；若依於水，水蟲所食；若依空中，飛蟲所食；臥起常有苦毒此身。

如是，比丘！**於彼觸食，當如是觀！如是觀者，觸食斷知；觸食斷知者，三受則斷；三受斷者，多聞聖弟子於上無所復作，所作已作故。**

云何比丘觀察意思食？

譬如聚落、城邑邊有火起，無煙無炎。時，有士夫聰明黠慧，背苦向樂，厭死樂生，作如是念：『彼有大火，無煙無炎，行來當避，莫令墮中，必死無疑。』作是思惟，常生思願，捨遠而去。

觀意思食，亦復如是。如是觀者，意思食斷[知]；意思食斷[知]者，三愛則斷；三愛斷者，彼多聞聖弟子於上更無所作，所作已作故。

諸比丘！云何觀察識食？

譬如國王有防邏者，捉捕劫盜，縛送王所，如前須深經廣說。以彼因緣受三百矛苦，覺晝夜苦痛。

觀察識食，亦復如是。如是觀者，識食斷知；識食斷知者，名色斷知；名色斷知者，多聞聖弟子於上更無所作，所作已作故。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 377/印順 540/佛光 376(食 SN12.64)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有四食資益眾生，令得住世，攝受長養，何等為四？一者、摶食，二者、觸食，三、意思食，四者、識食。

諸比丘！**於此四食有貪有喜，識住增長，乃至……純大苦聚集**。

譬如比丘！樓閣宮殿，北西長廣，東西牖牖，日出東方，應照何所？」

比丘白佛言：「應照西壁。」

佛告比丘：「如是，四食有貪有喜，識住增長，乃至……如是，[純]大苦聚集。

若於四食無貪無喜，亦無識住增長，乃至……如是純大苦聚滅。

譬如比丘！畫師、畫師弟子集種種彩色，欲粧畫虛空，寧能畫不？」

比丘白佛：「不能，世尊！所以者何？彼虛空者，非色、無對、不可見。」

「如是，比丘！於此四食無貪無喜，亦無識住增長，乃至……如是純大苦聚滅。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

4-6.三十七道品

◎四念處

大正 275/印順 398/佛光 274(入處 OA6;AN8.9)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「其有說言『大力者，其唯難陀』，此是正說；其有說言『最端政者，其唯難陀』，是則正說；其有說言『愛欲重者，其唯難陀』，是則正說。

諸比丘！而今難陀關閉根門，飲食知量，初夜、後夜精勤修習，正念、正智成就，堪能盡壽純一滿淨梵行清白。

彼難陀比丘**關閉根門故，若眼見色，不取色相，不取隨形好；若諸眼根增不律儀，無明闇障、世間貪憂、惡不善法不漏其心，生諸律儀，防護於眼。**耳……鼻……舌……身……意根生諸律儀，是名難陀比丘關閉根門。

飲食知量者，難陀比丘於食繫數：不自高、不放逸、不著色、不著莊嚴，支身而已；任其所得，為止飢渴、修梵行故；故起苦覺令息滅，未起苦覺令不起故，成其崇向故，氣力、安樂、無聞獨住故。

如人乘車，塗以膏油，不為自高，……乃至莊嚴，為載運故；又如塗瘡，不貪其味，為息苦故。如是，善男子難陀知量而食，乃至無聞獨住，是名難陀知量而食。

彼善男子難陀，初夜、後夜精勤修業者，彼難陀晝則經行、坐禪，除去陰障，以淨其身。於初夜時，經行、坐禪，除去陰障，以淨其身。於中夜時，房外洗足，入於室中，右脅而臥，屈膝累足，係念明想，作起覺想。於後夜時，徐覺、徐起，經行、坐禪。是名善男子難陀初夜、後夜精勤修習。

彼善男子難陀勝念、正知者，是善男子難陀觀察東方，一心正念，安住觀察；觀察南、西、北方，亦復如是，一心正念，安住觀察。如是觀者，世間貪憂、惡不善法不漏其心。彼善男子難陀，覺諸受起，覺諸受住，覺諸受滅，正念而住，不令散亂；覺諸想起，覺諸想住，覺諸想滅；覺諸覺起，覺諸覺住，覺諸覺滅，正念而住，不令散亂，是名善男子難陀正念、正智成就。

是故，諸比丘當作是學：關閉根門，如善男子難陀；飲食知量，如善男子難陀；初夜後夜精勤修業，如善男子難陀；正念、正智成就，如善男子難陀。如教授難陀法，亦當持是為其餘人說。」

時，有異比丘而說偈言：「

善關閉根門，正念攝心住，飲食知節量，覺知諸心相。

善男子難陀，世尊之所歎。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 628/印順 791/佛光 642(念處 SN47.21)

如是我聞：一時，佛住巴連弗邑雞林精舍。

時，尊者優陀夷、尊者阿難陀亦住巴連弗邑雞林精舍。爾時，尊者優陀夷詣尊者阿難所，共相問訊，慰勞已，退坐一面，語尊者阿難：「如來、應供、等正覺所知所見，為諸比丘說聖戒，令不斷、不缺、不擇、不離、不戒取、善究竟、善持、智者所歎、所不憎惡；**何故如來、應、等正覺所見為諸比丘說聖戒不斷、不缺、……乃至智者所歎、所不憎惡？**」

尊者阿難語優陀夷：「**為修四念處故，何等為四？謂：身身觀念住；受……心……法法觀念住。**」

時，二正士共論議已，各還本處。

大正 636/印順 810/佛光 650(念處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住巴連弗邑雞林精舍。

爾時，世尊告諸比丘：「當為汝說修四念處，何等為修四念處？若比丘！如來、應、等正覺、明行足、善逝、世間解、

無上士調御丈夫、天人師、佛、世尊出興于世，演說正法，上語亦善、中語亦善、下語亦善，善義善味，純一滿淨，梵行顯示，若族姓子、族姓女從佛聞法，得淨信心，如是修學，見在家和合欲樂之過，煩惱結縛，樂居空閑，出家學道，不樂在家，處於非家，欲一向清淨，盡其形壽，純一滿淨，鮮白梵行：『我當剃除髮鬚，著袈裟衣，正信非家出家學道。』

作是思惟已，即便放捨錢財親屬，剃除鬚髮，著袈裟衣，正信非家出家學道，**正其身行，護口四過，正命清淨，習賢聖戒，守諸根門，護心正念：眼見色時，不取形相，若於眼根住不律儀，世間貪憂惡不善法常漏於心，而(令)於眼起正律儀；耳、鼻、舌、身、意起正律儀亦復如是，彼以賢聖戒律成就，善攝根門，來往、周旋、顧視、屈伸、坐臥、眠覺、語默住智正智。**

彼成就如此聖戒，守護根門，正智正念，寂靜遠離，空處樹下、閑房獨坐，正身正念，繫心安住，斷世貪憂，離貪欲，淨除貪欲，斷世瞋恚、睡眠、掉悔、疑蓋；離瞋恚、睡眠、

掉悔、疑蓋；淨除瞋恚、睡眠、掉悔、疑蓋；斷除五蓋：惱心、慧力羸、諸障閡分不趣涅槃者，是故，內身身觀念住，精勤方便，正智、正念，調伏世間貪憂，如是外身……內外身……；受……心……法法觀念住亦如是說，是名比丘修四念處。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 627/印順 790/佛光 641(念處 SN52.4)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿那律陀詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！若有比丘住於學地，未得上進安隱涅槃而方便求，是聖弟子當云何於正法律修習，多修習，得盡諸漏，……乃至自知不受後有？」

佛告阿那律：「若聖弟子住於學地，未得上進安隱涅槃而方便求，彼於爾時，當內身身觀念住，精勤方便，正智、正念，調伏世間貪、憂；如是，受……心……法法觀念住，精

勤方便，正智、正念，調伏世間貪、憂。如是，聖弟子多修習已，得盡諸漏，……乃至自知不受後有。」

爾時，尊者阿那律陀聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 615/印順 777/佛光 629(念處 SN47.10)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿難晨朝著衣持鉢，入舍衛城乞食，於路中思惟：「我今先至比丘尼寺。」即往比丘尼寺。

諸比丘尼遙見尊者阿難來，疾敷床座，請令就座。時，諸比丘尼禮尊者阿難足，退坐一面，白尊者阿難：「我等諸比丘尼修四念處，繫心住，自知前後昇降。」

尊者阿難告諸比丘尼：「善哉！善哉！姊妹！當如汝等所說而學：**凡修習四念處，善繫心住者，應如是知前後昇降。**」

時，尊者阿難為諸比丘尼種種說法，種種說法已，從座起去。爾時，尊者阿難於舍衛城中乞食還，舉衣鉢，洗足已，詣世尊所，稽首佛足，退坐一面，以比丘尼所說，具白世尊。

佛告阿難：「善哉善哉！應如是學四念處，善繫心住，知前後昇降，所以者何？心於外求，然後制令求其心，散亂心不解脫，皆如實知。

若比丘於身身觀念住，於彼身身觀念住已，若身眈睡，心法懈怠，彼比丘當起淨信：取於淨相，起淨信心。

憶念淨相已其心則悅；悅已生喜；其心喜已身則猗息；身猗息已則受身樂；受身樂已其心則定。

心定者，聖弟子當作是學：『我於此義，外散之心攝令休息，不起覺想及已觀想，無覺無觀，捨念樂住；樂住已，如實知。』

受……心……法念[住]亦如是說。」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行。

※成佛未久，思惟教授之道

大正 1189/印順 1289/佛光 1173(梵天 SN47.18)

如是我聞：一時，佛住欝毘羅聚落、尼連禪河側菩提樹下，成佛未久。

爾時，世尊獨靜思惟，作是念：「**有一乘道，能淨眾生，度諸憂悲，滅除苦惱，得真如法，謂四念處。何等為四？身身觀念處，受、心、法法觀念處。**」

「若有人不樂四念處者，則不樂如聖法；不樂如聖法者，則不樂如聖道；不樂如聖道者，則不樂甘露法；不樂甘露法者，則不解脫生老病死、憂悲惱苦。」

「**若樂修四念處者，則樂修如聖法；樂修如聖法者，則樂如聖道；樂如聖道者，則樂甘露法；樂甘露法者，得解脫生老病死、憂悲惱苦。**」

爾時，娑婆世界主梵天王知佛心念已，譬如力士屈伸臂頃，於梵天沒，住於佛前，作是歎言：「如是，世尊！如是，善逝！有一乘道，能淨眾生，謂四念處，……乃至解脫生老病死、憂悲惱苦。」

時，梵天王復說偈言：「

謂有一乘道，見生諸有邊，演說於正法，安慰苦眾生。

過去諸世尊，以乘斯道度；當來諸世尊，亦度乘斯道；

現在尊正覺，乘此度海流。究竟生死際，調伏心清淨，

於生死輪轉，悉已永消盡；知種種諸界，慧眼顯正道。

譬若恒水流，悉歸趣大海，激流浚漂遠，正道亦如是。

廣智善顯示，逮得甘露法，殊勝正法輪，本所未曾聞，

哀愍眾生故，而為眾生轉。覆護天人眾，令度有彼岸，

是故諸眾生，咸皆稽首禮！」

爾時，梵天王聞佛所說，歡喜隨喜，稽首佛足，　沒不現。

※四念處集與沒

大正 609/印順 764/佛光 623(念處 SN47.42)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「我今當說四念處集、四念處沒，諦聽！善思！何等為四念處集、四念處沒？

食集則身集，食滅則身沒，如是，隨身集觀住，隨身滅觀住，隨身集滅觀住，則無所依住，於諸世間永無所取。

如是，觸集則受集，觸滅則受沒，如是，隨集法觀受住，隨滅法觀受住，隨集滅法觀受住，則無所依住，於諸世間都無所取。

名色集則心集，名色滅則心沒，隨集法觀心住，隨滅法觀心住，隨集滅法觀心住，則無所依住，於諸世間則無所取。憶念集則法集，憶念滅則法沒，隨集法觀法住，隨滅法觀法住，隨集滅法觀法住，則無所依住，於諸世間則無所取。是名四念處集、四念處沒。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※法念處觀生死集滅

大正 352/印順 494/佛光 351(因緣 SN12.13,14)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若諸沙門、婆羅門於法不如實知，法集、法滅、法滅道跡不如實知，彼非沙門、沙門數，非婆羅門、婆羅門數，彼亦非沙門義、婆羅門義，見法自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』云何法不如實知？云何法集不如實知？云何法滅不如實知？云何法滅道跡不如實知？謂：於老死法不如實知，老死集，老死滅，老死滅道跡不如實知，如是，生……有……取……

愛……受……觸……六入處不如實知，六入處集、六入處滅、六入處滅道跡不如實知。如是，諸法不如實知，法集、法滅、法滅道跡不如實知。

若諸沙門、婆羅門於法如實知，法集、法滅、法滅道跡如實知，當知是沙門、婆羅門，沙門之沙門數，婆羅門之婆羅門數，彼以沙門義、婆羅門義，見法自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

何等法如實知？何等法集、法滅、法滅道跡如實知？謂：**老死法如實知，老死集、老死滅、老死滅道跡如實知，如是，生……有……取……愛……受……觸……六入處如實知，六入處集、六入處滅、六入處滅道跡如實知。如是，諸法如實知，法集、法滅、法滅道跡如實知。」**

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※依安般念修四念處

大正 810/印順 1098/佛光 822(安般念 SN54.13,14)

如是我聞：一時，佛住金剛跋求摩河側薩羅梨林中。

爾時，尊者阿難獨一靜處，思惟禪思，作如是念：「頗有一法修習多修習，令四法滿足；四法滿足已，七法滿足；七法滿足已，二法滿足？」

時，尊者阿難從禪覺已，往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！我獨一靜處，思惟禪思，作是念：『頗有一法多修習已，令四法滿足，……乃至二法滿足？』我今問世尊：『寧有一法多修習已，能令乃至二法滿足耶？』」

佛告阿難：「**有一法，多修習已，……乃至能令二法滿足。何等為一法？謂：安那般那念多修習已，能令四念處滿足；四念處滿足已，七覺分滿足；七覺分滿足已，明、解脫滿足。**

云何修安那般那念，四念處滿足？

是比丘依止聚落，……乃至如滅出息念學。

阿難！如是，聖弟子入息念時，如入息念學；出息念時，如出息念學。若長；若短。一切身行覺知入息念時，如入息念學；出息念時，如出息念學。身行休息入息念時，如身行休

息入息念學；身行休息出息念時，如身行休息出息念學。聖弟子爾時身身觀念住，異於身者，彼亦如是隨身比思惟。

若有時聖弟子喜覺知。樂覺知。心行覺知。心行息覺知入息念時，如心行息入息念學；心行息出息念時，如心行息出息念學。是聖弟子爾時受受觀念住，若復異受者，彼亦隨受比思惟。

有時聖弟子心覺知。心悅。心定。心解脫覺知入息念時，如入息念學；心解脫出息念時，如心解脫出息念學。是聖弟子爾時心心觀念住，若有異心者，彼亦隨心比思惟。

若聖弟子有時觀無常、斷、無欲、滅，如無常、斷、無欲、滅觀住學。是聖弟子爾時法法觀念住，異於法者，亦隨法比思惟。

是名修安那般那念，滿足四念處。」

阿難白佛：「如是，修習安那般那念令四念處滿足。云何修四念處令七覺分滿足？」

佛告阿難：「若比丘身身觀念住。念住已，繫念住不忘。爾時方便修念覺分；修念覺分已，念覺分滿足。

念覺滿足已，於法選擇、思量，爾時方便修擇法覺分；修擇法覺分已，擇法覺分滿足。

於法選擇、分別、思量已，得精勤方便，爾時方便修習精進覺分；修精進覺分已，精進覺分滿足。

方便精進已，則心歡喜，爾時方便修喜覺分；修喜覺分已，喜覺分滿足。

歡喜已，身、心猗息，爾時方便修猗覺分；修猗覺分已，猗覺分滿足。

身心樂已，得三昧，爾時修定覺分；修定覺分已，定覺分滿足。

定覺分滿足已，貪憂則滅，得平等捨，爾時方便修捨覺分；修捨覺分已，捨覺分滿足。

受……心……法法念處亦如是說，是名修四念處，滿足七覺分。」

阿難白佛：「是名修四念處滿足七覺分。云何修七覺分滿足明、解脫？」

佛告阿難：「**若比丘修念覺分，依遠離、依無欲、依滅、向於捨修念覺分已，滿足明、解脫，……乃至修捨覺分，依遠離、依無欲、依滅、向於捨，如是修捨覺分已、明、解脫滿足。**

阿難！是名**法法相類，法法相潤，如是，十三法，一法為增上，一法為門，次第增進，修習滿足。**」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行。

大正 813/印順 1101/佛光 825(安般念 SN54.10)

如是我聞：一時，佛住金毘羅聚落金毘林中。

爾時，世尊告尊者金毘羅：「我今當說**精勤修習四念處**，諦聽！善思！當為汝說。」

爾時，尊者金毘羅默然住。如是再三。

爾時，尊者阿難語尊者金毘羅：「今大師告汝！」

如是三說。

尊者金毘羅語尊者阿難：「我已知，尊者阿難！我已知，尊者瞿曇！」

爾時，尊者阿難白佛言：「世尊是時，世尊是時，善逝唯願為諸比丘，說精勤修四念處，諸比丘聞已，當受奉行。」

佛告阿難：「諦聽善思！當為汝說。**若比丘入息念時，如入息學；……乃至滅出息時，如滅出息學。**

爾時，聖弟子念入息時，如念入息學；……乃至身行止息出息時，如身行止息出息學。

爾時，聖弟子身身觀念住；爾時，聖弟子身身觀念住已，如是，知善內思惟。」

佛告阿難：「譬如：有人乘車輿從東方顛沛而來，當於爾時，踐蹈諸土堆壟不？」

阿難白佛：「如是，世尊！」

佛告阿難：「如是，聖弟子念入息時，如入息念學；如是，……乃至善內思惟。

若爾時，聖弟子覺知喜，……乃至覺知意行息學。

聖弟子受受觀念住；聖弟子受受觀念[住]已，如是，知善內思惟。

譬如：有人乘車輿從南方顛沛而來，云何，阿難！當踐蹈土堆壟不？」

阿難白佛：「如是，世尊！」

佛告阿難：「如是，聖弟子受受觀念住，知善內思惟。

若聖弟子覺知心；欣悅心；定心；解脫心入息，如解脫心入息學；解脫心出息，如解脫心出息學。

爾時，聖弟子心心觀念住；如是，聖弟子心心觀念住已，知善內思惟。

譬如：有人乘車輿從西方來，彼當踐蹈土堆壟不？」

阿難白佛：「如是，世尊！」

佛告阿難：「如是，聖弟子覺知心，……乃至心解脫出息，如心解脫出息學，如是，聖弟子爾時心心觀念住，知善內思惟。

善於身、受、心，貪憂滅捨。

(……應當漏了四階法念住的經文……)**爾時，聖弟子法法觀念住，如是，聖弟子法法觀念住已，知善內思惟。**

阿難！譬如：四衢道有土堆壟，有人乘車輿從北方顛沛而來，當踐蹈土堆壟不？」

阿難白佛：「如是，世尊！」

佛告阿難：「如是，聖弟子法法觀念住，知善內思惟。阿難！是名比丘精勤方便，修四念處。」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行

◎四神足

大正 561/印順 1637/佛光 560(阿難 SN51.15,13)

如是我聞：一時，佛住俱睒彌國瞿師羅園，尊者阿難亦在彼住。

時，有異婆羅門詣尊者阿難所，共相問訊，慰勞已，於一面坐，問尊者阿難：「何故於沙門瞿曇所修梵行？」

尊者阿難語婆羅門：「**為斷故**。」

復問：「尊者！何所斷？」

答言：「**斷愛**。」

復問：「尊者阿難！何所依而得斷愛？」

答言：「婆羅門！**依於欲而斷愛。**」

復問：「尊者阿難！豈非無邊際？」

答言：「婆羅門！**非無邊際，如是，有邊際，非無邊際。**」

復問：「尊者阿難！云何有邊際，非無邊際？」

答言：「婆羅門！我今問汝，隨意答我。婆羅門！於意云何？汝先有欲，來詣精舍不？」

婆羅門答言：「如是，阿難！」

「如是，婆羅門！來至精舍已，彼欲息不？」

答言：「如是，尊者阿難！彼精進、方便、籌量來詣精舍。」

復問：「至精舍已，彼精進、方便、籌量息不？」

答言：「如是。」

尊者阿難復語婆羅門：「如是，婆羅門！**如來、應、等正覺所知所見說四如意足，以一乘道淨眾生，滅苦惱，斷憂悲，何等為四？欲定斷行成就如意足，精進定、心定、思惟定斷行成就如意足。**

如是，聖弟子修欲定斷行成就如意足，依離、依無欲、依出要、依滅、向於捨，乃至斷愛；愛斷已，彼欲亦息。

修精進定……心定……思惟定斷行成就，依離、依無欲、依出要、依滅、向於捨，乃至愛盡；愛盡已，思惟則息。

婆羅門！於意云何？此非邊際耶？」

婆羅門言：「尊者阿難！此是邊際，非不邊際。」

爾時婆羅門聞尊者阿難所說，歡喜隨喜，從座起去。

◎五根、五力

※生善為五根

大正 855/印順 1159/佛光 867(不壞淨 SN55.40)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有難提優婆塞，來詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！若聖弟子於此五根一切時不成就者，為放逸？為不放逸？」

佛告難提：「若於此五根一切時不成就者，我說此等為凡夫數；若聖弟子不成就者，為放逸，非不放逸。

難提！若聖弟子於佛不壞淨成就而不上求，不於空閑林中若露地坐，晝夜禪思，精勤修習勝妙出離，饒益隨喜，彼不隨喜已歡喜不生；歡喜不生已身不猗息；身不猗息已苦覺則生；苦覺生已心不得定；心不得定者，是聖弟子名為放逸。於法、僧不壞淨、聖戒成就亦如是說。

如是，難提！**若聖弟子成就於佛不壞淨，其心不起知足想，於空閑林中樹下、露地，晝夜禪思，精勤方便，能起勝妙出離隨喜，隨喜已生歡喜，生歡喜已身猗息，身猗息已覺受樂，覺受樂已心則定，若聖弟子心定者名不放逸。**法、僧不壞淨、聖戒成就亦如是說。」

佛說此經已，難提優婆塞聞佛所說，歡喜隨喜，從座起，禮佛足而去。

※五根不空無果

大正 652/印順 824/佛光 664(根 SN48.18,12-14)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘如上說，差別者：「若比丘於此五根若利、若滿足，得阿羅漢；若軟、若劣，得阿那含；若軟、若劣，得斯陀含；若軟、若劣，得須陀洹。

滿足者成滿足事，不滿足者成不滿足事，於此五根不空無果。若於此五根一切無者，我說彼為外道凡夫之數。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 656/印順 828/佛光 668(根 SN48.52)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五根，何等為五？信根、精進根、念根、定根、慧根。

若聖弟子成就慧根者，能修信根，依離、依無欲、依滅、向於捨，是名信根成就；信根成就，即是慧根。

如信根，如是精進根、念根、定根、慧根亦如是說。

是故，就此五根，慧根為其首，以攝持故。

譬如堂閣，棟為其首，眾材所依，以攝持故，如是，五根慧為其首，以攝持故。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※斷惡為五力

大正 181/印順 11014-333/佛光 183(斷知 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「猶如有人火燒頭衣，當云何救？」

比丘白佛言：「世尊！當起增上欲，慇懃方便，時救令滅。」

佛告比丘：「**頭衣燒然尚可暫忘，無常盛火當盡斷；為斷無常火故，當修信力。斷何等無常故當修信力？謂：斷色無常故，當修信力，斷受、想、行、識無常故，當修信力。」如是廣說……乃至……。**

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如無常，如是，過去無常、未來無常、現在無常、過去未來無常、過去現在無常、未來現在無常、過去未來現在無常，八經亦如上說。

如信力，如是，精進力、念力、定力、慧力，八經亦如上說。

如當斷四十經，如是，當知、當吐、當盡、當止、當捨、當滅、當沒，一一，四十經亦如上說。

◎七覺分

大正 723/印順 920/佛光 735(覺支 SN46.3)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「善哉！比丘(依)人聞法，諸年少比丘供養奉事諸尊長老，所以者何？**年少比丘供養奉事長老比丘者，時時得聞深妙之法，聞深法已，二正事成就：身正及心正，爾時，修念覺分。**修念覺分已，念覺分滿足；念覺滿足已，於法選擇、分別於法、思量於法，爾時，方便修擇法覺分。……乃至捨覺分修習滿足。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 733/印順 930/佛光 745(覺支 SN46.5)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有異比丘來詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊謂覺分，世尊！云何為覺分？」

佛告比丘：「所謂覺分者，謂七道品法。然諸比丘，**七覺分漸次而起，修習滿足。**」

異比丘白佛：「世尊！云何覺分漸次而起，修習滿足？」

佛告比丘：「**若比丘內身身觀住，彼內身身觀住時，攝心繫念不忘，彼當爾時念覺分方便修習。方便修習念覺分已，修習滿足。**

滿足念覺分已，於法選擇、分別、思量，當於爾時修擇法覺分方便。修方便已，修習滿足。

如是，……乃至捨覺分修習滿足。

如內身身觀念住，如是，外身、內外身；受……心……法法觀念住，**當於爾時專心繫念不忘**，……乃至捨覺分亦如是說。

如是住者，漸次覺分起，漸次起已，修習滿足。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 735/印順 932/佛光 747(覺支 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

如上說，差別者：「如是比丘**修習七覺分已，多修習已，得四種果、四種福利，何等為四？謂：須陀洹果、斯陀含果、阿那含果、阿羅漢果。**」

佛說此經已，異比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 713/印順 910/佛光 725(覺支 SN46.52)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有眾多比丘晨朝著衣持鉢，入舍衛城乞食。時，眾多比丘作是念：「今日太早，乞食時未至，我等且過諸外道精舍。」

眾多比丘即入外道精舍，與諸外道共相問訊、慰勞，問訊、慰勞已，於一面坐已。

諸外道問比丘言：「沙門瞿曇為諸弟子說法：斷五蓋：覆心、慧力羸、為障礙分、不轉趣涅槃，住四念處，修七覺意，我等亦復為諸弟子說：斷五蓋：覆心、慧力羸，善住四念處，修七覺分，我等與彼沙門瞿曇有何等異？俱能說法。」

時，眾多比丘聞外道所說，心不喜悅，反呵罵，從座起去。入舍衛城乞食已，還精舍，舉衣鉢，洗足已，往詣佛所，稽首佛足，退坐一面，以諸外道所說，具白世尊。

爾時，世尊告眾多比丘：「彼外道說是語時，汝等應反問言：『**諸外道！五蓋者種應有十，七覺者種應有十四。**何等為五蓋之十，七覺之十四？』如是問者，彼諸外道則自駭散，說諸外道法，瞋恚、憍慢、毀呰、嫌恨，不忍心生，或默然低頭，失辯潛思，所以者何？我不見諸天、魔、梵、沙門、婆羅門，天、人眾中，聞我所說，歡喜隨順者，唯除如來及聲聞眾於此聞者。

諸比丘！何等為五蓋之十？謂：**有內貪欲，有外貪欲**：彼內貪欲者即是蓋，非智，非等覺，不轉趣涅槃；彼外貪欲即是

蓋，非智，非等覺，不轉趣涅槃；謂：**[有]瞋恚，有瞋恚相**：若瞋恚及瞋恚相，即是蓋，非智，非等覺，不轉趣涅槃；**有睡，有眠**：彼睡、彼眠即是蓋，非智，非等覺，不轉趣涅槃；**有掉，有悔**：彼掉、彼悔即是蓋，非智，非等覺，不轉趣涅槃；**有疑善法，有疑不善法**：彼善法疑、不善法疑即是蓋，非智，非等覺，不轉趣涅槃，是名五蓋說十。

何等為七覺分說十四？**有內法心念住，有外法心念住：彼內法念住即是念覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，**彼外法念住即是念覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃；**有擇善法，擇不善法：彼善法擇即是擇法覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，**彼不善法擇即是擇法覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃；**有精進斷不善法，有精進長養善法：彼斷不善法精進即是精進覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，**彼長養善法精進即是精進覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃；**有喜，有喜處：彼喜即是喜覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，**彼喜處亦即是喜覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃；**有身猗息，有心猗息：彼身猗息即是猗覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅

槃，**彼心猗息即是猗覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃；**有定，有定相：彼定即是定覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，**彼定相即是定覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃；**有捨善法，有捨不善法：彼善法捨即是捨覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，**彼不善法捨即是捨覺分**，是智，是等覺，能轉趣涅槃，是名七覺分說為十四。」

佛說此經已，眾多比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 714/印順 911/佛光 726(覺支 SN46.53)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。時，有眾多比丘……(，如上說，差別者)：「有諸外道出家作如是說者，當復問言：『**若心微劣猶豫者，爾時應修何等覺分？何等為非修時？若復掉心者，掉心猶豫者，爾時復修何等覺分？何等為非時？』如是問者，彼諸外道心則駭散**，說諸異法，心生忿恚、憍慢、毀呰、嫌恨、不忍，或默然低頭、失辯潛思，所以者何？**我不見諸天、魔、梵，沙門、婆羅門，天、**

人眾中，聞我所說，歡喜隨喜者，唯除如來及聲聞眾於此聞者。

諸比丘！若爾時其心微劣，其心猶豫者，不應修猗覺分、定覺分、捨覺分，所以者何？微劣心生，微劣猶豫，以此諸法增其微劣故。譬如：小火欲令其燃，增以燋炭，云何，比丘！非為增炭令火滅耶？」

比丘白佛：「如是，世尊！」

「如是，比丘！微劣猶豫，若修猗覺分、定覺分、捨覺分者，此則非時，增懈怠故。」

「若掉心起，若掉心猶豫，爾時不應修擇法覺分、精進覺分、喜覺分，所以者何？掉心起，掉心猶豫，以此諸法能令其增。譬如：熾火欲令其滅，足其乾薪，於意云何？豈不令火增熾燃耶？」

比丘白佛：「如是，世尊！」

佛告比丘：「如是，掉心生，掉心猶豫，修擇法覺分、精進覺分、喜覺分，增其掉心。」

「諸比丘！**若微劣心生，微劣猶豫，是時應修擇法覺分、精進覺分、喜覺分。所以者何？微劣心生，微劣猶豫，以此諸法示教照喜。**譬如：小火欲令其燃，足其乾薪，云何比丘！此火寧熾燃不？」

比丘白佛：「如是，世尊！」

佛告比丘：「如是，微劣心生，微劣猶豫，當於爾時修擇法覺分、精進覺分、喜覺分，示教照喜。」

「**若掉心生，掉心猶豫，修猗覺分、定覺分、捨覺分。所以者何？掉心生，掉心猶豫，此等諸法能令內住一心攝持。**譬如：燃火欲令其滅，足其燋炭，彼火則滅。

如是，比丘！[掉心生，]掉心猶豫，修擇法覺分、精進、喜[覺分]則非時；修猗、定、捨覺分，自此則是時，此等諸法內住一心攝持。

念覺分者，一切兼助。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 715/印順 912/佛光 727(覺支 SN46.2,51)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五蓋、七覺分，有食、無食，我今當說，諦聽！善思！當為汝說。

譬如：**身依食而立，非不食，如是，五蓋依於食而立，非不食。**

貪欲蓋以何為食？謂：**~~觸~~(淨)相，於彼不正思惟**，未起貪欲令起，已起貪欲能令增廣，是名欲愛蓋之食。

何等為瞋恚蓋食？謂：**障礙相，於彼不正思惟**，未起瞋恚蓋令起，已起瞋恚蓋能令增廣，是名瞋恚蓋食。

何等為睡眠蓋食？有五法，何等為五？**微弱、不樂、欠呿、多食、懈怠，於彼不正思惟**，未起睡眠蓋令起，已起睡眠蓋能令增廣，是名睡眠蓋食。

何等為掉悔蓋食？有四法，何等為四？謂：**親屬覺、人眾覺、天覺、本所經娛樂覺，自憶念、他人令憶念而生覺，於彼起不正思惟**，未起掉悔令起，已起掉悔令其增廣，是名掉悔蓋食。

何等為疑蓋食？有三世，何等為三？謂：過去世、未來世、現在世，於**過去世猶豫、未來世猶豫、現在世猶豫，於彼起不正思惟**，未起疑蓋令起，已起疑蓋能令增廣，是名疑蓋食。

譬如：**身依於食而得長養，非不食，如是，七覺分依食而住，依食長養，非不食。**

何等為念覺分不食？謂：**四念處不思惟**，未起念覺分不起，已起念覺分令退，是名念覺分不食。

何等為擇法覺分不食？謂：**於善法選擇，於不善法選擇，於彼不思惟**，未起擇法覺分令不起，已起擇法覺分令退，是名擇法覺分不食。

何等為精進覺分不食？謂：**四正斷於彼不思惟**，未起精進覺分令不起，已起精進覺分令退，是名精進覺分不食。

何等為喜覺分不食？**有喜、有喜處法，於彼不思惟**，未起喜覺分不起，已起喜覺分令退，是名喜覺分不食。

何等為猗覺分不食？**有身猗息及心猗息，於彼不思惟**，未生猗覺分不起，已生猗覺分令退，是名猗覺分不食。

何等為定覺分不食？**有四禪，於彼不思惟**，未起定覺分不起，已起定覺分令退，是名定覺分不食。

何等為捨覺分不食？**有三界，謂斷界、無欲界、滅界，於彼不思惟**，未起捨覺分不起，已起捨覺分令退，是名捨覺分不食。

何等為貪欲蓋不食？謂：**不淨觀於彼思惟**，未起貪欲蓋不起，已起貪欲蓋令斷，是名貪欲蓋不食。

何等為瞋恚蓋不食？彼**慈心思惟**，未生瞋恚蓋不起，已生瞋恚蓋令滅，是名瞋恚蓋不食。

何等為睡眠蓋不食？彼**明照思惟**，未生睡眠蓋不起，已生睡眠蓋令滅，是名睡眠蓋不食。

何等為掉悔蓋不食？彼**寂止思惟**，未生掉悔蓋不起，已生掉悔蓋令滅，是名掉悔蓋不食。

何等為疑蓋不食？彼**緣起法思惟**，未生疑蓋不起，已生疑蓋令滅，是名疑蓋不食。

譬如：**身依食而住，依食而立，如是，七覺分依食而住，依食而立。**

何等為念覺分食？謂：**四念處思惟**已，未生念覺分令起，已生念覺分轉生令增廣，是名念覺分食。

何等為擇法覺分食？**有擇善法，有擇不善法，彼思惟**已，未生擇法覺分令起，已生擇法覺分重生令增廣，是名擇法覺分食。

何等為精進覺分食？彼**四正斷思惟**，未生精進覺分令起，已生精進覺分重生令增廣，是名精進覺分食。

何等為喜覺分食？**有喜、有喜處，彼思惟**，未生喜覺分令起，已生喜覺分重生令增廣，是名喜覺分食。

何等為猗覺分食？**有身猗息、心猗息思惟**，未生猗覺分令起，已生猗覺分重生令增廣，是名猗覺分食。

何等為定覺分食？謂：**有四禪思惟**，未生定覺分令生起，已生定覺分重生令增廣，是名定覺分食。

何等為捨覺分食？有三界，何等三？謂：**斷界、無欲界、滅界，彼思惟**，未生捨覺分令起，已生捨覺分重生令增廣，是名捨覺分食。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

※覺分清淨純白

大正 718/印順 915/佛光 730(覺支 SN46.4)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者舍利弗告諸比丘：「有七覺分，何等為七？謂：念覺分、擇法覺分、精進覺分、喜覺分、猗覺分、定覺分、捨覺分。**此七覺分決定而得，不勤而得，我隨所欲，覺分正受。**若晨朝時、日中時、日暮時，若欲正受，隨其所欲，多入正受。

譬如：王、大臣有種種衣服，置箱篋中，隨其所須，日中所須、日暮所須，隨欲自在，如是，比丘！**此七覺分決定而得，不勤而得，隨意正受。我此念覺分清淨純白，起時知起，滅時知滅，沒時知沒；已起知已起，已滅知已滅，如是，擇法、精進、喜、猗、定、捨覺分亦如是說。**」

尊者舍利弗說此經已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

※隨時思惟三相修七覺分

大正 1247/印順 13340/佛光 991(譬喻 AN3.103)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「**應當專心方便，隨時思惟三相。云何為三？隨時思惟止相，隨時思惟舉相，隨時思惟捨相。**若比丘**一向思惟止相，則於是處其心下劣。**若復**一向思惟舉相，則於是處掉亂心起。**若復**一向思惟捨相，則於是處不得正定盡諸有漏。以彼比丘隨時思惟止相，隨時思惟舉相，隨時思惟捨相故，心則正定，盡諸有漏。**」

「如巧金師、金師弟子，以生金著於爐中增火，隨時扇韝，隨時水灑，隨時俱捨。若一向鼓韝者，即於是處生金焦盡。一向水灑，則於是處生金堅強。若一向俱捨，則於是處生金不熟，則無所用。是故巧金師、金師弟子，於彼生金，隨時鼓韝，隨時水灑，隨時兩捨，如是生金，得等調適，隨事所用。如是，比丘！**專心方便，時時思惟憶念三相，乃至漏盡。**」

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

◎八正道

大正 785/印順 1042/佛光 797(聖道分 MA189;MN117)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘（如上說，差別者）：「何等為正見？謂正見有二種：有正見是世俗、有漏、有取、轉向善趣；有正見是聖、出世間、無漏、無取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正見有漏、有取、向於善趣？**若彼見有施，有說，……乃至知世間有阿羅漢，不受後有，是名世間正見，世俗、有漏、有取、向於善趣。**

何等為正見是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊？謂：**聖弟子苦、苦思惟，集……滅……道、道思惟，無漏思惟相應，於法選擇、分別、推求、覺知、黠慧、開覺、觀察，是名正見，是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。**

何等為正志？謂正志[有]二種：有正志世俗、有漏、有取、向於善趣；有正志是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正志有世俗、有漏、有取、向於善趣？謂：**正志出要覺，無恚覺，不害覺，是名正志，世俗、有漏、有取、向於善趣。**

何等為正志是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊？謂：**聖弟子苦、苦思惟，集.....滅.....道、道思惟，無漏思惟相應心法，分別、自決、意解、計數、立意，是名正志，是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。**

何等為正語？正語有二種：有正語世俗、有漏、有取、向於善趣；有正語是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正語世俗、有漏、有取、向於善趣？謂：正語離妄語、兩舌、惡口、綺語，是名正語，世俗、有漏、有取、向於善趣。

何等正語是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊？謂：**聖弟子苦、苦思惟，集.....滅.....道、道思惟，除邪命貪，口四惡行，諸餘口惡行離，於彼無漏遠離不著，固守攝持不犯，不度時節，不越限防，是名正語，**是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正業？正業有二種：有正業世俗、有漏、有取、向於善趣；有正業是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正業，世俗、有漏、有取、轉向善趣？謂：離殺、盜、婬，是名正業，世俗、有漏、有取、轉向善趣。

何等為正業是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊？謂：**聖弟子苦、苦思惟，集.....滅.....道、道思惟，除邪命貪，身三惡行，諸餘身惡行數，無漏心不樂著，固守執持不犯，不度時節，不越限防，是名正業，是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。**

何等為正命？正命有二種：有正命是世俗、有漏、有取、轉向善趣；有正命是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正命世俗、有漏、有取、轉向善趣？謂：如法求衣食、臥具、隨病湯藥，非不如法，是名正命，世俗、有漏、有取、轉向善趣。

何等為正命是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊？謂：聖弟子苦、苦思惟，集……滅……道、道思惟，於諸邪命，無漏不樂著，固守執持不犯，不越時節，不度限防，是名正命，是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正方便？正方便有二種：有正方便世俗、有漏、有取、轉向善趣；有正方便是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正方便世俗、有漏、有取、轉向善趣？謂：欲精進，方便超出，堅固建立，堪能造作，精進心法攝受，常不休息，是名正方便，世俗、有漏、有取、轉向善趣。

何等為正方便是聖、出世間、無漏、不取、[正]盡苦、轉向苦邊？謂：聖弟子苦、苦思惟，集……滅……道、道思惟，無漏憶念相應心法，欲精進方便，勤踊超出，建立堅固，堪能造作，精進心法攝受，常不休息，是名正方便，是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正念？正念有二種：[有正念]世俗、有漏、有取、轉向善趣；有正念是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正念世俗、有漏、有取、轉向善趣？**若念、隨念、重念、憶念，不妄不虛，是名正念，世俗、有漏、有取、正向善趣。**

何等為正念是聖、出世間、無漏、不取、轉向苦邊？謂：**聖弟子苦、苦思惟，集……滅……道、道思惟，無漏思惟相應，若念、隨念、重念、憶念，不妄不虛，是名正念，是聖、出世間、無漏、不取、轉向苦邊。**

何等為正定？正定有二種：有正定世俗、有漏、有取、轉向善趣；有正定是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。

何等為正定世俗、有漏、有取、轉向善趣？**若心住不亂不動，攝受寂止、三昧、一心，是名正定，世俗、有漏、有取、轉向善趣**。

何等為正定是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊？謂：**聖弟子苦、苦思惟，集……滅……道、道思惟，無漏思惟相應心法，住不亂不散，攝受寂止、三昧、一心，是名正定，是聖、出世間、無漏、不取、正盡苦、轉向苦邊。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 305/印順 407/佛光 283(入處 MN149)

如是我聞：一時，佛住拘留搜調牛聚落。

爾時，世尊告諸比丘：「我今當為汝等說法，初、中、後善，善義、善味，純一滿淨梵行清白，所謂六分別六入處經，諦聽！善思！當為汝說。何等為六分別六入處經？謂：

於眼入處不如實知見者，色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂不如實知見。不如實知見故，於眼染著；若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂，皆生染著。如是，耳……鼻……舌……身……意，若法、意識、意觸、意觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂不如實知見。不如實知見故，生染著。如是，染著、相應、愚闇、顧念、結縛其心，長養五受陰，及當來有愛、貪喜悉皆增長，身心疲惡，身心燒然，身心熾然，身心狂亂，身生苦覺。彼身生苦覺故，於未來世生、老病死、憂悲惱苦，悉皆增長，是名純一大苦陰聚集。

諸比丘！若於眼如實知見，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂如實知見。見已，於眼不染著，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂不染著。如是，耳……鼻……舌……身……意、法如實知見，若法、意識、意觸、意觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂如實知見。如實知見故，於意不染著，若法、意識、意觸、意觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不

樂不染[著]；不染著故，不相雜(應)、不愚闇、不顧念、不繫縛，損減五受陰，當來有愛、貪喜、彼彼樂著悉皆消滅。身不疲苦、心不疲苦，身不燒、心不燒，身不熾然、心不熾然，身覺樂、心覺樂；身心覺樂故，於未來世生、老病死、憂悲惱苦，悉皆消滅，如是純大苦聚陰滅。

作如是知、如是見者，名為正見修習滿足，正志、正方便、正念、正定，前說正語、正業、正命清淨修習滿足，是名修習八聖道清淨滿足；八聖道修習滿足已，四念處修習滿足，四正勤、四如意足、五根、五力、七覺分修習滿足，若法應知、應了者，悉知、悉了，若法應知、應斷者，悉知、悉斷，若法應知、應作證者，悉皆作證，若法應知、應修習者，悉已修習。

何等法應知、應了，悉知、悉了？所謂名、色。

何等法應知、應斷？所謂無明及有愛。

何等法應知、應證？所謂明、解脫。

何等法應知、應修？所謂止、觀。

若比丘於此法應知、應了[者]，悉知、悉了，若法應知、應斷者，悉知、悉斷，若法應知、應作證者，悉知、悉證，若法應知、應修者，悉知、悉修，是名比丘斷愛、結縛，正無間等，究竟苦邊。

諸比丘！是名六分別六入處經。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

◎止觀的知見

大正 498/印順 1554/佛光 497(舍利弗 SN47.12;DN16)

如是我聞：一時，佛住那羅揵陀賣衣者菴羅園。

爾時，舍利弗詣世尊所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！我深信世尊，過去、當來、今現在，諸沙門、婆羅門所有智慧，無有與世尊菩提等者，況復過上！」

佛告舍利弗：「善哉善哉！舍利弗！善哉所說第一之說，能於眾中作師子吼，自言深信世尊，言：『過去、當來、今現在，沙門、婆羅門所有智慧，無有與佛菩提等者，況復過上！』」

佛問舍利弗：「汝能審知過去三藐三佛陀所有增上戒[不]？」

舍利弗白佛言：「不知，世尊！」

復問舍利弗：「知如是法、如是慧、如是明、如是解脫、如是住不？」

舍利弗白佛言：「不知，世尊！」

佛告舍利弗：「汝復知未來三藐三佛陀所有增上戒，如是法、如是慧、如是明、如是解脫、如是住不？」

舍利弗白佛言：「不知，世尊！」

佛告舍利弗：「汝復能知今現在佛所有增上戒，如是法、如是慧、如是明、如是解脫、如是住不？」

舍利弗白佛言：「不知，世尊！」

佛告舍利弗：「汝若不知過去、未來、今現在諸佛、世尊心中所有諸法，云何如是讚歎，於大眾中作師子吼，說言：『我深信世尊，過去、當來諸沙門、婆羅門所有智慧，無有與世尊菩提等者，況復過上？』」

舍利弗白佛言：「世尊！**我不能知過去、當來、今現在諸佛世尊心之分齊，然我能知諸佛世尊法之分齊，我聞世尊說法，轉轉深，轉轉勝，轉轉上，轉轉妙，我聞世尊說法，知一法即斷一法，知一法即證一法，知一法即修習一法，究竟於法，於大師所得淨信，心得淨：『世尊是等正覺。』**世尊！譬如：國王有邊城，城周匝方直，牢固堅密，唯有一門，無第二門，立守門者，人民入出，皆從此門，若入若出，其守門者雖復不知人數多少，要知人民唯從此門，更無他處。

如是，我知過去諸佛、如來、應、等正覺悉斷五蓋：惱心、令慧力羸、墮障礙品、不向涅槃者，住四念處，修七覺分，得阿耨多羅三藐三菩提。

彼當來世諸佛世尊亦斷五蓋：惱心、令慧力羸、墮障礙品、不向涅槃者，住四念處，修七覺分，得阿耨多羅三藐三菩提。

今現在諸佛世尊、如來、應、等正覺亦斷五蓋：惱心、令慧力羸、墮障礙品、不向涅槃者，住四念處，修七覺分，得阿耨多羅三藐三菩提。」

佛告舍利弗：「如是，如是，舍利弗！**過去、未來、今現在佛悉斷五蓋：惱心、[令]慧力羸、墮障礙品、不向涅槃者，住四念處，修七覺分，得阿耨多羅三藐三菩提。**」

佛說是經已，尊者舍利弗聞佛所說，歡喜奉行。

大正 502/印順 1558/佛光 501(目犍連 SN40.9)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者大目揵連在王舍城耆闍崛山中。爾時，尊者大目揵連告諸比丘：「一時，世尊住王舍城，我住耆闍崛山中。我獨一靜處，作如是念：『云何名為聖住？』

復作是念：『**若有比丘不念一切相，無相心正受身作證具足住，是名聖住。**』

我作是念：『我當於此聖住不念一切相，無相心正受身作證具足住、多住。』

多住已，取相心生。

爾時，世尊知我心念，如力士屈申臂頃，以神通力於竹園精舍沒，於耆闍崛山中現於我前，語我言：『目揵連！汝當住於聖住，莫生放逸！』

我聞世尊教已，即**離一切相，無相心正受身作證具足住。**

如是至三，世尊亦三來教我：『汝當住於聖住，莫生放逸！』

我聞教已，離一切相，無相心正受身作證具足住。

諸大德！若正說佛子者，則我身是，從佛口生，從法化生，得佛法分，所以者何？**我是佛子，從佛口生，從法化生，得佛法分，以少方便，得禪解脫、三昧正受。**

譬如轉輪聖王太子雖未灌頂，已得王法，不勤方便，能得五欲功德，我亦如是，為佛之子，不勤方便，得禪解脫、三昧正受，於一日中，世尊以神通力三至我所，三教授我，以大人處建立於我。」

尊者大目揵連說此經已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 1024/印順 13361-2/佛光 1012(病 SN22.88)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿濕波誓住東園鹿母講堂，身遭重病，極生苦患，尊者富鄰尼瞻視供給，如前跋迦梨修多羅廣說，謂：說三受，……乃至轉增無損。

佛告阿濕波誓：「汝莫變悔！」

阿濕波誓白佛言：「世尊！我實有變悔。」

佛告阿濕波誓：「汝得無破戒耶？」

阿濕波誓白佛言：「世尊！我不破戒。」

佛告阿濕波誓：「汝不破戒，何為變悔？」

阿濕波誓白佛言：「世尊！**我先未病時，得身息樂正受多修習，我於今日不復能得入彼三昧，我作是思惟：『將無退失是三昧耶？』**」

佛告阿濕波誓：「我今問汝，隨意答我。

阿濕波誓！汝見色即是我、異我、相在不？」

阿濕波誓白佛言：「不也，世尊！」

復問：「汝見受、想、行、識是我、異我、相在不？」

阿濕波誓白佛言：「不也，世尊！」

佛告阿濕波誓：「汝既不見色是我、異我、相在，不見受、想、行、識，是我、異我、相在，何故變悔？」

阿濕波誓白佛言：「世尊！不正思惟故。」

佛告阿濕波誓：「若沙門、婆羅門三昧堅固，三昧平等，若不得入彼三昧，不應作念：『我於三昧退減。』若復聖弟子不見色是我、異我、相在；不見受、想、行、識是我、異我、相在，但當作是覺知：『貪欲永盡無餘，瞋恚、愚癡永盡無餘。』貪、恚、癡永盡無餘已，一切漏盡，無漏心解脫、慧解脫，現法自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

佛說是法時，尊者阿濕波誓不起諸漏，心得解脫，歡喜踊悅；歡喜踊悅故，身病即除。

佛說此經，令尊者阿濕波誓歡喜隨喜已，從坐起而去。

差摩迦修多羅，如五受陰處說。

※修習止觀得諸解脫

大正 464/印順 727/佛光 463(界 TB 無)

如是我聞：一時，佛住拘睒彌國瞿師羅園。

爾時，尊者阿難，往詣上座上座名者所，詣已，恭敬問訊。問訊已，退坐一面，問上座上座名者言：「若比丘於空處、樹下、閑房思惟，當以何法專精思惟？」

上座答言：「尊者阿難！**於空處、樹下、閑房思惟者，當以二法專精思惟：所謂『止』、『觀』。**」

尊者阿難復問上座：「修習於『止』，多修習已，當何所成？修習於『觀』，多修習已，當何所成？」

上座答言：「尊者阿難！**修習於『止』，終成於『觀』；修習『觀』已，亦成於『止』。謂聖弟子『止』、『觀』俱修，得諸解脫界。**」

阿難復問上座：「云何諸解脫界？」

上座答言：「尊者阿難！若**斷界、無欲界、滅界，是名諸解脫界。**」

尊者阿難復問上座：「云何斷界？……乃至滅界？」

上座答言：「尊者阿難！**斷一切行，是名斷界；斷除愛欲，是無欲界；一切行滅，是名滅界。**」

時，尊者阿難聞上座所說，歡喜隨喜，往詣五百比丘所，恭敬問訊，退坐一面，白五百比丘言：「若比丘於空處、樹下、閑房思惟時，當以何法專精思惟？」

時，五百比丘答尊者阿難：「當以二法專精思惟，……乃至滅界。」如上座所說。

時，尊者阿難聞五百比丘所說，歡喜隨喜，往詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！若比丘空處、樹下、閑房思惟，當以何法專精思惟？」

佛告阿難：「若比丘空處、樹下、閑房思惟，當以二法專精思惟，……乃至滅界。」如五百比丘所說。

時，尊者阿難白佛言：「奇哉！世尊！**大師及諸弟子皆悉同法，同句、同義、同味。**我今詣上座名上座者，問如此義，亦以此義、此句、此味答我，如今世尊所說。我復詣五百比丘所，亦以此義、此句、此味而問，彼五百比丘亦以此義、

此句、此味答，如今世尊所說。是故當知：**師及弟子一切同法，同義、同句、同味。**」

佛告阿難：「汝知彼上座為何如比丘？」

阿難白佛：「不知，世尊！」

佛告阿難：「**上座者是阿羅漢，諸漏已盡，已捨重擔，正智心善解脫。彼五百比丘亦皆如是。**」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行！

※四種證道法

大正 560/印順 1636/佛光 559(阿難 AN4.170)

如是我聞：一時，佛住俱睒彌國瞿師羅園。爾時，尊者阿難亦在彼住。

時，尊者阿難告諸比丘：「若比丘、比丘尼於我前自記說，我當善哉慰勞問訊，或求以四道。」何等為四？

「若比丘、比丘尼坐，作**如是住心，善住心、局住心、調伏心。**止觀一心，等受。**分別、於法量度。**修習多修習已，

得斷諸使。若有比丘、比丘尼於我前自記說，我則如是善哉慰喻，或求是，名說初道。」

「復次，比丘、比丘尼正坐，**思惟，於法選擇、思量。住心，善住、局住、調伏。**止觀一心，等受。如是正向多住，得離諸使。若有比丘、比丘尼於我前自記說，我當如是善哉慰喻，或求是，名第二說道。」

「復次，比丘、比丘尼，**為掉亂所持，以調伏心坐。**正坐，**住心，善住心、局住心、調伏。**止觀一心，等受。如是正向多住已，則斷諸使。若有比丘、比丘尼於我前自記說，我則如是善哉慰喻，或求是，名第三說道。」

「復次，比丘、比丘尼，**止觀和合俱行。**作如是正向多住，則斷諸使。若比丘、比丘尼於我前自記說者，我則如是善哉慰喻教誡，或求是，名第四說道。」

時，諸比丘聞尊者阿難所說，歡喜奉行！

※於諸定當觀五蘊無常

大正 864/印順 12889-99/佛光 578-84(天 AN9.36)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘若行、若形、若相：離欲、惡不善法，有覺有觀，離生喜樂。初禪具足住。」

「彼不憶念如是行、如是形、如是相，然**於彼色、受、想、行、識法，作『如病、如癰、如刺、如殺、無常、苦、空、非我』思惟，於彼法生厭、怖畏、防護；生厭、怖畏、防護已，以甘露門而自饒益，如是寂靜，如是勝妙，所謂捨離有餘、愛盡、無欲、滅盡、涅槃。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

大正 865/印順 12890/佛光 579（天 AN9.36）

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘，如上說，差別者：「如是知、如是見已，欲有漏心解脫、有有漏心解脫、無明漏心解脫，解脫知見：我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

大正 866/印順 12891/佛光 580（天 AN9.36）

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘，如上說，差別者：「若不得解脫，以欲法、念法、樂法故，取中般涅槃。若不如是，或生般涅槃；若不如是，或有行般涅槃；若不如是，或無行般涅槃；若不如是，或上流般涅槃。」

「**若不如是，或復即以此欲法、念法、樂法功德，生大梵天中，或生梵輔天中，或生梵身天中。**」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

大正 867/印順 12892/佛光 581（天 AN9.36）

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘如是行、如是形、如是相：息有覺有觀，內淨一心，無覺無觀，定生喜樂。第二禪具足住。」

「若不如是行、如是形、如是相憶念，而於色、受、想、行、識法，思惟：如病、如癰、如刺、如殺、無常、苦、空、非我，於此等法，心生厭離、怖畏、防護；厭離、防護已，於甘露法界以自饒益。此則寂靜，此則勝妙，所謂捨離一切有餘、愛盡、無欲、滅盡、涅槃。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

大正 868/印順 12893/佛光 582（天 AN9.36）

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘，如上說，差別者：「彼如是知、如是見，欲有漏心解脫、有有漏心解脫、無明漏心解脫，解脫知見：我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」

「若不解脫，而以彼（法）欲法、念法、樂法，取中般涅槃；若不爾者，取生般涅槃；若不爾者，取有行般涅槃；若不爾者，取無行般涅槃；若不爾者，取上流般涅槃。」

「若不爾者，彼以欲法、念法、樂法生自性光音天；若不爾者，生無量光天；若不爾者，生少光天。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

大正 869/印順 12894/佛光 583（天 AN9.36）

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘如是行、如是形、如是相：離貪喜，捨住，正念、正智，覺身樂，聖人能說能捨念樂住。第三禪具足住。」

「若不爾者，以如是行、如是形、如是相，於色、受、想、行、識法，思惟：如病、如癰、如刺、如殺……乃至上流般涅槃。」

「若不爾者，以彼法欲、法念、法樂，生遍淨天；若不爾者，生無量淨天；若不爾者，生少淨天。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

大正 870/印順 12895-99/佛光 584（天 AN9.36）

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘如是行、如是形、如是相：離苦息、樂，前憂喜已滅，不苦不樂、捨，淨念一心。第四禪具足住。」

「若不如是憶念，而於色、受、想、行、識，思惟：如病、如癰、如刺、如殺……乃至上流般涅槃。」

「若不爾者，或生因性果實天；若不爾者，生福生天；若不爾者，生少福天。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行！

如四禪，如是四無色定亦如是說。

※無上止息不落漸次

大正 474/印順 737/佛光 473(受 SN36.11,15,16)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者阿難獨一靜處禪思，念言：「世尊說三受——樂受、苦受、不苦不樂受，又復說諸所有受悉皆是苦。此有何義？」作是念已，從禪起，詣世尊所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！我獨一靜處禪思，念言：如世尊說三

受——樂受、苦受、不苦不樂受，又說一切諸受悉皆是苦，此有何義？」

佛告阿難：「**我以一切行無常故，一切行變易法故，說諸所有受悉皆是苦。**又復，阿難！**我以諸行漸次寂滅故說，以諸行漸次止息故說，一切諸受悉皆是苦。**」

阿難白佛言：「云何世尊以諸行漸次寂滅故說？」

佛告阿難：「**初禪正受時，言語寂滅；第二禪正受時，覺觀寂滅；第三禪正受時，喜心寂滅；第四禪正受時，出入息寂滅；空入處正受時，色想寂滅；識入處正受時，空入處想寂滅；無所有入處正受時，識入處想寂滅；非想非非想入處正受時，無所有入處想寂滅；想受滅正受時，想、受寂滅，是名漸次諸行寂滅。**」

阿難白佛言：「世尊！云何漸次諸行止息？」

佛告阿難：「**初禪正受時，言語止息；二禪正受時，覺觀止息；三禪正受時，喜心止息；四禪正受時，出入息止息；空入處正受時，色想止息；識入處正受時，空入處想止息；無所有入處正受時，識入處想止息；非想非非想入處正受時，**

無所有入處想止息；想受滅正受時，想、受止息，是名漸次諸行止息。」

阿難白佛：「世尊！是名漸次諸行止息。」

佛告阿難：「復有勝止息、奇特止息、上止息、無上止息，如是止息，於餘止息無過上者。」

阿難白佛：「何等為勝止息、奇特止息、上止息、無上止息，諸餘止息無過上者？」

佛告阿難：「**於貪欲心不樂、解脫，恚、癡心不樂、解脫，是名勝止息、奇特止息、上止息、無上止息，諸餘止息無過上者。**」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行！

5.如實知見

大正 30/印順 36/佛光 30(陰 SN22.49)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗在耆闍崛山中。時，有長者子，名輸屢那，日日遊行，到耆闍崛山，詣尊者舍利弗，問訊起居已，

卻坐一面，語舍利弗言：「**若諸沙門、婆羅門於無常色，變易、不安隱色言：『我勝、我等、我劣。』何故沙門、婆羅門作如是想而不見真實？**若沙門、婆羅門於無常、變易、不安隱受……想……行……識而言：『我勝、我等、我劣。』何故沙門、婆羅門作如是想而不見真實？

若沙門、婆羅門於無常色、不安隱色、變易[色]言：『我勝、我等、我劣。』何所計而不見真實？於無常、變易、不安隱受……想……行……識言：『我勝、我等、我劣。』何所計而不見真實？」

「輸屢那！於汝意云何？**色為常，為無常耶？**」

答言：「無常。」

「輸屢那！**若無常，為是苦耶？**」

答言：「是苦。」

「輸屢那！**若無常，苦，是變易法，於意云何？聖弟子於中見色是我、異我、相在不？**」

答言：「不也。」

「輸屢那！於意云何？受……想……行……識為常，為無常？」

答言：「無常。」

「若無常，是苦耶？」

答言：「是苦。」

「輸屢那！識若無常，苦，是變易法，於意云何？聖弟子於中見識是我、異我、相在不？」

答言：「不也。」

「輸屢那！當知：色若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切色不是我、不異我、不相在，是名如實知。

如是，受……想……行……識，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切識不是我、不異我、不相在，是名如實知。

輸屢那！如是，於色、受、想、行、識生厭，離欲，解脫，解脫知見：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

時，舍利弗說是經已，長者子輸屢那遠塵離垢，得法眼淨。

時，長者子輸屢那見法、得法，不由於他，於正法中得無所畏，從坐起，偏袒右肩，胡跪、合掌，白舍利弗言：「我今已度，我從今日歸依佛、歸依法、歸依僧，為優婆塞。我從今日已，盡壽命清淨歸依三寶。」

時，長者子輸屢那聞舍利弗所說，歡喜踊躍，作禮而去。

大正 206/印順 257/佛光 208(入處 SN35.161,100)

如是我聞：一時，佛住毘舍離城耆婆拘摩羅藥師菴羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「當勤方便禪思，內寂其心，所以者何？比丘！**方便禪思，內寂其心，如是如實知顯現。於何如實知顯現？於眼如實知顯現，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：若苦、若樂、不苦不樂，彼亦如實知顯現**；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。

此諸法無常、有為，亦如是如實知顯現。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 263/印順 46/佛光 40(陰 SN22.101;AN7.71)

如是我聞：一時，佛住拘留國雜色牧牛聚落。

爾時，佛告諸比丘：「**我以知、見故，得諸漏盡，非不知見。云何以知、見故，得諸漏盡，非不知見？謂：此色，此色集，此色滅；此受……想……行……識，此識集，此識滅。**

不修方便隨順成就，而用心求：『令我諸漏盡，心得解脫。』當知彼比丘終不能得漏盡解脫，所以者何？不修習故。不修習何等？謂：不修習念處、正勤、如意足、根、力、覺、道。

譬如：伏雞生子眾多，不能隨時蔭餾，消息冷暖，而欲令子以觜、以爪啄卵自生，安隱出穀，當知彼子無有自力，堪能方便以觜、以爪安隱出穀，所以者何？以彼雞母不能隨時蔭餾冷暖，長養子故，如是，比丘不勤修習，隨順成就，而欲令得漏盡解脫，無有是處，所以者何？不修習故。不修何等？謂：不修念處、正勤、如意足、根、力、覺、道。

若比丘修習隨順成就者，雖不欲令漏盡解脫，而彼比丘自然漏盡，心得解脫，所以者何？以修習故。何所修習？謂：修念處、正勤、如意足、根、力、覺、道。

如：彼伏雞善養其子，隨時蔭餾，冷暖得所，正復不欲令子方便自啄卵出，然其諸子自能方便安隱出穀，所以者何？以彼伏雞隨時蔭餾，冷暖得所故，如是，比丘善修方便，正復不欲漏盡解脫，而彼比丘自然漏盡，心得解脫，所以者何？以勤修習故。何所修習？謂：修念處、正勤、如意足、根、力、覺、道。

譬如巧師、巧師弟子手執斧柯，捉之不已，漸漸微盡，手指處現，然彼不覺斧柯微盡，而盡處現，如是，**比丘精勤修習隨順成就，不自知、見今日爾所漏盡，明日爾所漏盡，然彼比丘知有漏盡**，所以者何？以修習故。何所修習？謂修習念處、正勤、如意足、根、力、覺、道。

譬如：大舶在於海邊，經夏六月，風飄、日暴，藤綴漸斷，如是，比丘精勤修習，隨順成就，一切結、縛、使、煩惱、

纏，漸得解脫，所以者何？善修習故。何所修習？謂修習念處、正勤、如意足、根、力、覺、道。」

說是法時，六十比丘不起諸漏，心得解脫。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 351/印順 493/佛光 350(因緣 SN12.68)

如是我聞：一時，尊者那羅、尊者茂師羅、尊者殊勝、尊者阿難住舍衛國象耳池側。

爾時，尊者那羅語尊者茂師羅言：「**有異信、異欲、異聞、異行覺想、異見審諦忍，有如是正自覺知見生，所謂『生故有老死，不離生有老死』耶？**」

尊者茂師羅言：「**有異信、異欲、異聞、異行覺想、異見審諦忍，有如是正自覺知見生，所謂『有生故有老死，不異生有老死』**，如是說有。」

「尊者茂師羅！有異信……乃至異忍，得自覺知見生，所謂有滅寂滅涅槃耶？」

尊者茂師羅答言：「**有異信……乃至異忍，得自覺知見生，所謂有滅、寂滅、涅槃。**」

復問：「尊者茂師羅！**『有滅則寂滅涅槃』說者，汝今便是阿羅漢，諸漏盡耶？**」

尊者茂師羅默然不答，第二、第三問亦默然不答。

爾時，尊者殊勝語尊者茂師羅：「汝今且止，我當為汝答尊者那羅。」尊者茂師羅言：「我今且止，汝為我答。」

爾時，尊者殊勝語尊者那羅：「**有異信……乃至異忍，得自覺知見生，所謂『有滅則寂滅涅槃』。**」

時，尊者那羅問尊者殊勝言：「有異信……乃至異忍，得自覺知見生，所謂『有滅則寂滅、涅槃』者，汝今便是漏盡阿羅漢耶？」

尊者殊勝言：「**我說『有滅則寂滅涅槃』，而非漏盡阿羅漢也。**」

尊者那羅言：「所說不同，前後相違。如尊者所說：『有滅則寂滅涅槃。』而復言『非漏盡阿羅漢』耶？」

尊者殊勝語尊者那羅言：「今當說譬，夫智者以譬得解。如曠野路邊有井，無繩無罐，得取其水。時，有行人，熱渴所逼，繞井求覓，無繩無罐，**諦觀井水，如實知見，而不觸身。如是，我說有滅則寂滅涅槃，而自不得漏盡阿羅漢。**」

爾時，尊者阿難語尊者那羅言：「彼尊者殊勝所說，汝復云何？」

尊者那羅語尊者阿難言：「尊者殊勝善說真實，知復何言！」

時，彼正士各各說已，從座起去。

6.正向涅槃

大正 22/印順 28/佛光 22(陰 SN22.124-125)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，有比丘名劫波，來詣佛所，頭面禮足，卻住一面，白佛言：「如世尊說，比丘心得善解脫，世尊！云何比丘心得善解脫？」

爾時，世尊告劫波曰：「善哉！善哉！能問如來心善解脫，善哉！劫波！諦聽！諦聽！善思念之！當為汝說。

劫波！**當觀知諸所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切悉皆無常；正觀無常已，色愛即除；色愛除已，心善解脫**。

如是，觀受……想……行……識若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切悉皆無常；正觀無常已，識愛即除；識愛除已，我說心善解脫。

劫波！如是，比丘心善解脫者，如來說名心善解脫，所以者何？愛欲斷故；愛欲斷者，如來說名心善解脫。」

時，劫波比丘聞佛所說，心大歡喜，禮佛而退。

爾時，劫波比丘受佛教已，獨一靜處，專精思惟，不放逸住，……乃至自知不受後有，心善解脫，成阿羅漢。

大正 50/印順 162/佛光 96(陰 SN35.152;45.41-48)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告尊者阿難曰：「若有諸外道出家來問汝言：『阿難！世尊何故教人修諸梵行？』如是問者，云何答乎？」

阿難白佛：「世尊！若外道出家來問我言：『阿難！世尊何故教人修諸梵行？』者，我當答言：『**為於色修厭、離欲、滅盡、解脫、不生故，世尊教人修諸梵行；為於受……想……行……識修厭、離欲、滅盡、解脫、不生故，教人修諸梵行。**』世尊！若有外道出家作如是問者，我當作如是答。」

佛告阿難：「善哉！善哉！應如是答，所以者何？

我實為於色修厭、離欲、滅盡、解脫、不生故，教人修諸梵行；於受……想……行……識修厭、離欲、滅盡、解脫、不生故，教人修諸梵行。」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行。

大正 964/印順 13305/佛光 956(婆蹉種出家 MN73)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有婆蹉種出家來詣佛所，與世尊面相慰勞已，退坐一面，白佛言：「瞿曇！欲有所問，寧有閑暇為解說不？」

爾時，世尊默然而住。婆蹉種出家第二、第三問，佛亦第二、第三默然而住。

時，婆蹉種出家白佛言：「我與瞿曇共相隨順，今有所問，何故默然？」

爾時，世尊作是念：「此婆蹉種出家長夜質直、不諂、不偽，時有所問，皆以不知故，非故惱亂，我今當以阿毗曇、律，納受於彼。」

作是念已，告婆蹉種出家：「隨汝所問，當為解說。」

婆蹉白佛：「云何，瞿曇！有善、[不善]法耶？」

佛答言：「有。」

婆蹉白佛：「當為我說善、不善法，令我得解。」

佛告婆蹉：「我今當為汝略說善、不善法，諦聽！善思！婆蹉！貪欲者是不善法，調伏貪欲是則善法；瞋恚、愚癡是不善法，調伏恚、癡是則善法；殺生者是不善法，離殺生者是則善法；偷盜、邪婬、妄語、兩舌、惡口、綺語、貪、恚、邪見是不善法，不盜、……乃至正見是則善法，是為，婆蹉！我今已說三種善法、三種不善法。

如是，**聖弟子於三種善法、三種不善法如實知，十種不善法、十種善法如實知者，則於貪欲無餘滅盡；瞋恚、愚癡無餘滅盡者，則於一切有漏滅盡，無漏心解脫、慧解脫，現法自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』**」

婆蹉白佛：「頗有一比丘於此法律得盡有漏，無漏心解脫，……乃至不受後有耶？」

佛告婆蹉：「不但若一、若二、若三，……乃至五百，**有眾多比丘於此法律盡諸有漏，……乃至不受後有。**」

婆蹉白佛：「且置比丘，有一比丘尼於此法律盡諸有漏，……乃至不受後有不？」

佛告婆蹉：「不但一、二、三比丘尼，……乃至五百，**有眾多比丘尼於此法律盡諸有漏，……乃至不受後有。**」

婆蹉白佛：「置比丘尼，有一優婆塞修諸梵行，於此法律度狐疑不？」

佛告婆蹉：「不但一、二、三，……乃至五百優婆塞，乃**有眾多優婆塞修諸梵行，於此法律斷五下分結，得成阿那含，不復還生此。**」

婆蹉白佛：「復置優婆塞，頗有一優婆夷於此法律修持梵行，於此法律度狐疑不？」

佛告婆蹉：「不但一、二、三優婆夷，……乃至五百，乃**有眾多優婆夷於此法律斷五下分結，於彼化生，得阿那含，不復還生此。**」

婆蹉白佛：「置比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷修梵行者，頗有優婆塞受五欲，而於此法律度狐疑不？」

佛告婆蹉：「不但一、二、三，……乃至五百，乃**有眾多優婆塞居家妻子，香華嚴飾，畜養奴婢，於此法律斷三結，貪、恚、癡薄，得斯陀含，一往一來，究竟苦邊。**」

婆蹉白佛：「復置優婆塞，頗有一優婆夷受習五欲，於此法律得度狐疑不？」

佛告婆蹉：「不但一、二、三，……乃至五百，乃**有眾多優婆夷在於居家，畜養男女，服習五欲，華香嚴飾，於此法律三結盡，得須陀洹，不墮惡趣法，決定，正向三菩提，七有天人往生，究竟苦邊。**」

婆蹉白佛言：「瞿曇！若沙門瞿曇成等正覺，若比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷修梵行者，及優婆塞、優婆夷服習五欲，不得如是功德者，則不滿足；以沙門瞿曇成等正覺，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷修諸梵行，及優婆塞、優婆夷服習五欲，而成就爾所功德故，則為滿足。瞿曇！今當說譬。」

佛告婆蹉：「隨意所說。」

婆蹉白佛：「如天大雨，水流隨下，瞿曇法律亦復如是，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷，若男若女，悉皆隨流，向於涅槃，浚輸涅槃。

甚奇！佛、法、僧平等法律，為餘異道出家來詣瞿曇所，於正法律求出家、受具足者，幾時便聽出家？」

佛告婆蹉：「若餘異道出家欲來於正法律求出家、受具足者，乃至四月，於和尚所受衣而住，然此是為人粗作齊限耳。」

婆蹉白佛：「若諸異道出家來，於正法律欲求出家、受具足，聽於和尚所受(衣)，若滿四月聽出家者，我今堪能於四月在和尚所受(衣)，若於正法律而得出家、受具足，我當於瞿曇法中出家、受具足，修持梵行。」

佛告婆蹉：「我先不說粗為人作分齊耶？」

婆蹉白佛：「如是，瞿曇！」

爾時，世尊告諸比丘：「汝等當度彼婆蹉出家於正法律出家、受具足。」

婆蹉種出家，即得於正法律出家、受具足，成比丘分，乃至半月，學所應知、應識、應見、應得、應覺、應證，悉知、悉識、悉見、悉得、悉覺、悉證如來正法。

尊者婆蹉作是念：「我今已(學)所應知、應識、應見、應得、應覺、應證，彼一切悉知、悉識、悉見、悉得、悉覺、悉證，今當往見世尊。」

是時，婆蹉詣世尊所，稽首禮足，於一面住。白佛言：「世尊！我於學所應知、應識、應見、應得、應覺、應證，悉知、悉識、悉見、悉得、悉覺、悉證世尊正法，唯願世尊為我說法，我聞法已，當獨一靜處，專精思惟，不放逸住，思惟所以，善男子剃除鬚髮，著袈裟衣，正信出家學道，……乃至自知不受後有。」

佛告婆蹉：「**有二法，修習多修習，所謂止觀。此二法，修習多修習，得知界果：覺了於界、知種種界、覺種種界。如是，比丘欲求離欲惡不善法，……乃至第四禪具足住；慈悲喜捨；空入處、識入處、無所有入處、非想非非想入處；令我三結盡，得須陀洹；三結盡，貪、恚、癡薄，得斯陀含；**

五下分結盡，得阿那含；種種神通境界：天眼、天耳、他心智、宿命智、生死智、漏盡智皆悉得。是故，比丘！當修二法，修習多修習，修二法故，知種種界，……乃至漏盡。」

爾時，尊者婆蹉聞佛所說，歡喜作禮而去。爾時，婆蹉獨一靜處，專精思惟，不放逸住，……乃至自知不受後有。

時，有眾多比丘莊嚴方便，欲詣世尊，恭敬供養。

爾時，婆蹉問眾多比丘：「汝等莊嚴方便，欲詣世尊恭敬供養耶？」

諸比丘答言：「爾。」

爾時，婆蹉語諸比丘：「尊者！持我語，敬禮世尊，問訊起居輕利，少病少惱，安樂住不？言：『婆蹉比丘白世尊言：**「我已供養世尊，具足奉事，令歡悅，非不歡悅；大師弟子所作，皆悉已作，供養大師，令歡悅，非不歡悅。」』」**

時，眾多比丘往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！尊者婆蹉稽首敬禮世尊足，……乃至歡悅非不歡悅。」

佛告諸比丘：「諸天先已語我，汝今復說，如來成就第一知見，亦如婆蹉比丘有如是德力。」

爾時，世尊為彼婆蹉比丘說第一記。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

原始佛法教本

第四部

〈雜含驪珠集〉

原始佛法教本第四部 雜含驪珠

大正 31/印順 37/佛光 31(陰 SN22.50)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗在耆闍崛山。

時，有長者子，名輸屢那，日日遊行，到耆闍崛山，詣舍利弗所，頭面禮足，卻坐一面。

時，舍利弗謂輸屢那：「若沙門、婆羅門於色不如實知，色集不如實知，色滅不如實知，色滅道跡不如實知故，輸屢那！當知此沙門、婆羅門不堪能斷色。

如是，沙門、婆羅門於受……想……行……識不如實知，識集不如實知，識滅不如實知，識滅道跡不如實知故，不堪能斷識。

輸屢那！若沙門、婆羅門於色如實知，色集如實知，色滅如實知，色滅道跡如實知故，輸屢那！當知此沙門、婆羅門堪能斷色。

如是，輸屢那！若沙門、婆羅門於受……想……行……識如實知，識集如實知，識滅如實知，識滅道跡如實知故，輸屢那！當知此沙門、婆羅門堪能斷識。

輸屢那！於意云何？色為常，為無常耶？」

答言：「無常。」

又問：「若無常者，是苦耶？」

答言：「是苦。」

舍利弗言：「若色無常，苦者，是變易法，聖弟子寧於中見色是我、異我、相在不？」

答言：「不也。」

「輸屢那！如是，受……想……行……識為常，為無常耶？」

答言：「無常。」

又問：「若無常者，是苦耶？」

答言：「是苦。」

又問：「若[識]無常，苦者，是變易法，聖弟子寧於中見識是我、異我、相在不？」

答曰：「不也。」

「輸屢那！當知色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，(彼)一切色不是我、不異我、不相在，是名如實知。

輸屢那！聖弟子於色生厭，離欲，解脫，解脫生、老.病.死.憂.悲.苦.惱。

如是，受……想……行……識，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切識不是我、不異我、不相在，是名如實知。

輸屢那！聖弟子於識生厭，離欲，解脫，解脫生、老.病.死.憂.悲.苦.惱。」

時，輸屢那聞舍利弗所說，歡喜踊躍，作禮已，去。

大正 49/印順 161/佛光 95(陰 SN22.37,38)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告尊者阿難曰：「若信心長者、長者子來問汝言：『於何等法知其生滅？』汝當云何答乎？」

阿難白佛：「世尊！若有長者、長者子來問我者，我當答言：『知色是生滅法，知受、想、行、識是生滅法。』世尊！若長者、長者子如是問者，我當如是答。」

佛告阿難：「善哉！善哉！應如是答，所以者何？色是生滅法；受、想、行、識是生滅法。

知色是生滅法者，名為知色；知受……想……行……識是生滅法者，名為知識。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 51/印順 163/佛光 97(陰 SN22.32)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「我今為汝說壞、不壞法，諦聽！善思！當為汝說。

諸比丘！色是壞法，彼色滅、涅槃是不壞法；受……想……行……識是壞法，彼識滅、涅槃是不壞法。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 59/印順 56/佛光 50(陰 TB 無)

如是我聞：

一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五受陰，云何為五？色受陰，受、想、行、識受陰。

觀此五受陰是生滅法，所謂：此色、此色集、此色滅；此受……想……行……[此]識、此識集、此識滅。

云何色集？云何色滅？云何受、想、行、識集？云何受、想、行、識滅？

愛喜集是色集，愛喜滅是色滅。

觸集是受、想、行集，觸滅是受、想、行滅。

名色集是識集，名色滅是識滅。

比丘！如是色集、色滅，是為色集、色滅。

如是，受、想、行、識集；受、想、行、識滅，是為受、想、行、識集；受、想、行、識滅。」

佛說此經已，時，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 62/印順 59/佛光 53(陰 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五受陰，謂：色受陰，受、想、行、識受陰。

愚癡無聞凡夫無慧、無明，於五受陰生我見繫著使，心繫著而生貪欲。

比丘！多聞聖弟子有慧、有明，於此五受陰不為見我繫著使，心結縛而起貪欲。

云何愚癡無聞凡夫無慧、無明，於五受陰見我繫著使，心結縛而生貪欲？

比丘！愚癡無聞凡夫無慧、無明，見色是我、異我、相在。

如是，受……想……行……識是我、異我、相在。

如是，愚癡無聞凡夫無慧、無明，於五受陰說我繫著使，心結縛而生貪欲。

比丘！云何聖弟子有慧、有明，不說我繫著使，結縛心而生貪欲？

聖弟子不見色是我、異我、相在。

如是，受……想……行……識不見是我、異我、相在。

如是，多聞聖弟子有慧、有明，於五受陰不見我繫著使，結縛心而生貪欲。

若所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切正觀皆悉無常。

如是，受……想……行……識若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切正觀皆悉無常。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 65/印順 62-73/佛光 56(陰 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「常當修習方便禪思，內寂其心，所以者何？

比丘！常當修習方便禪思，內寂其心，如實觀察。

云何如實觀察？

此是色，此是色集，此是色滅；此是受……想……行……識，此是識集，此是識滅。

云何色集？受、想、行、識集？

愚癡無聞凡夫於苦、樂、不苦不樂受不如實觀察此受集，受滅，受味，受患，受離；不如實觀察故，於受樂著生取，取緣有，有緣生，生緣老、病、死、憂悲惱苦，如是，純大苦聚從集而生，是名色集，是名受、想、行、識集。

云何色滅？受、想、行、識滅？

多聞聖弟子受諸苦、樂、不苦不樂受如實觀察受集，受滅，受味，受患，受離；如實觀察故，於受樂著滅，著滅故取滅，取滅故有滅，有滅故生滅，生滅故老、病、死、憂悲惱苦滅，如是，純大苦聚皆悉得滅，是名色滅；受、想、行、識滅。

是故，比丘！常當修習方便禪思，內寂其心。

比丘！禪思住，內寂其心，精勤方便，如實觀察。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如觀察，如是，分別、種種分別、知、廣知、種種知、親近、親近修習、入、觸、證，[十]二經亦如是廣說。

大正 66/印順 74-85/佛光 57(陰 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「常當修習方便禪思，內寂其心，所以者何？修習方便禪思，內寂其心已，如實觀察。

云何如實觀察？如實觀察此色，此色集，此色滅；此受……想……行……識，此識集，此識滅。

云何色集？云何受、想、行、識集？

比丘！愚癡無聞凡夫不如實觀察色集、[色滅、]色味、色患、色離故，樂彼色，讚歎、愛著，於未來世色復生；受……想……行……識……亦如是廣說，彼色生；受、想、行、識生已，不解脫於色；不解脫於受、想、行、識，我說彼不解脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦純大苦聚，是名色集；受、想、行、識集。

云何色滅？受、想、行、識滅？

多聞聖弟子如實觀察色集、色滅、色味、色患、色離如實知；如實知故，不樂於色、不讚歎色、不樂著色，亦不生未來色；受……想……行……識……亦如是廣說，色不生；受、想、行、識不生故，於色得解脫；於受、想、行、識得解脫，我說彼解脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦[純大苦]聚，是名色滅；受、想、行、識滅。

是故，比丘！常當修習方便禪思，內寂其心，精勤方便，如實觀察。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如觀察，如是……乃至作證，十二經亦應廣說。

大正 72/印順 126/佛光 63(陰 SN22.106)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「當說所知法、智及智者，諦聽！善思！當為汝說。

云何所知法？謂：五受陰，何等為五？色受陰，受、想、行、識受陰，是名所知法。

云何為智？調伏貪欲，斷貪欲，越貪欲，是名為智。

云何智者？阿羅漢是。阿羅漢者，非有他世死，非無他世死，非有無他世死，非非有無他世死……廣說無量，諸數永滅。

是名說所知法、智及智者。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 74/印順 128/佛光 65(陰 SN22.117)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五受陰，何等為五？色受陰，受、想、行、識受陰。

愚癡無聞凡夫不如實知色、色集、色滅、色味、色患、色離；不如實知故，於色所樂、讚歎、繫著住，色縛所縛、內縛所縛，不知根本、不知邊際、不知出離，是名愚癡無聞凡夫以縛生、以縛死、以縛從此世至他世，於彼亦復以縛生、以縛死，是名愚癡無聞凡夫隨魔自在，入魔網中，隨魔所化，魔縛所縛，為魔所牽；受、想、行、識亦復如是。

多聞聖弟子如實知色、色集、色滅、色味、色患、色離；如實知故，不貪喜色、不讚歎、不繫著住，非色縛所縛、非內縛所縛，知根本、知津濟、知出離，是名多聞聖弟子不隨縛生、不隨縛死、不隨縛從此世至他世，不隨魔自在，不入魔手，不隨魔所作，非魔所縛，解脫魔縛，離魔所牽；受、想、行、識亦復如是。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 97/印順 1272/佛光 1156(婆羅門 OA263; SN7.20)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊晨朝著衣持鉢，入舍衛城乞食。

時，有異婆羅門年耆根熟，攝杖持鉢，家家乞食。

彼婆羅門遙見世尊而作是念：「沙門瞿曇攝杖持鉢，家家乞食，我亦攝杖持鉢，家家乞食，我與瞿曇俱是比丘。」

爾時，世尊說偈答曰：「所謂比丘者，非但以乞食，受持在家法，是何名比丘？於功德過惡，俱離修正行，其心無所畏，是則名比丘。」

佛說是經已，彼婆羅門聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 105/印順 173/佛光 107(陰 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，有外道出家，名仙尼，來詣佛所，恭敬問訊，於一面坐，白佛言：「世尊！先一日時，若沙門、若婆羅門、若遮羅迦、若出家，集於希有講堂，如是義稱：『富蘭那迦葉為大眾主，五百弟子前後圍遶，其中有極聰慧者，有鈍根者，及其命終，悉不記說其所往生處；復有末迦梨瞿舍利子，為大眾主，五百弟子前後圍遶，其諸弟子有聰慧者，有鈍根者，及其命終，悉不記說所往生處。』如是，先闍那毘羅胝子、阿耆多翅舍欽婆羅、迦羅拘陀迦栴延、尼揵陀若提子等，各與五百弟子前後圍遶，亦如前者。

沙門瞿曇爾時亦在彼論中言：『沙門瞿曇為大眾主，其諸弟子有命終者，即記說言：「某生彼處，某生此處。」』我先生疑，云何沙門瞿曇得如此法？」

佛告仙尼：「汝(當)生疑！以有惑故，彼則生疑，仙尼！當知有三種師，何等為三？

有一師，見現在世真實是我，如所知說，而無能知命終後事。是名第一師出於世間。

復次，仙尼！有一師，見現在世真實是我，命終之後亦見是我，如所知說。

復次，(仙)尼！有一師，不見現在世真實是我，亦復不見命終之後真實是我。

仙尼！其第一師見現在世真實是我，如所知說者，名曰斷見。

彼第二師見今世後世真實是我，如所知說者，則是常見。

彼第三師不見現在世真實是我，命終之後亦不見我，是則如來、應、等正覺說，現法愛斷、離欲、滅盡、涅槃。」

仙尼白佛言：「世尊！我聞世尊所說，遂更增疑。」

佛告仙尼：「正應增疑，所以者何？此甚深處，難見難知，應須甚深照，微妙、至到聰慧所了，凡眾生類未能辯知，所以者何？眾生長夜異見、異忍、異求、異欲故。」

仙尼白佛言：「世尊！我於世尊所心得淨信，唯願世尊為我說法，令我即於此座慧眼清淨！」

佛告仙尼：「今當為汝隨所樂說。」

佛告仙尼：「色是常耶？為無常耶？」

答言：「無常，世尊！」

復問：「仙尼！若無常者，是苦耶？」

答言：「是苦，世尊！」

復問：「仙尼！若無常、苦，是變易法，多聞聖弟子，寧於中見我、異我、相在不？」

答言：「不也，世尊！」

「受、想、行、識亦復如是。」

復問：「云何仙尼！色是如來耶？」

答言：「不也，世尊！」

「受、想、行、識是如來耶？」

答言：「不也，世尊！」

復問仙尼：「異色有如來耶？異受、想、行、識有如來耶？」

答言：「不也，世尊！」

復問：「仙尼！色中有如來耶？受、想、行、識中有如來耶？」

答言：「不也，世尊！」

復問：「仙尼！如來中有色耶？如來中有受、想、行、識耶？」

答言：「不也，世尊！」

復問：「仙尼！非色，非受、想、行、識有如來耶？」

答言：「不也，世尊！」

佛告仙尼：「**我諸弟子聞我所說，不悉解義而起慢無間等；非無間等故，慢則不斷；慢不斷故，捨此陰已，(餘)陰相續生。是故，仙尼！我則記說是諸弟子身壞命終生彼彼處，所以者何？以彼有餘慢故。**

仙尼！**我諸弟子於我所說能解義者，彼於諸慢得無間等；得無間等故，諸慢則斷；諸慢斷故，身壞命終更不相續。仙尼！如是弟子，我不說彼捨此陰已，生彼彼處，所以者何？**

無因緣可記說故。欲令我記說者，當記說彼：『斷諸愛欲，永離有結，正意解脫，究竟苦邊。』

我從昔來及今現在，常說慢(根)、慢集、慢生、慢起，若於慢無間等，觀眾苦不生。」

佛說此法時，仙尼出家遠塵、離垢得法眼淨。

爾時，仙尼出家見法、得法，斷諸疑惑，不由他知，不由他度，於正法中心得無畏，從座起，合掌白佛言：「世尊！我得於正法中出家修梵行不？」

佛告仙尼：「汝於正法得出家，受具足戒，得比丘分。」

爾時，仙尼得出家已，獨一靜處，修不放逸住。

如是思惟：所以族姓子剃除鬚髮，正信非家出家學道，修行梵行，見法自知得證：我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有，得阿羅漢。

聞佛所說，歡喜奉行。

大正 106/印順 174/佛光 108(陰 SN22.86)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，有比丘名阿㝹((少/兔))羅度，住耆闍崛山。

時，有眾多外道出家往詣阿㝹羅度所，共相問訊。

共相問訊已，於一面住，白阿㝹羅度言：「欲有所問，寧有閑暇為解釋不？」

阿㝹羅度語諸外道言：「隨所欲問，知者當答。」

諸外道復問：「云何，尊者！如來死後為有耶？」

阿㝹羅度言：「如世尊說，此是無記。」

又問：「如來死後為無耶？」

阿㝹羅度言：「如世尊說，此亦無記。」

又問：「如來死後有無耶？非有非無耶？」

阿㝹羅度言：「如世尊說，此亦無記。」

復問阿㝹羅度言：「云何，尊者！如來死後有耶？說言無記，死後無耶？說言無記，死後有無耶？非有非無耶？說言無記，云何，尊者！沙門瞿曇為不知不見耶？」

阿㝹羅度言：「世尊非不知，非不見。」

時，諸外道於阿㝹羅度所說，心不喜悅，呵罵已，從座起去。

時，阿㝹羅度知諸外道去已，往詣佛所，稽首佛足，於一面住，以諸外道所問向佛廣說，白佛言：「世尊！彼如是問，我如是答，為順諸法說耶？得無謗世尊耶？為順法耶？為違法耶？無令他來難詰、墮呵責處耶？」

佛告阿㝹羅度言：「我今問汝，隨所問答。阿㝹羅度！色為常耶？為無常耶？」

答言：「無常。」

「受……想……行……識為常、無常耶？」

答言：「無常，世尊！」

如《焰摩迦契經》廣說……乃至「識是如來耶？」

答曰：「不也。」

佛告阿㝹羅度：「作如是說者，隨順諸(說)，不謗如來，非為越次，如如來說，諸次法說，無有能來難詰、訶責者，所以者何？我於色如實知，色集、色滅、色滅道跡如實知，阿㝹羅度！若捨如來所作，無知、無見說者，此非等說。」

佛說此經已，阿㝹羅度聞佛所說，歡喜奉行。

大正 112/印順 1653/佛光 114(羅陀 SN23.4)

如是我聞：一時，佛住摩拘羅山。

時，有侍者比丘名羅陀，晡時從禪覺，往詣佛所，禮佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！如世尊說色斷知；受、想、行、識斷知，世尊！云何色斷知？受、想、行、識斷知？」

佛告羅陀：「善哉！所問，當為汝說。

於色憂悲惱苦盡；離欲、滅、息、沒，是名色斷知；於受、想、行、識憂悲苦惱盡，離欲、滅、息、沒，是名受、想、行、識斷知。」

佛說此經已，羅陀比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 123/印順 1664/佛光 125(羅陀 TB 無)

如是我聞：一時，佛住摩拘羅山。

時，有侍者比丘名曰羅陀，往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「善哉！世尊！為我略說法要，我聞法已，我當獨一靜處，專心思惟，不放逸住，所以族姓子剃除鬚髮，身著染衣，正信非家出家學道，增加精進，修諸梵行，見法

自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

爾時，世尊告羅陀曰：「善哉！羅陀！能於佛前問如是義，諦聽！善思！當為汝說。

羅陀！當知有身，有身集，有身滅，有身滅道跡。

何等為有身？謂五受陰：色受陰，受、想、行、識受陰。

云何有身集？謂：當來有愛、貪喜俱、於彼彼愛樂，是名有身集。

云何有身滅？謂：當[來]有愛、喜貪俱、彼彼愛樂無餘斷、捨、吐、盡、離欲、寂、沒，是名有身盡。

云何有身滅道跡？謂八正道：正見，正志，正語，正業、正命，正方便，正念，正定，是名有身滅道跡。

有身當知，有身集當斷，有身滅當證，有身滅道跡當修。

羅陀！若多聞聖弟子於有身若知、若斷，有身集若知、若斷，有身滅若知、若證，有身滅道跡若知、若修已，羅陀！名斷愛離愛，轉結，止慢無間等，究竟苦邊。」

羅陀比丘聞佛所說，歡喜奉行，從坐起，作禮而去。

世尊如是教授已，羅陀比丘獨一靜處，專精思惟，所以善男子剃除鬚髮，著染色衣，正信非家出家學道，增益精進，修諸梵行，見法自知作證：「我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」成阿羅漢，心善解脫。

佛說此經已，羅陀比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 133/印順 1785/佛光 135(見 SN24.2)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「何所有故，何所起，何所繫著，何所見我，令眾生無明所蓋，愛繫其首，長道驅馳，生死輪迴，生死流轉，不(知)本際？」

諸比丘白佛言：「世尊是法根、法眼、法依，善哉！世尊！唯願哀愍，廣說其義，諸比丘聞已，當受奉行。」

佛告比丘：「諦聽！善思！當為汝說。

諸比丘！色有故，色事起，色繫著，色見我，令眾生無明所蓋，愛繫其首，長道驅馳，生死輪迴，生死流轉；受、想、行、識亦復如是。

諸比丘！色為常耶？為非常耶？」

答曰：「無常，世尊！」

復問：「若無常者，是苦耶？」

答曰：「是苦，世尊！」

「如是，比丘！若無常者是苦，是苦有故，是事起，繫著，見我，令眾生無明所蓋，愛繫其頭，長道驅馳，生死輪迴，生死流轉；受、想、行、識亦復如是。

是故，諸比丘！諸所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、非異我、不相在，是名正慧；受、想、行、識亦復如是。

如是見、聞、覺、識、求、得，隨憶、隨覺、隨觀，彼一切非我、非異我、不相在，是名正慧。

若有見言：『有我，有世間，有此世常、恆、不變易法，彼一切非我、非異我、不相在。』是名正慧。

若復有見：『非此我，非此我所，非當來我，非當來我所，彼一切非我、非異我、不相在。』是名正慧。

若多聞聖弟子於此六見處觀察非我、非我所，如是觀者於佛所狐疑斷；於法、於僧狐疑斷，是名比丘多聞聖弟子不復堪任作身、口、意業趣三惡道，正使放逸，聖弟子決定，向三菩提，七有天人往來，作苦邊。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 197/印順 218/佛光 199(入處 SN35.28)

如是我聞：一時，佛住迦闍尸利沙支提，與千比丘俱，皆是舊縈髮婆羅門。

爾時，世尊為千比丘作三種示現教化，云何為三？神足變化示現、他心示現、教誡示現。

神足示現者，世尊隨其所應，而示現入禪定、正受：陵虛至東方，作四威儀：行、住、坐、臥；入火三昧，出種種火光：青、黃、赤白、紅、頗梨((玻璃))色；水火俱現，或身下出火、身上出水，身上出火、身下出水，周圓四方，亦復如是。

爾時，世尊作種種神變已，於眾中坐，是名神足示現。

他心示現者，如彼心，如彼意，如彼識；彼應作如是念，不應作如是念；彼應作如是捨，彼應作如是身證住，是名他心示現。

教誡示現者，如世尊說：「諸比丘！一切燒然，云何一切燒然？謂：眼燒然，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：若苦、若樂、不苦不樂，彼亦燒然。

如是耳……鼻……舌……身……意燒然，若法、意識、意觸、意觸因緣生受：若苦、若樂、不苦不樂，彼亦燒然。

以何燒然？貪火燒然，恚火燒然，癡火燒然；生、老.病.死.憂.悲.惱.苦火燒然。」

爾時，千比丘聞佛所說，不起諸漏，心得解脫。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 205/印順 256/佛光 207(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住毘舍離耆婆拘摩羅藥師菴羅園。

爾時，世尊說一切優陀那偈已，告尊者阿難：「眼無常、苦、變易、異分法，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受：若

苦、若樂、不苦不樂，彼亦無常、苦、變易、異分法；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。

多聞聖弟子如是觀者，於眼得解脫，若色、眼識、眼觸、眼觸因緣生受，彼亦解脫。

耳……鼻……舌……身……意、法、意識、意觸、意觸因緣生受：若苦、若樂、不苦不樂，彼[亦]解脫。

我說彼解脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦。」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行。

大正 224/印順 291/佛光 226(入處 SN35.24)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「一切欲法應當斷，云何一切欲法應當斷？謂：眼是一切欲法應當斷，若色，眼識，眼觸，眼觸因緣生受：內覺若苦、若樂、不苦不樂，彼一切欲法應當斷；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 234/印順 307/佛光 236(入處 SN35.116)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「我不說有人行到世界邊者，我亦不說不行到世界邊而究竟苦邊者。」如是說已，入室坐禪。

時，眾多比丘世尊去後，即共議言：「世尊向者略說法言：『我不說有人行到世界邊者，我亦不說不行到世界邊而得究竟苦邊者。』如是說已，入室坐禪。我等今於世尊略說法中，未解其義，是中，諸尊誰有堪能於世尊略說法中廣為我等說其義者？」

復作是言：「唯有尊者阿難，聰慧總持，而常給侍世尊左右，世尊讚歎多聞、梵行，堪為我等於世尊略說法中廣說其義。今當往詣尊者阿難所，請求令說。」

時，眾多比丘往詣尊者阿難所，共相問訊已，於一面坐，具以上事廣問阿難。

爾時，阿難告諸比丘：「諦聽！善思！今當為說。

若世間、世間名、世間覺、世間言辭、世間語說，此等皆入世間數。

諸尊！謂：眼是世間、世間名、世間覺、世間言辭、世間語說，是等悉入世間數；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。

多聞聖弟子於六入處集、滅、味、患、離如實知，是名聖弟子到世界邊，知世間，世間所重，度世間。」

爾時，尊者阿難復說偈言：「非是遊步者，能到世界邊，不到世界邊，不能免眾苦。

是故牟尼尊，名知世間者，能到世界邊，諸梵行已立。

世界邊唯有，正智能諦了，覺慧達世間，故說度彼岸。

如是，諸尊！向者世尊略說法已，入室坐禪，我今為汝分別廣說。」

尊者阿難說是法已，眾多比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 237/印順 310-312/佛光 239(入處 SN35.124)

如是我聞：一時，佛住毘舍離獼猴池側重閣講堂。

時，有長者名郁瞿婁，往詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！何故有一比丘見法般涅槃？何故比丘不得見法般涅槃？」

佛告長者：「若有比丘眼識於色，愛、念、染著，以愛、念、染著故，常依於識，為彼縛故，若彼取故，不得見法般涅槃。耳……鼻……舌……身……意識[於]法亦復如是。

若比丘眼識於色，不愛樂、染著，不愛樂染著者，不依於識，不觸、不著、不取故，此諸比丘得見法般涅槃。耳……鼻……舌……身……意識[於]法亦復如是。

是故，長者！有比丘得見法般涅槃者，有不得見法般涅槃者。」

如長者所問經，如是，阿難所問經，及佛自為諸比丘所說經，亦如上說。

大正 238/印順 313/佛光 240(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住毘舍離獼猴池側重閣講堂。

時，有異比丘往詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！何因、何緣眼識生？何因、何緣耳、鼻、舌、身、意識生？」

佛告比丘：「眼因、緣色，眼識生，所以者何？若眼識生，一切眼、色因緣故。

耳、聲因緣，鼻、香因緣，舌、味因緣，[身、觸因緣，]意、法因緣意識生，所以者何？諸所有意識，彼一切皆意、法因緣生故。

是名，比丘！眼識因緣生……乃至意識因緣生。」

時，彼比丘聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 239/印順 314/佛光 241(入處 SN35.109,122)

如是我聞：一時，佛住毘舍離獼猴池側重閣講堂。

爾時，世尊告諸比丘：「我今當說結所繫法，及結法。

云何結所繫法？眼、色，耳、聲，鼻、香，舌、味，身、觸，意、法，是名結所繫法。

云何結法？謂：欲貪，是名結法。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 251/印順 377/佛光 253(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅，俱在耆闍崛山中。

尊者摩訶拘絺羅晡時從禪覺，詣尊者舍利弗所，共相問訊已，退坐一面，語尊者舍利弗：「欲有所問，寧有閑暇見答(與)不？」

舍利弗言：「隨仁所問，知者當答。」

尊者摩訶拘絺羅問尊者舍利弗言：「謂無明者，云何為無明？」

尊者舍利弗言：「所謂無知，無知者是為無明。云何無知？謂：眼無常不如實知，是名無知，眼生滅法不如實知，是名無知；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。

如是，尊者摩訶拘絺羅！於此六觸入處如實不知、不見、不無間等，愚(癡)、無明、大冥，是名無明。」

尊者摩訶拘絺羅又問：「尊者舍利弗！所謂明者，云何為明？」

舍利弗言：「所謂為知，知者是明。為何所知？謂：眼無常，眼無常如實知；眼生滅法，眼生滅法如實知；耳、鼻、舌、身、意亦復如是。

尊者摩訶拘絺羅！於此六觸入處如實知、見、明、覺、悟、慧、無間等，是名為明。」

時，二正士各聞所說，展轉隨喜，各還其所。

大正 264/印順 47/佛光 41(陰 MA61; AA24.4; SN22.96)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，有異比丘於禪中思惟，作是念：「頗有色常、恒、不變易、正住耶？如是，受、想、行、識常、恒、不變易、正住耶？」

是比丘晡時從禪起，往詣佛所，頭面禮足，卻住一面，白佛言：「世尊！我於禪中思惟作是念：『頗有色常、恒、不變易、正住耶？如是，受、想、行、識常、恒、不變易、正住耶？』今(白)世尊：『頗有色常、恒、不變易、正住耶？頗有受、想、行、識常、恒、不變易、正住耶？』」

爾時，世尊手執小土摶，告彼比丘言：「汝見我手中土摶不？」

比丘白佛：「已見，世尊！」

「比丘！如是少土，我不可得；若我可得者，則是常、恒、不變易、正住法。」

佛告比丘：「我自憶宿命，長夜修福，得諸勝妙可愛果報之事：曾於七年中修習慈心，經七劫成壞，不還此世。

七劫壞時，生光音天。

七劫成時，還生梵世空宮殿中，作大梵王，無勝、無上，領千世界。

從是(以)後，復三十六反作天帝釋。

復百千反作轉輪聖王，領四天下，正法治化，七寶具足，所謂：輪寶、象寶、馬寶、摩尼寶、玉女寶、主藏臣寶、主兵臣寶，千子具足，皆悉勇健。於四海內，其地平正，無諸毒刺。不威、不迫，以法調伏。

灌頂王法，有八萬四千龍象，皆以眾寶莊嚴而挍餝之，寶網覆上，建立寶幢，布薩象王最為導首，朝、晡二時自會殿

前。我時念言：是大群象，日日再反往來，蹈殺眾生無數。願令四萬二千象，百年一來。即如所願，八萬四千象中，四萬二千象百年一至。

灌頂王法，復有八萬四千匹馬，亦以純金為諸乘具，金網覆上，婆羅馬王為其導首。

灌頂王法，有八萬四千四種寶車，所謂：金車、銀車、琉璃車、頗梨車，師子、虎、豹皮、雜色欽婆羅以為覆襯，跋求毘闍耶難提音聲之車為其導首。

灌頂王法，領八萬四千城，安隱豐樂，人民熾盛，拘舍婆提王[城]而為上首。

灌頂王法，有八萬四千四種宮殿，所謂：金、銀、琉璃、頗梨、摩尼琉璃，由訶而為上首。

比丘！灌頂王法，有八萬四千四種寶床，所謂：金、銀、琉璃、頗梨，種種繒褥、氍毹、毾㲪、迦陵伽臥具以敷其上，安置丹枕。

復次，比丘！灌頂王法，復有八萬四千四種衣服，所謂：迦尸細衣，芻摩衣，頭鳩羅衣，拘沾婆衣。

復次，比丘！灌頂王法，有八萬四千玉女，所謂：剎利女，似剎利女，況復餘女。

復次，比丘！灌頂王法，有八萬四千(釜)食，眾味具足。

比丘！八萬四千玉女中，唯以一人以為給侍；八萬四千寶衣，唯著一衣；八萬四千寶床，唯臥一床；八萬四千宮殿，唯處一殿；八萬四千城，唯居一城，名拘舍婆提；八萬四千寶車，唯乘一車，名毘闍耶難提瞿沙，出城遊觀；八萬四千寶馬，唯乘一馬，名婆羅訶，毛尾紺色；八萬四千龍象，唯乘一象，名布薩陀，出城遊觀。

比丘！此是何等業報，得如是威德自在耶？

此是三種業報，云何為三？一者、布施，二者、調伏，三者、修道。

比丘！當知：凡夫染習五欲，無有厭足，聖人智慧成滿而常知足。

比丘！一切諸行過去盡滅、過去變易，彼自然眾具及以名稱，皆悉磨滅。

是故，比丘！永息諸行，厭離、斷欲、解脫。

比丘！色為常？[為]無常？」

比丘白佛言：「無常，世尊！」

「若無常者是苦耶？」

比丘白佛言：「是苦，世尊！」

「比丘！若無常、苦，是變易法，聖弟子寧復於中計我、異我、相在不？」

比丘白佛：「不也，世尊！」

「如是，受……想……行……識為常？為無常？」

比丘白佛言：「無常，世尊！」

「若無常者是苦耶？」

比丘白佛言：「是苦，世尊！」

「比丘！若無常、苦，是變易法，聖弟子寧復於中計我、異我、相在不？」

比丘白佛：「不也，世尊！」

佛告比丘：「諸所有色，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、不異我、不相在。

如是，受……想……行……識，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、不異我、不相在。

比丘！於色當生厭*、離欲、解脫。

如是，於受……想……行……識當生厭、離欲、解脫、解脫知見：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

時，彼比丘聞佛所說，踊躍歡喜，作禮而去，常念土摶譬教授，獨一靜處，精勤思惟，不放逸住；不放逸住已，所以善男子剃除鬚髮正信非家出家學道，為究竟無上梵行，見法，自知身作證：「我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」

時，彼尊者亦自知法，心得解脫，成阿羅漢。

大正 268/印順 51/佛光 45(陰 SN22.93)

如是我聞：一時，佛在舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「譬如：河水從山澗出，彼水深駛，其流激注，多所漂沒。其河兩岸生雜草木，大水所偃，順靡水邊，眾人涉渡，多為水所漂，隨流沒溺，遇浪近岸，手援草木，草木復斷，還隨水漂。

如是，比丘！若凡愚眾生不如實知色、色集、色滅、色味、色患、色離；不如實知故，樂著於色，言：『色是我。』彼色隨斷；如是，不如實知受……想……行……識、識集、識滅、識味、識患、識離；不如實知故，樂著於識，言：『識是我。』識復隨斷。

若多聞聖弟子如實知色、色集、色滅、色味、色患、色離；如實知故，不樂著於色；如實知受……想……行……識、識集、識滅、識味、識患、識離；如實知故，不樂著識；不樂著故，如是，自知得般涅槃：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

佛說此經已，時，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 270/印順 53/佛光 47(陰 SN22.102)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：田夫於夏末秋初深耕其地，發荄、斷草，如是，比丘！無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：比丘！如人刈草，手攬其端，舉而抖擻，萎枯悉落，取其長者，如是，比丘！無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：菴羅果著樹猛風搖條，果悉墮落，如是，無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：樓閣中心堅固，眾材所依，攝受不散，如是，無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：一切眾生跡，象跡為大，能攝受故，如是，無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：閻浮提一切諸河悉赴大海，其大海者最為第一，悉攝受故，如是，無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：日出能除一切世間闇冥，如是，無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

譬如：轉輪聖王於諸小王最上、最勝，如是，無常想修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明。

諸比丘！云何修無常想，修習、多修習，能斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明？

若比丘於空露地，若林樹間，善正思惟，觀察色無常；受、想、行、識無常，如是思惟，斷一切欲愛、色愛、無色愛、掉、慢、無明，所以者何？

無常想者，能建立無我想；聖弟子住無我想，心離我慢，順得涅槃。」

佛說是經已，時諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 272/印順 55/佛光 49(陰 SN22.80)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，眾中有少諍事，世尊責諸比丘故，晨朝著衣持鉢，入城乞食，食已出，攝舉衣鉢，洗足，入安陀林，坐一樹下，獨靜思惟，作是念：「眾中有少諍事，我責諸比丘。然，彼眾中多年少比丘，出家未久，不見大師，或起悔心，愁憂不樂。我已長夜於諸比丘生哀愍心，今當復還攝取彼眾，以哀愍故。」

時，大梵王知佛心念，如力士屈伸臂頃，從梵天沒，住於佛前，而白佛言：「如是，世尊！如是，善逝！責諸比丘，以少諍事故。於彼眾中多有年少比丘，出家未久，不見大師，或起悔心，愁憂不樂。世尊長夜哀愍攝受眾僧，善哉！世尊！願今當還攝諸比丘。」

爾時，世尊心已垂愍梵天故，默然而許。

時，大梵天知佛世尊默然已許，為佛作禮，右繞三匝，忽然不現。

爾時，世尊，大梵天王還去未久，即還祇樹給孤獨園，敷尼師檀，(斂)身正坐，表現微相，令諸比丘敢來奉見。

時，諸比丘來詣佛所，懷慚愧色，前禮佛足，卻坐一面。

爾時，世尊告諸比丘：「出家之人卑下活命，剃髮持鉢，家家乞食，如被(禁)咒，所以然者，為求勝義故，為度生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，究竟苦邊故。

諸善男子！汝不為王、賊所使，非負債人，不為恐怖，不為失命而出家，正為解脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，汝等不為此而出家耶？」

比丘白佛：「實爾，世尊！」

佛告比丘：「汝等比丘為如是勝義而出家，云何於中猶復有一愚癡凡夫而起貪欲極生染著，瞋恚兇暴，懈怠下劣，失念，不定，諸根迷亂，譬如：士夫從闇而入闇，從冥入冥，從糞廁出復墮糞廁，以血洗血，捨離諸惡還復取惡？

我說此譬，凡愚比丘亦復如是。

又復，譬如：焚尸火棎，捐棄塚間，不為樵伐之所採拾。

我說此譬，愚癡凡夫比丘而起貪欲極生染著，瞋恚兇暴，懈怠下劣，失念，不定，諸根散亂亦復如是。

比丘！有三不善覺法，何等為三？貪覺、恚覺、害覺，此三覺由想而起。云何想？想有無量種種，貪想、恚想、害想，諸不善覺從此而生。

比丘！貪想、恚想、害想，貪覺、恚覺、害覺，及無量種種不善，云何究竟滅盡？

於四念處繫心，住無相三昧，修習、多修習，惡不善法從是而滅，無餘永盡。正以此法，善男子、善女人信樂出家，修習無相三昧；修習、多修習已，住甘露門，乃至究竟甘露、涅槃。

我不說此甘露涅槃依三見者，何等為三？

有一種見，如是如是說：命則是身。

復有如是見：命異身異。

又作是說：色是我，無二無異，長存不變。

多聞聖弟子作是思惟：世間頗有一法可取而無罪過者？思惟已，都不見一法可取而無罪過者，我若取色，即有罪過；若取受、想、行、識，則有罪過。作是知已，於諸世間則無所取，無所取者自覺涅槃：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

佛說此經已，時，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

應說、小土摶，泡沫、二無知，河流、祇林、樹，低舍責、諸想。

大正 276/印順 399/佛光 275(入處 MN146)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，有如是像類大聲聞尼眾，住舍衛國王園中。

比丘尼眾，其名曰純陀比丘尼、民陀比丘尼、摩羅婆比丘尼、波羅遮羅比丘尼、(阿)羅毘迦比丘尼、差摩比丘尼、難摩比丘尼、(吉離)舍瞿曇彌比丘尼、優鉢羅色比丘尼、摩訶波闍波提比丘尼，此等及餘比丘尼住王園中。

爾時，摩訶波闍波提比丘尼與五百比丘尼，前後圍遶，來詣佛所，稽首禮足，退坐一面。

爾時，世尊為摩訶波闍波提比丘尼說法，示、教、照、喜，種種說法。示、教、照、喜已，發遣令還，言：「比丘尼！應時，宜去。」

摩訶波闍波提比丘尼聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

爾時，世尊知摩訶波闍波提比丘尼去已，告諸比丘：「我年已老邁，不復堪能為諸比丘尼說法，汝等諸比丘僧，今日諸宿德上座，當教授諸比丘尼。」

時，諸比丘受世尊教，次第教授比丘尼，次至難陀。

爾時，難陀次第應至而不欲教授。

爾時，摩訶波闍波提比丘尼與五百比丘尼，前後圍遶，詣世尊所，稽首禮足……乃至聞法歡喜隨喜，作禮而去。

爾時，世尊知摩訶波闍波提比丘尼去已，問尊者阿難：「誰應次至教授諸比丘尼？」

尊者阿難白佛言：「世尊！諸上座次第教授比丘尼，次至難陀，而難陀不欲教授。」

爾時，世尊告難陀言：「汝當教授諸比丘尼，為諸比丘尼說法，所以者何？我自教授比丘尼，汝亦應爾；我為比丘尼說法，汝亦應爾。」

爾時，難陀默然受教。

時，難陀夜過晨朝，著衣持鉢，入舍衛城乞食。

食已，還精舍，舉衣鉢，洗足已，入室坐禪。

從禪覺，著僧伽梨，將一比丘，往詣王園。

諸比丘尼遙見尊者難陀來，疾敷床座，請令就坐。

尊者難陀坐已，諸比丘尼稽首敬禮，退坐一面。

尊者難陀語諸比丘尼：「諸姊妹！汝等當問，我今當為汝等說法。汝等解者當說言解，若不解者當說不解，於我所說義若當解者，當善受持，若不解者，汝當更問，當為汝說。」

諸比丘尼白尊者難陀言：「我等今日聞尊者教，令我等問，告我等言：『汝等若未解者，今悉當問，已解者當言解，未解者當言不解，於我所說義已解者當奉持，未解者當復更問。』我等聞此，心大歡喜，未解義者，今日當問。」

爾時，尊者難陀告諸比丘尼：「云何姊妹？於眼內入處觀察，是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意內入處觀察，是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？尊者難陀！我等已曾於此法如實知見，於六內入處觀察無我，我等已曾作如是意解：『六內入處無我』。」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！姊妹！應如是解，六內入處觀察無我。

諸比丘尼！色外入處，是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「聲……香……味……觸……法外入處，是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？尊者難陀！我已曾於六外入處如實觀察無我，我常作此意解：『六外入處如實無我。』」

尊者難陀讚諸比丘尼：「善哉！善哉！汝於此義應如是觀，六外入處無我。

若緣眼、色，生眼識，彼眼識是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，彼意識是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我已曾於此六識身如實觀察無我，我亦常作是意解：『六識身如實無我。』」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！姊妹！汝於此義，應如是觀察，六識身如實無我。

緣眼、色，生眼識，三事和合生觸，彼觸是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，三事和合生觸，彼觸是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我已曾於此六觸觀察如實無我，我亦常如是意解：『六觸如實無我。』」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！當如實觀察，於六觸身如實無我。

緣眼、色，生眼(識)，三事和合觸，觸緣受，彼觸緣受是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，三事和合觸，觸緣受，彼受是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我等曾於此六受身如實觀察無我，我亦常作此意解：『六受身如實無我。』」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！汝於此義，應如是觀察，此六受身如實無我。

緣眼、色，生眼識，三事和合生觸，觸緣想，彼想是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，三事和合生觸，觸緣想，彼想是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我曾於此六想身，如實觀察無我，我亦常作此意解：『六想身如實無我。』」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！比丘尼！汝於此義，應如是觀察，此六想身如實無我。

緣眼、色，生眼識，三事和合觸，觸緣思，彼思是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，三事和合觸，觸緣思，彼思是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我曾於此六思身，如實觀察無我，我常作此意解：『此六思身如實無我。』」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！比丘尼！汝於此義，應如是觀察，此六思身如實無我。

緣眼、色，生眼識，三事和合觸，觸緣愛，彼愛是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！」

「耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，三事和合觸，觸緣愛，彼愛是我、異我、相在不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我曾於此六愛身，如實觀察無我，我常作此意解：『此六愛身如實無我。』」

尊者難陀告諸比丘尼：「汝於此義，應如是觀察，此六愛身如實無我。

姊妹！譬：因膏油、因炷，燈明得然，彼油無常，炷亦無常，火亦無常，器亦無常，若有作是言：『無油、無炷、無火、無器，而所依起燈光，常、恆、住、不變易。』作是說者為等說不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？緣油、炷、器然燈，彼油、炷、器悉無常，若無油、無炷、無器，所依燈光亦復隨滅、息、沒、清涼、真實。」

「如是，姊妹！此六內入處無常，若有說言：『此六內入處因緣生喜樂，常、恆、住、不變易、安隱。』是為等說不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我等曾如實觀察：彼彼法緣，生彼彼法；彼彼緣法滅，彼彼生法亦復隨滅、息、沒、清涼、真實。」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！比丘尼！汝於此義應如是觀察：彼彼法緣，生彼彼法；彼彼法緣滅，彼彼生法亦復隨滅、息、沒、寂靜、清涼、真實。

諸姊妹！譬如：大樹，根、莖、枝、葉，根亦無常，莖、枝、葉皆悉無常，若有說言：『無彼樹根、莖、枝、葉，唯有其影常、恆、住、不變易、安隱。』者，為等說不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？如彼大樹、根、莖、枝、葉，彼根亦無常，莖、枝、葉亦復無常，無根、無莖、無枝、無葉，所依樹影一切悉無。」

「諸姊妹！若緣外六入處無常，若言：『外六入處因緣生喜樂[常]、恆、住、不變易、安隱。』者，此為等說不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？我曾於此義如實觀察：彼彼法緣，生彼彼法；彼彼法緣滅，彼彼生法亦復隨滅、息、沒、寂靜、清涼、真實。」

尊者難陀告諸比丘尼：「善哉！善哉！姊妹！汝於此義，當如實觀察：彼彼法緣，生彼彼法；彼彼法緣滅，彼彼生法亦復隨滅、息、沒、寂滅、清涼、真實。

諸姊妹！聽我說譬，夫智者因譬得解。

譬如：善屠牛師、屠牛弟子手執利刀，解剝其牛，乘間而剝，不傷內肉，不傷外皮，解其(肢)節、筋骨，然後還以皮覆其上，若有人言：『此牛皮、肉全而不離。』為等說不？」

答言：「不也，尊者難陀！所以者何？彼善屠牛師、屠牛弟子手執利刀，乘間而剝，不傷皮肉、肢節、筋骨，悉皆斷截，還以皮覆上，皮、肉已離，非不離也。」

「姊妹！我說(斯)譬，今當說義：牛者，譬人身麁色，如篋毒蛇經廣說。肉者，謂：內六入處。外皮者，謂：外六入處。屠牛者，謂：學見跡。皮、肉中間筋骨者，謂：貪喜俱。利刀者，謂：利智慧。多聞聖弟子以智慧利刀，斷截一切結、縛、使、煩惱、上煩惱、纏。是故，諸姊妹！當如是學：於所可樂法，心不應著，斷除貪故；所可瞋法，不應生

瞋，斷除瞋故；所可癡法，不應生癡，斷除癡故；於五受陰當觀生、滅；於六觸入處當觀集、滅；於四念處當善繫心；住七覺分，修七覺分已，於其欲漏心不緣著，心得解脫；於其有漏心不緣著，心得解脫；於無明漏心不緣著，心得解脫。

諸姊妹！當如是學。」

爾時，尊者難陀為諸比丘尼說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，從座起去。

時，摩訶波闍波提比丘尼與五百比丘尼，眷屬圍遶，往詣佛所，稽首禮足，退住一面……乃至為佛作禮而去。

爾時，世尊知摩訶波闍波提比丘尼去已，告諸比丘：「譬如：明月十四日夜，多眾觀月，為是滿耶？為未滿耶？當知：彼月未究竟滿。如是，善男子難陀為五百比丘尼正教授、正說法，於其解脫猶未究竟。然，此等比丘尼命終之時，不見一結不斷，能使彼還生於此世。」

爾時，世尊復告難陀：「更為諸比丘尼說法。」

爾時，尊者難陀默然奉教。

夜過晨朝，持鉢，入城乞食。

食已，乃至往詣王園，就座而坐，為諸比丘尼說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，從座起去。

摩訶波闍波提比丘尼復於異時與五百比丘尼，前後圍遶，往詣佛所，稽首禮足……乃至作禮而去。

爾時，世尊知摩訶波闍波提比丘尼去已，告諸比丘：「譬如：明月十五日夜，無有人疑：『月滿？不滿？』者，然其彼月究竟圓滿。如是，善男子難陀為諸比丘尼說如是正教授，究竟解脫，若命終時，無有說彼道路所趣，此當知即是苦邊。」

是為世尊為五百比丘尼(授)第一果記。

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 282/印順 405/佛光 281(入處 MN152)

如是我聞：一時，佛住迦(徵)伽羅牟真鄰陀林中。

時，有年少名欝多羅，是波羅奢那弟子，來詣佛所，恭敬問訊已，退坐一面。

爾時，世尊告欝多羅：「汝師波羅奢那為汝等說修諸根不？」

欝多羅言：「說已，瞿曇！」

佛告欝多羅：「汝師波羅奢那云何說修諸根？」

欝多羅白佛言：「我師波羅奢那說：『眼不見色，耳不聽聲，是名修根。』」

佛告欝多羅：「若如汝波羅奢那說，盲者是修根不？所以者何？如唯盲者眼不見色。」

爾時，尊者阿難在世尊後，執扇扇佛。

尊者阿難語鬱多[羅]言：「如波羅奢那所說，聾者是修根不？所以者何？如唯聾者耳不聞聲。」

爾時，世尊告尊者阿難：「異於賢聖法律無上修諸根。」

阿難白佛言：「唯願世尊為諸比丘說賢聖法律無上修根！諸比丘聞已，當受奉行。」

佛告阿難：「諦聽！善思！當為汝說。

緣眼、色生眼識，見可意色，欲修如來厭離，正念、正智。

眼、色緣，生眼識，不可意，(欲)修如來不厭離，正念、正智。

眼、色緣，生眼識，可意、不可意，欲修如來厭離、不厭離，正念、正智。

眼、色緣，生眼識，不可意、可意，欲修如來不厭離、厭離，正念、正智。

眼、色緣，生眼識，可意、不可意、可不可意，欲修如來厭、不厭俱離，捨心住、正念、正智。

如是，阿難！若有於此五句，心善調伏、善關閉、善守護、善攝持、善修習，是則於眼、色無上修根。

耳……鼻……舌……身……意、法亦如是說。

阿難！是名賢聖法律無上修根。」

尊者阿難白佛言：「世尊！云何賢聖法律為賢聖修根？」

佛告阿難：「眼、色緣，生眼識，生可意，生不可意，生可意、不可意，彼聖弟子如是如實知：『我眼、色緣，生眼識，生可意，生不可意，生可意、不可意，此則寂滅，此則勝妙，所謂俱捨。』得彼捨已，離厭、不厭。

譬如：力士[彈指]頃[滅]，如是，眼、色緣，生眼識，生可意，生不可意，生可意、不可意，俄爾盡滅，得離厭、不厭，捨。

如是，耳、聲緣，生耳識，生可意，生不可意，生可意、不可意，聖弟子如是如實知：『我耳識聞聲，生可意，生不可意，生可意、不可意，此則寂滅、勝妙，所謂為捨。』得捨已，離厭、不厭。

譬如：大力士夫彈指，發聲即滅，如是，耳、聲緣，生耳識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，是則為捨，得彼捨已，離厭、不厭。

鼻、香緣，生鼻識，生可意，生不可意，生可意、不可意，聖弟子如是如實知：『鼻、香緣，生鼻識，生可意，生不可意，生可意、不可意，此則寂滅，此則勝妙，所謂為捨。』得彼捨已，離厭、不厭。

譬如：蓮(華)水所不染，如是，鼻、香緣，生鼻識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，所謂為捨，得彼捨已，離厭、不厭。

舌、味緣，生舌識，生可意，生不可意，生可意、不可意，彼聖弟子如是如實知：『舌、味緣，生舌識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，寂滅、勝妙，所謂為捨。』得彼捨已，離厭、不厭。

譬如：力士舌端唾沫，盡唾令滅，如是，舌、味緣，生舌識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，所謂為捨，得彼捨已，離厭、不厭。

身、觸緣，生身識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，聖弟子如是如實知：『身、觸緣，生身識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，寂滅、勝妙，所謂為捨。』得彼捨已，離厭、不厭。

譬如：鐵丸燒令極熱，小滴水灑，尋即消滅，如是，身、觸緣，生身識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，所謂為捨，得彼捨已，離厭、不厭。

意、法緣，生意識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已速滅，聖弟子如是如實知：『意、法緣，生意識，生可

意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，是則寂滅，是則勝妙，所謂為捨。』得彼捨已，離厭、不厭。

譬如：力士斷多羅樹頭，如是，意、法緣，生意識，生可意，生不可意，生可意、不可意，生已盡滅，所謂為捨。得彼捨已，離厭、不厭。

阿難！是為賢聖法律，為聖弟子修諸根。」

「云何為聖法律，(學)見跡？」

佛告阿難：「眼、色緣，生眼識，生可意，生不可意，生可意、不可意，彼聖弟子慚、恥、厭惡。

耳……鼻……舌……身……意、法緣，生意識，生可意，生不可意，生可意、不可意，彼聖弟子慚、恥、厭惡。

阿難！是名賢聖法律，(學)見跡。

阿難！是名賢聖法律無上修諸根，已說賢聖修諸根，已說(學)見跡。

阿難！我為諸聲聞所作，所作已作，汝等當作所作，廣說如篋毒蛇經。」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行。

大正 293/印順 474/佛光 331(因緣 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告異比丘：「我已度疑，離於猶豫，拔邪見刺，不復退轉，心無所著故，何處有我？為彼比丘說法；為彼比丘說賢聖、出世、空相應、緣起隨順法，所謂：有是故，是事有，是事有故，是事起；所謂：緣無明，行；緣行，識；緣識，名色；緣名色，六入處；緣六入處，觸；緣觸，受；緣受，愛；緣愛，取；緣取，有；緣有，生；緣生，老死、憂悲惱苦，如是、如是純大苦聚集……乃至，如是，純大苦聚滅。

如是說法，而彼比丘猶有疑惑、懷疑，先不得得想、不獲獲想、不證證想，今聞法已，心生憂苦、悔恨、矇沒、障礙，所以者何？

此甚深處，所謂緣起；倍復甚深難見，所謂一切取離、愛盡、無欲、寂滅、涅槃。

如此二法，謂：有為、無為。

有為者，若生、若住、若異、若滅；無為者，不生、不住、不異、不滅，是名比丘諸行苦寂滅、涅槃。

因集故，苦集；因滅故，苦滅，斷諸逕路，滅於相續，相續滅*，是名苦邊。

比丘！彼何所滅？謂：有餘苦，彼若滅止、清涼、息、沒，所謂：一切取滅、愛盡、無欲、寂滅、涅槃。」

佛說此經已、諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 295/印順 476/佛光 333(因緣 SN12.37)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「此身非汝所有，亦非餘人所有，謂：六觸入處本修行願受得此身，云何為六？眼觸入處，耳、鼻、舌、身、意觸入處。

彼多聞聖弟子於諸緣起，善正思惟觀察：有此六識身、六觸身、六受身、六想身、六思身，所謂：此有故，有當來生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，如是、如是純大苦聚集，是名有因、有緣世間集；謂：此無故，六識身無；六觸身……六受

身……六想身……六思身無；謂：此無故，無有當來生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，如是、如是純大苦聚滅。

若多聞聖弟子於世間集、世間滅如實正知，善見、善覺、善入，是名聖弟子招此善法，得此善法，知此善法，入此善法；覺知、覺見世間生滅，成就賢聖、出離、(貫穿)、正盡苦、究竟苦邊，所以者何？謂：多聞聖弟子世間集、滅如實知，善見、善覺、善入故。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 297/印順 478/佛光 335(因緣 SN12.35)

如是我聞：一時，佛住拘留搜調牛聚落。

爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝等說法，初、中、後善，善義、善味，純一清淨梵行清白，所謂大空法經，諦聽！善思！當為汝說。

云何為大空法經？所謂：此有故，彼有，此起故，彼起，謂：緣無明，行；緣行，識……乃至純大苦聚集。

緣生、老、死者，若有問言：『彼誰老死？老死屬誰？』

彼則答言：『我即老死，今老死屬我，老死是我所。』

言：『命即是身。』或言：『命異身異。』此則一義，而說有種種。

若見言：『命即是身。』彼梵行者所無有。

若復見言：『命異身異。』梵行者所無有。

於此二邊心所不隨，正向中道、賢聖出世、如實、不顛倒、正見，謂：緣生、老、死。如是，生、有、取、愛、受、觸、六入處、名色、識、行。緣無明故，有行。

若復問言：『誰是行？行屬誰？』

彼則答言：『行則是我，行是我所。』

彼如是：『命即是身。』或言：『命異身異。』

彼見命即是身者，梵行者[所]無有。

或言：『命異身異。』者，梵行者亦無有。

離此二邊，正向中道、賢聖出世、如實、不顛倒、正見*，所謂：緣無明，行。

諸比丘！若無明離欲而生明，彼『誰老死？老死屬誰？』者，老死則斷、則知，斷其根本，如截多羅樹頭，於未來世成不生法。

若比丘無明離欲而生明，『彼誰生？生屬誰？……乃至誰是行？行屬誰？』者，行則斷、則知，斷其根本，如截多羅樹頭，於未來世成不生法。

若比丘無明離欲而生明，彼無明滅則行滅……乃至純大苦聚滅，是名大空法經。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 301/印順 482/佛光 339(因緣 SN12.15)

如是我聞：一時，佛住那梨聚落深林中待賓舍。

爾時，尊者蹅陀迦旃延詣佛所，稽首佛足，退住一面，白佛言：「世尊！如世尊說正見，云何正見？云何世尊施設正見？」

佛告蹅陀迦旃延：「世間有二種依：若有、若無，為取所觸；取所觸故，或依有，或依無。若無此取者，心、境繫著

使不取、不住、不計我，苦生而生，苦滅而滅，於彼不疑、不惑，不由於他而自知，是名正見，是名如來所施設正見。所以者何？世間集，如實正知見，若世間無者不有；世間滅，如實正知見，若世間有者無有，是名離於二邊，說於中道，所謂：此有故，彼有，此起故，彼起，謂：緣無明，行……乃至純大苦聚集。無明滅故，行滅……乃至純大苦聚滅。」

佛說此經已，尊者蹍陀迦旃延聞佛所說，不起諸漏，心得解脫，成阿羅漢。

大正 308/印順 410/佛光 286(入處 SN35.136)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「諸天、世人於色染著、愛樂住，彼色若無常、變易、滅盡，彼諸天、人則生大苦；於聲……香……味……觸……法染著、愛樂住，彼法變易、無常、滅盡，彼諸天、人得大苦住。

如來於色、色集、色滅、色味、色患、色離如實知；如實知已，於色不復染著、愛樂住，彼色變易、無常、滅盡，則生樂住；於聲……香……味……觸……法集、滅、味、患、離如實知；如實知已，不復染著、愛樂住，彼(法)變易、無常、滅盡，則生樂住。

所以者何？眼、色緣生眼識，三事和合觸，觸緣受：若苦、若樂、不苦不樂，此*受集、此受滅、[此受味、]此受患、此受離如實知，於彼色因緣生阨礙；阨礙盡已，名無上安隱涅槃；耳……鼻……舌……身……意、法緣生意識，三事和合觸，觸緣受：若苦、若樂、不苦不樂，彼受集、受滅、受味、受患、受離如實知；如實知已，彼法因緣生阨礙；阨礙盡已，名無上安隱涅槃。」

爾時，世尊而說偈言：「於色、聲、香、味、觸、法六境界，一向生喜悅、愛染、深樂著。

諸天及世人，唯以此為樂，變易滅盡時，彼則生大苦。

唯有諸賢聖，見其滅為樂，世間之所樂，觀察悉為怨。

賢聖見苦者，世間以為樂；世間之所苦，於聖則為樂。

甚深難解法，世間疑惑生，大闇所昏沒，盲冥無所見。

唯有智慧者，發朦開大明，如是甚深句，非聖孰能知，

不還受身者，深達諦明了。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 311/印順 413/佛光 289(入處 SN35.88)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者富樓那來詣佛所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「善哉！世尊！為我說法，我坐獨一靜處，專精思惟，不放逸住……乃至自知不受後有。」

佛告富樓那：「善哉！善哉！能問如來如是之義。諦聽！善思！當為汝說。

若有比丘眼見可愛、可樂、可念、可意、長養欲之色，見已，欣悅、讚歎、繫著；欣悅、讚歎、繫著已，歡喜；歡喜已，樂著；樂著已，貪愛；貪愛已，阨礙。歡喜、樂著、貪愛、阨礙故，去涅槃遠；耳、鼻、舌、身、意亦如是說。

富樓那！若比丘眼見可愛、[可]樂、可念、可意、長養欲之色，見已，不欣悅、不讚歎、不繫著；不欣悅、不讚歎、不繫著故，不歡喜；不歡喜故，不深樂；不深樂故，不貪愛；不貪愛故，不阨礙。不歡喜、不深樂、不貪愛、不阨礙故，漸近涅槃；耳、鼻、舌、身、意亦如是說。」

佛告富樓那：「我已略說法教，汝欲何所住？」

富樓那白佛言：「世尊！我已蒙世尊略說教誡，我欲於西方輸盧那人間遊行。」

佛告富樓那：「西方輸盧那人兇惡、輕躁、弊暴、好罵，富樓那！汝若聞彼兇惡、輕躁、弊暴、好罵、毀辱者，當如之何？」

富樓那白佛言：「世尊！若彼西方輸盧那國人面前兇惡、訶罵、毀辱者，我作是念：『彼西方輸盧那人賢善、智慧，雖於我前兇惡、弊暴、[好]罵、毀辱我，猶尚不以手石而見打擲。』」

佛告富樓那：「彼西方輸盧那人但兇惡、輕躁、弊暴、罵辱，於汝則可脫，復當以手石打擲者，當如之何？」

富樓那白佛言：「世尊！西方輸盧那人，脫以手石加於我者，我當念言：『輸盧那人賢善、智慧，雖以手石加我而不用刀杖。』」

佛告富樓那：「若當彼人脫以刀杖而加汝者，復當云何？」

富樓那白佛言：「世尊！若當彼人脫以刀杖而加我者，當作是念：『彼輸盧那人賢善、智慧，雖以刀杖而加於我，而不見殺。』」

佛告富樓那：「假使彼人脫殺汝者，當如之何？」

富樓那白佛言：「世尊！若西方輸盧那人脫殺我者，當作是念：『有諸世尊弟子當厭患身，或以刀自殺，或服毒藥，或以繩自繫，或投深坑。彼西方輸盧那人賢善、智慧，於我朽敗之身，以少作方便，便得解脫。』」

佛言：「善哉！富樓那！汝善學忍辱，汝今堪能於輸盧那人間住止，汝今宜去，度於未度，安於未安，未涅槃者令得涅槃。」

爾時，富樓那聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

爾時，尊者富樓那夜過晨朝，著衣持鉢，入舍衛城乞食。食已還出，付囑臥具，持衣鉢，去至西方輸盧那人間遊行。到已，夏安居，為五百優婆塞說法，建立五百僧伽藍，繩床、臥褥、供養眾具，悉皆備足。三月過已，具足三明，即於彼處入無餘涅槃。

大正 314/印順 416/佛光 292(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「當斷欲：斷眼欲已，眼則已斷、已知，斷其根本，如截多羅樹頭，於未來世永不復生；耳、鼻、舌、身、意亦如是說。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 316/印順 418/佛光 294(入處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「眼無常，若眼是常者，則不應受逼迫苦，亦應說於眼欲令如是、不令如是；以眼無常故，是

故，眼受逼迫苦生，是故，不得於眼欲令如是、不令如是；耳、鼻、舌、身、意亦如是說。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 344/印順 486/佛光 343(因緣 MA29; MN9)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅住耆闍崛山。

時，尊者摩訶拘絺羅晡時從禪定起，詣舍利弗所，共相慶慰；共相慶慰已，退坐一面，語尊者舍利弗：「欲有所問，寧有閑暇見答與不？」

尊者舍利弗語尊者摩訶拘絺羅：「仁者但問，知者當答。」

尊者摩訶拘絺羅語尊者舍利弗言：「多聞聖弟子於此法律成就何法，名為見具足，直見成就，成就於佛不壞淨，來入正法，得此正法，悟此正法？」

尊者舍利弗語尊者摩訶拘絺羅：「多聞聖弟子於不善法如實知，不善根如實知；善法如實知，善根如實知。

云何不善法如實知？不善身業、口業、意業，是名不善法，如是不善法如實知。

云何不善根如實知？三不善根：貪不善根、恚不善根、癡不善根，是名不善根，如是不善根如實知。

云何善法如實知？善身業、口業、意業，是名善法，如是善法如實知。

云何善根如實知？謂三善根：無貪、無恚、無癡，是名三善根，如是善根如實知。

尊者摩訶拘絺羅！如是多聞聖弟子不善法如實知，不善根如實知；善法如實知，善根如實知故，於此法律正見具足，直見成就，於佛不壞淨成就，來入正法，得此正法，悟此正法。」

尊者摩訶拘絺羅語尊者舍利弗：「正有此等，更有餘耶？」

尊者舍利弗言：「有。若多聞聖弟子於食如實知、食集、食滅、食滅道跡如實知。

云何於食如實知？謂：四食，何等為四？一者、麁摶食，二者、細觸食，三者、意思食，四者、識食，是名為食，如是食如實知。

云何食集如實知？謂：當來有愛、喜貪俱、彼彼樂著，是名食集，如是食集如實知。

云何食滅如實知？若當來有愛、喜貪俱、彼彼樂著無餘斷、捨、吐、盡、離欲、滅、息、沒，是名食滅，如是食滅如實知。

云何食滅道跡如實知？謂八聖道：正見、正志、正語、正業、正命、正方便、正念、正定，是名食滅道跡，如是食滅道跡如實知。

若多聞聖弟子於此食如實知，食集如實知，食滅如實知，食滅道跡如實知，是故，多聞聖弟子於正法律，正見具足，直見成就，於佛不壞淨成就，來入正法，得此正法，悟此正法。」

尊者摩訶拘絺羅復問尊者舍利弗：「正有此等，更有餘耶？」

尊者舍利弗言：「尊者摩訶拘絺羅！復更有餘。多聞聖弟子，於病如實知，病集如實知，病滅如實知，病滅道跡如實知。

云何有病如實知？謂三病：欲病、有病、無明病，是名病，如是病如實知。

云何病集如實知？無明集是病集，是名病集如實知。

云何病滅如實知？無明滅是病滅，如是病滅如實知。

云何病滅道跡如實知？謂八正道，如前說，如是病滅道跡如實知。

若多聞聖弟子，於病如實知，病集如實知，病滅如實知，病滅道跡如實知故，多聞聖弟子於此法律，正見具足……乃至悟此正法。」

尊者摩訶拘絺羅問尊者舍利弗：「正有此等，更有餘耶？」

尊者舍利弗語尊者摩訶拘絺羅：「亦更有餘。多聞聖弟子於苦如實知，苦集如實知，苦滅如實知，苦滅道跡如實知。

云何苦如實知？謂：生苦、老苦、病苦、死苦、恩愛別苦、怨憎會苦、所欲不得苦，如是，略說五受陰苦，是名為苦，如是苦如實知。

云何苦集如實知？當來有愛、喜貪俱、彼彼(樂)著，是名苦集，如是，苦集如實知。

云何苦滅如實知？若當來有愛、喜貪俱、彼彼(樂)著無餘斷……乃至息、沒，是名苦滅，如是苦滅如實知。

云何苦滅道跡如實知？謂：八聖道，如上說，是名苦滅道跡，如是苦滅道跡如實知。

多聞聖弟子如是苦如實知，苦集、苦滅、苦滅道跡如實知，如是，聖弟子於我法律，具足正見，直見成就，於佛不壞淨成就，來入正(法)，得此正法，悟此正法。」

復問尊者舍利弗：「正有此法，復有餘耶？」

尊者舍利弗答言：「更有餘。謂：多聞聖弟子老死如實知，老死集如實知，老死滅如實知，老死滅道跡如實知，如前分別經說。

云何老死集如實知？生集是老死集，生滅是老死滅，老死滅道跡謂八正道，如前說。

多聞聖弟子於此老死如實知……乃至老死滅道跡如實知，如是聖弟子於我法律，正見具足，直見成就，於佛不壞淨成就，來入正法，得此正法，悟此正法。

如是，生……有……取……愛……受……觸……六入處……名色……識……*。

聖弟子於行如實知，行集、行滅、行滅道跡如實知。

云何行如實知？行有三種：身行，口行，意行，如是行如實知。

云何行集如實知？無明集是行集，如是，行集如實知。

云何行滅如實知？無明滅是行滅，如是，行滅如實知。

云何行滅道跡如實知？謂：八聖道，如前說。

摩訶拘絺羅！是名聖弟子行如實知，行集、行滅、行滅道跡如實知，於我法律，正見具足，直見成就，於佛不壞淨成就，來入正法，得此正法，悟此正法。」

摩訶拘絺羅復問尊者舍利弗：「唯有此法，更有餘耶？」

舍利弗答言：「摩訶拘絺羅！汝何為逐？汝終不能究竟諸論，得其邊際。

若聖弟子斷除無明而生明，何須更求！」

時，二正士共論義已，各還本處。

大正 345/印順 487/佛光 344(因緣 SN12.31)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告尊者舍利弗：「如我所說〈波羅延耶阿逸多所問〉：『若得諸法(數)，若復種種學，具威儀及行，為我分別說。』

舍利弗！何等為學？何等為法數？」

時，尊者舍利弗默然不答，第二，第三，亦復默然。

佛言：「真實，舍利弗！」

舍利弗白佛言：「真實，世尊！

世尊！比丘真實者，厭、離欲、滅盡向。

食集生，彼比丘以食故，生厭、離欲、滅盡向。

彼食滅是真實滅，覺知已，彼比丘厭，離欲，滅盡向，是名為學。」

「復次，真實，舍利弗！」

舍利弗白佛言：「真實，世尊！

世尊！若比丘真實者，厭，離欲，滅盡，不起諸漏，心善解脫。

彼從食集生，若真實即是滅盡，覺知此已，比丘於滅生厭、離欲、滅盡，不起諸漏，心善解脫，是(法數)。」

佛告舍利弗：「如是！如是！如汝所說，比丘於真實生厭、離欲、滅盡，是名法數。」

如是說已，世尊即起入室坐禪。

爾時，尊者舍利弗知世尊去已，不久，語諸比丘：「諸尊！我不能辯世尊初問，是故我默念住，世尊須臾復為作發喜問，我即開解如此之義。

正使世尊一日一夜，乃至七夜，異句、異味問斯義者，我亦悉能乃至七夜，以異句、異味而解說之。」

時，有異比丘往詣佛所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！尊者舍利弗作奇特未曾有說，於大眾中一向師子吼，言：『我於世尊初問，都不能辯，乃至三問，默然無答，世尊尋復作發喜問，我即開解。正使世尊一日一夜，乃至七夜，異句、異味問斯義者，我亦悉能乃至七夜，異句、異味而解說之。』」

佛告比丘：「彼舍利弗比丘實能於我一日一夜，乃至七夜，[異句、異味]所問義中，悉能乃至七夜，異句、異味而解說之，所以者何？舍利弗比丘善入法界故。」

佛說此經已，彼比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 357/印順 502/佛光 356(因緣 SN12.34)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有七十七種智，諦聽！善思！當為汝說。

云何七十七種智？生緣老死智，非餘生緣老死智；過去生緣老死智，非餘過去生緣老死智；未來生緣老死智，非餘未來

生緣老死智；及法住智無常、有為、心所緣生、盡法、變易法、離欲法、滅法：斷知智。

如是，生……有……取……愛……受……觸……六入處……名色……識……行……無明緣行智，非餘無明緣行智；過去無明緣行智，非餘過去無明緣行智；未來無明緣行智，非餘未來無明緣行智；及法住智無常、有為、心所緣生、盡法、變易法、無欲法、滅法：斷智。是名七十七種智。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 384/印順 547/佛光 383(諦 SN56.25)

如是我聞：一時，佛住波羅梌仙人住處鹿野苑中。

爾時，世尊告諸比丘：「有四聖諦，何等為四？謂：苦聖諦，苦集聖諦，苦滅聖諦，苦滅道跡聖諦。

若比丘於苦聖諦已知、已解，於苦集聖諦已知、已斷，於苦滅聖諦已知、已證，於苦滅道跡聖諦已知、已修，如是比丘名阿羅漢，諸漏已盡，所作已作，離諸重擔，逮得己利，盡諸有結，正智善解脫。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 396/印順 588/佛光 395(諦 AN3.95)

如是我聞：一時，佛住波羅榇國仙人住處鹿野苑中。

爾時，世尊告諸比丘：「譬如：日出，周行空中，壞諸闇冥，光明顯照，如是，聖弟子所有集法一切滅已，離諸塵垢，得法眼生，與無間等俱，三結斷，所謂：身見、戒取、疑。此三結盡，名須陀洹，不墮惡趣法，必定，正覺趣，七有天人往生，作苦邊。

彼聖弟子中間雖起憂苦，聽彼聖弟子離欲惡不善法，有覺、有觀，離生喜、樂，初禪具足住，不見彼聖弟子有一法不斷，能令還生此世者，此則聖弟子得法眼之大義。

是故，比丘！於此四聖諦未無間等者，當勤方便，起增上欲，精進修學。」

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 400/印順 592/佛光 399(諦 SN56.34)

如是我聞：一時，佛住波羅榇國仙人住處鹿野苑中。

爾時，世尊告諸比丘：「譬如：有人火燒頭衣，當起增上欲，急救令滅。」

佛告比丘：「莫作是說！當置頭衣，於四聖諦起增上欲，勤加方便，修無間等，何等四？謂：苦聖諦，苦集聖諦，苦滅聖諦，苦滅道跡聖諦，未無間等當勤方便修無間等，所以者何？比丘！長夜熾然，地獄、畜生、餓鬼，諸比丘不見極苦。

如苦聖諦、苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦未無間等者，是比丘當忍苦樂、憂悲，於四聖諦勤加精進，方便修習無間等，應當學。」

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 402/印順 594/佛光 401(諦 SN56.23)

如是我聞：一時，佛住波羅榇國仙人住處鹿野苑中。

爾時，世尊告諸比丘：「於四聖諦平等正覺，名為如來、應、等正覺，何等為四？所謂：苦聖諦，苦集聖諦，苦滅聖諦，苦滅道跡聖諦，於此四聖諦平等正覺，名為如來、應、等正覺。

是故，諸比丘！於四聖諦未無間(等)者，當勤方便，起增上欲，學無間等。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 405/印順 597/佛光 404(諦 SN56.45)

如是我聞：一時，佛住毘舍離獼猴池側重閣講堂。

爾時，尊者阿難晨朝著衣持鉢，入毘舍離城乞食。

時，有眾多離車童子晨朝從城內出，至精舍門，持弓箭，競射精舍門孔，箭箭皆入門孔。

尊者阿難見已，以為奇特：「彼諸離車童子，能作如是難事！」

入城乞食還，舉衣鉢，洗足已，往詣佛所，稽首佛足，退住一面，白佛言：「世尊！我今晨朝著衣持鉢，入毘舍離城乞

食，見有眾多離車童子從城內出，至精舍門，競射門孔，箭箭皆入。

我作是念：『此甚奇特！諸離車童子能為難事！』」

佛告阿難：「於意云何？離車童子競射門孔，箭箭皆入，此為難耶？破一毛為百分，而射一毛分，箭箭悉中，此為難耶？」

阿難白佛：「破一毛百分，射一分之毛，箭箭悉中，此則為難。」

佛告阿難：「未若於苦聖諦生如實知，此則甚難。

如是，苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦如實知見，此則甚難！」

爾時，世尊而說偈言：「一毛為百分，射一分甚難，觀一一苦陰，非我難亦然。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 419/印順 611/佛光 418(諦 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘於佛有疑者，則於苦聖諦有疑，苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦則有疑惑；若於法、僧有疑者，則於苦聖諦疑惑，苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦疑惑。

若於佛不疑惑者，則於苦聖諦不疑惑，苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦不疑惑；若於法、僧不疑惑者，則於苦聖諦不疑惑，苦集聖諦、苦滅聖諦、苦滅道跡聖諦不疑惑。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 440/印順 634-641/佛光 439(諦 SN56.52-54,57,58)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「譬如：湖池深廣五十由旬，其水盈滿，若有士夫以髮，以毛，或以指端，滌彼湖水，乃至再三，云何，比丘！如彼士夫所滌水多，湖池水多？」

比丘白佛：「如彼士夫毛、髮、指端再三滌水，甚少少耳，彼湖大水，其量無數，乃至算數譬類不可為比。」

佛告比丘：「如大湖水甚多無量，如是，多聞聖弟子具足見，諦得聖道果，斷諸苦本，如截多羅樹頭，於未來世成不生法，餘不盡者，如彼士夫髮、毛、指端所滴之水。

是故，比丘！於四聖諦未無間等者，當勤方便，起增上欲，學無間等。」

佛說是經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如大湖水譬，如是，薩羅多吒迦、恒伽、耶符那、薩羅遊、伊羅跋提、摩醯，及四大海，其譬亦如上說。

大正 465/印順 728/佛光 464(界 AN4.177)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者羅　羅詣世尊所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！云何知、云何見，我此識身及外境界一切相，得無有我、我所見、我慢繫著使？」

佛告羅　羅：「諦聽！善思！當為汝說。

羅　羅！若比丘於所有地界，若過去、若未來、若現在，若內、若外，若麁、若細，若好、若醜，若遠、若近，彼一切非我、不異我、不相在如實知。

水界，火界，風界，空界，識界亦復如是。

羅　羅！比丘如是知、如是見，於我此識身及外境界一切相，無有我、我所見，我慢繫著使。

羅　羅！若比丘於此識身及外境界一切相，無有我、我所見，我慢繫著使，是名斷愛縛、諸結、斷諸愛，正慢無間等，究竟苦邊。」

佛說此經已，尊者羅　羅聞佛所說，歡喜奉行。

大正 466/印順 729/佛光 465(受 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者羅　羅往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！云何知、云何見，我此識身及外境界一切相，得無有我、我所見、我慢繫著使？」

佛告羅　羅：「有三受：苦受、樂受、不苦不樂受，此三受，何因？何集？何生？何轉？謂：此三受觸因，觸集，觸生，觸轉，彼彼觸因，彼彼受生，若彼彼觸滅，彼彼受亦滅止、清涼、沒。

如是知、如是見，我此識及外境界一切相，得無有我、我所見，我慢繫著使。」

佛說此經已，尊者羅　羅聞佛所說，歡喜奉行。

大正 467/印順 730/佛光 466(受 SN36.5)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者羅　羅往詣佛所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！云何知、云何見，我此識身及外境界一切相，得無有我、我所見、我慢繫著使？」

佛告羅　羅：「有三受：苦受、樂受、不苦不樂受，觀於樂受而作苦想，觀於苦受作劍刺想，觀不苦不樂受作無常想。若彼比丘觀於樂受而作苦想，觀於苦受作劍刺想，觀不苦不樂受作無常滅想者，是名正見。」

爾時，世尊即說偈言：「

觀樂作苦想，苦受同劍刺，於不苦不樂，修無常滅想。

是則為比丘，正見成就者，寂滅安樂道，住於最後邊，

永離諸煩惱，摧伏眾魔軍。」

佛說此經已，尊者羅　羅聞佛所說，歡喜奉行。

大正 483/印順 753/佛光 482(受 SN36.31)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有食念者，有無食念者，有無食無食念者；有食樂者，[有]無食樂者，有無食無食樂者；有食捨者，有無食捨者，有無食無食捨者；有食解脫者，有無食解脫者，有無食無食解脫者。

云何[有]食念？謂：五欲因緣生念。

云何無食念？謂：比丘離欲、離惡不善法，有覺、有觀，離生喜、樂，初禪具足住，是名無食念。

云何無食無食念？謂：比丘有覺、有觀息，內淨，一心，無覺、無觀，定生喜、樂，第二禪具足住，是名無食無食念。

云何有食樂？謂：五欲因緣生樂、生喜，是名有食樂。

云何無食樂？謂：息有覺、有觀，內淨，一心，無覺、無觀，定生喜、樂，是名無食樂。

云何無食無食樂？謂：比丘離喜、貪，捨心住，正念、正知，安樂住，彼聖說捨，是名無食無食樂。

云何有食捨？謂：五欲因緣生捨，是名有食捨。

云何無食捨？謂：彼比丘離喜、貪，捨心住，正念、正知，安樂住，彼聖說捨，第三禪具足住，是名無食捨。

云何無食無食捨？謂：比丘離苦、息樂，憂、喜先已離，不苦不樂，捨淨念、一心，第四禪具足住，是名無食無食捨。

云何有食解脫？謂：色俱行。

云何無食解脫？謂：無色俱行。

云何無食無食解脫？謂：彼比丘貪欲不染解脫，瞋恚、愚癡心不染解脫，是名無食無食解脫。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 484/印順 754/佛光 483(受 AN5.170)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者跋陀羅比丘及尊者阿難俱住祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿難往詣尊者跋陀羅所，共相問訊、慰勞已，於一面住。

時，尊者阿難問尊者跋陀羅比丘言：「云何名為見第一？云何聞第一？云何樂第一？云何想第一？云何有第一？」

尊者跋陀羅語尊者阿難言：「有梵天自在造作，化如意，為世之父，若見彼梵天者，名曰見第一。

阿難！有眾生離生喜、樂，處處潤澤，處處敷悅，舉身充滿，無不滿處，所謂離生喜、樂，彼從三昧起，舉聲唱說，遍告大眾：『極寂靜者，離生喜、樂；極樂者，離生喜、樂。』諸有聞彼聲者，是名聞第一。

復次，阿難！有眾生於此身離喜之樂潤澤，處處潤澤，敷悅充滿，舉身充滿，無不滿處，所謂離喜之樂，是名樂第一。

云何想第一？阿難！有眾生度一切識，入處無所有；無所有入處具足住，若起彼想者，是名想第一。

云何有第一？復次，阿難！有眾生度一切無所有入處，非想非非想入處具足住，若起彼有者，是名有第一。」

尊者阿難語尊者跋陀羅比丘言：

「多有人作如是見、如是說，汝亦同彼，有何差別？我作方便問汝，汝當諦聽！當為汝說。

如其所觀，次第盡諸漏，是為見第一。

如其所(聞)，次第盡諸漏，是名聞第一。

如所生樂，次第盡諸漏者，是名樂第一。

如其所想，次第盡諸漏者，是名想第一。

如實觀察，次第盡諸漏，是名有第一。」

時，二正士共論說已，從座起去。

大正 485/印順 755/佛光 484(受 SN36.19)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，瓶沙王詣尊者優陀夷所，稽首作禮，退坐一面。

時，瓶沙王白尊者優陀夷言：「云何世尊所說諸受？」

優陀夷言：「大王！世尊說三受：樂受、苦受、不苦不樂受。」

瓶沙王白尊者優陀夷：「莫作是言：『世尊說三受：樂受、苦受、不苦不樂受。』正應有二受：樂受、苦受，若不苦不樂受，是則寂滅。」

如是三說，優陀夷不能為王立三受，王亦不能立二受，俱共詣佛所，稽首禮足，退住一面。

時，尊者優陀夷以先所說廣白世尊：「我亦不能立三受，王亦不能立二受，今故共來，具問世尊如是之義，定有幾受？」

佛告優陀夷：「我有時說一受，或時說二受，或說三、四、五、六、十八、三十六，乃至百八受，或時說無量受。

云何我說一受？如說所有受皆悉是苦，是名我說一受。

云何說二受？說身受、心受，是名二受。

云何三受？樂受、苦受、不苦不樂受。

云何四受？謂：欲界繫受、色界繫受、無色界繫受，及不繫受。

云何說五受？謂：樂根、喜根、苦根、憂根、捨根，是名說五受。

云何說六受？謂：眼觸生受，耳、鼻、舌、身、意觸生受。

云何說十八受？謂：隨六喜行、隨六憂行、隨六捨行受，是名說十八受。

云何三十六受？依六貪著喜、依六離貪著喜、依六貪著憂、依六離貪著憂、依六貪著捨、依六離貪著捨，是名說三十六受。

云何說百八受？謂：三十六受，過去三十六、未來三十六、現在三十六，是名說百八受。

云何說無量受？如說此受彼受等比，如是無量名說，是名說無量受。

優陀夷！我如是種種說受如實義，世間不解故而共諍論，共相違反，終竟不得我法律中真實之義，以自止息。

優陀夷！若於我此所說種種受義如實解知者，不起諍論共相違反，起未起諍能以法律止令休息。

然，優陀夷！有二受：欲受、離欲受。

云何欲受？五欲功德因緣生受，是名欲受。

云何離欲受？謂：比丘離欲、惡不善法，有覺、有觀，離生喜、樂，初禪具足住，是名離欲受。

若有說言：『眾生依此初禪，唯是為樂非餘者。』此則不然，所以者何？更有勝樂過於此故，何者是？謂：比丘離有覺、有觀，內淨，定生喜、樂，第二禪具足住，是名勝樂，如是……乃至非想非非想入處，轉轉勝說。

若有說言：『唯有此處……乃至非想非非想極樂非餘。』亦復不然，所以者何？更有勝樂過於此故，何者是？謂：比丘度一切非想非非想入處，想受滅身作證具足住，是名勝樂過於彼者。

若有異學出家作是說言：『沙門釋種子唯說想受滅名為至樂。』此所不應，所以者何？應當語言：『此不被世尊說受樂數，世尊說受樂數者，如說：「優陀夷！有四種樂，何等為四？謂：離欲樂，遠離樂，寂滅樂，菩提樂。」』」

佛說此經已，尊者優陀夷及瓶沙王聞佛所說，歡喜奉行。

大正 490/印順 1476-1511/佛光 489(舍利弗 SN38.1-16)

如是我聞：一時，佛住摩竭提國那羅聚落。

爾時，尊者舍利弗亦在摩竭提國那羅聚落。

時，有外道出家，名闍浮車，是舍利弗舊善知識，來詣舍利弗，問訊、共相慰勞已，退坐一面，問舍利弗言：「賢聖法律中，有何難事？」

舍利弗告闍浮車：「唯出家難。」

「云何出家難？」

答言：「愛樂者難。」

「云何愛樂難？」

答言：「樂常修善法難。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，常修善法增加耶？」

答言：「有，謂：八正道；謂：正見、正志、正語、正業、正命、正方便、正念、正定。」

閻浮車言：「舍利弗！此則善道，此則善向，修習、多修習，於諸善法常修習增長。舍利弗！出家常修習此道，不久疾得盡諸有漏。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

如是比，閻浮車所問序，四十經。

閻浮車問舍利弗：「云何名善說法者？[云何名]為世間正向？云何名為世間善逝？」

舍利弗言：「若說法調伏欲貪、調伏瞋恚、調伏愚癡，是名世間說法者。

若向調伏欲貪、向調伏瞋恚、向調伏愚癡，是名正向。

若貪欲已盡無餘、斷知，瞋恚、愚癡已盡無餘、斷知，是名善(逝)。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，能起善(逝)？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「謂涅槃者，云何為涅槃？」

舍利弗言：「涅槃者，貪欲永盡、瞋恚永盡、愚癡永盡，一切諸煩惱永盡，是名涅槃。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得涅槃耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「何故於沙門瞿曇所出家修梵行？」

舍利弗言：「為斷貪欲故、斷瞋恚故、斷愚癡故，於沙門瞿曇所出家修梵行。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得斷貪欲、瞋恚、愚癡耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「謂有漏盡，云何名為有漏盡？」

舍利弗言：「有漏者，三有漏，謂：欲有漏、有有漏、無明有漏。此三有漏欲盡無餘，名有漏盡。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得漏盡耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂阿羅漢者，云何名阿羅漢？」

舍利弗言：「貪欲已斷無餘，瞋恚、愚癡已斷無餘，是名阿羅漢。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得阿羅漢耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂阿羅漢者，云何名阿羅漢者？」

舍利弗言：「貪欲永盡無餘，瞋恚、愚癡永盡無餘，是名阿羅漢者。」

復問：「有道、有向，修習、多修習，得阿羅漢者耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂無明者，云何為無明？」

舍利弗言：「所謂無明者，於前際無知、後際無知、前後中際無知；佛、法、僧寶無知；苦、集、滅、道無知；善、不

善、無記無知；內無知、外無知，若於彼彼事無知闇障，是名無明。」

闍浮車語舍利弗：「此是大闇積聚！」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷無明耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車復問尊者舍利弗：「所謂有漏，云何有漏？」如前說。

闍浮車問舍利弗：「所謂有，云何為有？」

舍利弗言：「有，謂三有：欲有、色有、無色有。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此有耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「所謂有身，云何有身？」

舍利弗言：「有身者，五受陰，云何五受陰？謂：色受陰，受、想、行、識受陰。」

復問舍利弗：「有道、有向，斷此有身耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「所謂苦者，云何為苦？」

舍利弗言：「苦者，謂：生苦、老苦、病苦、死苦、恩愛別離苦、怨憎會苦、所求不得苦；略說五受陰苦，是名為苦。」

復問舍利弗：「有道、有向，斷此苦耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「所謂流者，云何為流？」

舍利弗言：「流者，謂：欲流、有流、見流、無明流。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此流耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「所謂扼者，云何為扼？」扼如流說。

闍浮車問舍利弗：「所謂取者，云何為取？」

舍利弗言：「取者，四取，謂：欲取、我取、見取、戒取。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此取耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道，正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂縛者，云何為縛？」

舍利弗言：「縛者，四縛，謂：貪欲縛、瞋恚縛、戒取縛、我見縛。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此縛耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂結者，云何為結？」

舍利弗言：「結者，九結，謂：愛結、恚結、慢結、無明結、見結、他取結、疑結、嫉結、慳結。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此結耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂使者，云何為使？」

舍利弗言：「使者，七使，謂：貪欲使、瞋恚使、有愛使、慢使、無明使、見使、疑使。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習，多修習，斷此使耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂欲者，云何為欲？」

舍利弗言：「欲者，謂：眼所識色，可愛、樂、念、染著色；耳、聲；鼻、香；舌、味；身所識觸，可愛、樂、念、染著觸，閻浮車！此功德非欲，但覺想思惟者是。」

時，舍利弗即說偈言：「

非彼愛欲使，世間種種色，唯有覺想者，是則士夫欲。

彼諸種種色，常在於世間，調伏愛欲心，是則黠慧者。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此欲耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道，正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗言：「所謂(蓋)者，云何為(蓋)？」

舍利弗言：「(蓋)者，有五(蓋)；謂：貪欲(蓋)、瞋恚(蓋)、睡眠(蓋)、掉悔(蓋)、疑(蓋)。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷此五(蓋)耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「謂：穌息者，云何為穌息？」

舍利弗言：「穌息者，謂：斷三結。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，斷三結耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道，正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「謂：得穌息者，云何為得穌息者？」

舍利弗言：「得穌息者，謂：三結已盡、已知。」

復問：「有道、有向，斷此結耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「謂：得上穌息，云何為得上穌息？」

舍利弗言：「得上穌息者，謂：貪欲永盡，瞋恚、愚癡永盡，是名得上穌息。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得上穌息耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「謂：得上穌息處，云何為得上穌息處？」

舍利弗言：「得上穌息處者，謂：貪欲已斷、已知，永盡無餘，瞋恚、愚癡已斷、已知，永盡無餘，是為得上穌息處。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得上穌息處耶？」

舍利弗答言：「有，謂八正道，正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂清涼，云何為清涼？」

舍利弗言：「清涼者，五下分結盡，謂：身見、戒取、疑、貪欲、瞋恚。」

復問：「有道、有向，修習、多修習，斷此五下分結，得清涼耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「謂：得清涼，云何為得清涼？」

舍利弗言：「五下分[結]已盡、已知，是名得清涼。」

復問舍利弗：「有道、有向，修習、多修習，得清涼耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道，正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

闍浮車問舍利弗：「所謂上清涼者，云何為上清涼？」

舍利弗言：「上清涼者，謂：貪欲永盡無餘，瞋恚、愚癡永盡無餘，一切煩惱永盡無餘，是名上清涼。」

復問：「有道、有向，得此上清涼耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂得上清涼，云何名得上清涼？」

舍利弗言：「得上清涼者，謂：貪欲永盡無餘，已斷已知，瞋恚、愚癡永盡無餘，已斷、已知，是名得上清涼。」

復問舍利弗：「有道、有向，得此上清涼耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂愛，云何為愛？」

舍利弗言：「有三愛，謂：欲愛、色愛、無色愛。」

復問：「有道、有向，斷此三愛耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「謂業跡，云何為業跡？」

舍利弗言：「業跡者，十不善業跡，謂：殺生、偷盜、邪婬、妄語、兩舌、惡口、綺語、貪欲、瞋恚、邪見。」

復問舍利弗：「有道、有向，斷此十業跡耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

閻浮車問舍利弗：「所謂穢者，云何為穢？」

舍利弗言：「穢者，謂三穢：貪欲穢、瞋恚穢、愚癡穢。」

復問舍利弗：「有道、有向，斷此三穢耶？」

舍利弗言：「有，謂八正道：正見……乃至正定。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

如穢，如是，垢、膩、刺、戀、縛亦爾。

大正 492/印順 1548/佛光 491(舍利弗 AN4.178)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗亦在彼住。

時，尊者舍利弗語諸比丘：「若有比丘得無量三昧，身作證具足住，於有身滅、涅槃，心不樂著，顧念有身。

譬如：士夫膠著於手，以執樹(枝)，手即著樹，不能得離，所以者何？膠著手故。比丘！無量三摩提身作證，心不樂著有身滅、涅槃，顧念有身終不得離，不得現法隨順法教，乃至命終亦無所得，還復來生此界，終不能得破於癡冥。

譬如：聚落傍有泥池，泥極深溺，久旱不雨，池水乾消，其地破裂，如是，比丘不得見法隨順法教，乃至命終，亦無所得，來生當復還墮此界。

若有比丘得無量三昧，身作證具足住，於有身滅、涅槃，心生信樂，不念有身。

譬如：士夫以乾淨手執持樹枝，手不著樹，所以者何？以手淨故，如是，比丘得無量三昧，身作證具足住，於有(身)滅、涅槃，心生信樂，不念有身，現法隨順法教，乃至命終，不復來還生於此界。

是故，比丘！當勤方便，破壞無明。

譬如：聚落傍有泥池，四方流水及數天雨，水常入池，其水盈溢，穢惡流出，其池清淨，如是，皆得現法隨順法教，乃至命終，不復還生此界。

是故，比丘！當勤方便，破壞無明。」

尊者舍利弗說此經已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 493/印順 1549/佛光 492(舍利弗 TB 無)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，尊者舍利弗告諸比丘：「若阿練若比丘，或於空地、林中、樹下，當作是學：『內自觀察思惟，心中自覺有欲想不？』若不覺者，當於境界，或於淨相，若愛欲起，違於遠離。

譬如：士夫用力乘船，逆流而上，身小疲怠，船則倒還，順流而下，如是，比丘思惟淨想，還生愛欲，違於遠離，是比丘學時，修下方便，不得淳淨，是故還為愛欲所漂，不得法力，心不寂靜，不一其心，於彼淨相隨生愛欲，流注、浚輸，違於遠離，當知是比丘不敢自記：於五欲功德離欲解脫。

若比丘或於空地、林中、樹下，作是思惟：『我內心中為離欲不？』是比丘當於境界，或取淨相，若覺其心於彼遠離，順趣、浚注。

譬如：鳥翮入火，則卷不可舒展，如是，比丘或取淨相，即順遠離，流注、浚輸，比丘當如是知：於方便行，心不懈

怠，得法寂靜，寂止息樂，淳淨一心，謂：我思惟已，於淨相順於遠離，隨順修道，則能堪任自記，於五欲功德離欲解脫。」

尊者舍利弗說是經已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 499/印順 1555/佛光 498(舍利弗 AN9.26)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗在耆闍崛山中。

時，有月子比丘，是提婆達多弟子，詣尊者舍利弗，共相問訊慰勞已，退住一面。

退住一面已，尊者舍利弗問月子比丘言：「提婆達多比丘為諸比丘說法不？」

月子比丘答言：「說法。」

尊者舍利弗問月子比丘言：「提婆達多云何說法？」

月子比丘語尊者舍利弗言：「彼提婆達多如是說法言：『比丘心法修心，是比丘能自記說：「我已離欲，解脫五欲功德。」』」

舍利弗語月子比丘言：「汝提婆達多何以不說法言：『比丘心法善修心，離欲心，離瞋恚心，離愚癡心，得無貪法、無恚法、無癡法，不轉還欲有、色有、無色有法，彼比丘能自記說言：「我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。」』耶？」

月子比丘言：「彼不能也，尊者舍利弗！」

爾時，尊者舍利弗語月子比丘言：「若有比丘心法善修心者，能離貪欲心、瞋恚、愚癡心，得無貪法、無恚、無癡法，是比丘能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

譬如村邑，近有大石山，不斷、不壞、不穿、厚密，正使東方風來，不能令動，亦復不能過至西方；如是南、西、北方、四維風來，不能傾動，亦不能過。如是，比丘心法善修心者，離貪欲心，離瞋恚心，離愚癡心，得無貪法、無恚法、無癡法，是比丘能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

譬如因陀銅鐵及銅柱，深入地中，築令堅密，四方風吹不能傾動，如是，比丘心法善修心已，離貪欲心，離瞋恚心，離愚癡心，得無貪法、無恚法、無癡法，是比丘能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

譬如石柱，長十六肘，八肘入地，四方風吹不能傾動，如是，比丘心法善修心已，悉離貪欲心，離瞋恚心，離愚癡心，得無貪法、無恚法、無癡法，能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』

譬如火燒未燒者，燒已不復更燒，如是，比丘心法修心已，離貪欲心，離瞋恚心，離愚癡心，得無貪法、無恚法、無癡法，能自記說：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』」

舍利弗說此經已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 535/印順 1610/佛光 534(阿那律 SN52.2)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿那律住松林精舍。

時，尊者大目犍連住跋祇聚落失收摩羅山恐怖稠林禽獸之處。

時，尊者阿那律獨一靜處，禪思思惟，作是念：「有一乘道，淨眾生，離憂悲惱苦，得真如法，所謂四念處。何等為四？身身觀念處，受、心、法法觀念處。

若於四念處遠離者，於賢聖法遠離；於賢聖法遠離者，於聖道遠離；聖道遠離者，於甘露法遠離；甘露法遠離者，則不能脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦。

若於四念處信樂者，於聖法信樂；聖法信樂者，於聖道信樂；聖道信樂者，於甘露法信樂；甘露法信樂者，得脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦。」

爾時，尊者大目揵連知尊者阿那律心之所念，如力士屈伸臂頃，以神通力，於跋祇聚落失收摩羅山恐怖稠林禽獸之處沒，至舍衛城松林精舍尊者阿那律前現，語阿那律言：「汝獨一靜處，禪思思惟，作是念：『有一乘道，令眾生清淨，離生、老.病.死.憂.悲.苦.惱，得真如法，所謂四念處，何等為四？身身觀念處，受、心、法法觀念處，若於四念處不樂

者，於賢聖法不樂；聖法不樂者，於聖道不樂；不樂聖道者，於甘露法亦不樂；不樂甘露法者，則不能脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，若於四念處信樂者，樂賢聖法；樂賢聖法者，樂於聖道；樂聖道者，得甘露法；得甘露法者，得脫生、老.病.死.憂.悲.惱.苦。』耶？」

尊者阿那律語尊者大目揵連言：「如是，如是。」

尊者大目犍連語尊者阿那律言：「云何名為樂四念處？」

「尊者大目犍連！若比丘身身觀念處，心緣身，正念住，調伏、止息、寂靜，一心增進；如是受、心、法[法]念處，正念住，調伏、止息、寂靜，一心增進，尊者大目犍連！是名比丘樂四念處。」

時，尊者大目犍連即如其像三昧正受，從舍衛國松林精舍(沒)，還至跋祇聚落失收摩羅山恐怖稠林禽獸之處。

大正 536/印順 1611/佛光 535(阿那律 SN52.1)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。……乃至尊者大目犍連問尊者阿那律：「云何名為四念處修習、多修習？」

尊者阿那律語尊者大目犍連言：「若比丘於內身起厭離想，於內身起不厭離想，厭離、不厭離俱捨想，正念、正知。如內身，如是，外身、內外身；內受、外受、內外受；內心、外心、內外心；內法、外法、內外法作厭離想、不厭離想、厭離不厭離俱捨想，住正念、正知。

如是，尊者大目犍連！是名四念處修習、多修習。」

時，尊者大目犍連即入三昧，從舍衛國松林精舍，入三昧神通力，如力士屈申臂頃，還到跋祇聚落失收摩羅山恐怖稠林禽獸住處。

大正 537/印順 1612/佛光 536(阿那律 SN52.6)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者大目犍連、尊者阿那律，住舍衛國手成浴池側。

尊者舍利弗詣尊者阿那律所，共相問訊，慰勞已，於一面坐。

尊者舍利弗語尊者阿那律言：「奇哉！阿那律！有大德神力，於何功德修習、多修習而能至此？」

尊者阿那律語尊者舍利弗言：「於四念處修習、多修習，成此大德神力。何等為四念處？內身身觀念處，精勤方便，正念、正知，調伏世間貪、憂，如是，外身、內外身；內受、外受、內外受；內心、外心、內外心；內法、外法、內外法[法]觀念處，精勤方便，正念、正知，如是，調伏世間貪、憂。尊者舍利弗！是名四念處修習、多修習，成此大德神力。

尊者舍利弗！我於四念處善修習故，於小千世界少作方便，能遍觀察。如明目士夫於樓觀上，觀下平地種種之物，我少作方便觀察小千世界亦復如是。如是，我於四念處修習、多修習，成此大德神力。」

時，二正士共論議已，各從座起而去。

大正 545/印順 1620/佛光 544(阿那律 SN52.8)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿那律在舍衛國，住松林精舍。

時，尊者阿那律語諸比丘：「譬如大樹，生而順下，隨浚隨輸，若伐其根，樹必當倒，隨所而順下，如是比丘，修四念處，長夜順趣浚輸，向於遠離；順趣浚輸，向於出要；順趣浚輸，向於涅槃。」

尊者阿那律說此經已，諸比丘聞其所說，歡喜奉行。

大正 546/印順 1621/佛光 545(大迦旃延 AN2.38)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者摩訶迦旃延在跋蘭那聚落烏泥池側。

時，有執澡灌杖梵志詣摩訶迦旃延所，共相問訊，慰勞已，於一面坐，問摩訶迦旃延言：「何因、何緣王、王共諍？婆羅門.居士、婆羅門.居士共諍？」

摩訶迦旃延答梵志言：「貪欲繫著因緣故，王、王共諍，婆羅門.居士、婆羅門.居士共諍。」

梵志復問：「何因、何緣出家、出家而復共諍？」

摩訶迦旃延答言：「以見欲繫著故，出家、出家而復共諍。」

梵志復問摩訶迦旃延：「頗有能離貪欲繫著及離此見欲繫著不？」

尊者摩訶迦旃延答言：「梵志！有，我大師如來、應、等正覺、明行足、善逝、世間解、無上士調御丈夫、天人師、佛、世尊能離此貪欲繫著及見欲繫著。」

梵志復問：「佛、世尊今在何所？」

答言：「佛、世尊今在婆羅耆人中，拘薩羅國舍衛城祇樹林給孤獨園。」

爾時，梵志從座起，整衣服偏袒右肩，右膝著地，向佛所住處，合掌讚歎：「*南無佛、世尊、如來、應供、等正覺，能離欲貪諸繫著；悉能遠離貪欲縛及諸見欲(諍)根本。」

時，持澡灌杖梵志聞尊者摩訶迦旃延所說，歡喜隨喜，從座起去。

大正 549/印順 1624/佛光 548(大迦旃延 AN10.26)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者摩訶迦旃延住阿槃提國拘羅羅咤精舍。

尊者摩訶迦旃延晨朝著衣持鉢，入拘羅羅咤精舍，次第乞食，至迦梨迦優婆夷舍。

時，優婆夷見尊者摩訶迦旃延，即敷床(座)，請令就坐，前禮尊者摩訶迦旃延足，退住一面，白尊者摩訶迦旃延：「如世尊所說，答僧耆多童女所問，如世尊說僧耆多童女所問偈：『實義存於心，寂滅而不亂，降伏諸勇猛，可愛端正色，一心獨靜思，服食妙禪樂。是則為遠離，世間之伴黨，世間諸伴黨，無習近我者。』

尊者摩訶迦旃延！世尊此偈，其義云何？」

尊者摩訶迦旃延語優婆夷言：「姊妹！有一沙門、婆羅門言：『地一切入處正受，此則無上，為求此果。』姊妹！若沙門、婆羅門於地一切入處正受，清淨鮮白者，則見其本，見患、見滅、見滅道跡；以見本、見患、見滅、見滅道跡故，得真實義存於心，寂滅而不亂。

姊妹！如是，水一切入處、火一切入處、風一切入處、青一切入處、黃一切入處、赤一切入處、白一切入處、空一切入處、識一切入處為無上者，為求此果。

姊妹！若有沙門、婆羅門……乃至於識處一切入處正受，清淨鮮白者，見本、見患、見滅、見滅道跡；以見本、見患、見滅、見滅道跡故，是則實義存於心，寂滅而不亂，善見、善入。

是故，世尊答僧耆多童女所問偈：『實義存於心，寂滅而不亂，降伏諸勇猛，可愛端正色，一心獨靜思，服食妙禪樂。是則為遠離，世間之伴黨，世間諸伴黨，無習近我者。』

如是，姊妹！我解世尊以如是義故，說如是偈。」

優婆夷言：「善哉！尊者說真實義，唯願尊者受我請食。」

時，尊者摩訶迦旃延默然受請。

時，迦梨迦優婆夷知尊者摩訶迦旃延受請已，即辦種種淨美飲食，恭敬尊重，自手奉食。

時，優婆夷知尊者摩訶迦旃延食已，洗鉢、澡(漱)訖，敷一卑(座)，於尊者摩訶迦旃延前恭敬聽法。

尊者摩訶迦旃延為迦梨迦優婆夷種種說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，從座起而去。

大正 554/印順 1629/佛光 553(大迦旃延 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者摩訶迦旃延住釋氏訶梨聚落。

時，訶梨聚落主長者身遭病苦，尊者摩訶迦旃延聞訶梨聚落主長者身遭病苦，聞已，晨朝著衣持鉢，入訶梨聚落乞食，次第入訶梨聚落主長者舍。

訶梨聚落主長者遙見尊者摩訶迦旃延，從座欲起。

尊者摩訶迦旃延見長者欲起，即告之言：「長者！莫起！幸有餘座，我自可坐於餘座。」

語長者言：「云何，長者！病可忍不？身諸苦痛漸差愈不？得無增耶？」

長者答言：「尊者！我病難忍，身諸苦痛轉增無損，即說三種譬，如前叉摩比丘經說。」

尊者摩訶迦旃延語長者言：「是故，汝當修佛不壞淨，法不壞淨，僧不壞淨，聖戒成就，當如是學。」

長者答言：「如佛所說四不壞淨，我悉成就，我今成就佛不壞淨，法不壞淨，僧不壞淨，聖戒成就。」

尊者摩訶迦旃延語長者言：「汝當依此四不壞淨修習六念。長者！當念佛功德：此如來、應、等正覺、明行足、善逝、世間解、無上士調御丈夫、天人師、佛、世尊。

念法功德：於世尊正法律，現法、離諸熱惱、非時通達、緣自覺悟。

念僧功德：善向、正向、直向、等向，修隨順行，謂：向須陀洹、得須陀洹、向斯陀含、得斯陀含、向阿那含、得阿那含、向阿羅漢、得阿羅漢，如是，四雙八士，是名世尊弟子僧，具足戒、定、慧、解脫、解脫知見，供養恭敬尊重之處，堪為世間無上福田。

念戒功德：自持正戒，不毀、不缺、不斷、不壞、非盜取戒、究竟戒、可讚歎戒、梵行戒、不憎惡戒。

念(施)功德：自念布施，心自欣慶，捨除慳貪，雖在居家，解脫心施，常施、樂施、具足施、平等施。

念天功德：念四王天、三十三天、炎摩天、兜率陀天、化樂天、他化自在天，清淨信、戒，於此命終，生彼天中，我亦如是清淨信、戒、施、聞、慧，生彼天中。

長者！如是*依四不壞淨，增六念處。」

長者白尊者摩訶迦旃延：「世尊說依四不壞淨，增六念處，我悉成就，我當修習念佛功德、念法、念僧、念戒、念施、念天。」

尊者摩訶迦旃延語長者言：「善哉！長者！能自記說得阿那含。」

是時，長者白尊者摩訶迦旃延：「願於此食！」

尊者摩訶迦旃延默然受請。

訶梨聚落主長者知尊者摩訶迦旃延受請已，具種種淨美食，自手供養。

飯食訖，澡鉢洗(漱)畢，為長者種種說法，示、教、照、喜。

示、教、照、喜已，從座起去。

大正 559/印順 1635/佛光 558(阿難 AN9.37)

如是我聞：一時，佛住波羅利弗妬路國，尊者阿難及尊者迦摩亦在波羅利弗妬路雞林精舍。

時，尊者迦摩詣尊者阿難所，共相問訊、慰勞已，於一面坐，語尊者阿難：

「奇哉！尊者阿難！有眼、有色；有耳、有聲；有鼻、有香；有舌、有味；有身、有觸；有意、有法，而有比丘有是等法，能不覺知。

云何，尊者阿難！彼比丘為有想不覺知？為無想故不覺知？」

尊者阿難語迦摩比丘言：「有想者亦不覺知，況復無想！」

復問尊者阿難：「何等為有想於有而不覺知？」

尊者阿難語迦摩比丘言：

「若比丘離欲、惡不善法，有覺有觀，離生喜、樂，初禪具足住，如是，有想比丘有法而不覺知；如是第二、第三、第

四禪，空入處、識入處、無所有入處具足住，如是，有想比丘有法而不覺知。

云何無想有法而不覺知？

如是，比丘一切想不憶念，無想心三昧身作證具足住，是名比丘無想於有法而不覺知。」

尊者迦摩比丘復問尊者阿難：

「若比丘無想心三昧，不涌、不沒，解脫已住；住已解脫，世尊說此是何果、何功德？」

尊者阿難語迦摩比丘言：

「若比丘無想心三昧，不涌、不沒，解脫已住；住已解脫，世尊說此是智果、智功德。」

時，二正士共論議已，歡喜隨喜，各從(座)起去。

大正 565/印順 1641/佛光 564(阿難 AN4.194)

如是我聞：一時，佛在橋池人間遊行，與尊者阿難俱，至婆頭聚落國北身恕林中。

爾時，婆頭聚落諸童子聞尊者阿難橋池人間遊行，住婆頭聚落國北身恕林中。

聞已，相呼聚集，往詣尊者阿難所，稽首禮尊者阿難足，退坐一面。

時，尊者阿難語諸童子言：「帝種！如來、應、等正覺說四種清淨：戒清淨、心清淨、見清淨、解脫清淨。

云何為戒清淨？謂：聖弟子住於戒：波羅提木叉，戒增長，威儀具足，於微細罪能生恐怖，受持學戒，戒身不滿者，能令滿足；已滿者，隨順執持，欲，精進，方便，超出，精勤勇猛，堪能諸身心法，常能攝受，是名戒淨斷。

帝種！云何名為心淨斷？謂：聖弟子離欲、惡不善法……乃至第四禪具足住，定身未滿者令滿，已滿者隨順執受，欲，精進，乃至常執受，是名心淨斷。

帝種！云何名為見淨斷？謂：聖弟子聞大師說法，如是如是說法，則如是如是入如實正觀，如是如是得歡喜、得隨喜、得從於佛。

復次，聖弟子不聞大師說法，然從餘明智尊重梵行者說，聞尊重梵行者如是如是說，則如是如是入如實觀察，如是如是觀察，於彼法得歡喜隨喜，信於正法。

復次，聖弟子不聞大師說法，亦復不聞明智尊重梵行者說，隨先所聞受持者重誦習，隨先所聞受持者如是如是重誦已，如是如是得入彼法，乃至信於正法。

復次，聖弟子不聞大師說法，不聞明智尊重梵行者說，又復不能先所受持重誦習，然先所聞法為人廣說；先所聞法如是如是為人廣說，如是如是得入於法，正智觀察，乃至信於正法。

復次，聖弟子不聞大師說法，復不聞明智尊重梵行者說，又復不能先所受持重誦習，亦復不以先所聞法為人廣說，然於先所聞法獨一靜處思惟觀察；如是如是思惟觀察，如是如是得入正法，乃至信於正法。

如是，從他聞，內正思惟，是名未起正見令起，已起正見令增廣；是名未滿(慧)身令滿，已滿者隨順攝受，欲，精進，方便，乃至常攝受，是名見淨斷。

帝種！云何為解脫清淨斷？謂：聖弟子貪心無欲解脫，恚、癡心無欲解脫；如是解脫，未滿者令滿，已滿者隨順攝受，欲，精進，乃至常攝受，是名解脫淨斷，帝種！」

尊者阿難說是法時，婆頭聚落諸童子聞尊者阿難所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 567/印順 1643/佛光 566(質多羅 SN41.7)

如是我聞：一時，佛住菴羅聚落菴羅林精舍，與眾多上座比丘俱。

時，有質多羅長者詣諸上座比丘所，稽首禮足，退坐一面。

時，諸上座比丘為質多羅長者種種說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，默然住。

時，質多羅長者詣尊者那伽達多比丘所，稽首禮足，退坐一面。

尊者那伽達多告質多羅長者：「有無量心三昧，無相心三昧，無所有心三昧，空心三昧。云何，長者！此法為種種義故種種名？為一義有種種名？」

質多羅長者問尊者那伽達多：「此諸三昧被世尊說，為尊者自意說耶？」

尊者那伽達多答言：「此世尊所說。」

質多羅長者語尊者那伽達多：「聽我小思惟此義，然後當答。」

須臾思惟已，語尊者那伽達多：「有法種種義、種種句、種種味，有法一義、種種味。」

復問長者：「云何有法種種義、種種句、種種味？」

長者答言：「無量三昧者，謂：聖弟子心與慈俱，無怨、無憎、無恚，寬弘重心，無量修習普緣，一方充滿，如是，二方、三方、四方、上下，一切世間心與慈俱，無怨、無憎、無恚，寬弘重心，無量修習，充滿諸方一切世間普緣住，是名無量三昧。

云何為無相三昧？謂：聖弟子於一切相不念，無相心三昧身作證，是名無相心三昧。

云何無所有心三昧？謂：聖弟子度一切無量識入處，無所有，無所有心住，是名無所有心三昧。

云何空三昧？謂：聖弟子世間空；世間空如實觀察，常住、不變易，非我、非我所，是名空心三昧。

是名為法種種義、種種句、種種味。」

復問長者：「云何法一義、種種味？」

答言：「尊者！謂：貪有量，若無諍者第一無量；謂：貪者是有相，恚、癡者是有相，無諍者是無相；貪者是所有，恚、癡者是所有，無諍者是無所有。

復次，無諍者空：於貪空；於恚、癡空；常住、不變易空；非我、非我所，是名法一義、種種味。」

尊者那伽達多問言：「云何長者！此義汝先所聞耶？」

答言：「尊者！不聞。」

復告長者：「汝得大利，於甚深佛法，現*聖慧眼得入。」

質多羅長者聞尊者那伽達多所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 568/印順 1644/佛光 567(質多羅 SN41.6)

如是我聞：一時，佛住菴羅聚落菴羅林中，與諸上座比丘俱。

時，有質多羅長者詣諸上座比丘所，禮諸上座已，詣尊者伽摩比丘所，稽首禮足，退坐一面，白尊者伽摩比丘：「所謂行者，云何名行？」

伽摩比丘言：「行者，謂三行：身行，口行，意行。」

復問：「云何身行？云何口行？云何意行？」

答言：「長者！出息入息名為身行，有覺、有觀名為口行，想、思名為意行。」

復問：「何故出息入息名為身行？有覺、有觀名為口行？想、思名為意行？」

答：「長者！出息入息是身法，依於身，屬於身，依身轉，是故出息、入息名為身行。有覺、有觀故，則口語，是故，有覺、有觀是口行。想、思是意行，依於心，屬於心，依心轉，是故，想、思是意行。」

復問：「尊者！有幾法若人捨身時，彼身屍臥地，棄於丘塚間，無心如木石。」

答言：「長者！壽、暖及與識，捨身時俱捨，彼身棄塚間，無心如木石。」

復問：「尊者！若死、若入滅盡正受有差別不？」

答：「捨於壽、暖，諸根悉壞，身命分離，是名為死。滅盡定者，身、口、意行滅，不捨壽命，不離於暖，諸根不壞，身命相屬。此則命終、入滅正受差別之相。」

復問：「尊者！云何入滅正受？」

答言：「長者！入滅正受，不言：『我入滅正受，我當入滅正受。』然先作如是漸息方便，如先方便向入正受。」

復問：「尊者！入滅正受時，先滅何法？為身行？為口行？為意行耶？」

答言：「長者！入滅正受者，先滅口行，次身行，次意行。」

復問：「尊者！云何為出滅正受？」

答言：「長者！出滅正受者，亦不念言：『我今出正受，我當出正受。』然先已作方便心，如其先心而起。」

復問：「尊者！起滅正受者，何法先起？為身行？為口行？為意行耶？」

答言：「長者！從滅正受起者，意行先起，次身行，後口行。」

復問：「尊者！入滅正受者，云何順趣、流注、浚輸？」

答言：「長者！入滅正受者，順趣於離、流注於離、浚輸於離；順趣於出、流注於出、浚輸於出；順趣涅槃、流注涅槃、浚輸涅槃。」

復問：「尊者！住滅正受時，為觸幾觸？」

答言：「長者！觸不動，觸無相，觸無所有。」

復問：「尊者！入滅正受時，為作幾法？」

答言：「長者！此應先問，何故今問？然，當為汝說。比丘入滅正受者，作於二法，止(與)觀。」

時質多羅長者聞尊者迦摩所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 570/印順 1646/佛光 569(質多羅 SN41.3)

如是我聞：一時，佛住菴羅聚落菴羅林中，與眾多上座比丘俱。

時，質多羅長者詣諸上座所，稽首禮足，退坐一面，白諸上座言：「諸世間所見，或說有我，或說眾生，或說壽命，或說世間吉凶，云何，尊者！此諸異見何本？何集？何生？何轉？」

時，諸上座默然不答。

如是三問，亦三默然。

時，有一下座比丘名梨犀達多，白諸上座言：「我欲答彼長者所問。」

諸上座言：「善！能答者答。」

時，長者即問梨犀達多：「尊者！凡世間所見，何本？何集？何生？何轉？」

尊者梨犀達多答言：「長者！凡世間所見，或言有我，或說眾生，或說壽命，或說世間吉凶，斯等諸見，一切皆以身見為本，身見集，身見生，身見轉。」

復問：「尊者！云何為身見？」

答言：「長者！愚癡無聞凡夫見色是我、色異我、色中我、我中色；受……想……行……識見是我、識異我、我中識、識中我，長者！是名身見。」

復問：「尊者！云何得無此身見？」

答言：「長者！謂：多聞聖弟子不見色是我，不見色異我，不見我中色、色中我；不見受……想……行……識是我，不見識異我，不見我中識、識中我，是名得無身見。」

復問：「尊者！其父何名？於何所生？」

答言：「長者！我生於後方長者家。」

質多羅長者語尊者梨犀達多：「我及尊者二父，本是善知識。」

梨犀達多答言：「如是，長者！」

質多羅長者語梨犀達多言：「尊者！若能住此菴羅林中，我盡形壽供養衣服、飲食、隨病湯藥。」

尊者梨犀達多默然受請。

時，尊者梨犀達多受質多羅長者請，供養障礙故，久不詣世尊所。

時，諸上座比丘，為質多羅長者種種說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，質多羅長者歡喜隨喜，作禮而去。

大正 614/印順 776/佛光 628(念處 SN47.11)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有異比丘來詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！如所說大丈夫，云何名大丈夫、非大丈夫？」

佛告比丘：「善哉！善哉！比丘！能問如來大丈夫義，諦聽！善思！當為汝說。

若比丘身身觀念住，彼身身觀念住已，心不離欲，不得解脫，盡諸有漏，我說彼非為大丈夫，所以者何？心不解脫故。

若比丘受……心……法法觀念住，心不離欲，不得解脫，盡諸有漏，我不說彼為大丈夫，所以者何？心不解脫故。

若比丘身身觀念住，心得離欲，心得解脫，盡諸有漏，我說彼為大丈夫也，所以者何？心解脫故。

若受……心……法法觀念住；受……心……法法觀念住已，心離貪欲，心得解脫，盡諸有漏，我說彼為大丈夫也，所以者何？心解脫故。

是名比丘大丈夫，及非大丈夫。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜隨喜，禮足而去。

大正 620/印順 782/佛光 634(念處 SN47.7)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，世尊告諸比丘：「大雪山中寒冰嶮處，尚無猿猴，況復有人！或復有山，猿猴所居而無有人；或復有山，人、獸共居，於猿猴行處，獵師以黏膠塗其草上，有黠猿猴遠避而去，愚癡猿猴不能遠避，以手小觸，即膠其手；復以二手欲解求脫，即膠二手；以足求解，復膠其足；以口嚙草，輒復膠口；五處同膠，聯捲臥地，獵師既至，即以杖貫，擔負而去。

比丘！當知：愚癡猿猴捨自境界父母居處，遊他境界，致斯苦惱。

如是，比丘！愚癡凡夫依聚落住，晨朝著衣持鉢，入村乞食，不善護身，不守根門，眼見色已，則生染著，耳、聲，鼻、舌，香、味、身、觸，皆生染著，愚癡比丘內根、外境被五縛已，隨魔所欲。

是故，比丘！當如是學：於自所行處、父母境界依止而住，莫隨他處、他境界行。

云何比丘自所行處、父母境界？謂四念處：身身觀念住，受……心……法法觀念住。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 629/印順 792/佛光 643(念處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住巴連弗邑雞林精舍。

爾時，尊者阿難、尊者跋陀羅亦在彼住。

時，尊者跋陀羅問尊者阿難言：「頗有法修習、多修習，得不退轉耶？」

尊者阿難語尊者跋陀羅：「有法修習、多修習，能令行者得不退轉，謂：四念處，何等為四？身身觀念住；受……心……法法觀念住。」

時，二正士共論說已，各還本處。

大正 632/印順 795/佛光 646(念處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住巴連弗邑雞林精舍。

爾時，尊者阿難、尊者跋陀羅亦在彼住。

尊者跋陀羅問尊者阿難：「頗有法修習、多修習，得阿羅漢？」

尊者阿難語尊者跋陀羅：「有法修習、多修習，而得阿羅漢，謂：四念處，何等為四？謂：身身觀念住；受……心……法法觀念住。」

時，二正士共論議已，各還本處。

大正 633/印順 796/佛光 647(念處 TB 無)

如是我聞：一時，佛住巴連弗邑雞林精舍。

爾時，世尊告諸比丘：「所說一切法、一切法者，謂：四念處，是名正說，何等為四？謂：身身觀念住；受……心……法法觀念住。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 638/印順 812/佛光 652(念處 SN47.13)

如是我聞：一時，佛在王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者舍利弗住摩竭提那羅聚落，疾病涅槃，純陀沙彌瞻視供養。

爾時，尊者舍利弗因病涅槃。

時，純陀沙彌供養尊者舍利弗已，取餘舍利，擔持衣鉢，到王舍城。

舉衣鉢，洗足已，詣尊者阿難所，禮尊者阿難足已，卻住一面，白尊者阿難：「尊者當知！我和上尊者舍利弗已涅槃，我持舍利及衣鉢來。」

於是，尊者阿難聞純陀沙彌語已，往詣佛所，白佛言：「世尊！我今舉體離解，四方易韻，持辯閉塞，純陀沙彌來語我言：『和上舍利弗已涅槃，持餘舍利及衣鉢來。』」

佛言：「云何，阿難！彼舍利弗持所受戒身涅槃耶？定身、慧身、解脫身、解脫知見身涅槃耶？」

阿難白佛言：「不也，世尊！」

佛告阿難：「若法我自知，成等正覺所說，謂：四念處、四正斷、四如意足、五根、五力、七覺支、八道支涅槃耶？」

阿難白佛：「不也，世尊！雖不持所受戒身……乃至道品法而涅槃，然，尊者舍利弗持戒多聞，少欲知足，常行遠離，精勤方便，攝念安住，一心正受，捷疾智慧、深利智慧、超出智慧、分別智慧、大智慧、廣智慧、甚深智慧、無等智慧，智寶成就，能(示)、能教、能照、能喜，善能讚歎為眾說法，是故，世尊！我為法故，為受法者故，愁憂苦惱。」

佛告阿難：「汝莫愁憂苦惱！所以者何？若(生)、若起、若作、有為、壞散之法，何得不壞？欲令不壞者，無有是處。我先已說：『一切所愛念種種諸物，適意之事，一切皆是乖

離之法，不可常保。』譬如：大樹根、莖、枝、葉、華、果茂盛，大枝先折；如大寶山，大巖先崩，如是，如來大眾眷屬，其大聲聞先般涅槃。若彼方有舍利弗住者，於彼方我則無事，然其彼方，我則不空，以有舍利弗故。

我先已說故，汝今，阿難！如我先說，所可愛念種種適意之事，皆是別離之法，是故，汝今莫大愁毒。阿難！當知：如來不久亦當過去，是故，阿難！當作自洲而自依，當作法洲而法依，當作不異洲、不異依。」

阿難白佛：「世尊！云何自洲以自依？云何法洲以法依？云何不異洲、不異依？」

佛告阿難：「若比丘身身觀念處，精勤方便，正智、正念，調伏世間貪、憂；如是，外身、內外身；受……心……法法觀念處亦如是說。

阿難！是名自洲以自依，法洲以法依，不異洲、不異*

依。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 650/印順 822/佛光 662(根 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘，如上說，差別者：「諸比丘！若我於此信根、信根集、信根滅、信根滅道跡不如實知者，我終不得於諸天、魔、梵，沙門、婆羅門中，為出、為離，心離顛倒，亦不得成阿耨多羅三藐三菩提。」

如信根，精進根、念根、定根、慧根亦如是說。

「諸比丘！我於此信根，正智如實觀察故，信根集、信根滅、信根滅道跡正智如實觀察故，我於諸天、魔、梵，沙門、婆羅門眾中，為出、為離，心離顛倒，成阿耨多羅三藐三菩提。

如信根，精進、念、定、慧根亦如是說。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 707/印順 904/佛光 719(覺支 SN46.38)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「有五障五蓋，煩惱於心，能羸智慧，障閡之分，非明非正覺，不轉趣涅槃，何等為五？謂：貪欲蓋、瞋[恚]蓋、睡眠蓋、掉悔蓋、疑蓋，如此五蓋，為覆，為蓋，煩惱於心，令智慧羸，為障閡分，非明，非等覺，不轉趣涅槃。

若七覺支，非覆非蓋，不惱於心，增長智慧，為明為正覺，轉趣涅槃，何等為七？謂：念覺支等如上說……乃至捨覺支，如此七覺支，非翳非蓋，不惱於心，增長智慧，為明，為正覺，轉趣涅槃。」

爾時，世尊即說偈曰：

「貪欲瞋恚蓋，睡眠掉悔疑，如此五種蓋，增長諸煩惱。

此五覆世間，深著難可度，障蔽於眾生，令不見正道。

若得七覺支，則能為照明，唯此真諦言，等正覺所說。

念覺支為首，擇法正思惟，精進猗喜覺，三昧捨覺支。

如此七覺支，牟尼之正道，隨順大仙人，脫生死怖畏。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 708/印順 905/佛光 720(覺支 SN46.39)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若族姓子捨諸世務，出家學道，剃除鬚髮，著袈裟，正信非家出家學道，如是出家，而於其中有愚癡士夫，依止聚落、城邑，晨朝著衣持鉢，入村乞食，不善護身，不守根門，不攝其念，觀察女人少壯、好色而生染著，不正思惟，心馳取相，趣色欲想，為欲心熾盛，燒心、燒身，返俗還戒而自退沒，厭離俗務出家學道而反染著，增諸罪業而自破壞，沈翳沒溺。

有五種大樹，其種至微，而(漸)生長巨大，而能映障眾雜小樹，蔭翳萎悴，不得生長，何等五？謂：揵遮耶樹、迦捭多羅樹、阿濕波他樹、優曇鉢羅樹、尼拘留他樹。如是，五種心樹，種子至微，而漸漸長大，蔭覆諸節，能令諸節蔭覆墮臥，何等為五？謂：貪欲蓋漸漸增長，[瞋恚、]睡眠、掉悔、疑蓋漸漸增長；以增長故，令善心蔭覆墮臥。

若修習七覺支、多修習已，轉成不退，何等為七？謂：念覺支、擇法、精進、猗、喜、定、捨覺支。

如是，七覺支修習、多修習已，轉成不退轉。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 710/印順 907/佛光 722(覺支 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「聖弟子清淨信心，專精聽法者，能斷五法，修習七法，令其滿足。

何等為五？謂：貪欲蓋、瞋恚、睡眠、掉悔、疑，此蓋則斷。

何等七法？謂：念覺支、擇法、精進、猗、喜、定、捨覺支，此七法修習滿足。

淨信者謂心解脫；智者謂慧解脫：貪欲染心者，不得、不樂；無明染心者，慧不清淨，是故，比丘！離貪欲者心解脫；離無明者慧解脫。

若彼比丘離貪欲，心解脫得身作證；離無明，慧解脫，是名比丘斷愛縛結、慢無間等，究竟苦邊。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 720/印順 917/佛光 732(覺支 SN46.8)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者阿那律亦住舍衛國松林精舍。

時，有眾多比丘詣阿那律所，共相問訊、慰勞。問訊、慰勞已，退坐一面，語尊者阿那律：「尊者知方便修七覺分時生樂住不？」

尊者阿那律語諸比丘言：「我知比丘方便修七覺分時生樂住。」

諸比丘問尊者阿那律：「云何知比丘方便修七覺分時生樂住？」

尊者阿那律語諸比丘：「比丘方便修念覺分，善知思惟：我心善解脫，善害睡眠，善調伏掉悔。如此念覺分處法思惟已，精勤方便，心不懈怠，身猗息，不動亂，繫心令住，不起亂念，一心、正受。如是，擇法、精進、[喜、]猗、定、捨覺分亦如是說，是名知比丘方便修七覺分時生樂住。」

時，眾多比丘聞尊者阿那律所說，歡喜隨喜，從座起而去。

大正 727/印順 924/佛光 739(覺支 SN46.16)

如是我聞：一時，佛在力士聚落人間遊行，於拘夷那竭城希連河中間住，於聚落側告尊者阿難：「令四重襞疊，敷世尊欝多羅僧，我今背疾，欲小臥息。」

尊者阿難即受教敕，四重襞疊敷欝多羅僧已，白佛言：「世尊！已四重襞疊敷欝多羅僧，唯世尊知時。」

爾時，世尊厚襞僧伽梨枕頭，右脅而臥，足足相累，繫念明相，正念、正智，作起覺想，告尊者阿難：「汝說七覺分！」

時，尊者阿難即白佛言：「世尊！所謂念覺分，世尊自覺成等正覺說，依遠離、依無欲、依滅、向於捨；擇法、精進、喜、猗、定、捨覺分，世尊自覺成等正覺說，依遠離、依無欲、依滅、向於捨。」

佛告阿難：「汝說精進耶？」

阿難白佛：「我說精進，世尊！說精進，善逝！」

佛告阿難：「唯精進修習、多修習，得阿耨多羅三藐三菩提。」

說是語已，正坐、端身繫念。

時，有異比丘即說偈言：

「樂聞美妙法，忍疾告人說，比丘即說法，轉於七覺分。

善哉尊阿難，明解巧便說，有勝白淨法，離垢微妙說。

念擇法精進，喜猗定捨覺，此則七覺分，微妙之善說。

聞說七覺分，深達正覺味，身嬰大苦患，忍疾端坐聽。

觀為正法王，常為人演說，猶樂聞所說，況餘未聞者。

第一大智慧，十力所禮者，彼亦應疾疾，來聽說正法。

諸多聞通達，契經阿毘曇，善通法律者，應聽況餘者。

聞說如實法，專心黠慧聽，於佛所說法，得離欲歡喜。

歡喜身猗息，心自樂亦然，心樂得正受，正觀有事行。

厭惡三趣者，離欲心解脫，厭惡諸有趣，不集於人天。

無餘猶燈滅，究竟般涅槃，聞法多福利，最勝之所說，

是故當專思，聽大師所說。」

異比丘說此偈已，從座起而去。

大正 731/印順 928/佛光 743(覺支 SN46.10)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘念覺分清淨鮮白，無有支節，離諸煩惱，未起不起，除佛調伏教授……乃至捨覺分亦如是說。諸比丘！念覺分清淨鮮白，無有支節，離諸煩惱，未起而起，佛所調伏教授非餘……乃至捨覺分亦如是說。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 743/印順 940/佛光 755(覺支 SN46.54)

如是我聞：一時，佛住釋氏黃枕邑。

時，眾多比丘晨朝著衣持鉢，入黃枕邑乞食。

時，眾多比丘作是念：「今日太早，乞食時未至，我等可過外道精舍。」

爾時，眾多比丘即入外道精舍，與諸外道出家共相問訊、慰勞已，於一面坐。

諸外道出家言：「沙門瞿曇為諸弟子說如是法：不斷五蓋：惱心、慧力羸、為障礙分，不趣涅槃；(善)攝其心住四念處：心與慈俱，無怨、無嫉、亦無瞋恚，廣大無量，善修充滿：四方、四維、上下，一切世間心與慈俱，無怨、無嫉、亦無瞋恚，廣大無量，善修習充滿；如是，修習悲……喜……捨心俱亦如是說，我等亦復為諸弟子作如是說，我等與彼沙門瞿曇有何等異，所謂俱能說法！」

時，眾多比丘聞諸外道出家所說，心不喜悅，默然不呵，從座起去。

入黃枕邑乞食已，還精舍，舉衣鉢，洗足已，詣佛所，稽首禮足，退坐一面，以彼外道出家所說，廣白世尊。

爾時，世尊告諸比丘：「如彼外道出家所說，汝等應問：『修習慈心為何所勝？修習悲、喜、捨心為何所勝？』如是問時，彼諸外道出家心則駭散，或說外異事，或瞋慢、毀呰，違背不忍，或默然萎熟低頭，失辯思惟而住，所以者何？我不見諸天、魔、梵，沙門、婆羅門，天、人眾中，聞我所說，隨順樂者，唯除如來及聲聞眾者。

比丘！心與慈俱，修習，於淨最勝；悲心修習、修習，空入處最勝；喜心修習、修習，識入處最勝；捨心修習、修習，無所有入處最勝。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 746/印順 946/佛光 758(覺支 SN46.66)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘修習安那般那念，多修習已，得大果、大福利。

云何修習安那般那念，多修習已，得大果、大福利？是比丘心與安那般那念俱修念覺分，依遠離、依無欲、依滅、向於捨……乃至修捨覺分，依遠離、依無欲、依滅、向於捨。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 747/印順 947-967/佛光 759(覺支 SN46.57-76)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘修無常想，多修習已，得大果、大福利。

云何比丘修無常想，多修習已，得大果、大福利？是比丘，心*與無常想俱修念覺分，依遠離、依無欲、依滅、向於捨……乃至(修)捨覺分，依遠離、依無欲、依滅、向於捨。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

如無常想，如是，無常苦想、苦無我想、觀食想、一切世間不可樂想、盡想、斷想、無欲想、滅想、患想、不淨想、青瘀想、膿潰想、膖脹想、壞想、食不盡想、血想、分離想、骨想、空想，一一經如上說。

大正 753/印順 973/佛光 765(聖道分 SN45.7)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有比丘名阿梨瑟吒，詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！所謂甘露者，云何名為甘露？」

佛告阿梨瑟吒：「甘露者，界名說。然，我為有漏盡者現說此名。」

阿梨瑟吒比丘白佛言：「世尊！有道、有跡，修習、多修習，得甘露法不？」

佛告比丘：「有，所謂八聖道分，謂正見……乃至正定。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 776/印順 998/佛光 788(聖道分 TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「於內法中，我不見一法未生善法不生，已生善法令退，如說不正思惟者。諸比丘！不正思惟者，未生正見令不生，已生正見令退，如是，未生正志……正語……正業……正命……正方便……正念……正定令不生，已生者令退。

諸比丘！於內法中，我不見一法令未生善法令生，已生善法重生令增廣，如說正思惟者。諸比丘！正思惟者，未生正見令生，已生正見重生令增廣，如是，未生正志……正語……

正業……正命……正方便……正念……正定令生，已生者重生令增廣。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 808/印順 1096/佛光 820(安那般那念 SN54.12)

如是我聞：一時，佛住迦毘羅越尼拘律樹園中。

爾時，釋氏摩訶男，詣尊者迦磨比丘所，禮迦磨比丘足已，退坐一面，語迦磨比丘言：「云何，尊者迦磨！學住者為即是如來住耶？為學住異、如來住異？」

迦磨比丘答言：「摩訶男！學住異，如來住異。摩訶男！學住者斷五蓋多住；如來住者於五蓋已斷、已知，斷其根本，如截多羅樹頭，更不生長，於未來世成不生法。

一時，世尊住一奢能伽羅林中。

爾時，世尊告諸比丘：『我欲於此一奢能伽羅林中，二月坐禪，汝諸比丘勿使往來，唯除送食比丘及布薩時。……廣說如前……乃至無學現法樂住。』

以是故知，摩訶男！學住異，如來住異。」

釋氏摩訶男聞迦磨比丘所說，歡喜從座起去。

大正 814/印順 1102/佛光 826(安那般那念 SN54.8)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「當修安那般那念！修安那般那念，多修習已，身不疲倦，眼亦不患，樂隨順觀住，樂覺知，不染著樂。

云何修安那般那念，身不疲倦，眼亦不患，樂觀察住，樂覺知，不染著樂？是比丘依止聚落……乃至觀滅出息時，如滅出息學，是名修安那般那念，身不疲倦，眼亦不患，樂觀察住，樂覺知，不染著樂，如是修安那般那念者，得大果、大福利。

是比丘欲求：離欲惡不善法，有覺有觀，離生喜、樂，初禪具足住，是比丘當修安那般那念，如是修安那般那念，得大果、大福利。

是比丘欲求：第二、第三、第四禪，慈、悲、喜、捨，空入處、識入處、無所有入處、非想非非想入處具足，三結盡，

得須陀洹果、三結盡，貪、恚、癡薄，得斯陀含果、五下分結盡，得阿那含果、得無量種神通力、天耳、他心智、宿命智、生死智、漏盡智者，如是比丘當修安那般那念。

如是[修]安那般那念，得大果、大福利。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 836/印順 1139/佛光 848(不壞淨 SN55.17)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「汝等當起哀愍心、慈悲心，若有人於汝等所說樂聞、樂受者，汝當為說四不壞淨，令入、令住，何等為四？於佛不壞淨、於法不壞淨、於僧不壞淨、於聖戒成就，所以者何？若四大：地、水、火、風有變易增損，此四不壞淨未嘗增損變異；彼無增損變異者，謂：多聞聖弟子於佛不壞淨成就，若墮地獄、畜生、餓鬼者，無有是處。

是故，諸比丘！當作是學：『我當成就於佛不壞淨、法、僧不壞淨、聖戒成就。』亦當建立餘人令成就。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 845/印順 1148/佛光 857(不壞淨 SN12.42)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「若比丘於五恐怖怨對休息，三事決定不生疑惑，如實知見賢聖正道，彼聖弟子能自記說：『地獄、畜生、餓鬼惡趣已盡，得須陀洹，不墮惡趣法，決定，正向三菩提，七有天人往生，究竟苦邊。』

何等為五恐怖怨對休息？若殺生因緣罪，怨對恐怖生，若離殺生者，彼殺生罪怨對因緣生恐怖休息；若偷盜、邪淫、妄語、飲酒罪，怨對因緣生恐怖，彼若離偷盜、邪淫、妄語、飲酒罪，怨對者因緣恐怖休息，是名罪怨對因緣生五恐怖休息。

何等為三事決定不生疑惑？謂：於佛決定離於疑惑；於法、僧決定離疑惑，是名三法決定離疑惑。

何等名為聖道如實知見？謂：此苦聖諦如實知，此苦集聖諦、此苦滅聖諦、此苦滅道跡聖諦如實知，是名聖道如實知見。

若於此五恐怖罪怨對休息，於三法決定離疑惑，於聖(道)如實知見，是聖弟子能自記說：『我地獄盡，畜生、餓鬼惡趣盡，得須陀洹，不墮惡趣法，決定，正趣三菩提，七有天人往生，究竟苦邊。』」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 905/印順 13245/佛光 897(大迦葉 OA120; SN16.12)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者摩訶迦葉、尊者舍利弗住耆闍崛山中。

時，有眾多外道出家詣尊者舍利弗，與尊者面相問訊，慰勞已，退坐一面，語尊者舍利弗言：「云何，舍利弗！如來有後生死耶？」

舍利弗言：「諸外道！世尊說言：『此是無記。』」

又問：「云何，舍利弗！如來無後生死耶？」

舍利弗答言：「諸外道！世尊說言：『此是無記。』」

又問：「舍利弗！如來有後生死、無後生死耶？」

舍利弗答言：「世尊說言：『此是無記。』」

又問：「舍利弗！如來非有後生死、非無後生死耶？」

舍利弗答言：「諸外道！世尊說言：『此是無記。』」

諸外道出家又問：「尊者舍利弗！云何所問如來有後生死、無後生死、有後無後、非有後非無後，一切答言：『世尊說：「此是無記。」』云何為上座如愚、如癡，不善、不辯，如嬰兒無自性智？」作此語已，從坐起去。

爾時，尊者摩訶迦葉、尊者舍利弗相去不遠，各坐樹下，晝日禪思，尊者舍利弗知諸外道出家去已，詣尊者摩訶迦葉所，共相問訊、慰勞已，退坐一面，以向與諸外道出家所論說事，具白尊者摩訶迦葉。

「尊者摩訶迦葉！何因、何緣世尊不記說後有生死、後無生死、後有後無、非有非無生死耶？」

尊者摩訶迦葉語舍利弗言：「若說如來後有生死者，是則為色；若說如來無後生死，是則為色；若說如來有後生死、無

後生死，是則為色；若說如來非有後、非無後生死，是則為色，如來者，色已盡，心善解脫，言有後生死者，此則不然；無後生死、有後無後、非有後、非無後生死，此亦不然，如來者，色已盡，心善解脫，甚深、廣大、無量、無數、寂滅、涅槃。

舍利弗！若說如來有後生死者，是則為受、為想、為行、為識、為動、為慮、為虛誑、為有為、為愛……乃至非有非無後有亦如是說。如來者，愛已盡，心善解脫，是故，說後有者不然；後無、後有無、後非有非無者不然，如來者，愛已盡，心善解脫，甚深、廣大、無量、無數、寂滅、涅槃。

舍利弗！如是因、如是緣故，有問世尊：『如來若有、若無、若有無、若非有非無後生死。』不可記說。」

時，二正士共論議已，各還本處。

大正 916/印順 13256/佛光 908(聚落主 OA131; SN42.8)

如是我聞：一時，佛住那羅聚落好衣菴羅園中。

時，有刀師氏聚落主，尼揵弟子，來詣佛所，稽首禮足，退坐一面。

爾時，世尊告聚落主：「欲何所論？尼揵若提子為何所說？」

聚落主言：「彼尼揵若提子說：殺生者，一切皆墮泥犁中，以多行故，則將至彼，如是，盜、邪婬、妄語皆墮泥犁中，以多行故，則將至彼。」

佛告聚落主：「若如尼犍若提子說：『殺生者墮泥犁中，以多行故而往生彼。』者，則無有眾生墮泥犁中。

聚落主！於意云何？何等眾生於一切時有心殺生？復於何時有心不殺生？……乃至何時有心妄語？何時有心不妄語？」

聚落主白佛言：「世尊！人於晝、夜，少時有心殺生……乃至少時有心妄語；而多時不有心殺生……乃至妄語。」

佛告聚落主：「若如是者，豈非無有人墮於泥犁中耶？如尼揵所說：『有人殺生者，一切墮泥犁中，多習行者，將往生彼……乃至妄語亦復如是。』

聚落主！彼大師出興于世，覺想籌量，入覺想地，住於凡夫地，自辯所說，隨意籌量，為諸弟子作如是說法，言：『殺生者，一切皆墮泥犁中，多習行將往生彼……乃至妄語亦復如是。』

彼諸弟子若信其說，言：『我大師知其所知，見其所見，能為弟子作如是說：「若殺生者，一切皆墮泥犁中，多習行故，將往生彼。」我本有心殺生、偷盜、邪淫、妄語，當墮泥犁中。』得如是見，乃至不捨此見，不厭彼業，不覺彼悔，於未來世不捨殺生……乃至不捨妄語。

彼意解脫不滿足、慧解脫亦不滿足；意解脫不滿足、慧解脫不滿足故，則為謗聖邪見；邪見因緣故，身壞命終生惡趣、泥犁中。

如是，聚落主！有因有緣眾生煩惱，有因有緣眾生業煩惱。聚落主！如來、應、等正覺、明行足、善逝、世間解、無上士調御丈夫、天人師、佛、世尊出興於世，常為眾生呵責殺生，讚歎不殺；呵責偷盜、邪淫、妄語，讚歎不盜、不婬、不妄語，常以此法化諸聲聞，令念樂信重，言：『我大師知

其所知、見其所見，呵責殺生，讚歎不殺……乃至呵責妄語，讚歎不妄語，我從昔來，以愚癡無慧，有心殺生，我緣是故，今自悔責，雖不能令彼業不為，且因此悔責故，於未來世得離殺生……乃至得離盜、婬、妄語，亦得滿足正意解脫，滿足慧解脫；意解脫、慧解脫滿足已，得不謗賢聖正見成就；正見因緣故，得生善趣天上。』

如是，聚落主！有因有緣眾生業煩惱清淨。

聚落主！彼多聞聖弟子作如是學，隨時晝夜觀察所起，少有心殺生，多有心不殺生，若於有心殺生，當自悔責：不是、不類；若不有心殺生，無怨、無憎，心生隨喜；隨喜已，歡喜；生歡喜已，心猗息；心猗息已，心受樂；受樂已，則心定；心定已，聖弟子心與慈俱，無怨、無嫉、無有瞋恚，廣大無量，滿於一方正受住；二方、三方……乃至四方、四維、上下，一切世間心與慈俱，無怨、無嫉、無有瞋恚，廣大無量，善修習充滿諸方，具足正受住。」

爾時，世尊以爪甲抄少土，語刀師氏聚落主言：「云何聚落主！我爪甲土多，大地為多？」

聚落主白佛言：「世尊爪甲土少少耳，大地土無量無數。」

佛告聚落主：「如甲上之土甚少，大地之土其數無量，如是，心與慈俱，修習、多修習，諸有量業者如甲上土，不能將去、不能令住。

如是，偷盜對以悲心，邪婬對以喜心，妄語對以捨心，不得為比。」

說是語時，刀師氏聚落主遠塵、離垢得法眼淨。

聚落主見法、得法、覺法、知法、深入於法，離諸狐疑，不由於他、不隨於他，於正法律得無所畏，從坐起，整衣服，右膝著地，合掌白佛：「我已度，世尊！已越，世尊！我今歸佛、歸法、歸比丘僧，盡其壽命為優婆塞。

世尊！譬如：士夫欲求燈明，取其馬尾以為燈炷，欲吹令然，終不得明，徒自疲勞，燈竟不然，我亦如是，欲求明智，於諸愚癡尼揵子所，愚癡習近、愚癡和合、愚癡奉事，徒自勞苦，不得明智，是故，我今重歸依佛、歸法、歸僧，從今以去，於彼尼揵愚癡、不善、不辯者所，少信、少敬、

少愛、少念，於今遠離，是故，我今第三歸佛、歸法、歸僧……乃至盡壽為優婆塞，自淨其心。」

時，刀師氏聚落主聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 926/印順 13266/佛光 918(馬 OA151; AN11.9)

如是我聞：一時，佛住那梨聚落深谷精舍。

爾時，世尊告詵陀迦旃延：「當修真實禪，莫習強良禪，如：強良馬繫槽櫪上，彼馬不念我所應作、所不應作，但念穀草。如是，丈夫於貪欲纏多所修習故，彼以貪欲心思惟，於出離道不如實知，心常馳騁，隨貪欲纏而求正受；瞋恚、睡眠、掉悔、疑多修習故，於出離道不如實知，以疑蓋心思惟以求正受。

詵陀！若真生馬繫槽櫪上，不念水草，但作是念：『駕乘之事。』如是，丈夫不念貪欲纏住，於出離如實知，不以貪欲纏而求正受；亦不瞋恚、睡眠、掉悔、疑纏多住，於出離瞋恚、睡眠、掉悔、疑纏如實知，不以疑纏而求正受。

如是，詵陀！比丘如是禪者，不依地修禪；不依水、火、風、空、識、無所有、非想非非想而修禪；不依此世、不依他世，非日、月，非見、聞、覺、識，非得、非求、非隨覺、非隨觀而修禪，詵陀！比丘如是修禪者，諸天主、伊濕波羅、波闍波提恭敬合掌，稽首作禮而說偈言：『南無大士夫！南無士之上！以我不能知，依何而禪定。』」

爾時，有尊者跋迦利住於佛後，執扇扇佛。

時，跋迦利白佛言：「世尊！若比丘云何入禪，而不依地、水、火、風……乃至覺、觀而修禪定？云何比丘禪，諸天主、伊濕波羅、波闍波提合掌恭敬，稽首作禮而說偈言：『南無大士夫！南無士之上！以我不能知，依何而禪定？』」

佛告跋迦利：「比丘於地想能伏地想；於水、火、風想；無量空入處想、識入處想、無所有入處、非想非非想入處想；此世、他世；日、月；見、聞、覺、識；若得、若求；若覺、若觀悉伏彼想，跋迦利！比丘如是禪者，不依地、水、火、風……乃至不依覺、觀而修禪，跋迦利！比丘如是禪

者，諸天主、伊濕波羅、波闍波提恭敬合掌，稽首作禮而說偈言：『南無大士夫！南無士之上！以我不能知，何所依而禪。』」

佛說此經時，詵陀迦旃延比丘遠塵、離垢得法眼淨；跋迦利比丘不起諸漏，心得解脫。

佛說此經已，跋迦利比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 932/印順 13272/佛光 924(釋氏 OA157; AN11.11)

如是我聞：一時，佛住迦毗羅衛國尼拘律園中。

時，有眾多比丘集於食堂，為世尊縫衣。

時，釋氏摩訶男聞眾多比丘集於食堂，為世尊縫衣：「世尊不久，三月安居訖，作衣竟，持衣鉢人間遊行。」

聞已，往詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！我四體不攝，迷於四方，聞法悉忘，以聞眾多比丘集於食堂，為世尊縫衣：『世尊不久，安居訖，作衣竟，持衣鉢人間遊行。』是故，我今思惟：『何時當復得見世尊及諸知識比丘？』」

佛告摩訶男：「汝正使見世尊、不見世尊，見諸知識比丘及與不見，但當念於五法，精勤修習。摩訶男！當以正信為主、非不正信；戒具足；聞具足；施具足；慧具足為本、非不智慧，如是，摩訶男！依此五法修六念處，何等為六？此，摩訶男！念如來，當如是念：『如來、應、等正覺……乃至佛、世尊。』當念法……僧……戒……施……天事……乃至自行得智慧。

如是，摩訶男！聖弟子成就十一法者，則為學跡，終不腐敗，堪任知見，堪任決定，住甘露門，近於甘露，不能一切疾得甘露涅槃。譬如：伏雞伏其卵，或五或十，隨時消息，愛護將養，正復中間放逸，猶能以爪、以口，啄卵得生其子，所以者何？以彼雞母初隨時消息，善愛護故，如是，聖弟子成就十一法者，住於學跡，終不腐敗……乃至不能一切疾得甘露涅槃。」

佛說此經已，摩訶男釋氏聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 934/印順 13274/佛光 926(釋氏 OA158; AN3.74)

如是我聞：一時，佛住迦毗羅衛國尼拘律園中。

爾時，釋氏摩訶男來詣佛所，稽首佛足，退坐一面，白佛言：「世尊！如我解佛所說，正受故，解脫；非不正受。云何，世尊！為先正受而後解脫耶？為先解脫而後正受耶？為正受、解脫不前不後一時俱生耶？」

爾時，世尊默然而住。

如是，摩訶男第二、第三問，佛亦再三默然住。

爾時，尊者阿難住於佛後，執扇扇佛。

尊者阿難作是念：「釋氏摩訶男以此深義而問世尊，世尊病差未久，我今當說餘事以引於彼。」語摩訶男：「學人亦有戒，無學人亦有戒；學人有三昧，無學人亦有三昧，學人有慧，無學人亦有慧；學人有解脫，無學人亦有解脫。」

摩訶男問尊者：「阿難！云何為學人戒？云何為無學人戒？云何學人三昧？云何無學人三昧？云何學人慧？云何無學人慧？云何學人解脫？云何無學人解脫？」

尊者阿難語摩訶男：「此聖弟子住於戒，波羅提木叉律儀，威儀、行處，受持學戒；受持學戒具足已，離欲、惡不善法……乃至第四禪具足住，如是，三昧具足已，此苦聖諦如實知、此苦集如實知、此苦滅如實知、此苦滅道跡如實知，如是知、如是見已，五下分結已斷、已知，謂：身見、戒取、疑、貪欲、瞋恚；此五下分結斷，於彼受生，得般涅槃阿那含，不復還生此世，彼當爾時，成就學戒、學三昧、學慧、學解脫。

復於餘時，盡諸有漏，無漏解脫、慧解脫，自知作證：『我生已盡，梵行已立，所作已作，自知不受後有。』彼當爾時，成就無學戒、無學三昧、無學慧、無學解脫，如是，摩訶男！是名世尊所說學戒、學三昧、學慧、學解脫，無學戒、無學三昧、無學慧、無學解脫。」

爾時，釋氏摩訶男聞尊者阿難所說，歡喜隨喜，從坐起，禮佛而去。

爾時，世尊知摩訶男去不久，語尊者阿難：「迦毗羅衛釋氏，乃能與諸比丘共論深義。」

阿難白佛：「唯然，世尊！迦毗羅衛釋氏，能與諸比丘共論深義。」

佛告阿難：「迦毘羅衛諸釋氏快得善利，能於甚深佛法賢聖慧眼而得深入。」

佛說此經已，尊者阿難聞佛所說，歡喜奉行。

大正 936/印順 13276/佛光 928(釋氏 OA160; SN55.24)

如是我聞：一時，佛住迦毗羅衛國尼拘律園中。

時，有迦毘羅衛釋氏集供養堂，作如是論，問摩訶男：「云何最後記說：彼百手釋氏命終，世尊記彼得須陀洹，不墮惡趣法，決定，正向三菩提，七有天人往生，究竟苦邊？然，彼百手釋氏犯戒飲酒，而復世尊記彼得須陀洹……乃至究竟苦邊！汝摩訶男！當往問佛，如佛所說，我等奉持。」

爾時，摩訶男往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！我等迦毗羅衛諸釋氏，集供養堂，作如是論：『摩訶男！云何最後記說：是中百手釋氏命終，世尊記說得須陀

洹……乃至究竟苦邊？汝今當往，重問世尊，如世尊所說，我等奉持。』我今問佛，唯願解說。」

佛告摩訶男：「『善逝大師、善逝大師』者，聖弟子所說，口說善逝，而心正念、直見，悉入善逝。『正法律、正法律』者，聖弟子所說，口說正法，發心正念、直見，悉入正法。『善向僧、善向僧』者，聖弟子所說，口說善向，發心正念、直見，悉入善向。如是，摩訶男！聖弟子於佛一向淨信，於法、僧一向淨信，於法利智、出智、決定智，八解脫具足身作證，以智慧見，有漏斷知，如是，聖弟子不趣地獄、畜生、餓鬼；不墮惡趣，說阿羅漢俱解脫。

復次，摩訶男！聖弟子一向於佛清淨信……乃至決定智慧，不得八解脫身作證具足住，然，彼知見有漏斷，是名聖弟子不墮惡趣……乃至慧解脫。

復次，摩訶男！聖弟子一向於佛清淨信……乃至決定智慧，八解脫身作證具足住，而不見有漏斷，是名聖弟子不墮惡趣……乃至身證。

復次，摩訶男！若聖弟子一向於佛清淨信……乃至決定智慧，不得八解脫身作證具足住，然，於正法律如實知見，是名聖弟子不墮惡趣……乃至見到。

復次，摩訶男！聖弟子一向於佛清淨信……乃至決定智慧，於正法律如實知見，不得見到，是名聖弟子不墮惡趣……乃至信解脫。

復次，摩訶男！聖弟子信於佛言說清淨，信法、信僧言說清淨，於五法增上智慧審諦堪忍，謂：信、精進、念、定、慧，是名聖弟子不墮惡趣……乃至隨法行。

復次，摩訶男！聖弟子信於佛言說清淨，信法、信僧言說清淨……乃至五法少慧審諦堪忍，謂：信、精進、念、定、慧，是名聖弟子不墮惡趣……乃至隨信行。

摩訶男！此堅固樹，於我所說能知義者，無有是處；若能知者，我則記說，況復百手釋氏而不記說得須陀洹！

摩訶男！百手釋氏臨命終時，受持淨戒，捨離飲酒，然後命終，我記說彼得須陀洹……乃至究竟苦邊。」

摩訶男釋氏聞佛所說，歡喜隨喜，從坐起，作禮而去。

大正 957/印順 13297/佛光 949(婆蹉種出家 OA190; SN44.9)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有婆蹉種出家，來詣佛所，合掌問訊。

問訊已，退坐一面，白佛言：「瞿曇！欲有所問，寧有閑暇見答以不？」

佛告婆蹉種出家：「隨汝所問，當為汝說。」

婆蹉種出家白佛言：「云何，瞿曇！命即身耶？」

佛告婆蹉種出家：「命即身者，此是無記。」

「云何，瞿曇！為命異身異耶？」

佛告婆蹉種出家：「命異身異者，此亦無記。」

婆蹉種出家白佛：「云何，瞿曇！命即身耶，答言無記；命異身異，答言無記？沙門瞿曇有何等奇？弟子命終，即記說言：某生彼處，某生彼處，彼諸弟子於此命終捨身，即乘意生身生於餘處，當於爾時非為命異身異也？」

佛告婆蹉：「此說有餘，不說無餘。」

婆蹉白佛：「瞿曇！云何說有餘，不說無餘？」

佛告婆蹉：「譬如：火有餘得然，非無餘。」

婆蹉白佛：「我見火無餘亦然。」

佛告婆蹉：「云何見火無餘亦然？」

婆蹉白佛：「譬如：大聚熾火疾風來吹，火飛空中，豈非無餘火耶？」

佛告婆蹉：「風吹飛火，即是有餘，非無餘也。」

婆蹉白佛：「瞿曇！空中飛火，云何名有餘？」

佛告婆蹉：「空中飛火，依風故住，依風故然，以依風故，故說有餘。」

婆蹉白佛：「眾生於此命終，乘意生身往生餘處，云何有餘？」

佛告婆蹉：「眾生於此處命終，乘意生身生於餘處，當於爾時，因愛故取，因愛而住，故說有餘。」

婆蹉白佛：「眾生以愛樂有餘，染著有餘，唯有世尊得彼無餘，成等正覺，沙門瞿曇！世間多緣，請辭還去。」

佛告婆蹉：「宜知是時。」

婆蹉出家聞佛所說，歡喜隨喜，從坐起而去。

大正 958/印順 13298/佛光 950(婆蹉種出家 OA191; SN44.7)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，尊者大目揵連亦於彼住。

時，有婆蹉種出家詣尊者大目揵連所，與尊者目揵連面相問訊、慰勞。慰勞已，退坐一面，語尊者大目揵連：「欲有所問，寧有閑暇見答以不？」

目連答言：「婆蹉！隨意所問，知者當答。」

時，婆蹉種出家問尊者目揵連：「何因、何緣餘沙門、婆羅門有人(來)問：『云何，如來有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』皆悉隨答，而沙門瞿曇有來問言：『如來有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』而不記說？」

目揵連言：「婆蹉！餘沙門、婆羅門於色、色集、色滅、色味、色患、色出不如實知；不如實知故，於如來有後死則取著；如來無後死、有後死*無後死、非有後死非無後死則生取著；受……想……行……識、識集、識滅、識味、識患、

識出不如實知；不如實知故，於如來有後死生取著；無後死、有無後死、非有非無後死生取著。

如來者，於色如實知；色集、色滅、色味、色患、色出如實知；如實知故，於如來有後死則不著；無後死、有無後死、非有非無後死則不著；受……想……行……識如實知；識集、識滅、識味、識患、識出如實知；如實知故，於如來有後死則不然；無後死、有無後死、非有非無後死則不然；甚深、廣大、無量、無數，皆悉寂滅。

婆蹉！如是因、如是緣餘沙門、婆羅門，若有來問：『如來有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』則為記說；如是因、如是緣，如來若有來問：『如來有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』不為記說。」

時，婆蹉種出家聞尊者大目揵連所說，歡喜隨喜，從坐起而去。

大正 959/印順 13299-300/佛光 951(婆蹉種出家 SN44.8,11)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有婆蹉種出家來詣佛所，合掌問訊，問訊已，退坐一面，白佛言：「瞿曇！何因、何緣餘沙門、婆羅門若有來問……，如上廣說。」

爾時，婆蹉種出家歎言：「奇哉！瞿曇！弟子、大師，義同義、句同句、味同味……乃至同第一義。瞿曇！我今詣摩訶目揵連，以如是義、如是句、如是味而問於彼，彼亦以如是義、如是句、如是味而答我，如今瞿曇所說。是故，瞿曇！真為奇特！大師、弟子，義同義、句同句、味同味；同第一義。」

爾時，婆蹉種出家有諸因緣至那梨聚落。

營事訖已，詣尊者詵陀迦旃延所，共相問訊。

問訊已，退坐一面，問詵陀迦旃延：「何因、何緣沙門瞿曇若有來問：『如來有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』不為記說？」

詵陀迦旃延語婆蹉種出家：「我今問汝，隨意答我。於汝意云何？若因、若緣，若(種施設諸行)：若色、若無色，若想、若非想、若非想非非想，若彼因、彼緣、彼行無餘*

滅，永滅已，如來於彼有所記說，言：『有後死、無後死、有無後死、非有非無後死耶？』」

婆蹉種出家語訖陀迦旃延：「若因、若緣，若種施設諸行：若色、若非色，若想、若非想、若非想非非想，彼因、彼緣、彼行無餘滅，云何瞿曇於彼記說：『如來有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』」

訖陀迦旃延語婆蹉種出家：「是故，如來以是因、以是緣故，有問如來：『有後死、無後死、有無後死、非有非無後死？』不為記說。」

婆蹉種出家問訖陀迦旃延：「汝於沙門瞿曇弟子，為日久如？」

訖陀迦旃延答言：「少過三年，於正法律出家修梵行。」

婆蹉種出家言：「訖陀迦旃延！快得善利！少時出家而得如是身律儀、口律儀，又得如是智慧辯才！」

時，婆蹉種出家聞訖陀迦旃延所說，歡喜隨喜，從坐起去。

大正 968/印順 13309/佛光 960(外道出家 OA202; AN10.93)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，給孤獨長者日日出見世尊，禮事供養。

給孤獨長者作是念：「我今出太早，世尊及諸比丘禪思未起，我寧可過諸外道住處。」即入外道精舍，與諸外道共相問訊，慰勞已，退坐一面。

時，彼外道問言長者：「汝見沙門瞿曇，云何見？何所見？」

長者答言：「我亦不知云何見世尊，世尊何所見。」

諸外道言：「汝言見眾僧，云何見眾僧？眾僧何所見？」

長者答言：「我亦不知云何見僧，僧何所見。」

外道復問長者：「汝今云何自見？自何所見？」

長者答言：「汝等各各自說所見，然後我說所見亦不難。」

時，有一外道作如是言：「長者！我見一切世間常，是則真實，餘者虛妄。」

復有說言：「長者！我見一切世間無常，此是真實，餘則虛妄。」

復有說言：「長者！世間常、無常，此是真實，餘則虛妄。」

復有說言：「世間非常、非無常，此是真實，餘則虛妄。」

復有說言：「世有邊，此是真實，餘則虛妄。」

復有說言：「世無邊，此是真實，餘則虛妄。」

復有說言：「世有邊、無邊。」

復有說言：「世非有邊、非無邊。」

復有說言：「命即是身。」

復有說言：「命異身異。」

復有說言：「如來死後有。」

復有說言：「如來死後無。」

復有說言：「如來死後有、無。」

復有說言：「如來死後非有、非無，此是真實，餘則虛妄。」

諸外道語長者言：「我等各各已說所見，汝復應說汝所見！」

長者答言：「我之所見，真實、有為、思量緣起；若復真實、有為、思量緣起者，彼則無常，無常者是苦，如是知已，於一切見都無所得，如汝所見：『世間常，此是真實，餘則虛妄，』者，此見真實、有為、思量緣起；若真實、有為、思量緣起者，是則無常，無常者是苦，是故，汝等習近於苦，唯得於苦，堅住於苦，深入於苦。

如是，汝言：『世間無常，此是真實，餘則虛妄。』有如是咎；世間常、無常；非常、非無常；世有邊、世無邊、世有邊無邊、世非有邊非無邊；命即是身、命異身異；如來死後有、如來死後無、如來死後有無、如來死後非有非無，此是真實，餘則虛妄，皆如上說。」

有一外道語給孤獨長者言：「如汝所說，若有見，彼則真實、有為、思量緣起者，是無常法，若無常者是苦，是故，長者所見，亦習近苦，得苦，住苦，深入於苦。」

長者答言：「我先不言所見者，是真實、有為、思量緣起法，悉皆無常，無常者是苦；知苦已，我於所見無所得耶？」

彼外道言：「如是，長者！」

爾時，給孤獨長者於外道精舍伏彼異論，建立正論，於異學眾中作師子吼已，往詣佛所，稽首禮足，退坐一面，以向與諸外道共論事，向佛廣說。

佛告給孤獨長者：「善哉！善哉！宜應時時摧伏愚癡外道，建立正論。」

佛說是語已，給孤獨長者歡喜隨喜，作禮而去。

大正 969/印順 13310/佛光 961(外道出家 OA203; MN74)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有長爪外道出家來詣佛所，與世尊面相問訊，慰勞已，退坐一面，白佛言：「瞿曇！我一切見不忍。」

佛告火種：「汝言一切見不忍者，此見亦不忍耶？」

長爪外道言：「向言一切見不忍者，此見亦不忍。」

佛告火種：「如是知、如是見，此見則已斷、已捨、已離，餘見更不相續，不起、不生。火種！多人與汝所見同，多人

作如是見、如是說，汝亦與彼相似。火種！若諸沙門、婆羅門捨斯等見，餘見不起，是等沙門、婆羅門世間亦少少耳。

火種！依三種見，何等為三？有一如是見、如是說：『我一切忍。』復次、有一如是見、如是說：『我一切不忍。』復次、有一如是見、如是說：『我於一忍、一不忍。』

火種！若言：『一切忍者。』此見與貪俱生，非不貪；與恚俱生，非不恚；與癡俱生，非不癡；繫，不離繫；煩惱，非清淨；樂、取、染著生。

若如是見：『我一切不忍。』此見非貪俱；非恚俱；非癡俱；清淨，非煩惱；離繫，非繫；不樂、不取、不著生。

火種！若如是見：『我一忍、一不忍。』彼若忍者，則有貪……乃至染著生，若如是見不忍者，則離貪……乃至不染著生。

彼多聞聖弟子所學言：『我若作如是見、如是說：「我一切忍。」』則為二者所責、所詰，何等二種？謂：一切不忍，及一忍、一不忍，則為此等所責；責故詰；詰故害；彼見

責、見詰、見害故，則捨所見，餘見則不復生，如是斷見、捨見、離見，餘見不復相續，不起、不生。

彼多聞聖弟子作如是學：『我若如是見、如是說：「我一切不忍。」』者，則有二(責)、二詰，何等為二？謂：我一切忍，及一忍、一不忍，如是二責、二詰……乃至不相續，不起、不生。

彼多聞聖弟子作如是學：『我若作如是見、如是說：「一忍、一不忍，」』則有二責、二詰，何等二？謂：如是見、如是說：『我一切忍。』及『一切不忍。』如是二責……乃至不相續，不起、不生。

復次、火種！如是身，色麁四大，聖弟子當觀無常、觀生滅、觀離欲、觀滅盡、觀捨。若聖弟子觀無常、觀滅、觀離欲、觀滅盡、觀捨住者，於彼身：身欲、身念、身愛、身染、身著永滅不住。

火種！有三種受，謂：苦受、樂受、不苦不樂受，此三種受何因？何集？何生？何轉？謂：此三受觸因、觸集、觸生、觸轉，彼彼觸集，則受集；彼彼觸滅，則受滅、寂靜、清

涼、永盡。彼於此三受覺苦、覺樂、覺不苦不樂，彼彼受若集、若滅、若味、若患、若出如實知；如實知已，即於彼受觀察無常、觀生滅、觀離欲、觀滅盡、觀捨，彼於身分齊受覺如實知；於命分齊受覺如實知，若彼身壞命終後，即於爾時，一切受永滅無餘*。

彼作是念：樂受覺時，其身亦壞；苦受覺時，其身亦壞；不苦不樂受覺時，其身亦壞，悉為苦邊，於彼樂覺離繫，不繫；於彼苦覺離繫，不繫；於不苦不樂覺離繫，不繫，於何離繫？離於貪欲、瞋恚、愚癡；離於生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，我說斯等名為離苦。」

當於爾時，尊者舍利弗受具足，始經半月。時，尊者舍利弗住於佛後，執扇扇佛。時，尊者舍利弗作是念：「世尊歎說於彼彼法斷欲、離欲、欲滅盡、欲捨。」

爾時，尊者舍利弗即於彼彼法觀察無常、觀生滅、觀離欲、觀滅盡、觀捨，不起諸漏，心得解脫。

爾時，長爪外道出家遠塵、離垢得法眼淨，長爪外道出家見法、得法，覺法，入法，度諸疑惑，不由他度，入正法律，

得無所畏，即從坐起，整衣服，為佛作禮，合掌白佛：「願得於正法律出家、受具足，於佛法中修諸梵行！」

佛告長爪外道出家：「汝得於正法律出家、受具足，成比丘分。」

即得善來比丘出家。

彼思惟所以：善男子剃除鬚髮，著袈裟衣，正信非家出家學道……乃至心善解脫，得阿羅漢。

佛說是經已，尊者舍利弗、尊者長爪，聞佛所說，歡喜奉行。

大正 972/印順 13313/佛光 964(外道出家 OA206; AN4.185)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有眾多婆羅門出家，住須摩竭陀池側，集聚一處，作如是論：「如是婆羅門真諦，如是婆羅門真諦。」

爾時，世尊知彼眾多婆羅門出家心念，往到須摩竭陀池側。

時，眾多婆羅門出家遙見佛來，即為佛敷床座，請佛就坐。

佛即就坐，告諸婆羅門出家：「汝等於此須摩竭陀池側眾共集聚，何所論說？」

婆羅門出家白佛言：「瞿曇！我等眾多婆羅門出家集於此坐，作如是論：『如是婆羅門真諦，如是婆羅門真諦。』」

佛告婆羅門出家：「有三種婆羅門真(諦)，我自覺悟成等正覺，而復為人演說。

汝婆羅門出家作如是說：『不害一切眾生，是婆羅門真諦，非為虛妄。』彼於彼言我勝，言相似，言我卑，若於彼真諦不繫著，於一切世間作慈心色像，是名第一婆羅門真諦，我自覺悟成等正覺，為人演說。

復次，婆羅門作如是說：『所有集法，皆是滅法。』此是真諦，非為虛妄……乃至於彼真諦不計著，於一切世間觀察生滅，是名第二婆羅門真諦。

復次，婆羅門作如是說：『無我處所及事都無所有。』無我處所及事都無所有此則真諦，非為虛妄，如前說……乃至於彼無所繫著，一切世間無我像類，是名第三婆羅門真諦，我自覺悟成等正覺，而為人說。」

爾時，眾多婆羅門出家，默然住。

時，世尊作是念：「今映彼愚癡殺彼惡者，今此眾中無一能自思量欲造因緣，於沙門瞿曇法中修行梵行。」

如是知已，從坐起而去。

大正 979/印順 13320/佛光 971(外道出家 DA2; DN16)

如是我聞：一時，佛住俱夷那竭國，力士生處，堅固雙樹林中。

爾時，世尊涅槃時至，告尊者阿難：「汝為世尊於雙樹間敷繩床，北首，如來今日中夜，於無餘涅槃而般涅槃。」

爾時，尊者阿難奉教，於雙樹間敷繩床，北首訖，來詣佛所，稽首佛足，退住一面，白佛言：「世尊！已於雙樹間敷繩床，北首。」

爾時，世尊詣雙樹間，於繩床上北首，右脅而臥，足足相累，繫念明想，正念、正智。

時，俱夷那竭國有須跋陀羅外道出家，百二十歲，年耆根熟，為俱夷那竭國人，恭敬供養如阿羅漢。

彼須跋陀羅出家聞：「世尊今日中夜，當於無餘涅槃而般涅槃，然，我有所疑，希望而住，沙門瞿曇有力，能開覺我，我今當詣沙門瞿曇，問其所疑。」即出俱夷那竭，詣世尊所。

爾時，尊者阿難於園門外經行。

時，須跋陀羅語阿難言：「我聞：『沙門瞿曇今日中夜，於無餘涅槃而般涅槃。』我有所疑，希望而住，沙門瞿曇有力，能開覺我，若阿難不憚勞者，為我往白瞿曇，少有閑暇，答我所問。」

阿難答言：「莫逼世尊，世尊疲極。」

如是，須跋陀羅再三請尊者阿難，尊者阿難亦再三不許。

須跋陀羅言：「我聞古昔出家耆年大師所說：『久久乃有如來、應、等正覺出於世間，如優曇鉢華。』而今如來中夜，當於無餘涅槃界而般涅槃，我今於法疑，信心而住，沙門瞿曇有力能開覺我，若阿難不憚勞者，為我白沙門瞿曇。」

阿難復答言：「須跋陀羅！莫逼世尊，世尊今日疲極。」

爾時，世尊以天耳聞阿難與須跋陀羅共語來往，而告尊者阿難：「莫遮外道出家須跋陀羅，令入問其所疑，所以者何？此是最後與外道出家論議，此是最後得證聲聞善來比丘，所謂須跋陀羅。」

爾時，須跋陀羅，[聞]世尊為開善根，歡喜增上，詣世尊所，與世尊面相問訊，慰勞已，退坐一面，白佛言：「瞿曇！凡世間入處，謂：富蘭那迦葉等六師，各作如是宗：『此是沙門、此是沙門。』云何，瞿曇！為實各各有是宗不？」

爾時，世尊即為說偈言：「

始年二十九，出家修善道，成道至於今，經五十餘年。

三昧明行具，常修於淨戒，離斯少道分，此外無沙門。」

佛告須跋陀羅：「於正法、律，不得八正道者，亦不得初沙門，亦不得第二、第三、第四沙門。須跋陀羅！於此法、律得八正道者，得初沙門，得第二、第三、第四沙門，除此已，於外道無沙門，斯則異道之師，空沙門、婆羅門耳，是故，我今於眾中作師子吼。」

說是法時，須跋陀羅外道出家遠塵、離垢得法眼淨。

爾時，須跋陀羅見法、得法、知法、入法，度諸狐疑，不由他信，不由他度，於正法、律得無所畏，從坐起，整衣服，右膝著地，白尊者阿難：「汝得善利！汝得大師！為大師弟子，為大師雨雨灌其頂，我今若得於正法、律出家、受具足，得比丘分者，亦當得斯善利。」

時，尊者阿難白佛言：「世尊！是須跋陀羅外道出家，今求於正法、律出家、受具足，得比丘分。」

爾時，世尊告須跋陀羅：「此比丘！來修行梵行！」

彼尊者須跋陀羅即於爾時出家，即是受具足，成比丘分，如是思惟……乃至心善解脫，得阿羅漢。

時，尊者須跋陀羅得阿羅漢，解脫樂，覺知已，作是念：「我不忍見佛般涅槃，我當先般涅槃。」

時，尊者須跋陀羅先般涅槃已，然後世尊般涅槃。

大正 1032/印順 13370/佛光 1020(病 MA28; AA51.8; MN143)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，尊者舍利弗聞給孤獨長者身遭苦患，聞已，語尊者阿難：「知不？給孤獨長者身遭苦患，當共往看。」

尊者阿難默然而許。

時，尊者舍利弗與尊者阿難共詣給孤獨長者舍。

長者遙見尊者舍利弗，扶床欲起……乃至說三種受，如叉摩修多羅廣說：「……身諸苦患，轉增無損。」

尊者舍利弗告長者言：「當如是學：不著眼，不依眼界生貪欲識；不著耳……鼻……舌……身，意亦不著，不依意界生貪欲識；不著色，不依色界生貪欲識；不著聲……香……味……觸……法，不依法界生貪欲識；不著於地界，不依地界生貪欲識；不著於水……火……風……空……識界，不依識界生貪欲識；不著色陰，不依色陰生貪欲識；不著受……想……行……識陰，不依識陰生貪欲識。」

時，給孤獨長者悲歎流淚。

尊者阿難告長者言：「汝今怯劣耶？」

長者白阿難：「不怯劣也，我自顧念，奉佛以來二十餘年，未聞尊者舍利弗說深妙法，如今所聞。」

尊者舍利弗告長者言：「我亦久來未嘗為諸長者說如是法。」

長者白尊者舍利弗：「有居家白衣，有勝信、勝念、勝樂，不聞深法而生退沒，善哉！尊者舍利弗！當為居家白衣說深妙法，以哀愍故，尊者舍利弗！今於此食。」

尊者舍利弗等，默然受請。

即設種種淨美飲食，恭敬供養。

食已，復為長者種種說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，即從坐起而去。

大正 1078/印順 1181/佛光 1066(比丘 OA17; SN1.20)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有異比丘，於夜明相出時，出搧補河邊，脫衣著岸邊，入水洗浴。

浴已上岸，被一衣待身乾。

時，有一天子，放身光明，普照搧補河側，語比丘言：「汝少出家，鮮白髮黑，年始盛美，應習五欲，莊嚴瓔珞，塗香

華鬘，五樂自娛，而於是時，違親背俗，悲泣別離，剃除鬚髮，著袈裟衣，正信非家出家學道，如何捨現前樂而求非時之利？」

比丘答言：「我不捨現前樂求非時樂，我今乃是捨非時樂得現前樂。」

天問比丘：「云何捨非時樂得現前樂？」

比丘答言：「如世尊說：『非時之欲，少味多苦，少利多難。』我今於現法中，已離熾然，不待時節，能自通達，現前觀察，緣自知覺。

如是，天子！是名捨非時樂得現前樂。」

天復問比丘：「云何復是如來所說非時之欲，少樂多苦？云何復是如來所說現法利樂，乃至緣自覺知？」

比丘答言：「我年少出家，不能廣宣如來所說正法律儀，世尊近在迦蘭陀竹園，汝可往詣如來，問其所疑，如世尊說，隨憶受持。」

天子復言：「比丘！於如來所，有諸[大]力天，眾多圍繞，我先無問，未易可詣，比丘！汝若能為先白世尊者，我可隨往。」

比丘答言：「當為汝去。」

天白比丘：「唯然，尊者！我隨後來。」

時，彼比丘往詣佛所，稽首禮足，退住一面，以向天子往反問答具白世尊：「今者，世尊！彼天子誠實言者，須臾應至，不誠實者自當不來。」

時，彼天子遙語比丘：「我已(在此)，我已在此。」

爾時，世尊即說偈言：「眾生隨愛想，以愛想而住，以不知愛故，則為死方便。」

佛告天子：「汝解此偈者，便可發問。」

天子白佛：「不解，世尊！不解，善逝！」

佛復說偈而告天子曰：「若知所愛者，不於彼生愛，彼此無所有，他人莫能說。」

佛告天子：「汝解此義者，便可發問。」

天子白佛：「不解，世尊！不解，善逝！」

佛復說偈言：「見等、勝、劣者，則有言論生，三事不傾動，則無軟、中、上。」

佛告天子：「解此義者，則可發問。」

天子白佛：「不解，世尊！不解，善逝！」

佛復說偈言：「斷愛及名色，除慢無所繫，寂滅息瞋恚，離結絕悕望，不見於人天，此世及他世。」

佛告天子：「解此義者，乃可發問。」

天子白佛：「已解，世尊！已解，善逝！」

佛說此經已，彼天子聞佛所說，歡喜隨喜，即沒不現。

大正 1144/印順 13244/佛光 896(大迦葉 OA119; SN16.11)

如是我聞：一時，尊者摩訶迦葉、尊者阿難住王舍城耆闍崛山中，世尊涅槃未久。

時，世飢饉，乞食難得。

時，尊者阿難與眾多年少比丘俱，不能善攝諸根，食不知量，不能初夜、後夜精懃禪思，樂著睡眠，常求世利，人間遊行，至南天竺，有三十年少弟子捨戒還俗，餘多童子。

時，尊者阿難於南山國土遊行，以少徒眾，還王舍城。

時，尊者阿難舉衣鉢，洗足已，至尊者摩訶迦葉所，稽首禮足，退坐一面。

時，尊者摩訶迦葉問尊者阿難：「汝從何來？徒眾尠((尟))少？」

阿難答言：「從南山國土人間遊行，年少比丘三十人捨戒還俗，徒眾損減，又今在者，多是童子。」

尊者摩訶迦葉語阿難言：「有幾福利，如來、應、等正覺所知所見，聽三人(以)上制群食戒？」

阿難答言：「為二事故，何等為二？一者、為貧小家；二者、多諸惡人以為伴黨，相破壞故，莫令惡人於僧中住而受眾名，映障大眾別為二部，互相嫌諍。」

尊者迦葉語阿難言：「汝知此義，如何於飢饉時，與眾多年少弟子南山國土遊行，令三十人捨戒還俗，徒眾損減，餘者多是童子？*阿難！汝徒眾消滅，汝是童子，不知籌量。」

阿難答言：「云何，尊者摩訶迦葉！我(已)頭髮二色，猶言童子？」

尊者摩訶迦葉言：「汝於飢饉世，與諸年少弟子人間遊行，致令三十弟子捨戒還俗，其餘在者復是童子，徒眾消滅，不知籌量，而言宿士眾壞。

阿難！眾極壞，阿難！汝是童子，不籌量故。」

時，低舍比丘尼聞尊者摩訶迦葉以童子責尊者阿難毘提訶牟尼，聞已，不歡喜，作是惡言：「云何，阿梨摩訶迦葉本外道(門)，而(以)童子呵責阿梨阿難毘提訶牟尼，令童子名流行？」

尊者摩訶迦葉以天耳聞低舍比丘尼心不歡喜，口出惡言，聞已，語尊者阿難：「汝看是低舍比丘尼，心不歡喜，口說惡語，言：『摩訶迦葉(本外道門)，而責阿梨阿難毘提訶牟尼，令童子名流行。』」

尊者阿難答言：「且止，尊者摩訶迦葉！忍之，尊者摩訶迦葉！此愚癡老嫗，無自性智。」

尊者摩訶迦葉語阿難言：「我自出家，都不知有異師，唯如來、應、等正覺。

我未出家時，常念生、老.病.死.憂.悲.惱.苦，知在家荒務，多諸煩惱，出家空閑，難可俗人處於非家，一向鮮潔，盡其形壽，純一滿淨梵行清白，當剃鬚髮，著袈裟衣，正信非家出家學道，以百千金貴價之衣，段段割截為僧伽梨，若世間[有]阿羅漢者，(聞)從出家。

我出家已，於王舍城那羅聚落中間多子塔所，遇值世尊，正身端坐，相好奇特，諸根寂靜，第一息滅，猶如金山，我時見已，作是念：『此是我師，此是世尊，此是羅漢，此是等正覺。』

我時一心合掌敬禮，白佛言：『是我大師，我是弟子。』

佛告我言：『如是，迦葉！我是汝師，汝是弟子。迦葉！汝今成就如是真實淨心，所恭敬者，不知言知，不見言見，實非羅漢而言羅漢，非等正覺言等正覺者，應當自然身碎七分。迦葉！我今知故言知，見故言見，真阿羅漢言阿羅漢，真等正覺言等正覺，迦葉！我今有因緣故，為聲聞說法，非無因緣故；依、非無依；有神力、非無神力，是故，迦葉！若欲聞法，應如是學：「若欲聞法，以義饒益，當一其心，

恭敬尊重，專心側聽，而作是念：『我當正觀五陰生、滅，六觸入處集起、滅沒；於四念處正念樂住，修七覺分、八解脫身作證，常念其身，未嘗斷絕，離無慚愧，於大師所及大德梵行，常住慚愧。』如是應當學。」』

爾時，世尊為我說法，示、教、照、喜；示、教、照、喜已，從座起去，我亦隨去，向於住處，我以百千價直衣割截僧伽梨，四(襵)為座。

爾時，世尊知我至心，處處下道，我即敷衣以為坐具，請佛令坐。

世尊即坐，以手摩衣，歎言：『迦葉！此衣輕細！此衣柔軟！』

我時白言：『如是，世尊！此衣輕細，此衣柔軟，唯願世尊受我此衣！』

佛告迦葉：『汝當受我糞掃衣，我當受汝僧伽梨。』

佛即自手授我糞掃納衣，我即奉佛僧伽梨。

如是，漸漸教授，我八日之中，以學法受於乞食，至第九日，起於無學。

阿難！若有正問：『誰是世尊法子，從佛口生、從法化生，付以法財：諸禪、解脫、三昧、正受？』應答我是，是則正說。

譬如：轉輪聖王第一長子，當以灌頂住於王位，受王五欲，不苦方便，自然而得，我亦如是，為佛法子，從佛口生、從法化生，得法餘財：(諸)禪、解脫、三昧、正受，不苦方便，自然而得。

譬如：轉輪聖王寶象，高七八肘，一多羅葉能映障者，如是，我所成就六神通智則可映障，若有於神通境界智證有疑惑者，我悉能為分別記說；天耳、他心通、宿命智、生死智、漏盡作證智通有疑惑者，我悉能為分別記說，令得決定。」

尊者阿難語尊者摩訶迦葉：「如是，如是，摩訶迦葉！如轉輪聖王寶象，高七八肘，欲以一多羅葉能映障者，如是，尊者摩訶迦葉六神通智則可映障，若有於神通境界作證智……乃至漏盡作證智有疑惑者，尊者摩訶迦葉能為記說，令其決

定，我於長夜，敬信尊重尊者摩訶迦葉，以有如是大德神力故。」

尊者摩訶迦葉說是語時，尊者阿難聞其所說，歡喜受持。

大正 1167/印順 385/佛光 261(入處 SN35.240)

如是我聞：一時，佛住憍賞彌國瞿師羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「過去世時，有河中草，有龜於中住止。

時，有野干，飢行覓食，遙見龜蟲，疾來捉取，龜蟲見來，即便藏六。野干守伺，冀出頭足，欲取食之。久守龜蟲，永不出頭，亦不出足，野干飢乏，瞋恚而去。

諸比丘！汝等今日亦復如是，知魔波旬常伺汝便，冀汝眼著於色，耳聞聲，鼻嗅香，舌嘗味，身覺觸，意念法，欲令出生染著六境，是故，比丘！汝等今日常當執持眼律儀住；執持眼根律儀住，惡魔波旬不得其便隨出、隨緣；耳、鼻、舌、身、意亦復如是，於其六根若出、若緣，不得其便，猶如龜蟲，野干不得其便。」

爾時，世尊即說偈言：

「龜蟲畏野干，藏六於殼內，比丘善攝心，密藏諸覺想，不依不怖彼，覆心勿言說。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 1168/印順 386/佛光 262(入處 SN35.248)

如是我聞：一時，佛住憍賞彌國瞿師羅園。

爾時，世尊告諸比丘：「譬如：麨麥著四衢道頭，有六壯夫執杖共打，須臾塵碎，有第七人執杖重打，諸比丘！於意云何？如麨麥聚六人共打，七人重打，當極碎不？」

諸比丘白佛言：「如是，世尊！」

佛告諸比丘：「如是，愚癡士夫六觸入處之所搥打，何等為六？謂：眼觸入處常所搥打；耳、鼻、舌、身、意觸入處常所搥打，彼愚癡士夫為六觸入處之所搥打，猶復念求當來世有，如第七人重打令碎。

比丘！若言是我，是則動搖；言是我所，是則動搖；未來當有，是則動搖；未來當無，是則動搖；當復有色，是則動

搖；當復無色，是則動搖；當復有想，是則動搖；當復無想，是則動搖；當復非有想非無想，是則動搖；動搖故病；動搖故癰；動搖故刺；動搖故著，正觀察動搖故苦者，得不動搖心，多修習住，繫念正知。

如動搖，如是，思量、虛誑、有行、因愛；言我是則為愛；言我所，是則為愛；言當來有，是則為愛；言當來無，是則為愛；當有色，是則為愛；當無色，是則為愛；當有想，是則為愛；當無想，是則為愛；當非想非非想，是則為愛；愛故為病，愛故為癰，愛故為刺，若善思觀察愛生苦者，當多住離愛心，正念、正智。」

「諸比丘！過去世時，阿修羅與軍與帝釋鬥。

時，天帝釋告三十三天：『今日諸天、阿修羅(共)戰，若諸天勝、阿修羅不如者，當生執阿修羅，縛以五繫，送還天宮。』

阿修羅語其眾言：『今阿修羅軍與諸天戰，若阿修羅勝、諸天不如者，當生執帝釋，縛以五繫，還歸阿修羅宮。』

當其戰諍，諸天得勝、阿修羅不如。

時，三十三天生執毘摩質多羅阿修羅王，縛以五繫，還歸天宮。

爾時，毘摩質多羅阿修羅王身被五繫，置於正法殿上，以種種天五欲樂而娛樂之，毘摩質多羅阿修羅王作是念：『唯阿修羅賢善聰慧，諸天雖善，我今且當還歸阿修羅宮。』作是念時，即自見身被五繫縛，諸天五欲自然化沒，毘摩質多羅阿修羅王復作是念：『諸天賢善，智慧明徹，阿修羅雖善，我今且當住此天宮。』作是念時，即自見身五縛得解，諸天五欲自然還出。

毘摩質多羅阿修羅王乃至有如是微細之縛，魔波旬縛轉細於是：心動搖時，魔即隨縛；心不動搖，魔即隨解。

是故，諸比丘！多住不動搖心，正念、正智應當學！」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 1202/印順 1302/佛光 1186(比丘尼 OA218; SN5.10)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，尸羅比丘尼住舍衛國王園比丘尼眾中，晨朝著衣持鉢，入舍衛城乞食。

食已，還精舍，舉衣鉢，洗足畢，持尼師壇著肩上，入安陀林，坐一樹下，入晝正受。

時，魔波旬作是念：「今，沙門瞿曇住舍衛國祇樹給孤獨園，尸羅比丘尼住舍衛國王園精舍比丘尼眾中，晨朝著衣持鉢，入舍衛城乞食。食已還精舍，舉衣鉢，洗足畢，持尼師壇著肩上，入安陀林，坐一樹下，入晝正受。我今當往，為作留難。」

即化作年少，容貌端正，往到尸羅比丘尼前，而說偈言：

「眾生云何生？誰為其作者？眾生何處起？去復至何所？」

尸羅比丘尼作是念：「此是何人欲恐怖我？為人？為非人？為姦狡人？」

作是思惟已，即生知覺：「此是惡魔，欲作留難。」即說偈言：

「汝謂有眾生，此則惡魔見，唯有空陰聚，無是眾生者。

　如和合眾材，世名之為車，諸陰因緣合，假名為眾生。

其生則苦生，住亦即苦住，無餘法生苦，苦生苦自滅。

捨一切(憂)苦，離一切闇冥，已證於寂滅，安住諸漏盡，

已知汝惡魔，則自消滅去。」

時，魔波旬作是念：「尸羅比丘尼已知我心。」內懷憂慼，即沒不現。

大正 1227/印順 1230/佛光 1114(剎利 OA54; AA26.7; SN3.22)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，波斯匿王有祖母，極所敬重，忽爾命終。

出城闍維，供養舍利畢，弊衣亂髮，來詣佛所，稽首佛足，退坐一面。

爾時，世尊告波斯匿王：「大王！從何所來弊衣亂髮？」

波斯匿王白佛：「世尊！我亡祖母，極所敬重，捨我命終，出於城外，闍維供養畢，來詣世尊。」

佛告大王：「極愛重敬念祖親耶？」

波斯匿王白佛：「世尊！極敬重愛戀。世尊！若國土所有象、馬、七寶，乃至國位，悉持與人，能救祖母命者，悉當與之。

既不能救，生死長辭，悲戀憂苦，不自堪勝，曾聞世尊所說：『一切眾生、一切蟲、一切神，生者皆死，無不窮盡，無有出生而不死者。』今日乃知世尊善說。」

佛言：「大王！如是，如是，一切眾生、一切蟲、一切神，生者輒死，終歸窮盡，無有一生而不死者。」

佛告大王：「正使婆羅門大姓、剎利大姓、長者大姓，生者皆死，無不死者。正使剎利大王灌頂居位，王四天下，得力自在，於諸敵國無不降伏，終歸有極，無不死者。

若復，大王！生長壽天，王於天宮自在快樂，終亦歸盡，無不死者。

若復，大王！羅漢比丘諸漏已盡，離諸重擔，所作已作，逮得己利，盡諸有結，正智心善解脫，彼亦歸盡，捨身涅槃。

若復，緣覺善調、善寂，盡此身命，終歸涅槃。

諸佛世尊十力具足，四無所畏，勝師子吼，終亦捨身取般涅槃。

以如是比，大王！當知：一切眾生、一切蟲、一切神，有生輒死，終歸磨滅，無不死者。」

爾時，世尊復說偈言：

「一切眾生類，有命終歸死，各隨業所趣，善惡果自受。

惡業墮地獄，為善上昇天，修習勝妙道，漏盡般涅槃。

如來及緣覺，佛聲聞弟子，會當捨身命，何況俗凡夫。」

佛說此經已，波斯匿王聞佛所說，歡喜隨喜，作禮而去。

大正 1250/印順 13343/佛光 994(譬喻 AN5.30; 8.86)

如是我聞：一時，佛在拘薩羅人間遊行，至一奢能伽羅聚落，住一奢能迦羅林中。

時，有尊者那提伽舊住一奢能伽羅聚落。

一奢能伽羅聚落(剎利)、婆羅門聞沙門瞿曇拘薩羅國人間遊行，至一奢能伽羅聚落，住一奢能伽羅林中，聞已，各辦一

釜食著門邊，作是念：「我先供養世尊！我先供養善逝！」各各高聲、大聲作如是唱。

爾時，世尊聞園林內有多人眾高聲、大聲，語尊者那提迦：「何因、何緣，園林內有眾多人高聲、大聲唱說之聲？」

尊者那提迦白佛言：「世尊！此一奢能伽羅聚落諸剎利、婆羅門、長者聞世尊住此林中，各作一釜食，置園林內，各自唱言：『我先供養世尊！我先供養善逝！』以是故，於此林中多人高聲、大聲唱說之聲，唯願世尊，當受彼食。」

佛告那提迦：「莫以利我！我不求利；莫以稱我！我不求稱。

那提迦！若於如來如是便得出要、遠離、寂滅、等正覺樂者，則於彼彼所起利樂，若味、若求。

那提迦！唯我於此像類得出要、遠離、寂滅、等正覺樂，不求而得，不苦而得，於何彼彼所起利樂，若味、若求？

那提迦！汝等於如是像類色不得出要、遠離、寂滅、等正覺樂故，不得不求之樂，不苦之樂。

那提迦！天亦不得如是像類出要、遠離、寂滅、等正覺樂，不求之樂，不苦之樂，唯有我得如是像類出要、遠離、寂滅、等正覺樂，不求之樂，不苦之樂，於何彼彼所起利樂，若味、若求？」

那提迦白佛言：「世尊！我今欲說譬。」

佛告那提迦：「宜知是時。」

那提迦白佛言：「世尊！譬如：天雨水流順下，隨其彼彼世尊住處，於彼彼處，剎利、婆羅門、長者信敬奉事，以世尊戒德清淨、正見真直，是故，我今作如是說：『唯願世尊，哀受彼請！』」

佛告那提迦：「莫以利我！我不求利……乃至云何於彼彼所起利樂，有味、有求？

那提迦！我見比丘食好食已，仰腹而臥，急喘長息，我見已，作是思惟：『如此長老不得出要、遠離、寂滅、等正覺樂、不求之樂，不苦之樂。』

復次，那提迦！我見此有二比丘，食好食已，飽腹喘息，偃闡而行，我作是念：『非彼長老能得出要、遠離、寂滅、等正覺之樂，不求之樂，不苦之樂。』

那提迦！我見眾多比丘食好食已，從園至園，從房至房，從人至人，從群聚至群聚；我見是已而作是念：『非彼長老如是能得出要、遠離、寂滅、等正覺樂，不求之樂，不苦之樂，我得如是像類出要、遠離、寂滅、等正覺樂，不求之樂，不苦之樂。』

復次，那提迦！我於一時，隨道行，見有比丘於前遠去，復有比丘於後來亦遠，我於爾時閑靜無為，亦無有便利之勞，所以者何？

依於食飲、樂著滋味，故有便利，此則為依。

觀五受陰生滅而厭離住，此則為依。

於六觸入處觀察集滅，厭離而住，此則為依。

於群聚之樂勤習群聚，厭於遠離，是則為依。

樂修遠離則勤於遠離，厭離群聚，是則為依。

是故，那提迦！當如是學：於五受陰觀察生滅、於六觸入處觀察集滅、樂於遠離、精勤遠離，當如是學。」

佛說此經已，尊者那提迦聞佛所說歡喜隨喜，作禮而去。

大正 1260/印順 13353/佛光 1004(譬喻 SN20.10)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

爾時，世尊告諸比丘：「過去世時，有一貓狸飢渴羸瘦，於孔穴中伺求鼠子，若鼠子出，當取食之。

有時，鼠子出穴遊戲，時，彼貓狸疾取吞之。

鼠子身小，生入腹中；入腹中已，食其內藏；食內藏時，貓狸迷悶，東西狂走：空宅、塚間不知何止，遂至於死。

如是，比丘！有愚癡人依聚落住，晨朝著衣持鉢，入村乞食，不善護身，不守根門，心不繫念，見諸女人起不正思惟而取色相，發貪欲心；貪欲發已，欲火熾燃，燒其身心；燒身心已，馳心狂逸，不樂精舍、不樂空閑、不樂樹下，為惡不善心侵食內法，捨戒退減，此愚癡人長夜常得不饒益苦。

是故，比丘！當如是學：善護其身，守諸根門，繫心正念入村乞食，當如是學。」

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 1265/印順 13358/佛光 1009(病 AA26.10; SN22.87)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

爾時，有尊者跋迦梨，住王舍城金師精舍，疾病困苦，尊者富鄰尼瞻視供養。

時，跋迦梨語富鄰尼：「汝可詣世尊所，為我稽首禮世尊足，問訊世尊：『少病、少惱、起居輕利、安樂住不？』言：『跋迦梨住金師精舍，疾病困篤，委積床褥，願見世尊；疾病困苦，氣力羸憊，無由奉詣，唯願世尊降此金師精舍，以哀愍故。』」

時，富鄰尼受跋迦梨語已，詣世尊所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！尊者跋迦梨稽首世尊足，問訊世尊：『少病、少惱、起居輕利、安樂住不？』」

世尊答言：「令彼安樂！」

富鄰尼白佛言：「世尊！尊者跋迦梨住金師精舍，疾病困篤，委在床褥，願見世尊，無有身力來詣世尊，善哉！世尊！詣金師精舍，以哀愍故。」

爾時，世尊默然聽許。

時，富鄰尼知世尊聽許已，禮足而去。

爾時，世尊晡時從禪覺，往詣金師精舍，至跋迦梨住房。

跋迦梨比丘遙見世尊，從床欲起。

佛告跋迦梨：「且止，勿起！」

世尊即坐異床，語跋迦梨：「汝心堪忍此病苦不？汝身所患，為增？為損？」

跋迦梨白佛：如前(又)摩比丘修多羅廣說。

「世尊！我身苦痛極難堪忍，欲求刀自殺，不樂苦生。」

佛告跋迦梨：「我今問汝，隨意答我。云何，跋迦梨！色是常耶？為非常耶？」

跋迦梨答言：「無常，世尊！」

復問：「若無常，是苦耶？」

答言：「是苦，世尊！」

復問跋迦梨：「若無常、苦者，是變易法，於中寧有可貪、可欲不？」

跋迦梨白佛：「不也，世尊！」

受、想、行、識亦如是說。

佛告跋迦梨：「若於彼身無可貪、可欲者，是則善終，後世亦善。」

爾時，世尊為跋迦梨種種說法，示、教、照、喜已，從座起去。

即於彼夜，尊者跋迦梨思惟解脫，欲執刀自殺，不樂久生。時，有二天，身極端正，於後夜時詣世尊所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！尊者跋迦梨疾病困苦，思惟解脫，欲執刀自殺，不樂久生。」

第二天言：「彼尊者跋迦梨已於善解脫而得解脫。」

說此語已，俱禮佛足，即沒不現。

爾時，世尊夜過晨朝，於大眾前敷座而坐，告諸比丘：「昨夜有二天子，形體端正，來詣我所，稽首作禮，退住一面，而作是言：『尊者跋迦梨住金師精舍，疾病困苦，思惟解

脫，欲執刀自殺，不樂久生。』第二天言：『尊者跋迦梨已於善解脫而得解脫。』說此語已，稽首作禮，即沒不現。」

爾時，世尊告一比丘：「汝當往詣尊者跋迦梨比丘所，語跋迦梨言：『昨夜有二天來詣我所，稽首作禮，退住一面，語我言：「尊者跋迦梨疾病困篤，思惟解脫，欲執刀自殺，不樂久生。」第二天言：「尊者跋迦梨於善解脫而得解脫。」說此語已，即沒不現，此是天語，佛復記汝：「汝於此身不起貪欲，是則善終，後世亦善。」』」

時，彼比丘受世尊教已，詣金師精舍跋迦梨房。

爾時，跋迦梨語侍病者：「汝等持繩床，共舉我身著精舍外，我欲執刀自殺，不樂久生。」

時，有眾多比丘出房舍，露地經行。

受使比丘詣眾多比丘所，問眾多比丘言：「諸尊！跋迦梨比丘住在何所？」

諸比丘答言：「跋迦梨比丘告侍病者，令舉繩床出精舍外，欲執刀自殺，不樂久生。」

受使比丘即詣跋迦梨所。

跋迦梨比丘遙見使比丘來，語侍病者：「下繩床著地，彼比丘疾來，似世尊使。」

彼侍病者，即下繩床著地。

時，彼使比丘語跋迦梨：「世尊有教，及天有所說。」

時，跋迦梨語侍病者：「扶我著地，不可於床上受世尊教，及天所說。」

時，侍病者即扶跋迦梨下，置於地。

時，跋迦梨言：「汝可宣示世尊告敕，及天所說。」

使比丘言：「跋迦梨！大師告汝：『夜有二天來白我言：「跋迦梨比丘疾病困篤，思惟解脫，欲執刀自殺，不樂久生。」第二天言：「跋迦梨比丘已於善解脫而得解脫。」說此語已，即沒不現。世尊復記說汝：「善於命終，後世亦善。」』」

跋迦梨言：「尊者！大師善知所知，善見所見；彼二天者亦善知所知，善見所見，然我今日，於色*無常，決定無疑；無常者是苦，決定無疑；若無常、苦者，是變易法，於彼無有可貪、可欲，決定無疑；受、想、行、識亦復如是。然，

我今日疾病苦痛猶故隨身，欲刀自殺，不樂久生。」即執刀自殺。

時，使比丘供養跋迦梨死身已，還詣佛所，稽首禮足，退坐一面，白佛言：「世尊！我以世尊所敕，具告尊者跋迦梨，彼作是言：『大師善知所知，善見所見；彼二天者，亦善知所知，善見所見，廣說……』乃至執刀自殺。」

爾時，世尊告諸比丘：「共詣金師精舍跋迦梨尸所。」

見跋迦梨死身，有遠離之色。

見已，語諸比丘：「汝等見是跋迦梨比丘死身在地，有遠離之色不？」

諸比丘白佛：「已見，世尊！」

復告諸比丘：「遶跋迦梨身、四面周匝有闇冥之相，圍遶身不？」

諸比丘白佛：「已見，世尊！」

佛告諸比丘：「此是惡魔之像，周匝求覓跋迦梨善男子識神當生何處。」

佛告諸比丘：「跋迦梨善男子不住識神，以刀自殺。」

爾時，世尊為彼跋迦梨說第一記

佛說此經已，諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

大正 1266/印順 13359/佛光 1010(病 SN35.87)

如是我聞：一時，佛住王舍城迦蘭陀竹園。

時，有尊者闡陀，住那羅聚落好衣菴羅林中，疾病困篤。

時，尊者舍利弗聞尊者闡陀在那羅聚落好衣菴羅林中，疾病困篤，聞已，語尊者摩訶拘絺羅：「尊者知不？闡陀比丘在那羅聚落好衣菴羅林中，疾病困篤，當往共看。」

摩訶拘絺羅默然許之。

時，尊者舍利弗與尊者摩訶拘絺羅，共詣那羅聚落好衣菴羅林中，至尊者闡陀住房。

尊者闡陀遙見尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅，凭床欲起。

尊者舍利弗語尊者闡陀：「汝且莫起！」

尊者舍利弗、尊者摩訶拘絺羅坐於異床，問尊者闡陀：「云何，尊者闡陀！所患為可堪忍不？為增？為損？」如前叉摩修多羅廣說。

尊者闡陀言：「我今身病，極患苦痛，難可堪忍，所起之病但增無損，唯欲執刀自殺，不樂苦活。」

尊者舍利弗言：「尊者闡陀！汝當努力，莫自傷害！若汝在世，我當與汝來往周旋，汝若有乏，我當給汝如法湯藥，汝若無看病人，我當看汝，必令適意、非不適意。」

闡陀答言：「我有供養，那羅聚落諸婆羅門、長者悉見看視，衣被、飲食、臥具、湯藥無所乏少，自有弟子修梵行者隨意瞻病，非不適意，但我疾病苦痛逼身，難可堪忍，唯欲自殺，不樂苦生。」

舍利弗言：「我今問汝，隨意答我。

闡陀！眼及眼識、眼所識色，彼寧是我、異我、相在不？」

闡陀答言：「不也，尊者！」

舍利弗復問：「闡陀！耳……鼻……舌……身……意及意識、意識所識法，彼寧是我、異我、相在不？」

闡陀答言：「不也，尊者！」

舍利弗復問：「闡陀！汝於眼、眼識及色，為何所見、何所識、何所知故，言：『眼、眼識及色非我、不異我、不相在？』」

闡陀答言：「我於眼、眼識及色，見滅、知滅故，見眼、眼識及色非我、不異我、不相在。」

復問：「闡陀！汝於耳……鼻……舌……身……意、意識及法，何所見、何所知故，於意、意識及法見非我、不異我、不相在？」

闡陀答言：「尊者舍利弗！我於意、意識及法，見滅，知滅故，於意、意識及法見非我、不異我、不相在。

尊者舍利弗！然，我今日身病苦痛，不能堪忍，欲以刀自殺，不樂苦生。」

時，尊者摩訶拘絺羅語尊者闡陀：「汝今當於大師修習正念，如所說句：『有所依者則為動搖，動搖者有所趣向，趣向者為不休息，不休息者則隨趣往來，隨趣往來者則有未來生死，有未來生死故有未來出沒，有未來出沒故則有生、老、病、死、憂、悲、苦、惱，如是純(大)苦聚集。』

如所說句：『無所依者則不動搖，不動搖者得無趣向，無趣向者則有止息，有止息故則不隨趣往來，不隨趣往來則無未來出沒，無未來出沒者則無生、老、病、死、憂、悲、惱、苦，如是純大苦聚滅。』」

闡陀言：「尊者摩訶拘絺羅！[我]供養世尊事，於今畢矣；隨順善逝，今已畢矣，適意、非不適意；弟子所作，於今已作，若復有餘弟子所作供養師者，亦當如是供養大師，適意、非不適意。然，我今日身病苦痛，難可堪忍，唯欲以刀自殺，不樂苦生。」

爾時，尊者闡陀即於那羅聚落好衣菴羅林中，以刀自殺。

時，尊者舍利弗供養尊者闡陀舍利已，往詣佛所，稽首禮足，退住一面，白佛言：「世尊！尊者闡陀於那羅聚落好衣菴羅林中以刀自殺，云何，世尊！彼尊者闡陀當至何趣？云何受生？後世云何？」

佛告尊者舍利弗：「彼不自記說言：『尊者摩訶拘絺羅！我供養世尊，於今已畢；隨順善逝，於今已畢，適意、非不適

意；若復有餘供養大師者，當如是作，適意、非不適意。』耶？」

爾時，尊者舍利弗復問世尊：「彼尊者闡陀，先於鎮珍尼婆羅門聚落有供養家，極親厚家，善言語家。」

佛告舍利弗：「如是，舍利弗！正智、正善解脫善男子有供養家，親厚家，善言語家。舍利弗！我不說彼有大過。若有捨此身，餘身相續者，我說彼等則有大過；若有捨此身已，餘身不相續者，我不說彼有大過也，無大過故，於那羅聚落好衣菴羅林中以刀自殺。」

如是，世尊為彼尊者闡陀說第一記。

佛說此經已，尊者舍利弗歡喜，作禮而去。

大正 1296/印順 1409/佛光 1293(諸天 OA294; TB 無)

如是我聞：一時，佛住舍衛國祇樹給孤獨園。

時，有天子，容色絕妙，於後夜時來詣佛所，稽首佛足，退坐一面，其身光明，遍照祇樹給孤獨園。

時，彼天子白佛言：「世尊！拘屢陀王女修波羅提沙，今日生子。」

佛告天子：「此則不善，非是善。」

時，彼天子即說偈言：「人生子為樂，世間有子歡，父母年老衰，子則能奉養，瞿曇何故說，生子為不善？」

爾時，世尊說偈答言：「當知恆無常，純空陰非子，生子常得苦，愚者說言樂，是故我說言，生子非為善。非善為善像，念像不可念，實苦貌似樂，放逸所踐蹈。」

時，彼天子復說偈言：「久見婆羅門，逮得般涅槃，一切怖已過，永超世恩愛。」

於是天子聞佛所說，歡喜隨喜，稽首佛足，即沒不現。

經號索引

雜阿含 0022 242
雜阿含 0023 58
雜阿含 0030 233
雜阿含 0031 253
雜阿含 0039 131
雜阿含 0042 39
雜阿含 0045 115
雜阿含 0049 255
雜阿含 0050 243
雜阿含 0051 256
雜阿含 0057 124
雜阿含 0058 53
雜阿含 0059 257
雜阿含 0061 43
雜阿含 0062 258
雜阿含 0063 144
雜阿含 0064 45
雜阿含 0065 259
雜阿含 0066 261
雜阿含 0067 48
雜阿含 0072 262
雜阿含 0074 263
雜阿含 0080 133
雜阿含 0097 264
雜阿含 0103 59
雜阿含 0105 265
雜阿含 0106 269
雜阿含 0112 272
雜阿含 0123 272
雜阿含 0133 274
雜阿含 0181 193
雜阿含 0195 68
雜阿含 0197 276
雜阿含 0203 91
雜阿含 0205 277
雜阿含 0206 236
雜阿含 0209 92
雜阿含 0211 69
雜阿含 0213 145
雜阿含 0214 147
雜阿含 0221 151
雜阿含 0224 278
雜阿含 0232 72
雜阿含 0234 279
雜阿含 0237 280
雜阿含 0238 281
雜阿含 0239 282
雜阿含 0241 72
雜阿含 0248 134
雜阿含 0249 75
雜阿含 0251 283
雜阿含 0253 77
雜阿含 0254 82
雜阿含 0256 116
雜阿含 0257 118
雜阿含 0260 67
雜阿含 0261 65
雜阿含 0262 120
雜阿含 0263 237
雜阿含 0264 284
雜阿含 0265 50
雜阿含 0268 289
雜阿含 0270 291
雜阿含 0272 293
雜阿含 0273 96
雜阿含 0275 170
雜阿含 0276 296
雜阿含 0281 31
雜阿含 0282 307
雜阿含 0284 137
雜阿含 0287 113
雜阿含 0288 139
雜阿含 0292 127
雜阿含 0293 313
雜阿含 0294 142
雜阿含 0295 314
雜阿含 0297 315
雜阿含 0301 317
雜阿含 0302 155
雜阿含 0304 147
雜阿含 0305 213
雜阿含 0306 94
雜阿含 0308 318
雜阿含 0311 320
雜阿含 0312 86
雜阿含 0314 323
雜阿含 0316 323
雜阿含 0334 149
雜阿含 0335 89
雜阿含 0344 324
雜阿含 0345 330
雜阿含 0347 99
雜阿含 0351 239

雜阿含 0352 180
雜阿含 0357 332
雜阿含 0360 155
雜阿含 0364 108
雜阿含 0371 165
雜阿含 0372 151
雜阿含 0373 166
雜阿含 0374 154
雜阿含 0377 169
雜阿含 0379 159
雜阿含 0384 333
雜阿含 0393 163
雜阿含 0396 334
雜阿含 0400 335
雜阿含 0402 335
雜阿含 0405 336
雜阿含 0419 337
雜阿含 0436 162
雜阿含 0440 338
雜阿含 0453 108
雜阿含 0464 223
雜阿含 0465 339
雜阿含 0466 340
雜阿含 0467 341
雜阿含 0474 231
雜阿含 0482 110
雜阿含 0483 342
雜阿含 0484 344
雜阿含 0485 345
雜阿含 0490 349
雜阿含 0492 361
雜阿含 0493 363
雜阿含 0498 216
雜阿含 0499 364
雜阿含 0502 219
雜阿含 0535 366
雜阿含 0536 369
雜阿含 0537 369
雜阿含 0545 371
雜阿含 0546 371
雜阿含 0549 373
雜阿含 0554 375
雜阿含 0559 378
雜阿含 0560 225
雜阿含 0561 188
雜阿含 0565 379
雜阿含 0567 382
雜阿含 0568 384
雜阿含 0570 387
雜阿含 0609 179
雜阿含 0614 390
雜阿含 0615 176
雜阿含 0620 391
雜阿含 0627 175
雜阿含 0628 173
雜阿含 0629 392
雜阿含 0632 393
雜阿含 0633 393
雜阿含 0636 173
雜阿含 0638 394
雜阿含 0650 397
雜阿含 0652 191
雜阿含 0656 192
雜阿含 0707 397
雜阿含 0708 399
雜阿含 0710 400
雜阿含 0713 196
雜阿含 0714 199
雜阿含 0715 202
雜阿含 0718 206
雜阿含 0720 401
雜阿含 0723 194
雜阿含 0727 402
雜阿含 0731 404
雜阿含 0733 195
雜阿含 0735 196
雜阿含 0743 404
雜阿含 0746 406
雜阿含 0747 406
雜阿含 0753 407
雜阿含 0776 408
雜阿含 0785 208
雜阿含 0805 36
雜阿含 0807 37
雜阿含 0808 409
雜阿含 0810 181
雜阿含 0813 185
雜阿含 0814 410
雜阿含 0836 411
雜阿含 0845 412
雜阿含 0855 190
雜阿含 0864-70 227
雜阿含 0905 413
雜阿含 0916 415
雜阿含 0926 420
雜阿含 0932 422
雜阿含 0934 424
雜阿含 0936 426
雜阿含 0957 429
雜阿含 0958 431
雜阿含 0959 432
雜阿含 0964 244

雜阿含 0968 435
雜阿含 0969 438
雜阿含 0972 442
雜阿含 0979 444
雜阿含 1024 221
雜阿含 1032 447
雜阿含 1078 449
雜阿含 1144 452
雜阿含 1166 90
雜阿含 1167 458
雜阿含 1168 459
雜阿含 1189 177
雜阿含 1202 461
雜阿含 1227 463
雜阿含 1247 207
雜阿含 1250 465
雜阿含 1258 111
雜阿含 1260 469
雜阿含 1265 470
雜阿含 1266 476
雜阿含 1296 480

回　向

感謝佛陀的教導

感謝佛法與聖戒的光明

感謝僧團的庇護

感謝眾生的護持

以此勝功德　願轉利一切

上報四重恩　下濟三途苦

若有見聞者　正向於菩提